
PeopleSoft Enterprise ヒューマ ン リソース 管理 9.0 PeopleBook: プロフィール 管理

2006 年 12月

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: プロファイル管理
SKU HRMS9HMP-B 1206JPN
Copyright © 1988–2006, Oracle. All rights reserved.

本プログラム（ソフトウェアおよび文書）には、財産的情報が含まれています。本プログラムは、使用および公開に関する制約が明記されたライセンス契約に従うことを条件として提供され、著作権、特許権などの知的財産権法および産業財産権法により保護されています。本プログラムのリバース エンジニアリング、逆アセンブル、または逆コンパイルは、他の独立したソフトウェアとの相互運用性の確保に必要とされる範囲または法的に規定された範囲を除き、禁じます。

本書に記載されている情報は、予告なく変更されることがあります。本書の内容に問題があった場合は、当社まで書面によりご通知ください。Oracle は、本書の内容に全く誤りがないことを保証するものではありません。ライセンス契約に明示的に規定された場合を除き、形式または手段（電子的、機械的など）、および目的の如何にかかわらず、本プログラムを複製または転送することを禁じます。

本プログラムが、アメリカ合衆国政府、またはその代理として本プログラムを使用する者に提供される場合には、以下の条項が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS

Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are “commercial computer software” or “commercial technical data” pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the Programs, including documentation and technical data, shall be subject to the licensing restrictions set forth in the applicable Oracle license agreement, and, to the extent applicable, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software—Restricted Rights (June 1987). Oracle Corporation, 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

本プログラムは、原子力、航空、大量輸送、医療などの本質的に危険を伴う用途を目的として作成されていません。危険を伴う用途に本プログラムを使用する場合の障害対策、バックアップ、および冗長構成などの適切な措置を講じた安全性の確保は、ライセンス供与を受けた者の責任とし、これらの用途に使用された場合のいかなる損失や障害について、当社は一切責任を負いません。

本プログラムには、Web サイトへのリンクが含まれており、サードパーティのコンテンツ、製品、およびサービスへのアクセスが発生する場合があります。サードパーティの Web サイトの運用およびそのコンテンツについて、Oracle は一切責任を負いません。これらのコンテンツの使用上の全ての責任は、使用者が負うこととします。サードパーティから製品またはサービスを購入する場合は、その購入者とサードパーティの間の直接取引になります。(a) サードパーティの製品またはサービスに関する品質、(b) サードパーティとの契約におけるいかなる条件の遵守（製品またはサービスの提供、また、購入された製品またはサービスに関する保証義務など）について、Oracle は一切責任を負いません。サードパーティとの取引に伴ういかなる損失や障害について、Oracle は一切責任を負いません。

Oracle、JD Edwards、PeopleSoft、および Siebel は、米国 Oracle Corporation およびその関連会社の両方またはいずれかの登録商標です。その他の会社名および製品名は所有各社の商標です。

オープン ソースの利用について

Oracle は、オープンソースまたはシェアウェアのソフトウェアの使用または配布について責任を負いません。また、これらのソフトウェアまたは文書の使用によるいかなる損失や障害についても一切責任を負いません。Oracle の PeopleSoft 製品には以下のオープンソースソフトウェアが使用される場合があります、これらには下記の免責条項が適用されます。

Apache Software Foundation

この製品には、Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>) によって開発されたソフトウェアが含まれています。Copyright (c) 2000–2003. The Apache Software Foundation. All rights reserved. ライセンスは、Apache ライセンス バージョン 2.0 (以下「ライセンス」) に基づいて許可されます。ライセンスの順守なく、このファイルを使用することは禁じられています。ライセンスのコピーは、<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0> で入手できます。

適用法により求められた場合、または書面をもって同意された場合を除き、ライセンスに基づいて配布されたソフトウェアは、明示的、黙示的を問わず一切の保証または条件なしに現状のまま提供されています。特定の言語下のライセンス許諾事項および制限事項については、ライセンスを確認してください。

OpenSSL

Copyright (c) 1998–2005 The OpenSSL Project. All rights reserved.

この製品には、OpenSSL Project (<http://www.openssl.org/>) によって OpenSSL Toolkit 用に開発されたソフトウェアが含まれています。

このソフトウェアは OpenSSL Project によって現状のまま提供されており、商品性や特定の目的への適合性に対する保証はもとより、明示的にも黙示的にも、一切の保証はありません。OpenSSL Project およびその共同提供者は、いかなる損害に対しても責任を負いません。これは、その損害が、直接的、間接的、付随的、特殊、典型的、または必然的であるか否かを問いません。また、代替品の購入や代替サービスの利用、有用性およびデータや利益の損失、業務の中断に対する保証もいたしません。本ソフトウェアの使用によるあらゆる損害の発生に対して、契約の記載や、重大な過失などによる権利侵害の有無にかかわらず、また、そのような損害の可能性について報告を受けていたとしても、OpenSSL Project は一切責任を負いません。

Loki Library

Copyright (c) 2001 by Andrei Alexandrescu. このコードは次の書籍に掲載されています。Alexandrescu, Andrei. “Modern C++ Design: Generic Programming and Design Patterns Applied”. Copyright (c) 2001 Addison-Wesley. このソフトウェアの複製、変更、配布、および販売は、その目的を問わず、全ての複製に上記の著作権表示を付すること、付属文書に著作権表示およびこの許可表示の両方を付することを条件に許可されます。

Helma Project

Copyright (c) 1999–2004 Helma Project. All rights reserved. このソフトウェアは現状のまま提供されており、商品性や特定の目的への適合性に対する保証はもとより、明示的にも黙示的にも、一切の保証はありません。Helma Project およびその共同提供者は、いかなる損害に対しても責任を負いません。これは、その損害が、直接的、間接的、付随的、特殊、典型的、または必然的であるか否かを問いません。また、代替品の購入や代替サービスの利用、有用性およびデータや利益の損失、業務の中断に対する保証もいたしません。本ソフトウェアの使用によるあらゆる損害の発生に対して、契約の記載や、重大な過失などによる権利侵害の有無にかかわらず、また、そのような損害の可能性について報告を受けていたとしても、Helma Project は一切責任を負いません。

Helma には、個別のライセンス条件に基づいてリリースされたサードパーティソフトウェアが含まれます。ライセンスの一覧については、Helma のディストリビューションに含まれるライセンス ディレクトリを参照してください。

Sarissa

Copyright (c) 2004 Manos Batsis.

このライブラリは、フリー ソフトウェアです。フリー ソフトウェア財団 (Free Software Foundation) によって発行された GNU Lesser General Public License (バージョン 2.1 またはそれ以降のバージョン) の定める条件の下で再配布や修正を行うことができます。

このライブラリの有用性は保証されるものではなく、商品性や特定の目的への適合性に対する黙示的な保証を含め、一切の保証なく配布されます。詳細については、GNU Lesser General Public License を参照してください。

GNU Lesser General Public License は、このライブラリと共に提供されています。提供されていない場合は、Free Software Foundation, Inc. (59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA) にお問い合わせください。

ICU

ICU ライセンス – ICU 1.8.1 およびそれ以降の著作権表示および許可表示 Copyright (c) 1995–2003 International Business Machines Corporation and others. All rights reserved.

本ソフトウェアおよび関連文書ファイル（以下「ソフトウェア」）の複製を取得する全ての人に対し、ソフトウェアの複製を使用、複写、変更、結合、掲載、配布、および/または販売する権利およびソフトウェアを提供する相手に同じことを許可する権利等を含む、ソフトウェアの無制限の取扱いを、上記の著作権表示およびこの許可表示がソフトウェアの全ての複製に付され、付属文書にも記載されることを条件に無償で許可します。ソフトウェアは現状のまま提供されており、商品性、特定の目的への適合性、およびサードパーティの権利の非侵害に対する保証はもとより、明示的にも黙示的にも、一切の保証はありません。この表示に示された著作権保持者は、いかなる損害賠償または損害に対する責任を負いません。契約行為、過失、またはその他の不法行為であっても、本ソフトウェアの使用や機能に起因または関係する、特殊、間接的、または結果的損害、あるいは有用性、データまたは利益の損失による損害か否かにかかわらず、著作権保持者は一切責任を負いません。この許可表示に記載されている場合を除き、著作権保持者による書面による事前の許可がない限り、著作権保持者の名前は広告や、その他の販売/使用プロモーション、またはこのソフトウェアのその他の取引に使用できません。

ここに記載された名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

Sun の JAXB 実装 – JDSDK 1.5 relaxngDatatype.jar 1.0 ライセンス

Copyright (c) 2001, Thai Open Source Software Center Ltd, Sun Microsystems. All rights reserved.

このソフトウェアは著作権保持者およびその共同提供者によって現状のまま提供されており、商品性や特定の目的への適合性に対する保証はもとより、明示的にも黙示的にも、一切の保証はありません。開発者およびその共同提供者は、いかなる損害に対しても責任を負いません。これは、その損害が、直接的、間接的、付随的、特殊、典型的、または必然的であるか否かを問いません。また、代替品の購入や代替サービスの利用、有用性およびデータや利益の損失、業務の中断に対する保証もいたしません。本ソフトウェアの使用によるあらゆる損害の発生に対して、契約の記載や、重大な過失などによる権利侵害の有無にかかわらず、また、そのような損害の可能性について報告を受けていたとしても、開発者は一切責任を負いません。

W3C IPR SOFTWARE NOTICE

Copyright (c) 2000 World Wide Web Consortium, (Massachusetts Institute of Technology, Institut National de Recherche en Informatique et en Automatique, Keio University). All Rights Reserved.

注: W3C Software Copyright Notice and License の原著は、<http://www.w3.org/Consortium/Legal/copyright-software-19980720> で入手できます。

このソフトウェアおよび文書は現状のまま提供されており、著作権保持者は、商品性、特定の目的への適合性、およびソフトウェアおよび文書の使用によるサードパーティの特許権、著作権、商標またはその他の権利の非侵害に対する保証はもとより、明示的にも黙示的にも、一切の表明や保証を行うものではありません。著作権保持者は、ソフトウェアまたは文書の使用にかかわる直接的、間接的、特殊、必然的ないかなる損害に対しても責任を負いません。

目次

はじめに

この PeopleBook について	xi
PeopleSoft Enterprise アプリケーションを使用するにあたって必要な知識.....	xi
アプリケーションの基礎.....	xi
最新版ドキュメンテーションおよび出力されたドキュメンテーションの入手.....	xii
最新版ドキュメンテーションの入手 (英語版のみ).....	xii
出力されたドキュメンテーションの注文とダウンロード.....	xii
追加情報.....	xiii
表記規則.....	xiv
表記規則.....	xiv
注意事項の表示.....	xv
国、地域、業種の表記.....	xvi
通貨コード.....	xvi
ご意見・ご要望をお寄せください.....	xvi
PeopleBook で使用する共通フィールド.....	xvii

まえがき

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 PeopleBook: プロファイル管理 – まえがき.....	xxi
対象の PeopleSoft 製品.....	xxi
PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションの基礎.....	xxi
PeopleBook の構成.....	xxi

第 1 章

プロファイル管理 – はじめに.....	1
プロファイル管理の概要.....	1
プロファイル管理ビジネス プロセス.....	4
プロファイル管理の統合.....	5
プロファイル管理の導入.....	6

第 2 章

コンテンツ カタログの設定.....	9
コンテンツ カタログについて.....	9
コンテンツ カタログの設定.....	12

コンテンツ タイプの設定.....	16
コンテンツ タイプのプロパティについて.....	16
自由形式コンテンツ タイプについて.....	16
コンテンツ タイプの設定に使用するページ.....	18
コンテンツ タイプのプロパティの定義.....	18
コンテンツ タイプの関係ルールの定義.....	21
コンテンツ アイテムの定義.....	23
コンテンツ アイテムの定義に使用するページ.....	23
コンテンツ アイテム詳細の定義.....	23
評価レベル説明の定義.....	25
コンテンツ アイテム関係の定義.....	25
グループへのコンテンツ アイテムの追加.....	26
コンテンツ グループの定義.....	27
コンテンツ グループおよびメンバーの定義に使用するページ.....	27
コンテンツ グループの定義.....	27
コンテンツ グループ メンバーの定義.....	28
評価モデルの定義.....	29
評価モデルについて.....	29
評価モデルの定義に使用するページ.....	30
評価モデルの設定.....	30
評価説明の確認の追加.....	34

第 3 章

プロフィール管理の設定.....	35
プロフィール管理について.....	35
プロフィール管理の設定.....	38
この章で使用する共通フィールド.....	40
プロフィール管理の設定.....	40
プロフィール管理の設定に使用するページ.....	40
プロフィール管理のインストール設定.....	40
学歴関連の情報の定義.....	42
学歴関連の情報について.....	42
学歴情報の定義に使用するページ.....	43
学校の管理.....	43
(JPN) 学部情報の定義.....	44
インスタンス識別子の定義.....	45
インスタンス識別子について.....	45
インスタンス識別子の統合について.....	48
インスタンス識別子の定義に使用するページ.....	49

インスタンス識別子の設定.....	49
プロファイル識別タイプとプロファイル関連先の設定.....	51
このセクションで使用する共通フィールド.....	51
プロファイル識別タイプとプロファイル関連先の定義に使用するページ.....	53
プロファイル識別タイプの定義.....	53
プロファイル関連先の有効化.....	55
プロファイル タイプの設定.....	56
プロファイル タイプの設定に使用するページ.....	56
プロファイル タイプの属性の設定.....	58
プロファイル タイプの識別タイプの定義.....	59
プロファイル タイプのコンテンツの定義.....	60
コンテンツ タイプの定義.....	62
コンテンツ セクションの定義.....	63
プロファイル タイプの関連先の設定.....	67
プロファイル グループ タイプとプロファイル グループの作成.....	68
プロファイル グループ タイプとプロファイル グループの作成に使用するページ.....	69
プロファイル グループ タイプの作成.....	69
プロファイル グループの作成.....	70
XML Publisher のレポートおよびプロファイルを使用するための設定.....	70
XML Publisher のレポートとテンプレートについて.....	70
事前設定.....	72
XML Publisher のレポートとテンプレートの表示および修正に使用するページ.....	73
標準のレポート テンプレートの表示.....	73
既存テンプレートの修正.....	74

第 4 章

プロファイルの検索/比較の設定.....	77
プロファイルの検索/比較について.....	77
検索の設定.....	80
検索タイプの設定に使用するページ.....	81
検索タイプの設定.....	81
検索インデックスの作成.....	82
検索インデックスについて.....	82
Verity インデックスの管理について.....	86
事前設定.....	88
検索インデックスの作成に使用するページ.....	88
管理者リストの作成プロセスの実行.....	88
プロファイル インデックスの管理プロセスの実行.....	90

第 5 章

プロフィール管理.....	91
プロフィール管理について.....	91
事前設定.....	92
プロフィールの管理.....	92
プロフィールとプロフィール タイプについて.....	93
プロフィールのコピー、インポート、シンジケートについて.....	96
事前設定.....	97
このセクションで使用する共通フィールド.....	98
プロフィールの管理に使用するページ.....	99
個人プロフィールの作成と更新.....	102
非個人プロフィールの作成と更新.....	104
プロフィール アイテム詳細の追加、更新、表示.....	109
関連プロフィール アイテムの追加.....	110
プロフィール アイテム行の表示.....	111
個人プロフィールとキャリア プランとの同期.....	111
インポートまたはシンジケートするプロフィールの選択.....	112
シンジケート ソース/ターゲットの表示.....	114
個人プロフィール変更の送信.....	115
非個人プロフィール変更の送信.....	117
シンジケート例外の確認.....	118
シンジケート例外の詳細の確認.....	118
プロフィール変更の承認.....	120
プロフィール承認処理について.....	120
プロフィールの承認に使用するページ.....	121
プロフィール承認トランザクションの表示.....	121
プロフィール変更の表示、承認、却下.....	123
プロフィールの検索と比較.....	124
プロフィールの検索/比較について.....	124
プロフィールの検索/比較のスコアについて.....	128
プロフィールの検索/比較に使用するページ.....	136
ソース プロファイルの選択.....	138
検索条件の設定.....	140
検索結果の表示.....	142
比較するプロフィールの選択.....	144
比較結果の表示.....	145
希望任務リストの管理.....	145
希望任務リストについて.....	146
このセクションで使用する共通フィールド.....	146
希望任務リストの管理に使用するページ.....	146

従業員の希望任務リストの管理.....	147
プロフィール別の希望任務リストの表示.....	147
研修の追跡管理.....	148
従業員研修を追跡する方法について.....	148
従業員研修の追跡に使用するページ.....	148
従業員研修の追跡.....	148
 第 6 章	
コンピテンシーと任務の適合	151
プロフィールの比較について.....	151
任務適合について.....	153
点数の割り当てと重要度.....	153
複数評価.....	155
適合性評価タイプの設定.....	156
適合性評価タイプの設定に使用するページ.....	157
適合性評価タイプの定義.....	157
任務に対する従業員の適合性の分析.....	158
事前設定.....	158
任務に対する従業員の適合性の分析に使用するページ.....	159
任務の指定とクラスタの適合性の分析.....	159
コンピテンシーの適合性の分析.....	161
コンピテンシーの適合性詳細の表示.....	161
資格の適合性の分析.....	162
従業員と任務との適合性差異分析の表示.....	163
従業員に対する任務の適合性の分析.....	164
事前設定.....	164
人材に対する任務の適合性の分析に使用するページ.....	165
従業員の指定とクラスタの適合性の分析.....	165
コンピテンシーの適合性の分析.....	166
コンピテンシーの適合性詳細の表示.....	167
資格の分析.....	168
任務と従業員との適合性差異分析の表示.....	168
プロジェクトに対するチームの適合性の分析.....	169
事前設定.....	169
プロジェクトに対するチームの適合性の分析に使用するページ.....	170
従業員チームの設定.....	170
チーム コンピテンシーの適合性の分析.....	171
チーム資格の適合性の分析.....	172

第 7 章

コンテンツ カタログ レポートとプロフィール レポートの実行.....	175
コンテンツ カタログ アイテムのレポート.....	175
コンテンツ カタログ レポートの実行に使用するページ.....	175
コンテンツ カタログ リスト レポートの実行.....	175
コンピテンシー カテゴリの確認.....	176
プロフィール レポートの実行.....	177
プロフィール レポートの実行に使用するページ.....	177
個人プロフィール レポートの実行.....	179
非個人プロフィール レポートの実行.....	180

第 8 章

(GBR) 国家職業検定資格 (NVQ) の管理.....	181
国家職業検定資格 (NVQ) について.....	181
NVQ 情報の設定.....	182
NVQ の設定について.....	183
NVQ 報奨団体の設定に使用するページ.....	184
NVQ への報奨団体の割り当て.....	184
従業員の NVQ の管理.....	184
NVQ サマリの確認.....	185
NVQ 情報の確認に使用するページ.....	185
従業員の NVQ の確認.....	185
NVQ に関連付けられた従業員の確認.....	186
NVQ レポートの実行.....	187
NVQ レポートの実行に使用するページ.....	187
プランの初期化プロセスの実行.....	187

付録 A

コンテンツ タイプとプロフィール タイプのプロパティ.....	189
プロパティについて.....	189
コンテンツ タイプのプロパティ.....	189
プロフィール タイプのプロパティ.....	193

PeopleSoft Enterprise 用語一覧.....	199
---------------------------------	-----

索引	219
----------	-----

この PeopleBook について

PeopleSoft Enterprise PeopleBook には、オラクル社の PeopleSoft Enterprise アプリケーションの導入と使用に必要な情報が提供されています。

ここでは、以下の事項について説明します。

- PeopleSoft Enterprise アプリケーションを使用するにあたって必要な知識
- アプリケーションの基礎
- 最新版ドキュメンテーションおよび出力されたドキュメンテーションの入手
- 追加情報
- 表記規則
- ご意見・ご要望について
- PeopleBook で使用する共通フィールド

注: PeopleBook では、追加の説明が必要な場合のみ、フィールドやチェック ボックスなどの説明を記載しています。処理や業務の説明箇所に、そこで使用されるフィールドの説明がない場合は、追加の説明が必要ないか、または、PeopleBook のセクション、章、PeopleBook 全体、または製品ライン全体で使用される共通フィールドとして説明されています。共通フィールドについては、この章の後半を参照してください。

PeopleSoft Enterprise アプリケーションを使用するにあたって必要な知識

この PeopleBook の内容を十分に理解して活用するには、PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基本的な使い方を熟知している必要があります。

また、少なくとも 1 つの入門トレーニング コースを修了することをお勧めします。

この PeopleBook では、ユーザーが PeopleSoft Enterprise のメニューやページ、ウィンドウなどを使って情報を追加、更新、削除できることを前提としています。また、Web ブラウザと、Microsoft Windows または Microsoft Windows NT の操作に習熟していることも必要です。

ここでは、PeopleSoft システムを操作できることを前提としているため、操作手順についての説明は省略しています。この PeopleBook では、PeopleSoft Enterprise システムを効果的に使っていただくために必要な情報や、PeopleSoft Enterprise アプリケーションを導入するために必要な情報を提供します。

アプリケーションの基礎

各アプリケーションの PeopleBook では、PeopleSoft Enterprise アプリケーションを導入して使用するための情報を提供しています。

一方、一部のアプリケーションについて、システムを設定したり設計するときに必要となる情報は、『PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基礎 PeopleBook』に書かれています。『PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基礎 PeopleBook』は、ほとんどの製品ラインに用意されています。それぞれの PeopleBook のまえがきに、関連する『PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基礎 PeopleBook』の情報が記載されています。

『PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基礎 PeopleBook』で取り上げている項目は、どの PeopleSoft Enterprise アプリケーションにも当てはまる、あるいはその多くに共通する重要なものばかりです。PeopleSoft システムを導入する場合、1 つのアプリケーションだけを導入する、製品ラインの中からいくつかのアプリケーションを組み合わせて導入する、または製品ライン全体を導入するといったように複数の選択肢がありますが、いずれの場合でも、この『PeopleSoft Enterprise アプリケーションの基礎 PeopleBook』に書かれている内容を十分に理解しておく必要があります。基礎的な内容を理解することが、導入タスクに着手する出発点となります。

最新版ドキュメンテーションおよび出力されたドキュメンテーションの入手

このセクションでは、以下の方法について説明します。

- 最新版ドキュメンテーションの入手（英語版のみ）
- 出力されたドキュメンテーションの注文とダウンロード

最新版ドキュメンテーションの入手（英語版のみ）

本リリースおよび旧リリースの最新版および追加ドキュメンテーションは、オラクル社の PeopleSoft Customer Connection Web サイトから入手できます。オラクル社の PeopleSoft Customer Connection にある Documentation セクションでファイルをダウンロードし、既存の PeopleBook ライブラリに追加することができます。PeopleBook の CD-ROM に含まれる PeopleSoft Enterprise ドキュメンテーション全体へのアップデートを含め、役に立つ最新情報が掲載されています。

重要: アップグレードが必要な場合は、オラクル社の PeopleSoft Customer Connection でアップグレードに関する指示に変更がないか確認してください。常に、アップグレード処理に関する最新情報が掲載されています。

関連項目:

オラクル社の PeopleSoft Customer Connection: http://www.oracle.com/support/support_peoplesoft.html

出力されたドキュメンテーションの注文とダウンロード

PeopleSoft Enterprise ドキュメンテーションは、PeopleBook CD-ROM に収録されていますが、オラクル社の Web サイトから入手することもできます。以下のいずれかの方法で入手できます。

- PDF ファイルをダウンロードする。
- 印刷・製本されたドキュメンテーションを注文する。

PDF ファイルのダウンロード

PeopleSoft Enterprise ドキュメンテーションの PDF 版は、Oracle Technology Network からオンラインでダウンロードできます。PDF ファイルは、メジャー リリースごとに提供され、ソフトウェア出荷後にオンラインで入手できます。

参照: Oracle Technology Network: <http://www.oracle.com/technology/documentation/psftent.html>.

印刷・製本されたドキュメンテーションの注文

印刷・製本されたドキュメンテーションは、Oracle Store から注文できます。

参照: Oracle Store: http://oraclestore.oracle.com/OA_HTML/ibeCCtpSctDspRte.jsp?section=14021

追加情報

オラクル社の PeopleSoft Customer Connection Web サイトから、以下の情報を入手できます。

情報	ナビゲーション
アプリケーションのメンテナンス情報	[Updates + Fixes]
ビジネスプロセス図	[Support]、[Documentation]、[Business Process Maps]
インタラクティブ サービス リポジトリ	[Support]、[Documentation]、[Interactive Services Repository]
ハードウェア要件とソフトウェア要件	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Implementation Documentation and Software]、[Hardware and Software Requirements]
インストール ガイド	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Implementation Documentation and Software]、[Installation Guides and Notes]
統合情報	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Implementation Documentation and Software]、[Pre-Built Integrations for PeopleSoft Enterprise and JD Edwards EnterpriseOne Applications]
最低要件	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Supported Platforms]
最新版ドキュメンテーション	[Support]、[Documentation]、[Documentation Updates]
PeopleBook サポート ポリシー	[Support]、[Support Policy]
プレリリース ノート	[Support]、[Documentation]、[Documentation Updates]、[Category]、[Release Notes]
製品出荷予定	[Support]、[Roadmaps + Schedules]

情報	ナビゲーション
リリースノート	[Support]、[Documentation]、[Documentation Updates]、[Category]、[Release Notes]
リリースバリュープロポジション	[Support]、[Documentation]、[Documentation Updates]、[Category]、[Release Value Proposition]
製品概要	[Support]、[Documentation]、[Documentation Updates]、[Category]、[Statement of Direction]
トラブルシューティング情報	[Support]、[Troubleshooting]
アップグレード関連のドキュメンテーション	[Support]、[Documentation]、[Upgrade Documentation and Scripts]

表記規則

このセクションでは、以下の事項について説明します。

- 表記規則
- 注意事項の表示
- 国、地域、業種の表記
- 通貨コード

表記規則

PeopleBook は、次の表記規則に従って記述されています。

表記規則	説明
太字	PeopleCode の関数名、メソッド名、言語要素や、関数呼び出しでそのまま記述すべき PeopleCode の予約語は太字で記述しています。
斜体	PeopleCode の構文で、プレースホルダとなる引数部分は斜体になっています。
キー + キー	キーを組み合わせる操作を示しています。キー名とキー名の間にプラス記号がある場合は、最初のキーを押しながら 2 番目のキーを押すという意味です。たとえば、Alt + W は、Alt キーを押しながら W キーを押すことを表します。

表記規則	説明
monospace font (固定幅のフォント)	PeopleCode のプログラムや、その他のコードの例の表記には、この固定幅のフォントを使用しています。
...(省略記号)	PeopleCode の構文で、先行要素の任意の繰り返しを示します。
{ }(中かっこ)	PeopleCode の構文で、2つの選択肢のうちいずれか一方を選択することを示します。選択肢は縦棒()で区切られています。
[](角かっこ)	PeopleCode の構文で、省略できる要素を示します。
&(アンパサンド)	PeopleCode の構文で、アンパサンドが頭に付いたパラメータはインスタンス化されたオブジェクトであることを示します。 また、PeopleCode の変数は必ずアンパサンドが頭に付きます。

注意事項の表示

注意事項は、以下のような形式で示されています。

注

PeopleSoft Enterprise システムを使って作業するときの注意事項が書かれています。

注: 注意事項は、このような形式で示しています。

システムが正しく機能するために必ず守っていただきたい大切な事柄は、“重要:”と示されています。

重要: 重要な注意事項は、このような形式で示しています。

警告

PeopleSoft システムの導入にあたって、特に注意しなければならない重要な事柄は、“警告:”と示されています。“警告:”と書かれた部分には十分な注意を払ってください。

警告: 警告は、このような形式で示しています。

相互参照

相互参照は、“参照:”、または“関連項目:”という形で示しています。すぐ前で説明した情報に関連する他のドキュメンテーションが相互参照として示されています。

国、地域、業種の表記

特定の国、地域、業種にのみ関連する情報については、国や地域名などをかっこ書きで付記して示しています。このような国や地域の表示は、通常はセクションの見出しに付記されますが、注意事項などに付記されることもあります。

特定の国を対象とした見出しの例: 「(FRA) 従業員の採用」

特定の地域を対象とした見出しの例: 「(中南米) 減価償却の設定」

国の表記

国際標準化機構 (ISO) が定める国コードを使って表記しています。

地域の表記

地域を表す名称で表記しています。以下に例を示します。

- アジア太平洋
- ヨーロッパ
- 中南米
- 北米

業種の表記

業種を表す名称か略称を使って表記しています。以下に例を示します。

- USF (米国連邦政府)
- E&G (教育/公的機関)

通貨コード

金額は ISO が定める通貨コードを使って表記しています。

ご意見・ご要望をお寄せください

PeopleBook についてのご意見、ご要望を下記にお寄せください。

〒158-0097
東京都世田谷区用賀 4-10-1
SBS タワー 13F

(日本オラクル株式会社内) 日本オラクルインフォメーションシステムズ株式会社
WPTG ランゲージマネジャー宛

TEL: 03-5797-6471

または、ETSJPN_US@ORACLE.COM へ電子メールでご連絡ください。

いただいた電子メール全てにご返答のできない場合もありますが、弊社では皆様のご意見やご要望に留意し、貴重な情報として今後の参考にさせていただきます。

PeopleBook で使用する共通フィールド

指定日	この日付までのデータが、レポートまたはプロセスの対象になります。
ビジネス ユニット	ビジネス情報をまとめる上位レベルの組織の ID です。ビジネス ユニットを利用して、1 つの大きな組織の中に地域別または部門別に複数のユニットを定義することができます。
説明	30 文字までのテキストを入力できます。
有効日	テーブル行が有効になる日付、またはアクションが開始される日付です。たとえば、元帳を 6 月 30 日に締める場合、元帳締めの有効日は 7 月 1 日となります。情報をいつ表示、変更できるかも有効日により管理されます。この情報を使用するページやバッチ処理では、現在行が使用されます。
1 回限り、常時処理、実行しない	<p>“1 回限り” を選択すると、次のバッチ処理実行時にリクエストが実行されます。バッチ処理が実行されると、処理頻度は自動的に “実行しない” に設定されます。</p> <p>“常時処理” を選択すると、バッチ処理が実行されるたびに毎回リクエストが実行されます。</p> <p>“実行しない” を選択すると、バッチ処理が実行されてもこのリクエストは実行されません。</p>
プロセス モニター	このリンクをクリックすると、プロセス リスト ページに移動して、送信したプロセス リクエストのステータスを確認できます。
レポート マネージャ	このリンクをクリックすると、レポート リスト ページに移動して、レポート内容の表示、レポート ステータスの確認、レポートと配信リストの詳細を表示する内容詳細メッセージの照会を行うことができます。
リクエスト ID	レポートまたはプロセスの選択条件のセットを表す ID です。
実行	このボタンをクリックしてプロセス リクエスト ページにアクセスすると、プロセスまたはジョブの実行場所、およびプロセスの出力フォーマットを指定できます。
セットID	コントロール テーブル情報のセット、つまり、テーブルセットを表す ID です。テーブルセットを使用すると、コントロール テーブル情報や処理オプションをビジネス ユニット間で共有できます。これは、データの重複やシステムメンテナンスの作業を減らすために使用されます。ビジネス ユニット内のレコード グループにセットID を割り当てると、レコード グループ内の全てのテーブルは、そのビジネス ユニットと、そのレコード グループに同じセットID を割り当てているその他のビジネス ユニットとの間で共有されます。たとえば、いくつかのビジネス ユニット間で共有される共通の職務コードのグループを定義したりできます。職務コードを共有する各ビジネス ユニットには、そのレコードについて同じセットID が割り当てられます。
略称	15 文字までのテキストを入力できます。
ユーザー ID	トランザクションを実行する人物を表す ID です。

ここからは EnterpriseOne
の用語です。

住所録番号

エンティティのマスター レコードを識別する固有の番号を入力します。住所録番号は、顧客、仕入先、会社、従業員、応募者、加入者、テナント、などの ID として使用できます。アプリケーションによっては、ページ上の住所録番号フィールドが、顧客番号、仕入先番号、会社番号、従業員 ID、応募者 ID、参加者 ID、などに相当する場合があります。

仮定通貨コード

取引金額の表示に使う通貨を指定する 3 文字のコードを入力します。このコードを使用すると、取引を最初に入力したときに使用した外国通貨または国内通貨以外の任意の通貨で、取引金額を表示できます。

バッチ番号

システムで処理されるトランザクションのグループを表す番号が表示されます。バッチ番号は入力フォーム上で割り当てることができます。自動採番プログラム (P0002) を使用して自動的に割り当てることもできます。

バッチ日付

バッチが作成される日付を入力します。このフィールドを空白にすると、システム日付がバッチ日付になります。

バッチ状況

バッチの転記状況を示すユーザー定義コード (UDC) テーブル 98/IC のコードが表示されます。有効な値は次のとおりです。

空白: バッチは転記されず、承認が保留状態になります。

A: バッチにエラーがなく転記が承認されますが、保留状態でまだ転記されていません。

D: バッチが正常に転記されています。

E: バッチにエラーがあります。転記する前にバッチを修正する必要があります。

P: バッチの転記中です。転記が完了するまでバッチは使用できません。転記中にエラーが発生すると、バッチ状況は E に変更します。

U: 別のユーザーがバッチを操作中のため一時的に使用できないか、またはバッチの処理中に停電があったため、バッチが使用中と認識されていません。

事業所

個別のエンティティ (倉庫、作業、プロジェクト、ワーク センター、配送と製造を行う事業所) を表すコードを入力します。一部のシステムでは、ビジネス ユニットと呼ばれます。

ビジネス ユニット

コストの追跡対象となる業務内の個別のエンティティを表す英数字のコードを入力します。一部のシステムでは、事業所と呼ばれます。

カテゴリ コード

特定のカテゴリ コードを表すコードを入力します。カテゴリ コードとは、組織要件の追跡とレポートのためにカスタマイズするユーザー定義のコードです。

会社

特定の組織、資金、その他のレポート対象を表すコードを入力します。会社コードは F0010 テーブルに登録されている必要があり、完全な貸借対照表を持つレポート対象を指定する必要があります。

通貨コード

取引の通貨を表す 3 文字のコードを入力します。JD Edwards EnterpriseOne では、国際標準化機構 (ISO) が定める通貨コードが使用されます。通貨コードは F0013 テーブルに保存されます。

伝票会社	<p>伝票に関連付けられた会社番号を入力します。この番号は、伝票番号、伝票タイプ、元帳日付と共に使用され、当初伝票を一意に識別します。</p> <p>会社と会計年度別に次の番号を割り当てる場合は、伝票会社に基づいて、該当する会社に正確な“次の番号”が割り当てられます。</p> <p>2 つ以上の当初伝票が同じ伝票番号と伝票タイプを持つ場合は、伝票会社を使用して必要な伝票を表示できます。</p>
伝票番号	<p>当初伝票を識別する番号が表示されます。当初伝票は伝票、請求書、仕訳、タイムシートなどになります。当初伝票番号は入力フォーム上で割り当てることができます。自動採番プログラムを使用して自動的に割り当てることもできます。</p>
伝票タイプ	<p>UDC テーブル 00/DT の 2 文字の UDC を入力します。このコードは、伝票、請求書、仕訳、タイムシートなどのトランザクションのソースと目的を表します。JD Edwards EnterpriseOne では、指定した伝票タイプ用に以下のプレフィックスが予約されています。</p> <p>P: 買掛金伝票</p> <p>R: 売掛金伝票</p> <p>T: 時間および給与伝票</p> <p>I: 在庫伝票</p> <p>O: 購買オーダー伝票</p> <p>S: 受注オーダー伝票</p>
有効日付	<p>住所、品目、トランザクション、レコードが有効になる日付を入力します。このフィールドの意味はプログラムに応じて異なります。たとえば、有効日付は以下の日付を表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 住所の変更が有効になる日付 • 賃貸契約が有効になる日付 • 価格が有効になる日付 • 為替レートが有効になる日付 • 税率が有効になる日付
会計期間、会計年度	<p>総勘定元帳の期間と年度を表す数字を入力します。多くのプログラムでは、このフィールドを空白にして、会社名および番号プログラム (P0010) で定義した現行会計期間と年度を使用できます。</p>
元帳日付	<p>取引が転記される会計期間を表す日付を入力します。入力した取引の日付と会社により割り当てられた会計期間パターンが比較され、適切な会計期間番号と年度を取得して日付が検証されます。</p>

はじめに

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理

PeopleBook: プロファイル管理 – まえがき

この章では、以下の内容について説明します。

- 対象の PeopleSoft 製品
- PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションの基礎
- PeopleBook の構成

注: この PeopleBook では、基本的に PeopleBook のセクション、章、PeopleBook 全体、または製品ラインに共通して使われるフィールドについては、共通フィールドとして 1 か所でまとめて説明しています。それ以外に追加の説明が必要だと思われる場合のみ、処理や業務を行うための具体的なページに、そのフィールドの説明を記載しています。

対象の PeopleSoft 製品

この PeopleBook では、PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理のプロファイル管理について説明します。

PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションの基礎

システムの設定や設計に必要な基本情報は、この PeopleBook の姉妹編とも言える『PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook』に記載されています。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションの基礎 – まえがき」

PeopleBook の構成

PeopleSoft PeopleBook の基本的な構成内容は、全ての PeopleBook で共通しています。この点を知っておくと、PeopleBook を効率よく活用できます。

PeopleBook は、タスクの内容ごとに情報がまとめられた構成になっています。各章には、アプリケーションを設定または使用するために必要な処理が個別に説明されています。章内の各セクションには、その処理に含まれるタスクが説明されています。セクション内のサブセクションには、タスクに含まれるステップが説明されています。

パートに分かれている PeopleBook もあります。この場合は、1 つのパートに類似の導入プロセスまたはビジネス プロセスに関する複数の章がまとめられていたり、同じビジネス ソリューションに関係する複数の章がまとめられていたりします。PeopleBook がパートに分けられている場合は、各パートの中身が章に分けられています。

次の表で、PeopleBook に含まれる章の内容を説明します。

章	内容
まえがき	<p>現在開いているこの章です。ここでは、以下の内容について説明します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アプリケーションの基礎 PeopleBook の使い方について • PeopleBook の構成について • この PeopleBook で使用する共通フィールド(該当フィールドがある場合)
はじめに	<p>この章では、製品導入のガイドラインを解説します。ここでは、以下の内容について説明します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • PeopleBook で説明するビジネス プロセスについて • 他の製品との統合について • 導入プロセスの概要と、対応するドキュメンテーションについて(実際の導入手順の詳細な説明はありません)
ナビゲーション	<p>(省略あり) PeopleSoft アプリケーションの中には、特定のビジネス プロセスやタスク、ユーザー ロールなどに便利なフォルダ グループをまとめたカスタム ナビゲーション ページを利用できるものがあります。カスタム ナビゲーション ページのあるアプリケーションの場合は、この章に各ページへの基本のナビゲーション情報を記載します。</p> <p>注: 全てのアプリケーションでカスタム ナビゲーション ページを利用できるわけではありません。</p>
製品について	<p>(省略あり)ここでは、製品とその機能の概要を説明します。</p>

章	内容
設定と導入	<p>この説明は、複数の章にわたる場合があります。これらの章では、製品を設定、導入する手助けとなる情報を記載しています。そのため、たとえば製品のある機能の設定方法は説明していても、その使用方法是説明していない場合があります。各機能の使用方法が知りたい場合は、該当するビジネスプロセスの章を参照してください。</p> <p>注: ビジネスプロセスに関する情報が少ない場合は、ビジネスプロセスの章をあえて用意せずに、その情報をこの設定と導入に関する章に記載することもあります。</p>
ビジネス プロセス	<p>この説明は、複数の章にわたる場合があります。通常これらの章では、個々の機能に固有のビジネスプロセスの情報を章ごとに記載しています。そのため、たとえば製品のある機能の使用方法是説明していても、その設定方法は説明していない場合があります。各機能の設定方法が知りたい場合は、該当する設定と導入の章を参照してください。</p> <p>注: 設定と導入に関する情報が少ない場合は、設定と導入の章をあえて用意せずに、その情報をこのビジネス プロセスの章に記載することもあります。</p>
付録	<p>(省略あり) 必要に応じて、PeopleBook に付録の章がいくつか添付される場合があります。付録には、メインのドキュメンテーションの補足となる情報が記載されます。</p>
標準ワークフローに関する付録	<p>(省略あり) 標準ワークフローに関する付録には、アプリケーションに標準で用意されているワークフローの全リストが記載されます。</p> <p>注: 全てのアプリケーションに標準ワークフローが用意されているわけではありません。</p>
レポートに関する付録	<p>(省略あり) 必要に応じて PeopleBook に添付されます。製品で使用するレポートの全リストが記載されます。レポートの使用方法についての詳細情報は、通常は関連のビジネス プロセスの章で説明します。</p>

第 1 章

プロフィール管理 - はじめに

この章では、以下の内容について説明します。

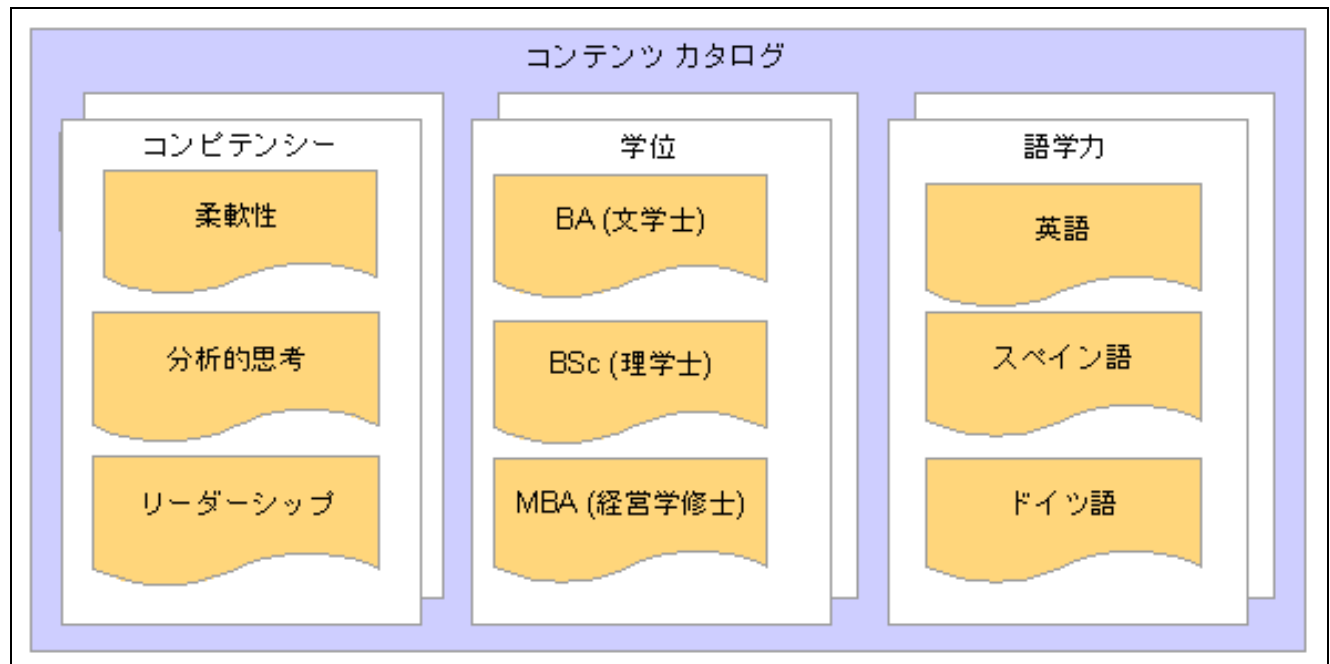
- プロファイル管理の概要
- プロファイル管理ビジネス プロセス
- プロファイル管理の統合
- プロファイル管理の導入

プロフィール管理の概要

プロフィールは、職務または個人の属性を記述するために組織で広く使用されます。プロフィールには、職務または個人のコンピテンシー、資格および技能がまとめられるのが一般的です。プロフィールの使用は、従業員の技能、コンピテンシー、および資格の管理に役立ちます。また、キャリア プランでは必要な研修の特定やパフォーマンスの管理、採用プロセスでは職務要件と適格応募者の検索にも役立ちます。プロフィール管理ビジネス プロセスは、業種や組織の要件を満たすプロフィールの作成と管理に必要なフレームワークを提供します。プロフィールの検索/比較機能を使用すると、ユーザー定義の条件に一致するプロフィールを検索し、プロフィールを簡単に比較できます。

コンテンツ カタログ

次の図に示すように、コンテンツ カタログには、コンピテンシーや資格およびその他のデータが登録されています。プロフィール管理責任者、管理者および従業員は、それらのデータをプロフィールに追加します。



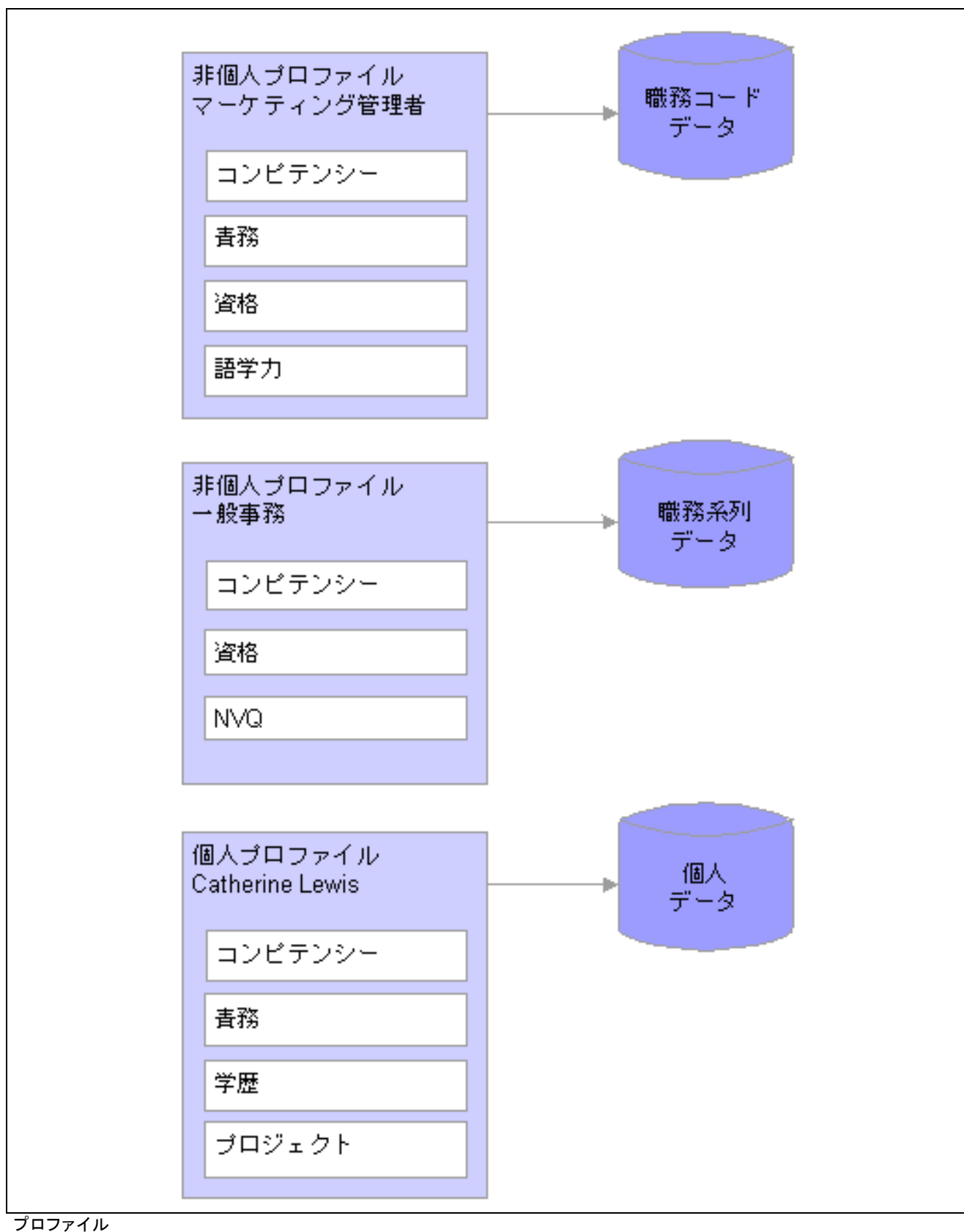
コンテンツ カタログ

コンテンツ カタログに含まれる情報は、コンテンツ タイプ別に編成されています。コンピテンシー、語学力、学位、免許および資格などの一般的なコンテンツ タイプには、標準のコンテンツ タイプ セットが提供されています。プロフィール管理責任者は、標準のコンテンツ タイプにアイテムを追加します。

もちろん、標準のコンテンツ タイプしか使用できないわけではありません。追加のコンテンツ タイプを定義し、新しいコンテンツ タイプにアイテムをロードすることで、コンテンツ カタログを拡張できます。これにより、組織独自の要件に応じてコンテンツ カタログを設定し、その情報をプロフィールで活用することが可能です。

個人プロフィールと非個人プロフィール

追跡したい属性を追加するためにコンテンツ カタログを設定するのと同様に、組織の要件に適したプロフィールを定義します。次の図は、プロフィール管理でプロフィール コンテンツを設定し、プロフィールをシステムの任意のオブジェクトにリンクする方法を示しています。



コンテンツ カタログ内のコンテンツ タイプを利用して、プロフィールの構造を定義するプロフィール タイプを作成します。プロフィール タイプでは、プロフィールに使用されるコンテンツ タイプとプロパティ、およびそのコンテンツに関連付けられた承認処理を定義します。また、そのプロフィールを個人 ID にリンクして個人プロフィールを作成するか、職務コードやポジションなどのビジネス エンティティにリンクして非個人プロフィールを作成するかも、プロフィール タイプで定義します。

業務上の必要に応じて、必要な数のプロフィール タイプを定義できます。システム データとして 4 つのプロフィール タイプが提供されています。CLUSTER、ROLE および JOB の各プロフィール タイプは、非個人プロフィールを作成する際に使用し、PERSON プロフィール タイプは従業員を記述するプロフィールを作成する際に使用します。

プロフィール管理には、プロフィール コンテンツの管理負荷を軽減するシンジケートとインポートの機能があります。プロフィール管理責任者は、共通のプロフィール コンテンツを一度設定しておく、関連するプロフィールでそのコンテンツを再利用できます。シンジケートには、ソース プロフィールを変更すればシンジケートされたコンテンツを含むターゲット プロフィールも自動的に更新されるという追加の利点もあります。

プロフィール管理ではオプションとして承認処理を行うことができます。必要な場合は、HRMS 標準の承認フレームワークを使用して承認処理を設定し、それを利用して個人プロフィールおよび非個人プロフィールの特定のセクションに対する変更を管理します。このような場面を想定した承認処理が標準で提供されていますが、必要に応じて定義を修正、あるいは新しく作成することもできます。

- 従業員による個人プロフィールの変更 (PeopleSoft Enterprise eDevelopment-人材開発を使用) は、承認を行う管理者に送信されます。
- 管理者による非個人プロフィールの変更 (PeopleSoft Enterprise eDevelopment-人材開発を使用) は、承認を行うプロフィール管理責任者に送信されます。

プロフィールの検索/比較

プロフィール管理の“プロフィールの検索/比較”機能を使用すると、コンテンツ カタログおよびプロフィールを対象とした検索を行えます。検索タイプの例を以下に示します。

- 従業員のプロフィールに一致する任務プロフィールを検索する。
- 人材募集のプロフィールに一致する従業員を検索する。
- 任務プロフィールを選択し、類似の任務プロフィールを検索する。

検索はロールにリンクされているため、従業員、管理者、プロフィール管理責任者のそれぞれのロールに応じた検索のセットを作成できます。

プロフィールの検索/比較では、Verity 検索エンジンを使用し、検索条件に基づいてプロフィール データの検索を実行します。一致するプロフィールのリストが、条件との一致精度に応じてランク付けされて返されます。

比較機能を使用すると、ある 1 つのソース プロフィールと 1 つ以上のターゲット プロフィールとをオンラインで比較できます。ソース プロフィールとターゲット プロフィールのコンテンツが、隣接する列に表示されるので、プロフィール管理責任者はプロフィール間の相違を確認することができます。

プロフィール管理ビジネス プロセス

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理のプロフィール管理で提供されるビジネス プロセスは次のとおりです。

- 個人プロフィールと非個人プロフィールの管理。

プロフィール管理責任者は、使用可能なプロフィール タイプに基づいてプロフィールを作成し、コンテンツ カタログからアイテムを選択します。また、従業員用の個人プロフィールと、職務コードやポジション、任務などのエンティティ用の非個人プロフィールを作成および管理します。

- 希望任務リストの管理。

希望任務リストとは、従業員に関連付けられている非個人プロフィールの集まりです。従業員はこれを利用して、希望するプロフィールを特定することができます。プロフィール管理責任者は、従業員の希望任務リストに対してプロフィールの追加と削除を行うことができます。

- プロフィール承認の管理。

承認管理を使用すると、プロフィール管理責任者は承認ワークフロー エンジンによって送信されたプロフィール変更を表示し、その変更を承認または却下できます。以前に承認または却下した変更について、承認情報を表示することもできます。

- プロファイルの検索と比較。

プロフィール管理責任者は、自分のロールに設定されている一連の検索を使用できます。プロフィール管理責任者は検索タイプに応じた検索を使用して、ソース プロファイルに一致する、または手動で入力した検索条件に一致するターゲット プロファイルを特定します。検索結果では、検索エンジンが算出したプロフィール スコアに基づいて、最も一致したものが検出されます。プロフィール管理責任者は、検索結果に一覧表示されたプロフィールを比較するか、プロフィールの比較を使用して、選択したプロフィールを比較できます。

- 任務に対するコンピテンシーおよび資格の適合。

任務適合のオプションを使用すると、プロフィール管理責任者は個人のコンピテンシーと資格、あるいはチームのコンピテンシーと資格を、任務ごとに必要なコンピテンシーおよび資格と比較することができます。

- (GBR) 国家職業検定資格 (NVQ) の管理。

プロフィール管理には、NVQ に登録されている従業員の追跡とレポート作成を行うためのコンテンツ タイプとプロフィール タイプが用意されています。

以上のビジネス プロセスについては、この PeopleBook のビジネス プロセスの章で説明します。

プロフィール管理の統合

プロフィール管理は、次のような PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理の他のビジネス プロセスと統合されます。

- キャリア プランと後任計画
- 教育・研修管理
- 人事・労務管理

これには、米国連邦政府の職員と軍の階級処理のために従業員情報を追加するプロセスも含まれています。

- フランス公的機関機能

また、次のような他の PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションとも統合されます。

- eDevelopment-人材開発

eDevelopment-人材開発には、プロフィール管理の管理責任者機能を補完する、従業員と管理者のセルフサービス オプションがあります。

- ePerformance-パフォーマンス管理
- タレント獲得管理
- 応募者ゲートウェイ
- Campus Self Service

プロフィール管理は次のものとも統合されます。

- PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメント、Financials、CRM および Enterprise パフォーマンス マネジメント
- サードパーティのアプリケーション

プロフィール管理をサードパーティのコンテンツ プロバイダと統合して、コンピテンシー コンテンツをコンテンツ カタログにロードすることができます。

統合に関する注意事項については、この PeopleBook の導入の章で説明します。

プロフィール管理の導入

PeopleSoft セットアップ マネージャを使用すると、導入する機能に基づいて、実行する必要のある設定タスクのリストを生成できます。この設定タスクには、設定する必要のあるコンポーネントが、テーブルにデータを入力すべき順番でリスト表示されます。また、関連する PeopleBook ドキュメンテーションへのリンクも用意されています。

プロフィール管理には、既存システムからプロフィール管理のテーブルヘデータをロードするコンポーネント インターフェイスも用意されています。テーブルへのデータのロードには、Excel to Component Interface ユーティリティを使用します。

コンポーネント インターフェイスを備えたコンポーネントの一覧を次に示します。

コンポーネント	コンポーネント インターフェイス	参照先
JPM_CAT_ITEMS	CI_JPM_CAT_ITEMS_COMP	参照: 第 2 章、「コンテンツ カタログの設定」、9 ページ
JPM_CAT_ITEMS	CI_JPM_CAT_ITEMS_CRITERIA	参照: 第 2 章、「コンテンツ カタログの設定」、9 ページ
JPM_CAT_ITEMS	CI_JPM_CAT_ITEMS_ELEMENT	参照: 第 2 章、「コンテンツ カタログの設定」、9 ページ
JPM_CAT_ITEMS	CI_JPM_CAT_ITEMS_GOAL	参照: 第 2 章、「コンテンツ カタログの設定」、9 ページ
JPM_CAT_ITEMS	CI_JPM_CAT_ITEMS_HON	参照: 第 2 章、「コンテンツ カタログの設定」、9 ページ
JPM_CAT_ITEMS	CI_JPM_CAT_ITEMS_LIC	参照: 第 2 章、「コンテンツ カタログの設定」、9 ページ

コンポーネント	コンポーネント インターフェイス	参照先
JPM_CAT_ITEMS	CI_JPM_CAT_ITEMS_RESP	参照: 第 2 章、「コンテンツカタログの設定」、9 ページ
JPM_CAT_ITEMS	CI_JPM_CAT_ITEMS_SUBCOMP	参照: 第 2 章、「コンテンツカタログの設定」、9 ページ
JPM_NON_PERS_PROFL	HJPM_JPM_NON_PERS_PROFL_SRV	参照: 第 5 章、「プロフィール管理」、91 ページ
JPM_PERSON_PROFILE	HJPM_JPM_PERSON_PROFILE_SRV	参照: 第 5 章、「プロフィール管理」、91 ページ

その他の情報ソース

導入プランの作成段階では、導入のドキュメンテーション、データ モデル、ビジネス プロセス マップなど、PeopleSoft 内にある全ての情報を活用するようにしてください。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「PeopleSoft Enterprise HRMS アプリケーションの基礎 - まえがき」

Enterprise PeopleTools PeopleBook: PeopleSoft Component Interfaces

Enterprise PeopleTools PeopleBook: PeopleSoft Setup Manager

第 2 章

コンテンツ カタログの設定

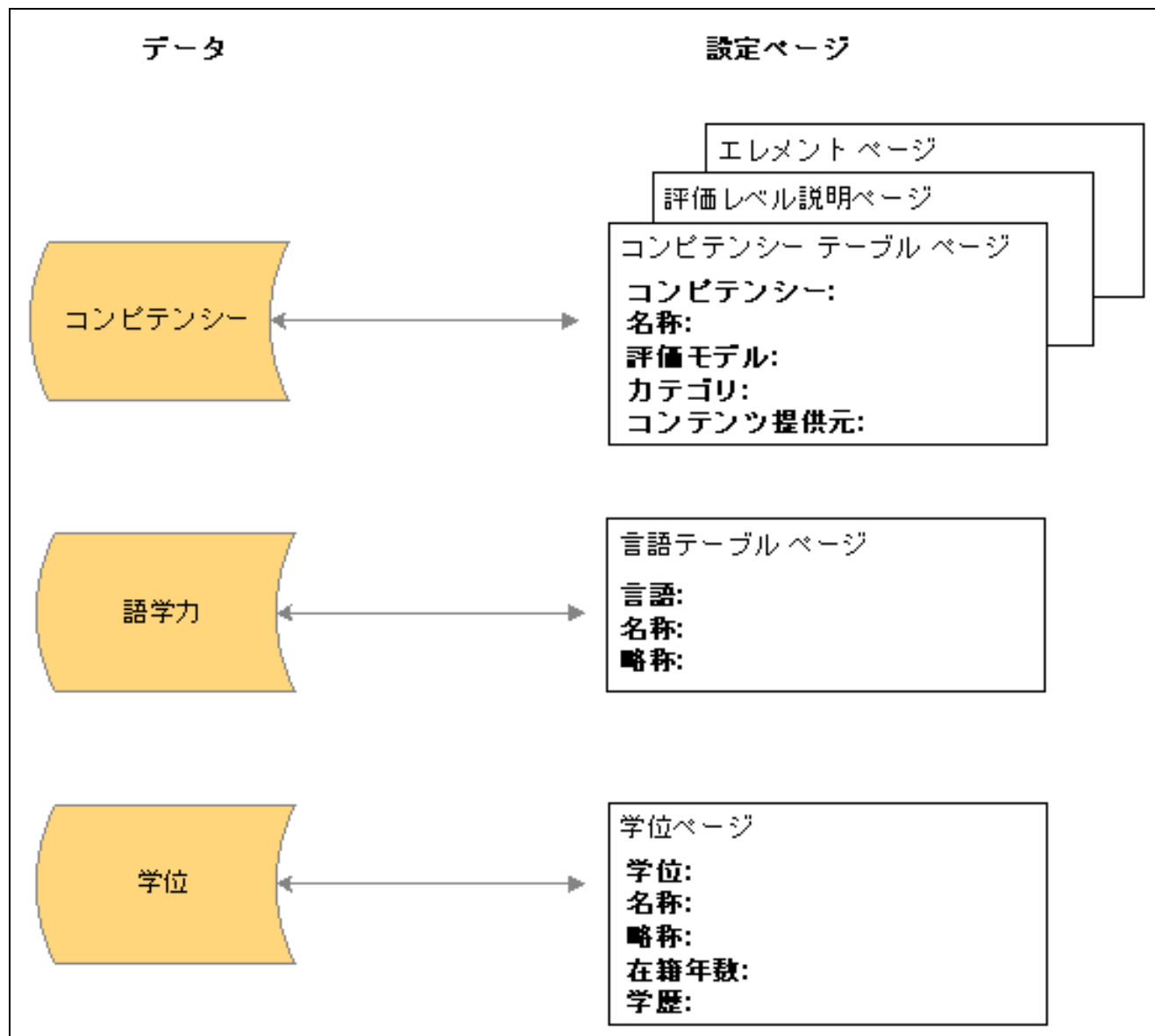
この章では、コンテンツ カタログの概要と、以下の方法について説明します。

- コンテンツ タイプの設定
- コンテンツ アイテムの定義
- コンテンツ グループの定義
- 評価モデルの定義

コンテンツ カタログについて

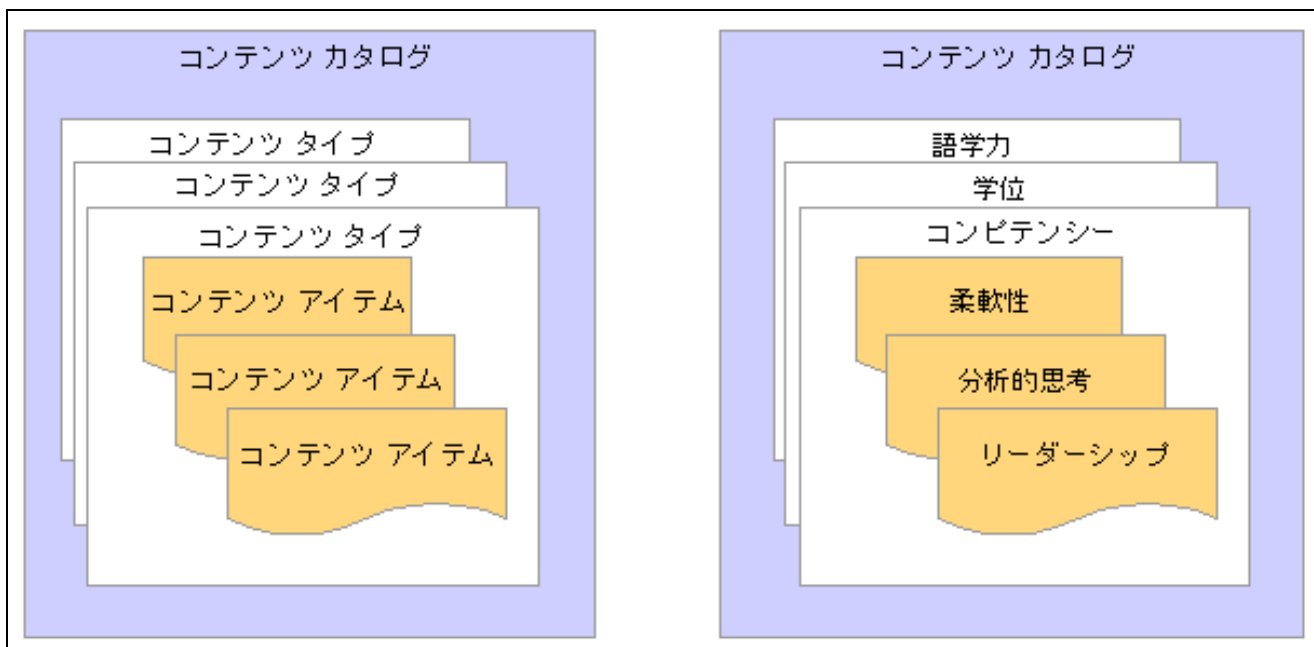
コンテンツ カタログとは、個人プロフィールまたは非個人プロフィールに関連付けることのできるデータのリポジトリです。PeopleSoft Enterprise ePerformance-パフォーマンス管理、タレント獲得管理、応募者ゲートウェイ、ラーニング マネジメントなど他のアプリケーションによって使用されます。

PeopleSoft Enterprise HRMS の以前のバージョンでは、次の図に示すように、職務に必要な情報と個人プロフィールが別々のページに設定されていました。



HRMS の以前のバージョンでの構造

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 では、これらのテーブルおよびページがコンテンツ カタログに置き換えられ、タイプの異なる情報を汎用的な構造で設定できるようになっています。



コンテンツ カタログの構造

コンテンツ カタログでは、タイプの異なる情報（コンピテンシー、学位、語学力など）をコンテンツ タイプとして定義し、各コンテンツ タイプのデータをコンテンツ アイテムとして設定します。たとえば、DEG（学位）というコンテンツ タイプの中に、文学士（BA）学位というコンテンツ アイテムがあります。

コンテンツ カタログの構造を利用すると、組織のプロファイルに追加できるコンテンツ タイプを簡単に拡張することができます。

コンテンツ カタログのシステム データ

PeopleSoft では、一連のコンテンツ タイプがあらかじめ設定されたコンテンツ カタログを用意しています。組織の要件に適するように、このコンテンツ カタログにコンテンツ タイプとコンテンツ アイテムを追加できます。

注: PeopleSoft が提供するコンテンツ アイテムは、あくまでもサンプル データです。

システム データとして、次のコンテンツ タイプが提供されます。

コンテンツ タイプ	名称
AREA STUDY	専攻分野
COMPETENCY	コンピテンシー
DEG	学位
EDLVLACHV	学歴
ELEMENT	コンピテンシー エLEMENT
GOAL	目標
HON	表彰/報奨

コンテンツ タイプ	名称
INITIATIVE	イニシアチブ
LIC	免許/資格
LNG	語学力
MEM	会員資格
MISSION	ミッション
NVQ	NVQ
NVQ UNIT	NVQ ユニット
RANK	軍の階級
RESP	責務
SPECL PROJ	特別プロジェクト
SUB COMP	サブコンピテンシー
SUCCESS	成功条件
TST	テスト/検査

注: RANK は、軍関係の顧客がプロフィールに階級を記録するためのコンテンツ タイプです。HCM イベント マネージャを使用してプロフィール管理と職務データを統合することができるため、職務データで個人の階級が更新された場合にはプロフィールも自動的に更新されます。

参照: PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 人事・労務管理、「雇用データの追加」、「給与プラン情報の入力」

参照: PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「HCM イベント マネージャの使い方」

コンテンツ カタログの設定

コンテンツ カタログを設定するには、次の項目を定義します。

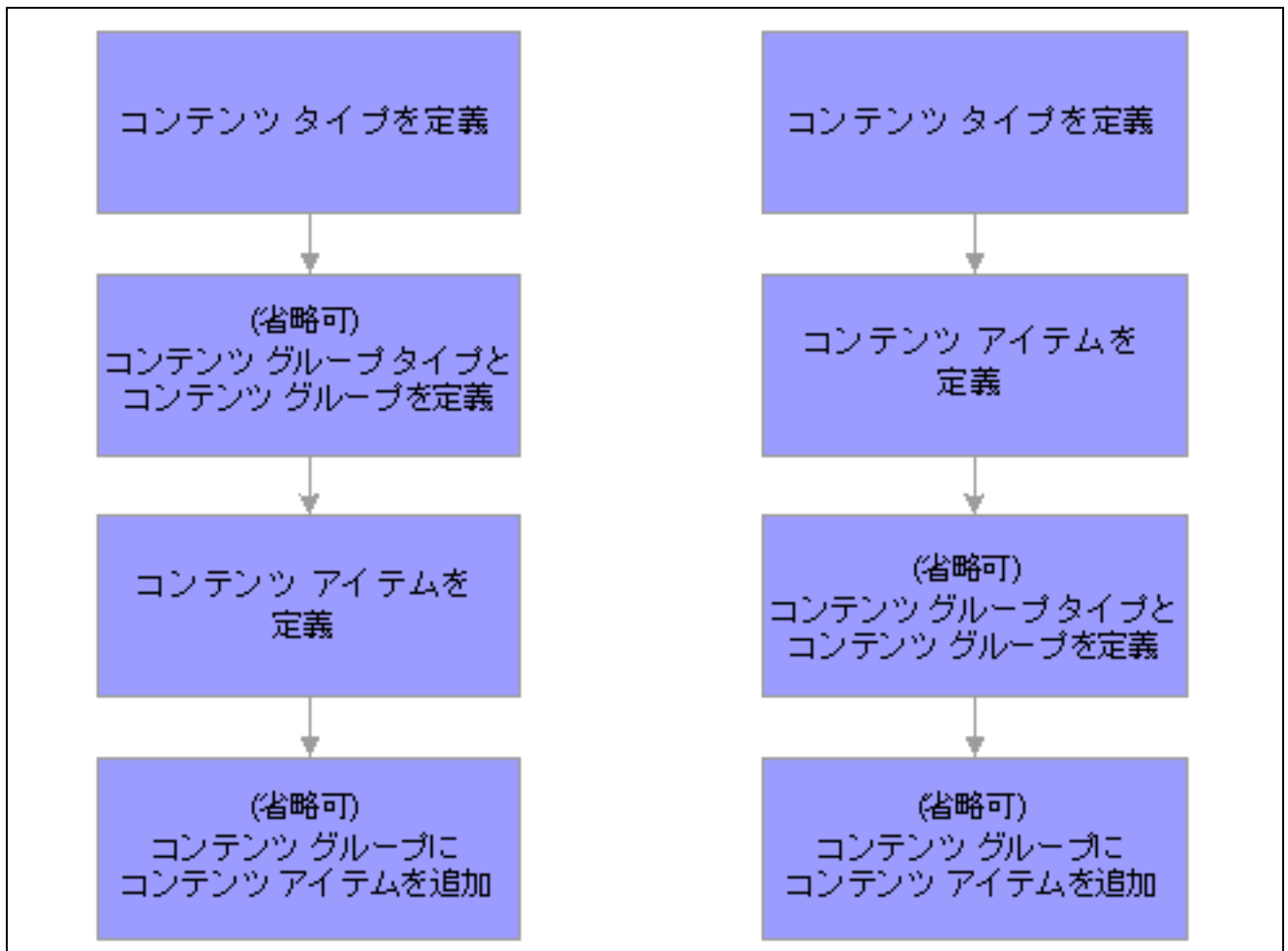
- コンテンツ タイプ
- コンテンツ アイテム
- (省略可) コンテンツ グループ タイプとコンテンツ グループ

コンテンツ グループを使用すると、コンテンツ タイプ内のコンテンツ アイテムをカテゴリに分類することができます。そうすれば、同じタイプのコンテンツ アイテムが多数ある場合でも、ユーザーがコンテンツ アイテムを探しやすくなります。

注: コンテンツ カタログで評価モデルを使用する場合は、コンテンツ アイテムに評価モデルを関連付けるために、あらかじめ評価モデル ページで定義しておく必要があります。

参照: 第 2 章、「コンテンツ カタログの設定」、「評価モデルの定義」、29 ページ

次の図に示すように、コンテンツ カタログの設定には 2 つの方法があります。



コンテンツ カタログの設定手順

コンテンツ カタログを設定する最初の手順は、コンテンツ タイプの設定です。その次に、コンテンツ グループとコンテンツ アイテムを設定する順序は、システムでは決まっていません。コンテンツ アイテムの分類方法がわかっている場合は、先にコンテンツ グループを作成してからコンテンツ アイテムを設定します。逆に、追加するコンテンツ アイテムは決定していてアイテムの分類が未定の場合は、先にコンテンツ アイテムを設定してからグループを作成し、グループにアイテムを追加します。

コンテンツ タイプとコンテンツ アイテム

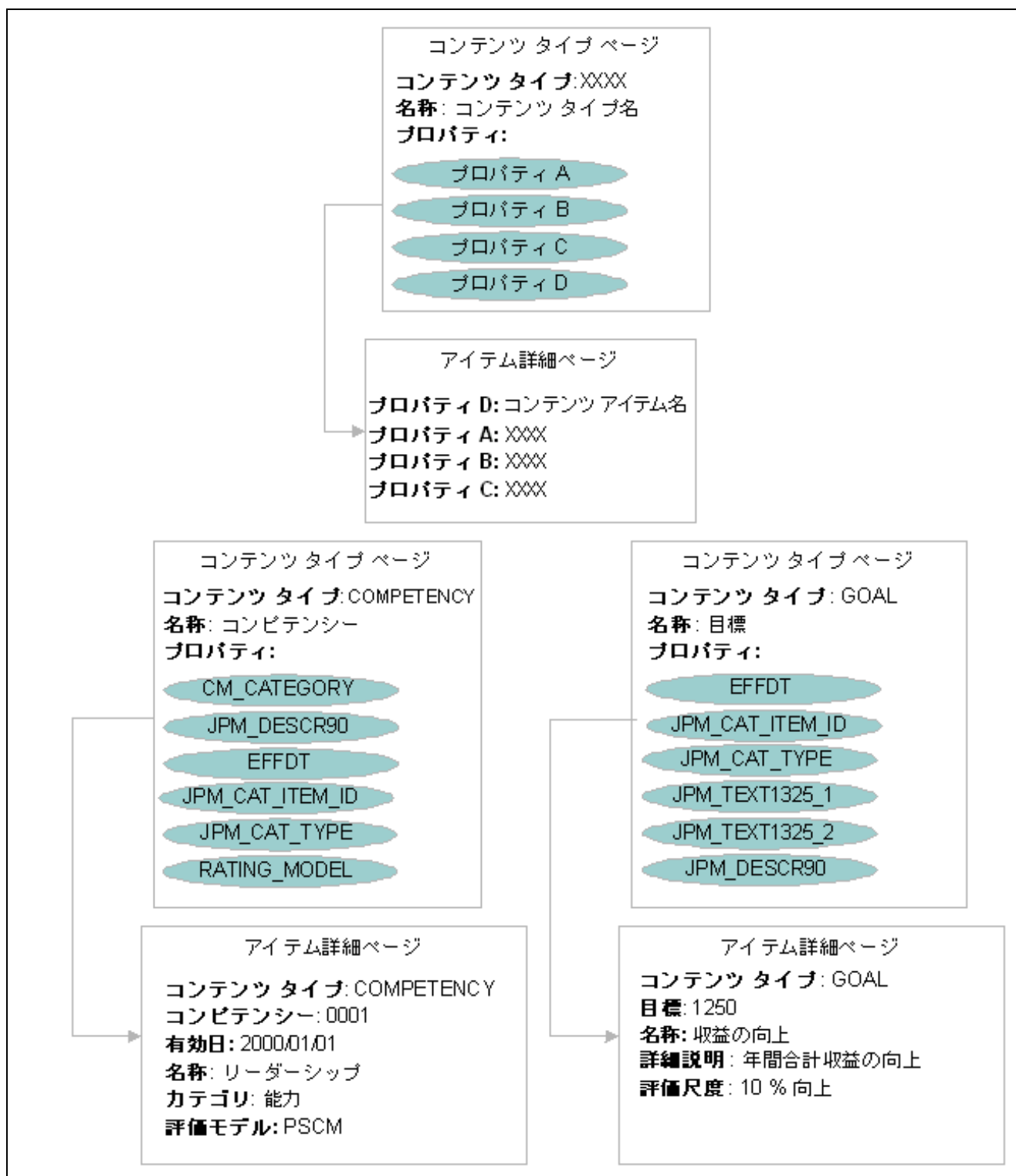
コンテンツ タイプ コンポーネント (JPM_CAT_TYPES) には次の 2 つのページがあります。

- コンテンツ タイプ ページには、各コンテンツ タイプのプロパティ (フィールド) が一覧されます。
各プロパティに対して、アイテム詳細ページに表示されるフィールドの属性を定義します。
- 関係ルール ページでは、このコンテンツ タイプがカタログ内の他のコンテンツ タイプとどのように関連付けられるかを定義します。

コンテンツ アイテムを設定するコンポーネントは全てのコンテンツ タイプで同じですが、表示されるページとフィールドは、コンテンツ タイプの定義によって異なります。コンテンツ アイテム コンポーネント (JPM_CAT_ITEMS) には次の 3 つのページがあります。

- アイテム詳細ページでは、コンテンツ アイテムの主な詳細を設定します。
- 関連アイテム ページでは、コンテンツ アイテム間の関連を定義します。
コンテンツ タイプに関係ルールが定義されていない場合、このページは表示されません。
- グループ メンバー ページでは、このコンテンツ アイテムが属するグループを定義します。
コンテンツ タイプにグループがない場合、このページは表示されません。

アイテム詳細ページのフィールドは、コンテンツ タイプ ページで選択したプロパティによって大きく異なります。次の図は、コンテンツ タイプ ページでの選択内容によって、アイテム詳細ページに表示されるフィールドがどのように異なるかを示したものです。



コンテンツ タイプとコンテンツ アイテムの定義

コンテンツ タイプの設定

このセクションでは、コンテンツ タイプ プロパティおよび自由形式コンテンツ タイプの概要と、以下の方法について説明します。

- コンテンツ タイプのプロパティの定義
- コンテンツ タイプの関係ルールの定義

コンテンツ タイプのプロパティについて

コンテンツ タイプは、コンテンツ カタログに追加できる広い意味でのアイテム グループです。コンテンツ タイプ内で、このタイプのアイテム全てが持つ任意または必須のプロパティを指定します。コンテンツ タイプに対して定義したプロパティは、アイテム詳細ページでフィールドとして表示されます。デフォルト ラベル テキストの変更や、デフォルト値の選択が可能なほか、アイテム詳細ページでこのフィールドを入力可能、入力不可、または非表示のいずれにするかを指定できます。

関連項目:

[付録 A、「コンテンツ タイプとプロファイル タイプのプロパティ」、「コンテンツ タイプのプロパティ」、189 ページ](#)

自由形式コンテンツ タイプについて

組織の要件によっては、データの量やメンテナンス性のために、プロファイル コンテンツの特定のタイプがコンテンツ カタログでの格納に不適切な場合があります。たとえば、個人プロファイルに、従業員の前勤務先を記録するセクションを追加したいとします。しかし、勤務先はデータベースに格納されておらず、この情報は個人プロファイルにしか適用できません。このようなタイプの情報については、基本的に空のプレースホルダである自由形式のコンテンツ タイプを定義することができます。自由形式のコンテンツ タイプにはフィールドが含まれず、コンテンツ アイテムを作成することができません。

プロファイル タイプに自由形式コンテンツ タイプを追加する場合は、その特定のプロファイル タイプについて入力される情報を定義するプロパティ(フィールド)を追加します。次の図は、自由形式コンテンツ タイプを使用して前勤務先を記録する方法を示しています。



自由形式コンテンツ タイプの例

この例で、前勤務先を示すコンテンツ タイプ定義にはフィールドもコンテンツ アイテムもありません。プロフィール タイプにこのコンテンツ タイプを追加すると、勤務先名、勤務の開始日と終了日、および説明の各フィールドが職務内容に追加されます。個人プロフィール ページで、従業員はこれらのフィールドに前勤務先の情報を追加します。データベースにはレコードとして定義されていないため、勤務先を検証することはできません。

自由形式コンテンツ タイプを作成するには、コンテンツ タイプ ページで [自由形式タイプ] チェック ボックスをオンにします。

注: プロファイルの検索/比較機能を使用している場合は、自由形式のコンテンツ セクションを追加できません。

コンテンツ タイプの設定に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
コンテンツ タイプ	JPM_CAT_TYPES	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[プロファイル管理]、[コンテンツ カタログ]、[コンテンツ タイプ]	コンテンツ タイプのプロパティを定義します。コンテンツ タイプに対して選択するプロパティによって、アイテム詳細ページに表示されるフィールドと、各フィールドの属性が異なります。
関係ルール	JPM_CAT_TYPE_RLAT	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[プロファイル管理]、[コンテンツ カタログ]、[コンテンツ タイプ]、[関係ルール]	コンテンツ タイプ間の関係を設定および照会します。

コンテンツ タイプのプロパティの定義

コンテンツ タイプ ページにアクセスします。

コンテンツ タイプ

関係ルール

コンテンツ タイプ:

COMPETENCY

☒ システム データ

名称:

コンペテンシー

☐ 自由形式タイプ

プロパティ

カスタマイズ

検索

最初

1-11/11

最後

プロパティ

プロパティ属性

*フィールド名	*ラベル テキスト	システム データ	キー フィールド	必須		
EFFDT	有効日	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input style="border: 1px solid #000;" type="button" value="+"/>	<input style="border: 1px solid #000;" type="button" value="-"/>
EFF_STATUS	ステータス	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input style="border: 1px solid #000;" type="button" value="+"/>	<input style="border: 1px solid #000;" type="button" value="-"/>
JPM_CAT_ITEM_ID	コンペテンシー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input style="border: 1px solid #000;" type="button" value="+"/>	<input style="border: 1px solid #000;" type="button" value="-"/>
JPM_CAT_TYPE	コンテンツ タイプ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input style="border: 1px solid #000;" type="button" value="+"/>	<input style="border: 1px solid #000;" type="button" value="-"/>
JPM_DESCR90	説明	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input style="border: 1px solid #000;" type="button" value="+"/>	<input style="border: 1px solid #000;" type="button" value="-"/>
CM_CATEGORY	カテゴリ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input style="border: 1px solid #000;" type="button" value="+"/>	<input style="border: 1px solid #000;" type="button" value="-"/>
DESCRLONG	詳細説明	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input style="border: 1px solid #000;" type="button" value="+"/>	<input style="border: 1px solid #000;" type="button" value="-"/>
DESCRSHORT	略称	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input style="border: 1px solid #000;" type="button" value="+"/>	<input style="border: 1px solid #000;" type="button" value="-"/>
JPM_CAT_ITEM_SRC	コンテンツ提供元	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input style="border: 1px solid #000;" type="button" value="+"/>	<input style="border: 1px solid #000;" type="button" value="-"/>
JPM_TEXT1325_1	ePerformance 説明	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input style="border: 1px solid #000;" type="button" value="+"/>	<input style="border: 1px solid #000;" type="button" value="-"/>
RATING_MODEL	評価モデル	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input style="border: 1px solid #000;" type="button" value="+"/>	<input style="border: 1px solid #000;" type="button" value="-"/>

コンテンツ タイプ ページ - プロパティ タブ

[システム データ]

このチェック ボックスがオンになっているのは、システム標準のコンテンツ タイプです。

[自由形式タイプ]

自由形式コンテンツ タイプを作成する場合は、このチェック ボックスをオンにします。自由形式コンテンツ タイプには、プロパティまたはコンテンツ アイテムを定義できません。

参照: 第 2 章、「コンテンツ カタログの設定」、「自由形式コンテンツ タイプについて」、16 ページ

[プロパティ]

このスクロール領域で選択するプロパティは、アイテム詳細ページでフィールドとして表示されます。プロパティを使用して、このコンテンツ タイプのコンテンツ アイテムを定義します。

全てのコンテンツ タイプで、[コンテンツ タイプ] (JPM_CAT_TYPE)、[コンテンツ アイテム ID] (JPM_CAT_ITEM_ID)、[有効日] (EFFDT)、[有効日現在のステータス] (EFF_STATUS)、[説明] (JPM_DESCR90) の 5 つのプロパティが必須です。新しいコンテンツ タイプを作成するとき、これらのプロパティはグリッドに自動的にロードされます。編集できるのはラベル テキストと、[コンテンツ アイテム ID] および [説明] の最大長だけです。

このタイプのアイテムの追跡に必要な、その他のプロパティをコンテンツ タイプに追加します。たとえば、評価が必要なアイテム（コンピテンシーや語学力など）を持つタイプには評価モデル、期間で追跡されるアイテムを持つタイプには期間プロパティをそれぞれ追加できます。

[プロパティ]

有効値のリストから、このコンテンツ タイプに追加するプロパティを選択します。システム データとして提供されているコンテンツ タイプの場合、標準のプロパティを削除することはできませんが、他のプロパティを追加することは可能です。

参照: 付録 A、「コンテンツ タイプとプロファイル タイプのプロパティ」、「コンテンツ タイプのプロパティ」、189 ページ

[ラベル テキスト]

選択したプロパティのデフォルトのラベル テキストが表示されますが、よりわかりやすいラベルに変更できます。ここで定義するラベル テキストが、アイテム詳細ページで表示されます。プロファイルにプロパティが表示される場合は、個人プロファイル ページおよび非個人プロファイル ページにもこのラベル テキストが表示されます。

注: アイテム詳細ページでフィールドにどんな情報を入力すべきかユーザーが正しく理解できるように、プロファイルには意味のあるラベルを選ぶことをお勧めします。

[システム データ]

このフィールドは表示専用です。PeopleSoft は、一部のコンテンツ タイプをシステム データとして提供します。プロパティがこのようなシステム データの一部として提供されている場合、このチェック ボックスが自動的にオンに設定されます。

[キー フィールド]

このフィールドは表示専用です。プロパティがレコードのキー フィールドである場合、このチェック ボックスがオンに設定されます。

[必須]

アイテム詳細ページでアイテムを定義する際このプロパティを必須にする場合にオンにします。

[プロパティ属性]

[プロパティ属性] タブにアクセスします。

プロパティ						
カスタマイズ 検索 最初 ◀ 1-11/11 ▶ 最後						
プロパティ属性						
*フィールド名	*表示	最大長	最小値	最大値	デフォルト値	
EFFDT	編集可能					+ -
EFF_STATUS	編集可能	1				+ -
JPM_CAT_ITEM_ID	編集可能	8				+ -
JPM_CAT_TYPE	編集可能					+ -
JPM_DESCR90	編集可能	30				+ -
CM_CATEGORY	編集可能	1				+ -
DESCRLONG	編集可能					+ -
DESCRSHORT	編集可能	10				+ -
JPM_CAT_ITEM_SRC	表示専用	1			C	+ -
JPM_TEXT1325_1	編集可能	1325				+ -
RATING_MODEL	編集可能	4			PSCM	+ -

コンテンツ タイプ ページ - プロパティ属性タブ

[表示]

このプロパティをアイテム詳細ページで入力可能 ([編集可能])、入力不可 ([表示専用])、または非表示 ([非表示]) のいずれにするかを選択します。“表示専用”または“非表示”を選択した場合、このプロパティには [デフォルト値] フィールドに入力する値が自動的に入力されます。

プロファイル タイプにコンテンツ タイプを追加する場合、デフォルトでプロパティと属性がコピーされますが、表示属性は調整可能です。したがって、コンテンツ タイプの定義で“表示専用”または“非表示”として定義されたプロパティも、プロファイルで“編集可能”にすることができます。

[最大長]

このプロパティのフィールド長を入力します。

[最小値]、[最大値]

数値属性の場合に、最小値と最大値を入力します。

[デフォルト値]

このプロパティのデフォルト値を入力します。アイテム詳細ページでは、この値がフィールドのデフォルトになります。プロパティを表示専用または非表示にした場合は、デフォルト値を選択する必要があります。[デフォルト値] フィールドを使用できるのは、あらかじめ定義された値を持つプロパティか、プロンプト テーブルに関連付けられているプロパティだけです。

コンテンツ タイプの関係ルールの定義

関係ルール ページにアクセスします。

コンテンツ タイプ

関係ルール

コンテンツ タイプ:

COMPETENCY

☒ システム データ

名称:

コンペテンシー

関係		カスタマイズ	検索	最初	1-2/2	最後
*関係	*関連コンテンツ タイプ*	名称	システム データ			
関連タイプの親	ELEMENT	Competency Elements	<input checked="" type="checkbox"/>			
関連タイプの親	SUB_COMP	Sub-Competencies	<input checked="" type="checkbox"/>			

関係ルール ページ

コンテンツ タイプが他のコンテンツ タイプに関連付けられる場合は、このページで関係を定義します。コンテンツ タイプに関係ルールがない場合、ページは空白にしておきます。

[関係]

以下の関係の中から 1 つを選択します。

- [関連タイプの親] または [関連タイプの子]

子アイテムは親アイテムの下でプロファイルに追加されます。これらの関係は階層構造になります。

- [関連タイプをサポート] または [関連タイプによりサポート]

サポートされるアイテムやサポートするアイテムは、相互に階層関係にはならず（つまり、サポートするアイテムがサポートされるアイテムの下に追加されない）、このタイプのアイテムを同じプロファイルと一緒に適用し、一緒に確認することができます。この関係タイプの例が、“イニシアチブ”によってサポートされる“ミッション”と、“責務”によってサポートされる“ADA 要件”です。

- [関連タイプを必要] または [関連タイプで必要]

アイテムが、関連するコンテンツ タイプの完了または達成に依存する場合、この関係を使用します。この関係タイプの例が、“NVQ”と“NVQ ユニット”のコンテンツ タイプで、“NVQ”の達成には“NVQ ユニット”の完了が必要です。この関係は、階層構造ではありません。

[関連コンテンツ タイプ]

このコンテンツ タイプが関連付けられるコンテンツ タイプを選択します。

[システム データ]

このフィールドは表示専用です。このコンテンツ タイプが PeopleSoft 標準のシステムデータである場合、このチェック ボックスが自動的にオンに設定されます。

ここで関係を作成してコンテンツ タイプを保存すると、関連コンテンツ タイプには逆の関係が自動的に設定されます。たとえば、コンテンツ タイプ “A” を設定し、次の関係を定義するとします。

コンテンツ タイプ “A” は、コンテンツ タイプ “B” に対して “関連タイプの親”

コンテンツ タイプ “B” の定義が自動的に更新され、次の関係が定義されます。

コンテンツ タイプ “B” は、コンテンツ タイプ “A” に対して “関連タイプの子”

2 つのコンテンツ タイプ間に 2 種類の関係を作成したり、コンテンツ タイプとそれ自身の間に関係を作成したりすることはできません。そのような定義を試行した場合、重複挿入のエラーになります。たとえば、コンテンツ タイプ “COMPETENCY” が、コンテンツ タイプ “SUB_COMP” に対して “関連タイプの親” と “関連タイプをサポート” の両方の関係を持つことはできません。

コンテンツ アイテムの定義

このセクションでは、以下の作業手順について説明します。

- コンテンツ アイテム詳細の定義
- 評価レベル説明の定義
- コンテンツ アイテム関係の定義
- グループへのコンテンツ アイテムの追加

コンテンツ アイテムの定義に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
アイテム詳細	JPM_CAT_ITEMS	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[プロファイル管理]、[コンテンツカタログ]、[コンテンツアイテム]、[アイテム詳細]	選択したコンテンツタイプにコンテンツアイテムを定義します。
コンテンツアイテム評価レベル説明	JPM_CAT_ITMRD_SEC	アイテム詳細ページで [評価レベル説明] リンクをクリック。	コンテンツアイテムの評価の説明を入力します。 注: [評価レベル説明] リンクが表示されるのは、コンテンツタイプ定義に RATING_MODEL プロパティが含まれ、評価モデルが選択されている場合だけです。
関連アイテム	JPM_CAT_ITEM_RLAT	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[プロファイル管理]、[コンテンツカタログ]、[コンテンツアイテム]、[関連アイテム]	コンテンツアイテム間の関係を設定および照会します。
グループメンバー	JPM_CAT_ITEM_GMEMB	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[プロファイル管理]、[コンテンツカタログ]、[コンテンツアイテム]、[グループメンバー]	既存のコンテンツグループにコンテンツアイテムを追加します。このページから、選択したコンテンツグループの全てのメンバーを表示することもできます。

コンテンツ アイテム詳細の定義

アイテム詳細ページにアクセスします。

アイテム詳細

関連アイテム

グループ メンバー

コンテンツ タイプ:

COMPETENCY

Competencies

コンテンツ アイテム ID:

0211

コンテンツ アイテム詳細

検索 | 全件表示

最初 1/1 最後

*有効日:

1900/01/01

*ステータス:

アクティブ

*説明:

Motivate & lead people

詳細説明:

Motivates those who work around him/her. Provides excitement and

略称:

Motivates

*カテゴリ:

Ability

コンテンツ提供元:

C

ユーザー定義

*評価モデル:

PSCM

コンテナー管理基準

[評価レベル説明](#)

ePerformance 説明:

Motivates those who work around him/her. Provides excitement and purpose to accomplish stated goals.

最終更新日時:

06/01/24 13:15:52

更新者:

SYSTEM

アイテム詳細ページ

注: このページのフィールドは、コンテンツ タイプのプロパティによって異なります。コンテンツ タイプの各プロパティがアイテム詳細ページのフィールドになり、各フィールドにはコンテンツ タイプ ページの [ラベル テキスト] フィールドで入力したラベルを使用して自動的にラベルが付けられます。

[評価レベル説明]

このリンクが表示されるのは、コンテンツ タイプ定義に RATING_MODEL プロパティが含まれ、評価モデルが選択されている場合だけです。このリンクをクリックして、コンテンツ アイテム評価レベル説明ページにアクセスすると、このコンテンツ アイテムの評価の説明を入力することができます。

評価レベル説明は省略可能です。特定のアイテムについて評価レベル説明を設定することができますが、従業員や管理者は、評価レベル説明がなくてもコンテンツ アイテムを評価できます。

注: 評価レベル説明が関連付けられているアイテムに対する評価モデルを変更すると、その説明が新しい評価モデルに対しては無効になる場合があります。そのため、警告が表示されます。

評価モデルは、評価モデル ページで定義します。

参照: [第 2 章、「コンテンツ カタログの設定」、「評価モデルの定義」、29 ページ](#)

関連項目:

[付録 A、「コンテンツ タイプとプロフィール タイプのプロパティ」、「コンテンツ タイプのプロパティ」、189 ページ](#)

[第 2 章、「コンテンツ カタログの設定」、「コンテンツ カタログの設定」、12 ページ](#)

評価レベル説明の定義

コンテンツ アイテム評価レベル説明ページにアクセスします。

コンテンツ アイテム 評価レベル説明

コンテンツ タイプ:

COMPETENCY

Competencies

コンテンツ アイテム ID:

0100

有効日:

1900/01/01

ステータス:

アクティブ

評価モデル:

PSCM

コンピテンシー管理基準

評価レベル説明

検索 | 全件表示

最初 1/5 最後

*評価レベル:

1-Little

+

-

説明:

Little demonstrated experience in abstract thinking.

✓

コンテンツ アイテム評価レベル説明ページ

[評価レベル]

評価レベルを選択します。アイテム詳細ページで割り当てた評価モデルに設定されているレベルが、ドロップダウン リストに表示されます。たとえば、対人管理のコンピテンシーでレベルが“5 - 専門”の場合と“4 - 優”の場合とではどこが違うかを定義することができます。これによって、組織内の全員が各評価について共通の理解を持つことができます。

コンテンツ アイテム関係の定義

関連アイテム ページにアクセスします。

アイテム詳細

関連アイテム

グループメンバー

コンテンツ タイプ:

COMPETENCY

Competencies

コンテンツ アイテム ID:

0211

関連アイテム

カスタマイズ | 検索 | 最初 1/1 最後

関係	関連コンテンツ タイプ	*コンテンツ アイテム ID	説明	有効日	ステータス		
関連タイプの親	ELEMENT	<input type="text"/>		2007/03/27	アクティブ	+	-

関連アイテム

カスタマイズ | 検索 | 最初 1/1 最後

関係	関連コンテンツ タイプ	*コンテンツ アイテム ID	説明	有効日	ステータス		
関連タイプの親	SUB_COMP	<input type="text"/>		2007/03/27	アクティブ	+	-

関連アイテム ページ

関連アイテム ページは、“コンテンツ タイプ” の関係ルール ページでコンテンツ タイプの関係ルールが定義されている場合に表示されます。コンテンツ タイプに关系ルールがない場合、このページは表示されません。

注: コンテンツ アイテムのレベルで、関係の定義は必須ではありません。

〔関連アイテム〕

[関係]

コンテンツタイプに定義されている関係ルールが表示されます。

コンテンツアイテム間に、コンテンツタイプの関係ルールと異なる関係を定義することはできません。たとえば、“COMPETENCY”タイプは、“SUB_COMP”タイプと親/子関係にあります。したがって、コンピテンシーとサブコンピテンシーの間に、コンテンツアイテムのレベルでサポートする/サポートされる関係を設定することはできません。

[関連コンテンツ タイプ]

関連アイテムのコンテンツタイプが表示されます。

[コンテンツ アイテム ID]

このアイテムと関連付けるアイテムを選択します。選択できるのは、[関連コンテンツタイプ] フィールドで定義されているタイプのアイテムだけです。

[必須]

このチェック ボックスが表示されるのは、[関係] フィールドが “関連タイプを必要” または “関連タイプで必要” の場合だけです。このコンテンツ アイテムの完了に、関連コンテンツ アイテムの達成または完了が必要な場合には、このチェック ボックスをオンにします。たとえば、NVQ を完了するために一定の NVQ ユニットの完了が必要な場合、これらのコンテンツ アイテムでこのチェック ボックスをオンにします。

このチェック ボックスをオフにした場合、関連アイテムは省略可能です。

参照: 第 8 章、「(GBR) 国家職業検定資格 (NVQ) の管理」、181 ページ

グループへのコンテンツ アイテムの追加

グループ メンバー ページにアクセスします。

アイテム詳細	関連アイテム	グループ* メンバー	
コンテンツ タイプ:	COMPETENCY	Competencies	
コンテンツ アイテム ID:	0211		

グループ メンバー ページ

グループ メンバー ページは、コンテンツ タイプにコンテンツ グループが設定されている場合に表示されます。コンテンツ グループがない場合、このページは表示されません。コンテンツ グループは、コンテンツ グループ タイプ ページで定義します。

**[コンテンツ グループ タ
イプ]**

コンテンツグループタイプを選択します。

「グループ」

グループのリストからグループを選択します。

[コンテンツ グループ メンバー]

[表示] リンクをクリックしてコンテンツ グループ メンバー ページにアクセスすると、選択したグループのコンテンツ アイテムがリストされます。

コンテンツ グループの定義

コンテンツ グループの設定には、コンテンツ グループ コンポーネント (JPM_CAT_GROUPS) とコンテンツ グループ メンバー コンポーネント (JPM_CAT_GMEMB) を使用します。このセクションでは、以下の作業手順について説明します。

- コンテンツ グループの定義
- コンテンツ グループ メンバーの定義

コンテンツ グループおよびメンバーの定義に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
コンテンツグループタイプ	JPM_CAT_GROUPS	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[プロフィール管理]、[コンテンツカタログ]、[コンテンツグループ]	コンテンツグループタイプと、各コンテンツグループタイプ内のグループを定義します。
コンテンツグループメンバー	JPM_CAT_GMEMB	<ul style="list-style-type: none"> • [HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[プロフィール管理]、[コンテンツカタログ]、[コンテンツグループメンバー] • コンテンツアイテム - グループメンバー ページで [表示] リンクをクリック。 • コンテンツグループタイプ ページで [追加/表示] リンクをクリック。 	コンテンツグループ ページで作成したコンテンツグループに、コンテンツアイテムを追加します。

コンテンツ グループの定義

コンテンツ グループ タイプ ページにアクセスします。

コンテンツ グループ タイプ

コンテンツ タイプ: COMPETENCY Competencies
 グループ タイプ: COMP TYPE

☒ システム データ

名称: コンテンシー タイプ

コンテンツ グループ タイプ				
カスタマイズ 検索 全件表示 最初 1-10/39 最後				
コンテンツ グループ	*名称	略称	コンテンツ グループ メンバー	
ACCONT	Accountability	Accontabltly	追加/表示	+ -
ADMIN	Administration	Admin	追加/表示	+ -
BANK	Banking Experience	Banking	追加/表示	+ -
BUSPLN	Business Planning	Bus Planng	追加/表示	+ -
COMM	Communication	Communictn	追加/表示	+ -
COOP	Cooperative	Cooperativ	追加/表示	+ -
CORP	Corporate	Corporate	追加/表示	+ -
DRV	Drive and Ambition	Drive	追加/表示	+ -
EDUC	Education	Education	追加/表示	+ -
ENTRPR	Entrepreunerial	Entrepren	追加/表示	+ -

コンテンツ グループ タイプ ページ

[コンテンツ グループ タイプ]

このグループ ボックスに、選択したコンテンツ グループ タイプに定義されている全てのコンテンツ グループ がリストされます。

[コンテンツ グループ] コンテンツ グループの名称を入力します。

[コンテンツ グループ メンバー] [追加/表示] リンクをクリックしてコンテンツ グループ メンバー ページにアクセスすると、グループに属するコンテンツ アイテムがリストされます。

コンテンツ グループ メンバーの定義

コンテンツ グループ メンバー ページにアクセスします。

コンテンツ グループ メンバー

コンテンツ タイプ: COMPETENCY コンテンシ
 コンテンツ グループ タイプ: COMP TYPE コンテンシ タイプ
 コンテンツ グループ: ACCNT Accountability

コンテンツ グループ メンバー			
*アイテム ID	説明	編集/表示	
0156	Recognized as job expert	編集/表示	+ -
0201	Accountability for decisions	編集/表示	+ -
0202	Understands decision process	編集/表示	+ -
0203	Displays confidence & maturity	編集/表示	+ -
0241	Works well under pressure	編集/表示	+ -
0802	Exhibits no racism or sexism	編集/表示	+ -
FJC010		編集/表示	+ -
HXCMP1		編集/表示	+ -

コンテンツ グループ メンバー ページ

[編集/表示]

このリンクをクリックして、アイテム定義を表示または編集します。リンクをクリックすると、コンテンツ アイテム コンポーネントが表示されます。

評価モデルの定義

評価モデルを定義するには、評価モデル コンポーネント (RATING_MDL_TBL) を使用します。

このセクションでは、評価モデルと、以下の作業手順について説明します。

- 評価モデルの設定
- 評価レベル説明の追加

評価モデルについて

評価モデルにより、従業員のパフォーマンス、つまり能力レベルの評価の際に使用する値が定義されます。評価モデルを使用して、従業員のパフォーマンスを評価する際に使用される A、B、C、D などの評価レベルを定義します。それぞれの評価レベルに対し、評価レベル値、点数、評価ランク (点数の範囲) を設定できます。

評価モデルは、次のような HRMS 内のアプリケーションで使用されます。

- プロファイル管理ビジネス プロセス

プロフィール管理では、個人プロフィール上のアイテムに関する従業員の能力レベルを評価する際に評価モデルを使用します。非個人プロフィールの場合には、プロフィールのアイテムに必要とされる能力レベルを指定できます。RATING_MODEL プロパティには、評価モデル テーブルが関連付けられています。評価モデルを使用して測定される組織のコンテンツ タイプとプロフィール タイプに、このプロパティを追加し、コンテンツ アイテムのレベルで使用される評価モデルを指定します。“COMPETENCY” コンテンツ タイプには、RATING_MODEL プロパティが含まれています。

- PeopleSoft Enterprise ePerformance-パフォーマンス管理

ePerformance-パフォーマンス管理では、記入票の評価セクションやパフォーマンスの総合評価の値を定義する際にも評価モデルを使うことができます。評価モデルに設定すべき値は、記入票の総合評価（記入票の総合評価セクション）で使用する計算方法によって異なります。記入票テンプレートを定義する際に、記入票の各セクションおよび評価対象の各項目に適用する評価モデルを選択します。記入票全体で同じ評価モデルを使用することも、項目やセクションごとに違う評価モデルを使用することもできます。

- 記入票の管理ビジネス プロセス
- キャリア プランと後任計画のビジネス プロセス
- 基本報酬管理と予算計画のビジネス プロセス

関連項目:

PeopleSoft Enterprise ePerformance-パフォーマンス管理 9.0 PeopleBook: 「ePerformance-パフォーマンス管理の設定」、「プロフィール管理の利用」

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 記入票の管理、「記入表の設定」

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 基本報酬管理と予算計画、「基本報酬管理と予算計画の設定」

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: キャリア プランと後任計画、「キャリアプラン」、「従業員の得意分野と要育成分野の評価」

評価モデルの定義に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
評価モデル	RATING_MDL_TBL	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[プロフィール管理]、[コンテンツカタログ]、[評価モデル]	従業員の評価レベルの決定に使用する値を定義します。
評価説明の確認	REVIEW_RATING_SEC	評価モデル ページの  アイコンをクリック。	評価説明を追加します。

評価モデルの設定

評価モデル ページにアクセスします。

評価モデル

評価モデル: PSCM

考課/評価モデルの名称

検索 | 全件表示

最初 1/1 最後

*有効日: 1980/01/01

ステータス: アクティブ

*名称: コピテソー管理基準

略称: コピテソー

☐ 評価ランク

評価

カスタマイズ | 検索

最初 1-6/6 最後

一般情報

点数

*レベル	*名称	略称	評価レベル値	得意/要育成分野	評価説明		
0	0 - なし	なし	0.00	要育成		+	-
1	1 - 少	少	1.00	要育成		+	-
2	2 - 可	可	2.00	要育成		+	-
3	3 - 良	良	3.00	得意		+	-
4	4 - 優	優	4.00	得意		+	-
5	5 - 専門	専門	5.00	得意		+	-

評価モデル ページ - 一般情報タブ

[考課/評価モデルの名称]**[評価ランク]**

この評価モデルを評価ランクの評価モデルとして定義する場合は、このチェック ボックスをオンにします。

注: 日本機能の昇格候補者一覧や昇給プロセスを使用する場合は、ePerformance-パフォーマンス管理の記入票で、総合的な評価レベルに対して評価ランクの評価モデルを使用する必要があります。

参照: PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 基本報酬管理と予算計画、「(JPN) 給与更新」

[一般情報] タブ

この評価モデルを使用する際に従業員の評価に使用できる評価レベルを全て定義します。少なくとも 2 つの評価レベルを定義する必要があります。行は必要に応じていくつでも挿入できます。

[レベル]

評価を表す半角英数字のコードを入力します。これは、定性評価と呼ばれることもあります。

[評価レベル値]

このフィールドは、ePerformance-パフォーマンス管理でのみ使用されます。必要な場合は、評価を表す数値を入力します。入力値は次の 2 つの目的に使用されます。

- 平均計算方法を使う記入票のセクションに対しては、この値がセクションの平均または加重平均の計算に使われます。また、(サブ項目がある場

合は) この値を使ってセクションの各項目の平均評価レベルが計算されます。

- テンプレート定義コンポーネントの構成ページ (EP_TMPL_DEFN3) の [評価レベル値] チェック ボックスをオンにすると、ここで入力する値が記入票上の評価の隣に表示されます。この機能は、評価レベルがアルファベットのときに便利です。

[得意/要育成分野]

プロフィール管理とキャリア プランのビジネス プロセス間でコンピテンシーを転送する際に、この値が使用されます。以下から選択します。

[要育成]: スキルの向上、育成または研修が必要な分野であることを評価レベルが示している場合。

[得意]: 得意分野であることを評価レベルが示している場合。

“キャリア プラン” の得意/要育成分野ページで [プロフィールと同期] リンクを使用するか、または、個人プロフィール ページの [プロフィール アクション] フィールドで [キャリア プランにリンク] を選択して、従業員のキャリア プランと個人プロフィールの間でコンピテンシーを転送します。

参照: PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: キャリア プランと後任計画、「キャリア プラン」、「従業員の得意分野と要育成分野の評価」

参照: [第 5 章、「プロフィール管理」、「個人プロフィールとキャリア プランとの同期」、111 ページ](#)



評価説明の確認ページを表示する場合にクリックします。

参照: [第 2 章、「コンテンツ カタログの設定」、「評価説明の確認の追加」、34 ページ](#)

[点数] タブ

評価モデル ページ - 点数タブにアクセスします。

評価						
一般情報		点数				
レベル	点数	開始点数	終了点数	昇格ポイント		
0	0	0	1	0.0	+	-
1	1	2	4	0.0	+	-
2	2	5	7	0.0	+	-
3	3	8	10	0.0	+	-
4	4	11	13	0.0	+	-
5	5	14	15	0.0	+	-

評価モデル ページ - 点数タブ

[一般情報] タブで定義した評価レベルに点数や点数範囲を関連付ける場合は、このタブのフィールドに入力します。

[レベル]	[一般情報] タブで定義した評価レベルがここに表示されます。この値を変更すると、[一般情報] タブの [レベル] フィールドの値も自動的に変更されます。
[点数]	<p>評価レベルに対して 0 から 999 までの数字を入力します。このフィールドは、ePerformance-パフォーマンス管理とプロフィール管理でのみ使用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ePerformance-パフォーマンス管理では、このフィールドを使ってセクションの計算に合計方法を使用します。計算のためにここに入力した点数が使用されます。 <hr/> <p>注: ステップの自動昇給プロセスを使用する場合は、合計方法を使用する必要があります。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> プロフィール管理では、適合性分析機能を使って従業員が特定の任務のコンピテンシーにどれくらい適合するかを判断します。適合性分析機能では、ここで入力した点数が使われます。ただし、プロフィールの検索/比較機能では点数は使用されません。 <p>参照: <u>第 6 章、「コンピテンシーと任務の適合」、151 ページ</u></p> <p>参照: PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 基本報酬管理と予算計画、「給与プラン、給与等級および給与ステップの管理」</p>
[開始点数]、[終了点数]	<p>このレベルに関連付ける点数範囲を定義します。これらの点数は合計点数を評価ランクまたは定性評価のいずれかに変換するために使われます。</p> <p>評価ランクは実際には定性評価と同じで、直接割り当てられる代わりに計算によって求められます。すなわち、点数が合計され、その合計点数が、このテーブルに入力された開始点数と終了点数のどの範囲に属するかが判断されます。</p> <p>[評価ランク] チェック ボックスをオンにした場合、[終了点数] フィールドに値を入力する必要があります。計算方法が評価ランクの場合、これらのフィールドを使って記入票全体の合計点数が定性評価に変換されます。計算方法が合計の場合、これらのフィールドを使ってセクションの合計点数または記入票全体の合計点数が定性評価に変換されます。</p>
[昇格ポイント]	<p>必要な場合、給与プラン ビジネス プロセスの日本機能である昇格機能で使われるポイント数を入力します。このフィールドは、考課定義 (JPN) ページの [昇格に含む] チェック ボックスがオンの場合のみ使用されます。</p> <p>参照: PeopleSoft Enterprise ePerformance-パフォーマンス管理 9.0 PeopleBook、「記入票テンプレートの設定」、「(JPN) 考課 ID の作成」</p> <p>参照: PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 基本報酬管理と予算計画、「(JPN) 給与更新」</p>

関連項目:

第 6 章、「コンピテンシーと任務の適合」、151 ページ

第 5 章、「プロフィール管理」、「個人プロフィールとキャリア プランとの同期」、111 ページ

評価説明の確認の追加

評価説明の確認ページにアクセスします。



評価説明の確認ページ

[説明]

評価の説明を入力します。半角 1,325 文字まで入力できます。この説明は、ePerformance-パフォーマンス管理で記入票に使用されます。

第 3 章

プロフィール管理の設定

この章では、プロフィール管理の概要、共通フィールド、および以下の方法について説明します。

- プロファイル管理の設定
- 学歴関連の情報の定義
- インスタンス識別子の定義
- プロファイル識別タイプとプロファイル関連先の設定
- プロファイル タイプの設定
- プロファイル グループ タイプとプロファイル グループの作成
- XML Publisher のレポートおよびプロファイルを使用するための設定

プロフィール管理について

組織では通常、以下の 2 つのタイプのプロフィールが使用されます。

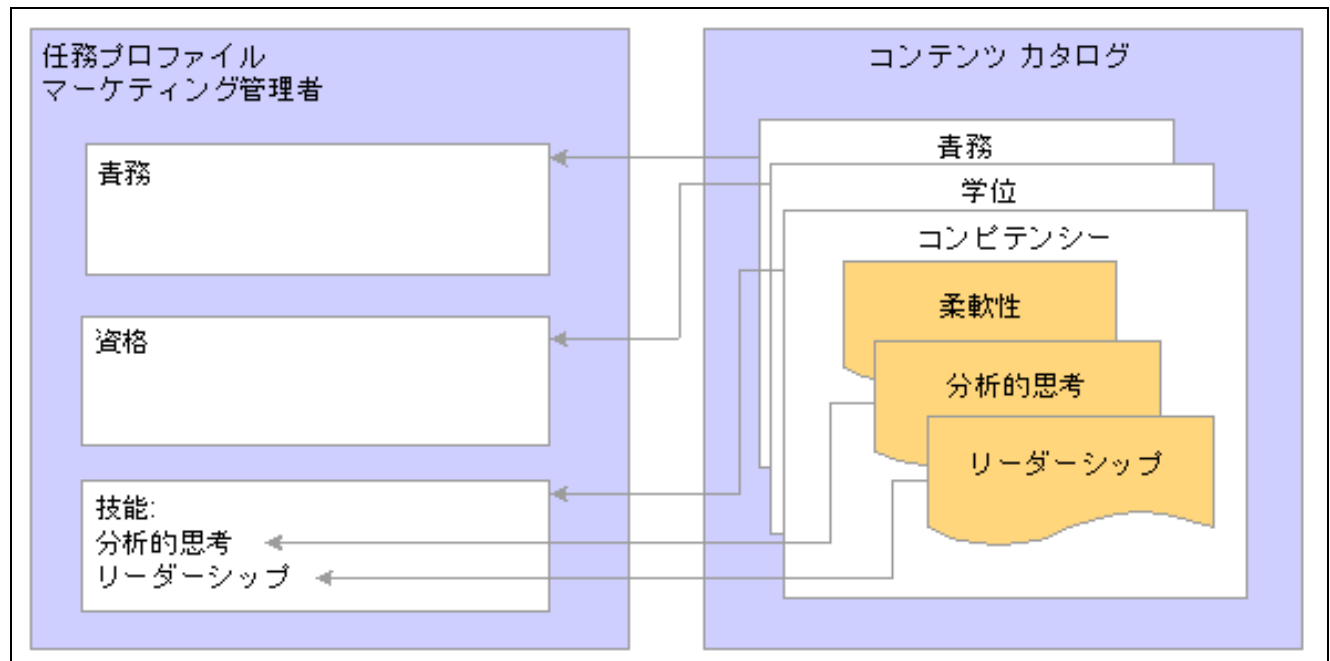
- 非個人プロフィール

特定の職務コード、ポジション、職務系列、給与等級などのシステムのエンティティについてコンピテンシー、資格、および責務を記述します。

- 個人プロフィール

個人の技能、コンピテンシー、資格、業績を記述します。プロフィール管理では、従業員、非従業員、および関係者のプロフィールを作成できます。

プロフィール管理ビジネス プロセスで、全てのプロフィールを作成する基盤となるのがコンテンツ カタログです。次の図は、コンテンツ カタログで定義されているコンテンツ タイプおよびコンテンツ アイテムから選択してプロフィールを構成する方法を示しています。



プロフィールとコンテンツ カタログとの関係

組織に適したコンテンツ カタログを設定するのと同様に、ユーザーの要件に即して設定されたプロフィールのセットを定義します。プロフィールを作成する際、従業員、管理者、およびプロフィール管理責任者は、使用するプロフィール タイプを選択します。

プロフィール タイプによって、新しいプロフィールの以下の要素が決定されます。

- ユーザーがプロフィールをリンクできるエンティティのタイプ。
- プロフィールのコンテンツ。
- プロファイルのセキュリティ (誰がプロフィールを更新できるか)。
- プロファイルの変更に承認が必要かどうか。

エンティティ タイプ

プロフィールは以下の 2 つのカテゴリに分類されます。

- 非個人プロフィール (任務プロフィールとも呼ばれます)。
ポジションや職務コードなどのビジネス エンティティに対して作成されるプロフィールです。
- 個人プロフィール。
個人プロフィールは、特定の個人 ID に対して作成されます。

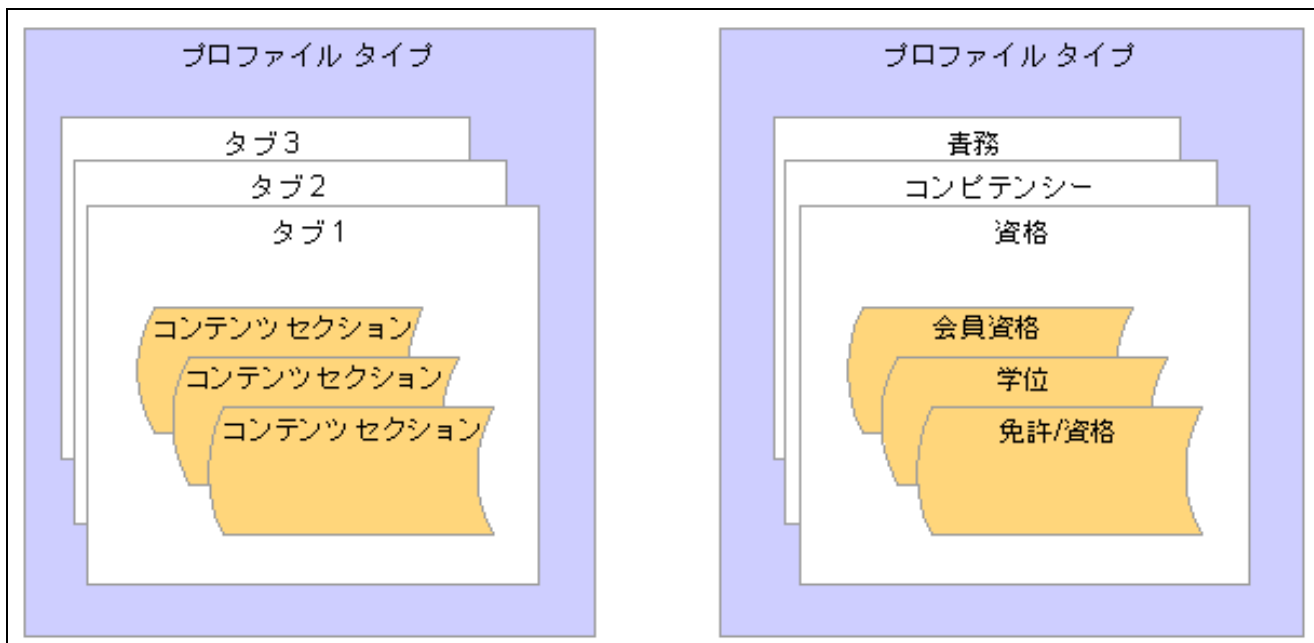
プロフィール タイプを定義する際、ユーザーがプロフィールの作成時に選択できるエンティティのタイプを指定します。たとえば、プロフィール タイプを作成し、それを職務コードおよび給与等級にリンクできるように指定すると仮定します。このプロフィール タイプに基づいてプロフィールを作成する場合、ユーザーが新しいプロフィールに選択できるのは、職務コード、給与等級、またはその両方だけになります。プロフィール タイプを、ビジネス エンティティと個人の両方にリンクすることはできません。

プロフィール タイプをリンクできるエンティティは、プロフィール識別タイプと呼ばれます。使用可能なプロフィール識別タイプのリストは、プロフィール識別タイプ ページを使って管理します。

プロフィール識別タイプの他に、プロフィール管理ビジネス プロセス以外のエンティティにプロフィール タイプをリンクすることもできます。これらのエンティティはプロフィール関連先と呼ばれます。ePerformance パフォーマンス管理のテンプレートは、この方法でプロフィール タイプにリンクされます。プロフィール タイプに関連付けることのできる全てのエンティティ タイプは、プロフィール関連先ページで定義されます。

プロフィールのコンテンツ

次の図は、プロフィール タイプのコンテンツ（およびそのプロフィール タイプから作成されるプロフィール）が、どのようにタブとコンテンツ セクションに分けられるかを示しています。



プロフィール タイプのコンテンツの構造

プロフィール タイプを設定する際、各タブの名称と、プロフィールでタブが表示される順序を定義します。1 つ以上のコンテンツ タイプを各タブに追加して、コンテンツ セクションを作成します。たとえば上の図では、“資格” というラベルのタブに、“会員資格”、“学位”、“免許/資格” という 3 つのコンテンツ タイプに対する 3 つのコンテンツ セクションがあります。ユーザーがこのプロフィール タイプを使用してプロフィールを作成する場合、“学位” コンテンツ セクションには DEG (学位) タイプのコンテンツ アイテムしか追加できません。タブ内でコンテンツ セクションがリストされる順序も定義します。

タブにコンテンツ タイプを追加する際には、そのコンテンツ タイプに定義されているプロパティおよびプロパティ属性がコンテンツ セクションにコピーされます。ただし、コンテンツ セクションにそれ以外のプロパティを追加したり、コンテンツ タイプ定義から継承されたプロパティの属性を修正したりすることは可能です。

注: プロファイル タイプ定義にコンテンツ アイテムは含まれません。プロフィール タイプの目的は、詳細なコンテンツではなく、新しいプロフィールの構造を提供することにあります。コンテンツ アイテムは、プロフィールを作成する際にユーザーが追加します。

プロフィールのセキュリティ

コンテンツ セクションを設定する際、プロフィールのそのセクションを表示できるロールを指定します。これによって、ユーザーのタイプごとにセクションの表示/非表示を変えることができます。追加のチェックボックスを使えば、どのロールでセクションのアイテムを更新できるかをコントロールできます。使用可能なロール は以下の 3 つです。

- 管理責任者

管理責任者は、人材開発の [プロフィール管理] メニューにアクセスできる任意のユーザーです。

- 責任者

責任者は、[管理者セルフサービス] メニューを使用してプロフィール管理のセルフサービス トランザクションにアクセスできるユーザーです。

- 従業員

従業員は、従業員セルフサービスを使ってプロフィール管理のセルフサービス トランザクションにアクセスします。

管理者および従業員のセルフサービス トランザクションは、PeopleSoft Enterprise eDevelopment-人材開発で提供されます。

参照: PeopleSoft Enterprise eDevelopment-人材開発 9.0 PeopleBook、「プロフィールの管理」

プロフィール承認

プロフィール管理ではオプションとして承認処理を行うことができます。承認ワークフローを使ってプロフィールの変更を管理するには、次の手順に従います。

1. HRMS 標準の承認ワークフロー エンジンを使用して承認処理を設定します。

2. 承認の定義をプロフィール タイプに関連付けます。

プロフィール タイプ - 属性ページで、プロフィール タイプに対する承認ワークフロー トランザクションと承認定義を定義します。

3. 識別タイプに承認が必要かどうかを指定します (非個人プロフィールのみ)。

ユーザーが非個人プロフィールに関連付けられたプロフィール識別タイプを追加または変更したときに承認ワークフローがトリガされるように指定できます。そのためには、プロフィール タイプ - 識別タイプ ページで [識別タイプ承認必須] を選択します。これは非個人プロフィールにのみ適用されます。個人プロフィールの場合、このチェック ボックスは使用できません。

4. どのコンテンツ セクションで承認が必要かを指定します。

プロフィール タイプ内の各コンテンツ セクションには [要承認] チェック ボックスがあり、コンテンツ セクションの変更に承認が必要かどうかをこれでコントロールできます。ただし、承認がトリガされるのは、プロフィール レベルで承認を指定した場合のみです。ユーザーがプロフィールにアイテムを追加するか、既存のアイテムを削除または変更したときの承認処理をコンテンツ セクションに設定している場合は、これで承認処理が開始されます。

5. (省略可) コンテンツ セクションに、ワークフロー ステータスを追跡するプロパティを追加します。

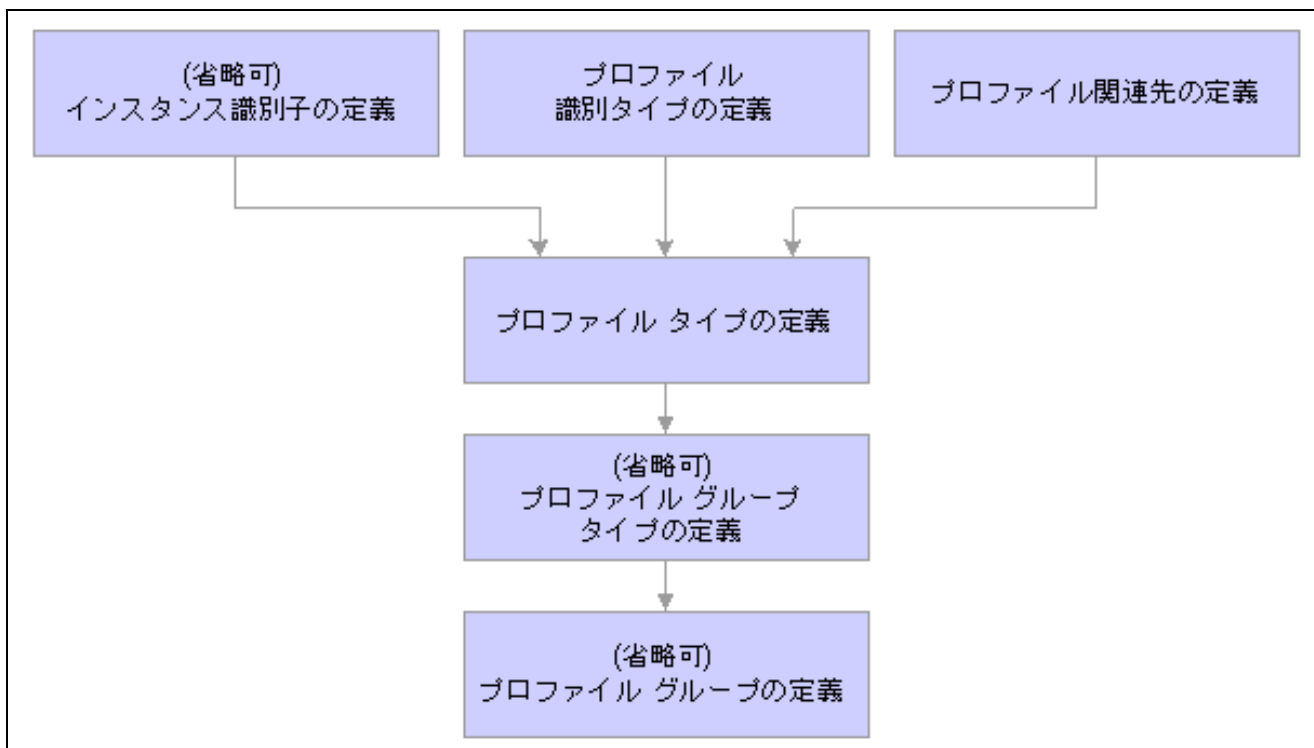
承認が必要なコンテンツ セクションには、ワークフロー ステータス プロパティ (JPM_WF_STATUS) を追加することをお勧めします。そうすると、プロフィール アイテムが承認ワークフロー エンジンで処理されるときにそのステータスをユーザーが表示できるからです。その他、最終更新日時のプロパティ (LASTUPDDTTM) や、最新更新ユーザー ID のプロパティ (LASTUPDOPRID) も、承認追跡に役立ちます。

参照: PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「承認の設定と使い方」

参照: [第 3 章、「プロフィール管理の設定」、「コンテンツ セクションの定義」、63ページ](#)

プロフィール管理の設定

次の図は、プロフィール管理の設定手順を示しています。



プロフィール管理の設定

プロフィール管理を設定するには、次の項目を定義します。

- (省略可) インスタンス識別子。

インスタンス識別子は通常、プロフィールまたは評価タイプの更新者を特定するために使用されます。また、インスタンス識別子を使って、セルフサービストランザクションを使用する従業員や管理者に表示するプロフィール アイテム行を制限することもできます。

- プロフィール識別タイプ
- (省略可) プロフィール関連先。

注: プロフィール管理ビジネス プロセスでは、プロフィール関連先を定義する必要はありません。しかし、ePerformance-パフォーマンス管理をインストールしており、パフォーマンス記入票またはキャリア開発記入票の作成にプロフィール コンテンツを使用したい場合は、ePerformance-パフォーマンス管理にプロフィール関連先を定義する必要があります。

- プロフィール タイプ。
- (省略可) プロフィール グループ タイプとプロフィール グループ

プロフィール グループ タイプとプロフィール グループを使用すると、プロフィール タイプをカテゴリに分類することができます。プロフィールの検索/比較機能で、検索条件としてプロフィール グループを使用し、検索結果を絞り込むことができます。

注: プロフィール管理を使用するには、事前にプロフィール管理インストール設定ページでインストール設定を行う必要もあります。これについては、次のセクションで説明します。

関連項目:

第 5 章、「プロフィール管理」、「プロフィールの検索と比較」、124ページ

この章で使用する共通フィールド

システム データ

インスタンス識別子、プロフィール識別タイプ、プロフィール関連先およびプロフィール タイプの設定ページで、このチェック ボックスが表示されます。これはシステムによって管理され、データがシステム データとして提供されているかどうかを示します。このチェック ボックスがオンになっているデータ行は、表示専用です。

プロフィール管理の設定

このセクションでは、プロフィール管理のインストール方法について説明します。

プロフィール管理の設定に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
プロフィール管理インストール設定	JPM_INSTALLATION	[HRMS 基本設定]、[インストール]、[製品/国別設定]、[プロフィール管理インストール設定]、[プロフィール管理インストール設定]	プロフィール管理ビジネスプロセスのインストール設定を定義します。プロフィール ID 長や、最後に使用されたプロフィール ID および承認トランザクションの番号などの設定も含まれています。このページを実行するのは導入時の 1 回のみです。

プロフィール管理のインストール設定

プロフィール管理インストール設定ページにアクセスします。

プロフィール管理インストール設定

プロフィール ID 長:

6

最後に使用されたプロフィール ID:

210000

最後に使用されたアイテム キー ID:

8000

最後に使用された承認トランザクション:

501

*監督者ナビゲーション メソッド:

5 - ポジション/監督者 ID

承認履歴日数:

185

プロフィールの従業員の写真

☒ 管理者ページに表示

☒ セルフサービス ページに表示

プロフィール管理インストール設定ページ

[プロフィール ID 長]	プロフィール ID の文字 (バイト) 数を入力します。プロフィール ID の最大長はアプリケーション デザインで定義されており、この最大長を超える ID 長を入力した場合はエラー メッセージが表示されます。
[最後に使用されたプロフィール ID]	<p>プロフィール ID に自動採番機能を利用するには、最後に使用された数字を入力します。新しいプロフィール ID を割り当てるたびに、このフィールドの数字が自動的に増分されます。</p> <p>プロフィールを作成する際、非個人プロフィールには手動でプロフィール ID を割り当てることができます。</p> <p>注: 2 とおりの番号が設定されてしまわないように、プロフィール ID の割り当ては常に手動または自動のどちらかで行うよう統一してください。</p>
[最後に使用されたアイテム キー ID]	<p>プロフィール上のアイテムの識別に最後に使用された番号が表示されます。プロフィールに追加する各コンテンツ アイテムには、アイテム キー ID が自動的に割り当てられます。このフィールドはインストール時に 1 に設定され、プロフィールにコンテンツ アイテムを追加するたびに、このフィールドの数字が自動的に増分されます。</p> <p>注: プロフィールを設定または使用する際には、アイテム キー ID はユーザーに表示されません。</p>
[最後に使用された承認トランザクション]	<p>最後の承認トランザクション番号が表示されます。プロフィール管理で承認トランザクションが生成されるたびに、このフィールドの数字が自動的に増分されます。</p> <p>参照: PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「承認の設定と使い方」</p>
[監督者ナビゲーションメソッド]	監督者リストの作成プロセスにより、監督者の関係を決定する際に使用されるメソッドを選択します。選択できるオプションは、[2 - 監督者 ID]、[3

– 部門管理者 ID]、[4 – 直属上司のポジション]、[5 – ポジション/監督者 ID]、[6 – ポジション/部門管理者] です。

参照: 第 4 章、「プロフィールの検索/比較の設定」、77ページ

[承認履歴日数]

個人プロフィール ページまたは非個人プロフィール ページから利用できる承認履歴の日数を入力します。各プロフィール ページ上のリンクには、[承認履歴日数] フィールドで設定された期間に承認または却下されたプロフィール アイテムの数が表示されます。ユーザーがプロフィールを表示すると、このフィールドに指定した日数をさかのぼった日付からシステム日付（現在の日付）までの期間の承認履歴がチェックされます。

たとえば、このフィールドに 31 と入力し、システム日付が 8 月 2 日の場合、チェックされるのは 7 月 2 日から 8 月 2 日までの期間に承認または却下されたプロフィール アイテムです。

[プロフィールの従業員の写真]

[管理者ページに表示]

プロフィール管理責任者が使用する個人プロフィール ページに従業員の写真を表示する場合は、このチェック ボックスをオンにします。これらのページには、人材開発の [プロフィール管理] メニューからアクセスできます。

[セルフサービス ページに表示]

以下のメニューからアクセスするセルフサービスの個人プロフィール ページに従業員の写真を表示する場合は、このチェック ボックスをオンにします。

[セルフサービス]、[研修/能力開発]

[管理者セルフサービス]、[研修/能力開発]

関連項目:

第 5 章、「プロフィール管理」、91ページ

学歴関連の情報の定義

このセクションでは、学歴関連情報の概要と、以下の方法について説明します。

- 学校の管理
- (JPN) 学部情報

学歴関連の情報について

学歴と専攻分野に関する情報を設定するには、学校タイプ (SCHOOL_TYPE_TABLE)、学校 (SCHOOL_TABLE)、専攻 (MAJOR_TABLE)、学部テーブル JPN (FACULTY_TABLE_JPN) の各コンポーネントを使用します。

学校タイプ、学校、専攻、学部コードをプロフィールに含める場合は、プロフィール タイプのコンテンツ セクションに該当するプロパティを追加します。学歴の各テーブルには、以下のプロパティが関連付けられています。

- SCHOOL_TYPE
- SCHOOL_CODE

- MAJOR_CODE
- FACULTY_CODE
- SUBFACULTY_CODE

標準で提供されている“個人”プロフィールタイプは、従業員の学歴情報を記録できるように設定されています。このプロフィールタイプの“学歴”タブには、各学歴テーブルの情報を使用する“学歴”、“学位”および“専攻分野”のコンテンツ セクションがあります。

関連項目:

[付録 A、「コンテンツ タイプとプロフィール タイプのプロパティ」、「プロフィール タイプのプロパティ」、193 ページ](#)

学歴情報の定義に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
学校タイプ	SCHOOL_TYPE_TBL	[HRMS 基本設定]、[共通定義]、[学校関連]、[学校タイプ]、[学校タイプ]	高校、大学、専門学校など、従業員が就学した学校のタイプのコードを設定します。
学校テーブル	SCHOOL_TABLE	[HRMS 基本設定]、[共通定義]、[学校関連]、[学校]、[学校テーブル]	特定の学校のコードを定義します。ここで入力した学校コードは、従業員データや研修関連のページで同様の情報を管理する際にも利用可能です。
専攻テーブル	MAJOR_TABLE	[HRMS 基本設定]、[共通定義]、[学校関連]、[専攻]、[専攻テーブル]	学位や資格に最も関連性のある専攻分野のコードを定義します。
学部/学科 JPN	FACULTY_TABLE_JPN	[HRMS 基本設定]、[共通定義]、[学校関連]、[学部テーブル JPN]、[学部/学科 JPN]	(JPN) 学部を定義し、その学部に学科と文理区分を関連付けます。

学校の管理

学校テーブル ページにアクセスします。

学校テーブル

学校コード:KCS010

*名称:Humber College

☒国公立☐私立

略称:Humber

国:CAN

カナダ

州:ON

オンタリオ

オーストラリア

高等教育機関

教育機関タイプ:

学校テーブル ページ

[国] 学校の国コードを選択します。国コードは、国テーブルに保存されています。選択した国によっては、その国内で学校の所在地域を定義する関連フィールド（州、都道府県、郡）が表示されます。

[国公立]、[私立] 学校が国公立校か私立校かを選択します。

(AUS) [オーストラリア]

[教育機関タイプ] オーストラリアの学校の場合、教育機関タイプを選択します。

(JPN) 学部情報の定義

学部/学科 JPN ページにアクセスします。

学部/学科 JPN

学部コード:KJ002

学部情報

*学部名:Faculty of Economics

*学部略称:Econ

文理区分:文系

学科情報

カスタマイズ | 検索 | 最初 1-2/2 最後

	*学科コード	*学科名	*学科略称		
1	KJ01	Department of Economics	Econ	+	-
2	KJ02	Department of Management	Mgmt	+	-

学部/学科 JPN ページ

[文理区分] 文理区分の値を選択します。

ここで選択する値は、プロフィールのどこでこの学部を選択してもデフォルトの文理区分になります。このデフォルト値は上書きできます。

[学科コード]

学科のコードを入力します。複数の学科を入力することができます。プロフィールで学部を選択するときは、ここで学部を設定した学科しか選択できません。

インスタンス識別子の定義

このセクションでは、インスタンス識別子の概要とその設定方法について説明します。

インスタンス識別子について

インスタンス識別子はプロフィール タイプのオプション要素で、プロフィール アイテムの個々のインスタンス (行) を識別するために使用されます。

インスタンス識別子セットの定義には、インスタンス識別子コンポーネント (JPM_JP_INST_QUAL) を使用します。インスタンス識別子の定義は、以下の 2 つの方法があります。

- 各インスタンス識別子の値を入力する。

この方法でインスタンス識別子を定義する場合は、従業員や管理者がセルフサービスを使用して表示できるインスタンスも指定できます。これは、たとえば同僚による評価レベルを従業員には表示したくない場合、あるいは経営幹部による評価を従業員や管理者 (中間管理職) には表示させない場合に便利です。

- データベースのレコードを選択する。

たとえば、PERSON_NAME レコードを指定した場合、個人 ID がインスタンス識別子になります。

インスタンス識別子セットを設定したら、それをプロフィール タイプのコンテンツ セクションにリンクします。セクション内の、インスタンス識別子を含むコンテンツ アイテムを追加またはアイテムを更新する際、ユーザーはその行に挿入されるインスタンス識別子を選択します。1 つのコンテンツ セクションには 2 つまでのインスタンス識別子セットをリンクできます。

注: ユーザーがプロフィール アイテムを追加または更新する際にインスタンス識別子を選択できるようにするには、コンテンツ セクション定義にインスタンス識別子のプロパティを追加する必要があります。

インスタンス識別子のプロパティは、以下のとおりです。

- JPM_CAT_ITEM_QUAL (インスタンス識別子 1)。

インスタンス識別子 1 のフィールドは、ユーザーが各値を定義するインスタンス識別子セットにのみ関連付けることができます。

- JPM_CAT_ITEM_QUAL2 (インスタンス識別子 2)。

インスタンス識別子 2 のフィールドは、レコードによって定義されるインスタンス識別子セットにのみ関連付けることができます。

標準で提供されている "個人" プロフィール タイプには、"コンピテンシー" と "NVQ" の 2 つのコンテンツ セクションがあり、これらはインスタンス識別子を使用するように設定されています。次の表は、"コンピテンシー" セクションで使われるインスタンス識別子のフィールド、フィールド名、インスタンス識別子セットの一覧です。

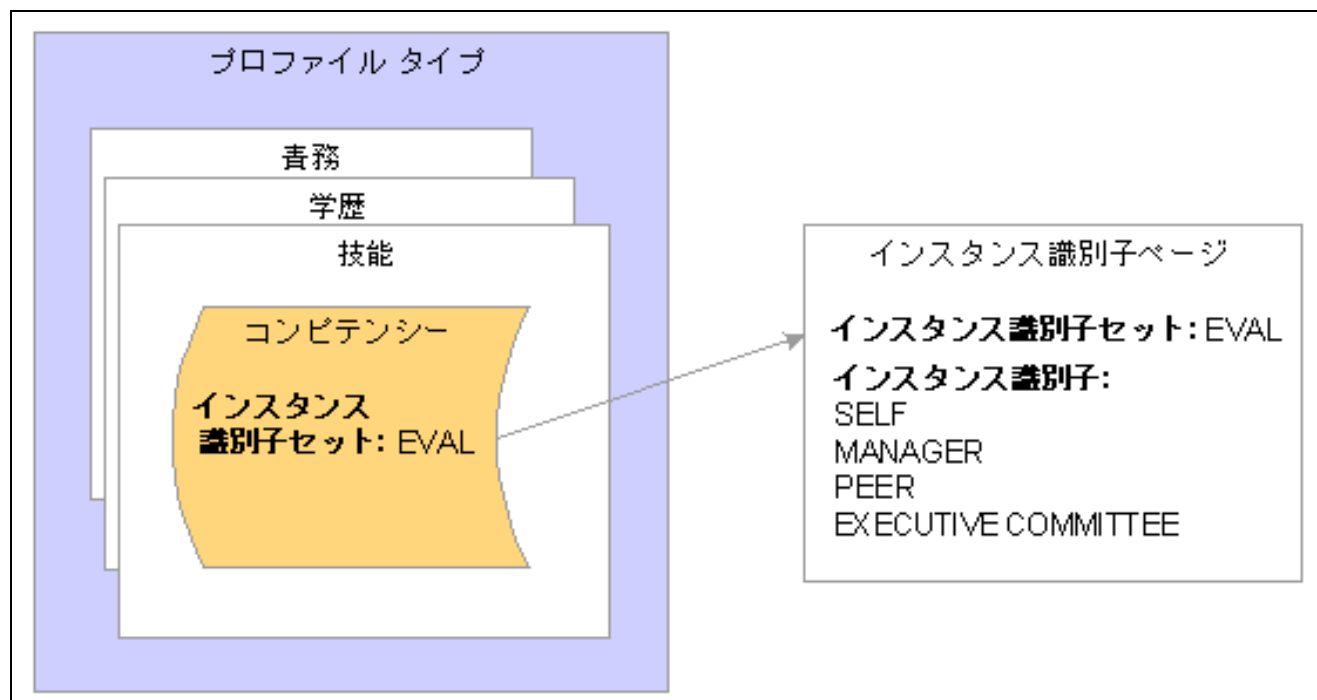
フィールド	フィールド ラベル	インスタンス識別子セット
JPM_CAT_ITEM_QUAL	[評価タイプ]	EVAL_TYPE
JPM_CAT_ITEM_QUAL2	[評価者 ID]	REVIEWER_ID

次の表は、“NVQ” セクションで使われるインスタンス識別子のフィールド、フィールド名、インスタンス識別子セットの一覧です。

フィールド	フィールド ラベル	インスタンス識別子セット
JPM_CAT_ITEM_QUAL	[評価タイプ]	REVIEW_TYPE
JPM_CAT_ITEM_QUAL2	[評価者 ID]	NVQ_REVIEWER

例: インスタンス識別子の使用

次の図は、プロフィール内のセクションをインスタンス識別子のセットにリンクできることを示しています。



インスタンス識別子の例

この例では、“技能” というタブに、“コンピテンシー” コンテンツ タイプ用のコンテンツ セクションがあり、このセクションが EVAL というインスタンス識別子のセットにリンクされています。

従業員がプロフィールを作成し、そのプロフィールに “Abstract Thinking” および “Analytical Thinking” というコンピテンシーを追加して評価レベルを入力する場合、以下の情報を持つ 2 つのプロファイル アイテムが作成されます。

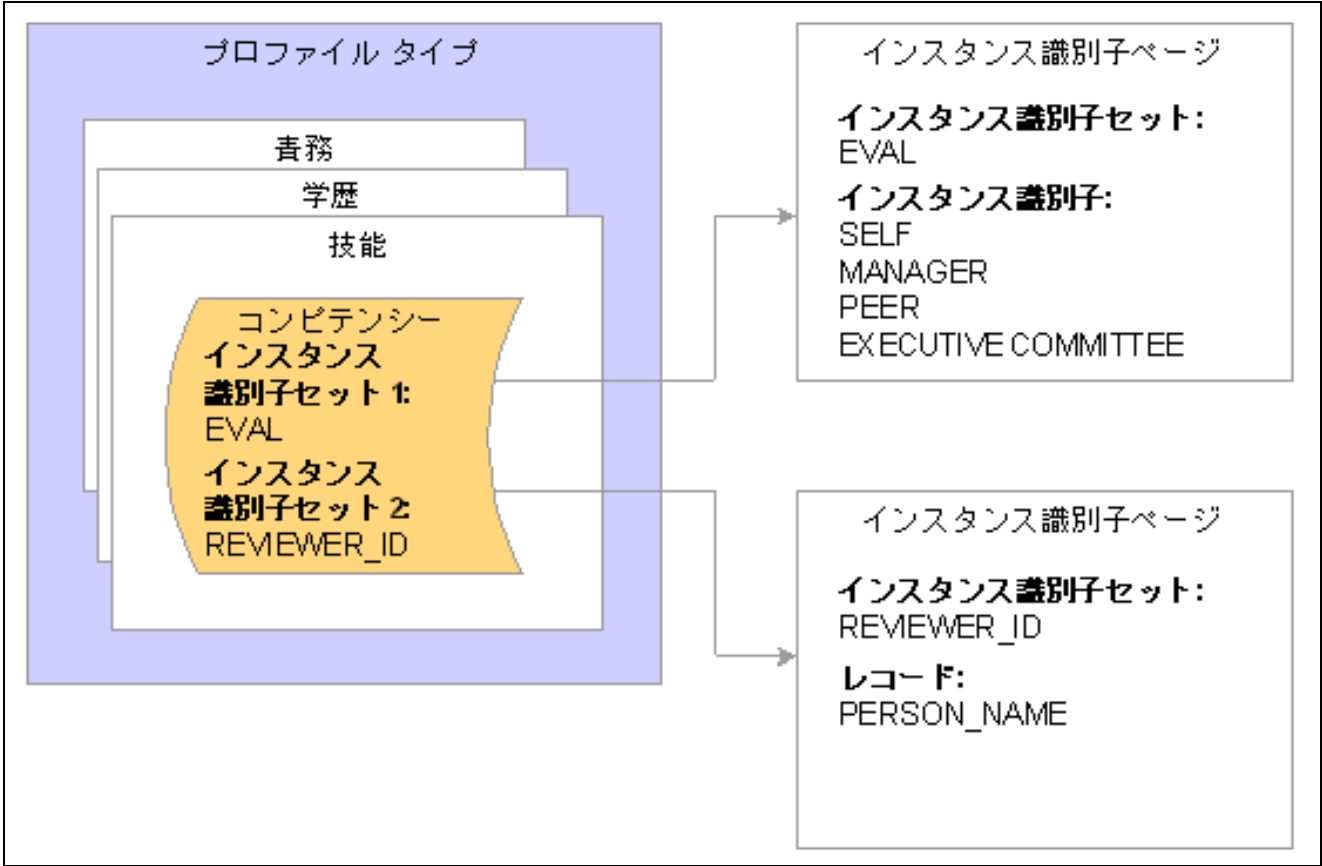
プロフィール アイテム	有効日	評価レベル	インスタンス識別子
Abstract Thinking	2006 年 4 月 16 日	3 – 良	Self (自己申告)
Analytical Thinking	2006 年 4 月 16 日	5 – 専門	Self (自己申告)

管理者が従業員のプロフィールを確認し、コンピテンシーの評価レベルを追加すると、このプロフィールのプロフィール アイテム行は次のようになります。

プロフィール アイテム	有効日	評価レベル	インスタンス識別子
Abstract Thinking	2006 年 4 月 16 日	3 – 良	Self (自己申告)
Abstract Thinking	2006 年 4 月 16 日	4 – 優	Manager (管理者)
Analytical Thinking	2006 年 4 月 16 日	5 – 専門	Self (自己申告)
Analytical Thinking	2006 年 4 月 16 日	4 – 優	Manager (管理者)

例: 2 つのインスタンス識別子セットの使用

1 つのコンテンツ セクションには 2 つまでのインスタンス識別子セットをリンクできます。上記の例を使用し、“コンピテンシー” セクションがインスタンス識別子セット EVAL にリンクされ、PERSON_NAME レコードにリンクされている 2 番目のインスタンス識別子セットにもリンクされていると仮定します。次の図のとおりです。



2 つのインスタンス識別子セットを使用する例

2 つの識別子セットを使うと、同じインスタンス識別子 1 を持つ行を一意に区別できます。たとえば、経営幹部陣が個人を評価する場合、インスタンス識別子を使って各幹部による評価レベルを記録できます。次の表は、同じプロフィール アイテムに対する各幹部の評価について作成された行の一覧です。

プロフィール アイテム	有効日	評価レベル	インスタンス識別子 1	インスタンス識別子 2
Abstract Thinking	2006 年 3 月 14 日	3 – 良	Executive Committee (経営幹部)	KU0045
Abstract Thinking	2006 年 3 月 14 日	5 – 専門	Executive Committee (経営幹部)	KU0016
Abstract Thinking	2006 年 3 月 14 日	4 – 優	Executive Committee (経営幹部)	KU0119

インスタンス識別子の統合について

プロフィール管理にデータをパブリッシュするアプリケーションは、インスタンス識別子を使用できます。ePerformance-パフォーマンス管理では、記入票テンプレートを定義する際に、パフォーマンス記入票またはキャリア開発記入票を処理する各ロールに使用するインスタンス識別子を指定できます。ユーザーが記入票に入力するときには、指定されたインスタンス識別子を使ってプロフィール管理の個人プロフィール データが自動的に更新されます。

PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントでは、PeopleSoft Enterprise HRMS にプロフィール データをパブリッシュする際にシステムが使用するインスタンス識別子も指定できます。学習者が HRMS による学習目標を達成すると、システムはその目標を“達成”に設定し、指定されたインスタンス識別子を使ってプロフィール データを HRMS にパブリッシュします。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise ePerformance-パフォーマンス管理 9.0 PeopleBook、「記入票テンプレートの設定」、「セクションの定義」

PeopleSoft Enterprise Learning Management 9.0 PeopleBook

インスタンス識別子の定義に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
インスタンス識別子	JPM_JP_INST_QUAL	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[プロフィール管理]、[プロフィール]、[インスタンス識別子]、[インスタンス識別子]	コンテンツタイプに対してインスタンス識別子を定義し、従業員および管理者が表示できるインスタンス識別子を定義します。

インスタンス識別子の設定

インスタンス識別子ページにアクセスします。

インスタンス識別子

コンテンツタイプ: COMPETENCY

インスタンス識別子セット: EVAL_TYPE

*名称:

プロンプト定義

☒ プロンプト レコードを使用

レコード名:

☒ 識別子セットを作成

インスタンス識別子									
*優先順位	*インスタンス識別子	*名称	従業員表示	管理者表示	従業員デフォルト	管理者デフォルト	検索対象	システムデフォルト	
10	A	承認済/公認	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	—
20	R	監督者/管理者	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	—
30	S	自己申告	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	—
40	L	ラーニング	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	—
50	P	同僚	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	—
60	B	部下	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	—
70	M	メンター	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	—
80	E	経営幹部	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	—
90	C	顧客	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	—

[+ インスタンス識別子の追加](#)

インスタンス識別子ページ

[プロンプト定義]

インスタンス識別子としてデータベースのレコードを使用する場合は、[プロンプト レコードを使用] を選択します。たとえば、PERSON_NAME レコードをインスタンス識別子として使用できます。[レコード名] フィールドが使用可能になり、[インスタンス識別子] スクロール領域が非表示になります。プロフィール タイプでコンテンツ セクションを定義する際、プロンプト レコードを使用するインスタンス識別子は、[インスタンス識別子 2] フィールドにのみ関連付けることができます。プロンプト レコードを使用するインスタンス識別子を、[インスタンス識別子 1] フィールドに指定することはできません。

[インスタンス識別子] スクロール領域で新しいインスタンス識別子のセットを作成する場合は、[識別子セットを作成] を選択します。このタイプのインスタンス識別子は、コンテンツ セクション ページで [インスタンス識別子 1] フィールドにのみ関連付けることができます。[インスタンス識別子 2] フィールドに指定することはできません。

[レコード名]

インスタンス識別子を含むレコードを選択します。このフィールドは、[プロンプト レコードを使用] を選択した場合にのみ指定できます。

[優先順位]

インスタンス識別子の優先順位を示す番号を入力します。番号が小さいほど優先順位は高くなるので、この番号が最も小さいインスタンス識別子が最高の優先順位と判断されます。優先順位の値は、インスタンス識別子が表示される順序を決定します。このフィールドは、プロフィールの検索

/比較機能で使用される Verity インデックスを構築する “プロフィール インデックスの管理” プロセス (JPM_BLD_INDEX) でも使用されます。このプロセスでは、優先順位の値を使用して、インデックスに追加するプロフィール アイテム行を決定します。優先順位が最高のインスタンス識別子を持つ行が追加されます。

参照: 第 4 章、「プロフィールの検索/比較の設定」、「検索インデックスの作成」、82 ページ

[インスタンス識別子]	インスタンス識別子コードを入力し、[名称] フィールドに名称を入力します。
[従業員表示]	プロフィールで、選択したインスタンス識別子を割り当てられた行を従業員が表示できるようにする場合は、このチェック ボックスをオンにします。
[管理者表示]	プロフィールで、選択したインスタンス識別子を割り当てられた行を管理者が表示できるようにする場合は、このチェック ボックスをオンにします。
[従業員デフォルト]	従業員のセルフサービス トランザクションで自動的に使用されるインスタンス識別子を指定する場合は、このチェック ボックスをオンにします。この列のチェック ボックスをオンにした場合、従業員がセルフサービスで行を追加または更新すると、選択したインスタンス識別子が自動的に挿入され、従業員がインスタンス識別子を変更することはできません。
[管理者デフォルト]	管理者のセルフサービス トランザクションで自動的に使用されるインスタンス識別子を指定する場合は、このチェック ボックスをオンにします。この列のチェック ボックスをオンにした場合、管理者がセルフサービスで行を追加または更新すると、選択したインスタンス識別子が自動的に挿入され、管理者がインスタンス識別子を変更することはできません。
[検索対象]	<p>選択したインスタンス識別子を持つプロフィール アイテムを Verity インデックスに含める場合は、このチェック ボックスをオンにします。“プロフィール インデックスの管理” プロセス (JPM_BLD_INDEX) では、プロフィールの検索/比較機能で使用される Verity インデックスに追加するプロフィール アイテム行が、このフィールドを使用して決定されます。</p> <p>[検索対象] チェック ボックスをオフにした場合、選択したインスタンス識別子を割り当てられたプロフィール アイテム行は、常に Verity インデックスから除外されます。</p>

プロフィール識別タイプとプロフィール関連先の設定

組織のプロフィール識別タイプとプロフィール関連先を設定するには、プロフィール識別タイプ コンポーネント (JPM_RLAT_SETUP) とプロフィール関連先コンポーネント (JPM_RLAT_ASC_SETUP) を使用します。このセクションでは、以下の作業手順について説明します。

- プロフィール識別タイプの定義
- プロフィール関連先の定義

このセクションで使用する共通フィールド

識別タイプ プロフィールをリンクするエンティティの名称を入力します。標準の識別タイプおよび関連先の場合、このフィールドは表示専用です。

識別タイプとは、職務コードやポジションなどプロフィール管理ビジネス プロセス内のエンティティです。関連先とは、プロフィール管理ビジネス プロセス外のエンティティです。プロフィール タイプを ePerformance テンプレートに関連付けることのできる関連先が 1 つ標準で提供されています。

有効

[識別タイプ] フィールドで指定したエンティティにプロフィール タイプをリンクできるようにする場合は、このチェック ボックスをオンにします。

このチェック ボックスをオフにした場合、このエンティティに対してプロフィール タイプは設定できません。たとえば、識別タイプ “補助職種” のチェック ボックスをオフにした場合、識別タイプ “補助職種” を使用してプロフィール タイプを定義することはできません。

レコード名

[識別タイプ] フィールドで指定したエンティティを定義するレコードを選択します。システム データとして標準で提供されている識別タイプ ([システム データ] チェック ボックスがオン) の場合、このフィールドは表示専用です。

キー 1 フィールド名

[レコード名] で選択したレコードのキー フィールドが表示されます。

キー 2 フィールド名、キー 3 フィールド名、キー 4 フィールド名

レコードの追加キー フィールドが表示されます。レコードのキー フィールドが 1 つのみの場合、これらのフィールドは非表示です。

セットID

[セットID] が、選択したレコードのキー フィールドかどうかを示します。このチェック ボックスは、レコード定義に基づいて自動的にオンになり、表示専用です。

有効日

[有効日] フィールドが、選択したレコードのキー フィールドかどうかを示します。このチェック ボックスは、レコード定義に基づいて自動的にオンになり、表示専用です。

プロフィール識別タイプとプロフィール関連先の定義に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
プロフィール識別タイプ	JPM_RLAT_SETUP	[HRMS 基本設定]、[製品/ 業務別定義]、[プロフィール 管理]、[プロフィール]、[プロフィール識別タイプ]	<p>プロフィールタイプをリンク できるエンティティを定義し ます。エンティティには、職 務コード、職種、職務系 列、個人、給与等級などが あります。このページで有 効にしたエンティティによっ て、プロフィールタイプコン ポーネントの識別タイプ ページで使用できるオブ ジェクションが決定されます。た とえば、“職務コード”を有 効にした場合、職務コード にリンクされるプロフィール タイプを設定できます。</p> <p>デフォルトのプロフィール 識別タイプが提供されてい ますが、必要に応じて リストは削除および追 加できます。</p>
プロフィール関連先	JPM_RLAT_SETUP	[HRMS 基本設定]、[製品/ 業務別定義]、[プロファイ ル管理]、[プロフィール]、[プロフィール関連先]	<p>プロフィールタイプをリンク できる、プロフィール管理ビ ジネス プロセス外部の エンティティを定義しま す。プロフィールタイプを ePerformance テンプレート にリンクすることのできる 関連先が1つ標準で提供 されています。必要に応じ て関連先を追加できます。</p>

プロフィール識別タイプの定義

プロフィール識別タイプ ページにアクセスします。

プロフィール識別タイプ

識別タイプ*の有効化		設定		
識別タイプ	*名称		有効	
BUSINESS_UNIT	ビジネス ユニット		<input checked="" type="checkbox"/>	-
COMPANY	会社		<input checked="" type="checkbox"/>	-
DEPARTMENT	部門		<input checked="" type="checkbox"/>	-
GP_PAY_GROUP	GP 支給グループ*		<input checked="" type="checkbox"/>	
GROUP_ID	グループ* ID		<input checked="" type="checkbox"/>	
JOB_CODE	職務コード*		<input checked="" type="checkbox"/>	-
JOB_FAMILY	職務系列		<input checked="" type="checkbox"/>	-
JOB_FUNCTION	職種		<input checked="" type="checkbox"/>	-
JOB_SUB_FUNCTION	補助職種		<input checked="" type="checkbox"/>	
JOB_TASK	業務		<input checked="" type="checkbox"/>	-
LOCATION	勤務地		<input checked="" type="checkbox"/>	-
PERSON	個人		<input checked="" type="checkbox"/>	-
PNA_PAY_GROUP	PNA 支給グループ*		<input checked="" type="checkbox"/>	
POSITION	ポジション データ		<input checked="" type="checkbox"/>	-
REG_REGION	法定区域		<input checked="" type="checkbox"/>	-
SALARY_GRADE	給与等級		<input checked="" type="checkbox"/>	-

[+ プロフィール識別タイプ*の追加](#)

プロフィール識別タイプ ページ - 識別タイプの有効化タブ

**[プロフィール識別タイプ
の追加]** 新しいプロフィール識別タイプを追加するには、このリンクをクリックします。

[設定]

[設定] タブにアクセスします。

プロフィール識別タイプ

識別タイプの有効化		設定							
識別タイプ	レポート名	キー 1 フィールド名	キー 2 フィールド名	セッHD	有効日	連番	システム テーブル		
BUSINESS_UNIT	BUS_UNIT_TBL_HR	BUSINESS_UNIT		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	150	<input checked="" type="checkbox"/>	-	
COMPANY	COMPANY_TBL	COMPANY		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	140	<input checked="" type="checkbox"/>	-	
DEPARTMENT	DEPT_TBL	DEPTID		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	100	<input checked="" type="checkbox"/>	-	
GP_PAY_GROUP	GP_PYGRP	GP_PAYGROUP		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	120	<input type="checkbox"/>	-	
GROUP_ID	GB_GROUP_TBL	GB_GROUP_ID		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	80	<input type="checkbox"/>	-	
JOB_CODE	JOB_CODE_TBL	JOB_CODE		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	30	<input checked="" type="checkbox"/>	-	
JOB_FAMILY	JOB_FAMILY_TBL	JOB_FAMILY		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	40	<input checked="" type="checkbox"/>	-	
JOB_FUNCTION	JOB_FUNCTION_TBL	JOB_FUNCTION		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	50	<input checked="" type="checkbox"/>	-	
JOB_SUB_FUNCTION	JOB_SUBFUNC_TBL	JOB_SUB_FUNC		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	60	<input type="checkbox"/>	-	
JOB_TASK	JOB_TASK_TBL	JOB_TASK		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	70	<input checked="" type="checkbox"/>	-	
LOCATION	LOCATION_TBL	LOCATION		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	110	<input checked="" type="checkbox"/>	-	
PERSON	PERSON	EMPLID		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10	<input checked="" type="checkbox"/>	-	
PNA_PAY_GROUP	PAYGROUP_TBL	COMPANY	PAYGROUP	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	130	<input type="checkbox"/>	-	
POSITION	POSITION_DATA	POSITION_NBR		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	20	<input checked="" type="checkbox"/>	-	
REG_REGION	REG_REGION_TBL	REG_REGION		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	160	<input checked="" type="checkbox"/>	-	
SALARY_GRADE	SAL_GRADE_TBL	SAL_ADMIN_PLAN	GRADE	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	90	<input checked="" type="checkbox"/>	-	

[+ プロフィール識別タイプの追加](#)

プロフィール識別タイプ ページ - 設定タブ

[連番]

個人の職務に関連する非個人プロフィールがリストされる順序を決定する番号を入力します。この連番値は、以下のように使用されます。

- 個人プロフィール ページでは、[プロフィール アクション] フィールドで [関連任務プロフィールの表示] を選択したときに関連プロフィールがリストする順序を、連番値によって決定します。最も小さい番号のプロフィールが最初に表示されます。
- eDevelopment-人材開発では、従業員が [マイ任務プロフィール] を選択したときに関連プロフィールがリストされる順序を、連番値によって決定します。最も小さい番号のプロフィールが最初に表示されます。
- ePerformance-パフォーマンス管理では、従業員の記入票を作成する際に、従業員に一致する全ての任務プロフィールを検索して、優先順位の最も高い (連番値が最も小さい) プロフィールのコンテンツをコピーします。

参照: 第 3 章、「プロフィール管理の設定」、「このセクションで使用する共通フィールド」、51 ページ

プロフィール関連先の有効化

プロフィール関連先ページにアクセスします。



プロファイル関連先ページ - 識別タイプの有効化タブ

[プロファイル関連先の追加] 新しいプロファイル関連先を追加するには、このリンクをクリックします。

参照: [第 3 章、「プロファイル管理の設定」、「このセクションで使用する共通フィールド」、51 ページ](#)

プロファイル タイプの設定

プロファイル タイプを設定するには、プロファイル タイプ コンポーネント (JPM_JP_TYPES) を使用します。このセクションでは、以下の作業手順について説明します。

- プロファイル タイプの属性の設定
- プロファイル タイプの識別タイプの定義
- プロファイル タイプのコンテンツの定義
- コンテンツ タイプの選択
- コンテンツ セクションの定義
- プロファイル タイプの関連先の設定

プロファイル タイプの設定に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
プロファイルタイプ - 属性	JPM_JP_TYPE_ATTRIB	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[プロファイル管理]、[プロファイル]、[プロファイルタイプ]、[属性]	プロファイルタイプの基本的な詳細を定義します。プロファイルタイプが承認ワークフローに関連付けられている場合は、このページでトランザクションと承認定義を指定します。

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
プロフィールタイプ – 識別タイプ	JPM_JP_TYPE_IDENT	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[プロフィール管理]、[プロフィール]、[プロフィールタイプ]、[識別タイプ]	プロフィールタイプをリンクする識別タイプを選択します。識別タイプは、職務コード、ポジション番号、個人などのエンティティです。プロフィールタイプに基づいてプロフィールを作成する場合、ユーザーはこのページで定義したエンティティに対してのみプロフィールを作成できます。アクティブなプロフィールタイプには、少なくとも1つの識別タイプが必要です。プロフィール識別タイプページで使用可能な識別タイプを定義します。
プロフィールタイプ – コンテンツ	JPM_JP_TYPE_CONT	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[プロフィール管理]、[プロフィール]、[プロフィールタイプ]、[コンテンツ]	プロフィールタイプのコンテンツを定義します。プロフィールのコンテンツは複数のタブに分かれており、各タブは1つまたは複数のセクションで構成されています。コンテンツページでは、プロフィールのタブを設定し、各タブにコンテンツタイプを追加します。
コンテンツ セクションの追加	JPM_JP_ADD_CNT_SEC	<ul style="list-style-type: none"> コンテンツ ページで[コンテンツ セクションの追加]リンクをクリック。 コンテンツ ページで[サブセクションの追加]リンクをクリック。 	プロフィールタイプに追加できるコンテンツタイプをリストします。追加するコンテンツタイプを選択すると、コンテンツ セクション ページが表示されます。
コンテンツ セクション	JPM_JP_CONTENT_SEC	<ul style="list-style-type: none"> コンテンツ セクションの追加 ページでコンテンツタイプをクリック。 コンテンツ ページでセクション名のリンクをクリック。 	コンテンツ セクションに表示されるプロパティ(フィールド)と、それらのプロパティの属性を定義します。また、このページでは、プロフィールの作成または更新時にコンテンツ セクションにアクセスできるユーザーも定義します。
プロフィールタイプ – 関連先	JPM_JP_TYPE_ASSOC	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[プロフィール管理]、[プロフィール]、[プロフィールタイプ]、[関連先]	プロフィールタイプをリンクする関連先を選択します。関連先とは、プロフィール管理ビジネスプロセス外のエンティティです。プロフィール関連先ページで使用可能な関連先を定義します。

プロフィール タイプの属性の設定

プロフィール タイプ - 属性ページにアクセスします。

プロフィール タイプ: **JOB**

プロフィール タイプ属性

*有効日: 1900/01/01 *ステータス: アクティブ

*名称: 任務 ☒ システム データ

サマリ: 任務のプロファイル タイプ。
任務プロフィールを HRMS 8.9 からアップグレードするのに使用します。
識別タイプ = 職務コード、ポジション、給与等級、職務系列。
承認の必要はありません。

承認トランザクション名:

承認定義 ID:

プロフィール タイプの種類: Non-Person

プロフィール タイプ - 属性ページ

[サマリ]

プロフィール タイプの簡単な説明を入力します。

[承認トランザクション名]

プロフィール タイプに関連付けられている承認ワークフロー トランザクションを選択します。プロフィール タイプのコンテンツ セクションのいずれかで [要承認] チェック ボックスがオンの場合、または、プロフィール タイプ - 識別タイプ ページで [識別タイプ承認必須] チェック ボックスがオンの場合は、このフィールドの指定が必要です。

参照: 第 3 章、「プロフィール管理の設定」、「コンテンツ セクションの定義」、63ページ

[承認定義 ID]

プロフィール タイプの承認定義を選択します。このフィールドを空欄のままにした場合は、[承認トランザクション名] フィールドで指定した承認プロセスの承認定義 ID がデフォルトで使用されます。

複数の承認定義 ID が存在する場合、承認プロセス定義コンポーネントで設定された条件および優先順位に基づいて、使用する承認定義 ID が承認フレームワークにより決定されます。プロフィール管理の承認処理で使用される定義 ID の場合、デフォルトの定義が優先順位 1 で、デフォルト以外の定義が優先順位 9 です。

[プロフィール タイプの種類]

“Person” か “Non-Person” の種類が表示されます。この種類は、識別タイプ ページで選択したプロフィール識別タイプの値によって決まります。プロフィール タイプが、EMPID をキー フィールドとして使用するレコードにリンクされている場合、[プロフィール タイプの種類] フィールドは “Person” になります。それ以外の場合、種類は “Non-Person” になります。

プロフィール タイプの識別タイプの定義

プロフィール タイプ - 識別タイプ ページにアクセスします。

属性

識別タイプ*

コンテンツ

関連先

プロフィール タイプ*

JOB

識別タイプ*

検索 | 全件表示

最初 1/1 最後

*有効日:

1900/01/01

*ステータス:

アクティブ

+ -

*名称:

任務

☒ システム テンプレート

☐ 識別タイプ承認必須

プロフィール識別タイプ*

カスタマイズ | 検索 | 1-4/4

プロフィール識別タイプ	エンド プロファイル	テンプレート	システム テンプレート	
Job Code	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	-
Job Family	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	-
Position Data	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	-
Salary Grade	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	-

+

プロフィール識別タイプの追加

プロフィール タイプ - 識別タイプ ページ

- [識別タイプ承認必須]

このプロフィール タイプのプロファイルに関連付けられている識別タイプを変更する際に承認を必要とする場合は、このチェック ボックスをオンにします。このチェック ボックスは、非個人プロフィールの識別タイプを選択している場合に有効になります。
- [プロフィール識別タイプ]

プロフィール タイプをリンクできる 1 つまたは複数のオブジェクトを選択します。使用可能なオブジェクトは、プロフィール識別タイプ ページで有効にしたプロフィール識別タイプによって異なります。

プロフィール タイプは、個人か非個人のいずれか一方の識別タイプにリンクする必要があります。プロフィール タイプに、個人と非個人の両方の識別タイプを追加することはできません。特定のプロフィール タイプ内で、識別タイプごとにアクティブなプロフィールが 1 つだけかどうかを検証されます。

参照: 第 3 章、「プロフィール管理の設定」、「プロフィール識別タイプの定義」、53 ページ
- [エンド プロファイル]

[プロフィール識別タイプ] フィールドで指定したオブジェクトにリンクされるプロフィールがエンド プロファイルの場合は、このチェック ボックスをオンにします。エンド プロファイルとは、従業員および管理者のセルフサービスで表示され、検索、マッチング、および参照に使用されるプロフィールです。
- [テンプレート]

[プロフィール識別タイプ] フィールドで指定したオブジェクトにリンクされるプロフィールがテンプレート プロファイルの場合は、このチェック ボックスをオンにします。テンプレート プロファイルとは、他のプロフィールの作成に使用されるプロフィールです。

[プロファイル識別タイプ 別のプロファイル識別タイプをページに追加する場合にクリックします。の追加]

プロファイル タイプのコンテンツの定義

プロファイル タイプ - コンテンツ ページにアクセスします。

属性識別タイプコンテンツ関連先

プロファイル タイプ:JOB

コンテンツ

検索 | 全件表示最初1/1最後

*有効日:1900/01/01

*ステータス:アクティブ

+ -

*名称:任務

☒ システム データ

[コンテンツの並べ替え](#)

コンピテンシー

責務資格NVQ階級

タブの追加

タブの削除

*タブ名:コンピテンシー

*タブ順序:10

[全てのセクションを表示](#)

コンテンツ セクション

検索 | 最初1-2/2最後

セクション名	親セクション名	必須	*移動先タブ	順序	
<input type="radio"/> コンピテンシー		<input type="checkbox"/>	コンピテンシー	10	-
<input type="radio"/> > サブ コンピテンシー	Competencies	<input type="checkbox"/>	コンピテンシー	20	-

+ コンテンツ セクションの追加

+ サブ セクションの追加

コンピテンシー

責務資格NVQ階級

プロファイル タイプ - コンテンツ ページ

このページを使用して、プロファイル タイプのコンテンツを定義します。次の例に示すように、コンテンツはページ上のリンクとして表示されるタブに分かれています。

コンピテンシー

責務資格NVQ階級

プロファイル タイプ - コンテンツ ページのタブの例

この例では 5 つのタブがあり、現在は [コンピテンシー] タブが選択されています。タブ名のリンクをクリックすると、そのタブに移動します。

タブが表示される順序は、[タブ順序] フィールドで決まります。各タブでは、[コンテンツ セクション] スクロール領域でコンテンツ タイプを指定します。

[コンテンツの並べ替え] [タブ順序] フィールドまたはセクションの [順序] フィールドを変更した場合は、このリンクをクリックします。ページがリフレッシュされ、タブとコンテンツ セクションが新しい順序で表示されます。

[タブの追加] 新しいタブをプロファイル タイプに追加する場合は、このボタンをクリックします。

[タブの削除]	このボタンをクリックすると、選択したタブが削除されます。
[タブ名]	タブの名称を入力します。ユーザーがこのプロフィール タイプを使用してプロフィールを作成する場合、タブ名はプロフィールでのリンクとして表示されます。したがって、デフォルト名の“タブ 1”、“タブ 2”などのままではなく、意味のある名称にしてください。
[タブ順序]	値を入力して、タブが表示される順序を指定します。
[全てのセクションを表示]	プロフィール タイプの全てのタブのセクションを表示する場合は、このリンクをクリックします。[コンテンツ セクション] グループ ボックスが更新されて全てのタブのセクションがリストされ、[タブ名] フィールドと [タブ順序] フィールドは非表示になります。
[コンテンツ セクション]	
このスクロール領域に、選択したタブのセクションがリストされます。[全てのセクションを表示] リンクをクリックすると、このスクロール領域にプロフィール タイプの全てのタブのセクションがリストされます。	
[セクション名]	セクションまたはサブセクションの詳細を表示および更新するには、セクション名をクリックします。コンテンツ セクション ページが表示されます。
[親セクション名]	親セクションの名称が表示されます。このフィールドに値が表示されるのは、サブセクションの場合のみです。
[必須]	プロフィールの必須セクションの場合は、このチェック ボックスをオンにします。ユーザーがプロフィールを作成する際、必須セクションにプロフィール アイテムが少なくとも 1 つあるかどうかを検証するとき、このチェック ボックスが使用されます。
[移動先タブ]	セクションを別のタブに移動する場合、リストからタブを選択して [コンテンツの並べ替え] リンクをクリックします。
[順序]	値を入力して、プロフィールのタブ内でセクションが表示される順序を指定します。
[コンテンツ セクションの追加]	[コンテンツ セクション] スクロール領域に新しいセクションを追加するには、このリンクをクリックします。コンテンツ セクションの追加ページが表示され、使用可能な全てのコンテンツ タイプがリストされます。コンテンツ タイプは、コンテンツ タイプ コンポーネントを使って定義します。 参照: 第 2 章、「コンテンツ カタログの設定」、「コンテンツ タイプの設定」、16 ページ
[サブセクションの追加]	サブセクションを作成する親となるセクションを選択して、このリンクをクリックします。サブセクションは、既存のセクションのコンテンツ タイプに関連するコンテンツ タイプを追加するときに使います。 コンテンツ タイプ間の関係は、コンテンツ タイプ コンポーネントの関係ルール ページで定義します。 参照: 第 2 章、「コンテンツ カタログの設定」、「コンテンツ タイプの関係ルールの定義」、21 ページ たとえば、“コンピテンシー” セクションをタブに追加した場合は、サブセクションとして“エレメント”または“サブコンピテンシー”コンテンツ タイプを追加できます。これらのコンテンツ タイプは、“コンピテンシー” タイプに関連付けられているからです。

このリンクをクリックすると、コンテンツ セクションの追加ページが表示され、以下のいずれかとして定義されているコンテンツ タイプがリストされます。

- 親セクションのコンテンツ タイプの子である。
- 親セクションのコンテンツ タイプで必要とされる。
- 親セクションのコンテンツ タイプをサポートする。

コンテンツ タイプの定義

コンテンツ セクションの追加ページにアクセスします。

プロフィール タイプ

コンテンツ セクションの追加

コンテンツ セクションの選択:

ADA	ADA Essential Functions
AREA STUDY	専攻分野
COMPETENCY	コンピテンシー
DEG	学位
EDLV LACHV	学歴
EG SPCL PROJ	E&G 特別プロジェクト
GOAL	目標
HON	表彰/報奨
INITIATIVE	イニシアチブ
KOITC	IT Certifications
LIC	免許/資格
LNG	語学力
MEM	会員資格
MISSION	ミッション
NVQ	NVQ
NVQ UNIT	NVQ ユニット
RANK	軍の階級
RESP	責務
SPECL PROJ	特別プロジェクト
SUCCESS	Success Criteria
TST	テスト/検査

[前のページに戻る](#)

コンテンツ セクションの追加ページ

プロフィール タイプに追加できるコンテンツ タイプがリストされます。プロフィール タイプに既に追加されているコンテンツ タイプは通常のテキストで表示され、リンクはありません。

サブセクションを追加している場合は、親セクションのコンテンツ タイプと従属関係にあるコンテンツ タイプが表示されます。詳細は、前のセクションを参照してください。

追加するコンテンツ タイプのリンクをクリックするか、追加をやめる場合は [前のページに戻る] リンクをクリックしてください。

コンテンツ セクションの定義

コンテンツ セクション ページにアクセスします。

プロフィール タイプ

コンテンツ セクション

コンテンツ: 認知 ☒ システム データ

コンテンツ タイプ: COMPETENCY コンテンツ

インスタンス識別子セット 1:

インスタンス識別子セット 2:

☐ 要承認

コンテンツ プロパティ

デフォルトの表示順序 プロパティのリフレッシュ

プロパティ	プロパティ属性	プロパティ名	プロパティ テキスト	ソース	
JPM_CAT_ITEM_ID		Competency	認知		[-]
EFFDT		Effective Date	認知		[-]
EFF_STATUS		Status	認知		[-]
JPM_CAT_TYPE		Content Type	認知		[-]
RATING_MODEL		Rating Model	認知		[-]
JPM_RATING1		Target Proficiency	プロフィール		[-]
JPM_PCT_1		Weight	プロフィール		[-]
JPM_PCT_2		Minimum Weight	プロフィール		[-]
JPM_MANDATORY		Mandatory	プロフィール		[-]
JPM_YN_2		Critical	プロフィール		[-]
JPM_TEXT1325_1		ePerformance Description	認知		[-]

[+ プロパティの追加](#)

コンテンツ セクション ページ (1/2)

セキュリティ

*ルール	更新可	
管理責任者	<input checked="" type="checkbox"/>	
従業員	<input type="checkbox"/>	
責任者	<input checked="" type="checkbox"/>	

[+ ルールの追加](#)

コンテンツ セクション ページ (2/2)

[インスタンス識別子セット 1]

(省略可) このセクションで使用するインスタンス識別子セットを選択します。選択できるのは、セクションのコンテンツ タイプに関連付けられ、値のセットとして定義されているインスタンス識別子のみです。プロンプト レコードに基づくインスタンス識別子セットは選択できません。インスタンス識別子は、インスタンス識別子ページで定義します。

参照: 第 3 章、「プロファイル管理の設定」、「インスタンス識別子の定義」、45 ページ

[インスタンス識別子セット 2]

(省略可) セクションで異なる 2 つのインスタンス識別子セットを使用する場合は、このフィールドで 2 番目のインスタンス識別子セットを選択します。プロンプト レコードに基づくインスタンス識別子のみ選択できます。

[非関連アイテムの追加/削除]

コンテンツ アイテムのレベルで関係が定義されていない場合でもユーザーがプロファイルに関連アイテムを追加できるようにする場合は、このチェック ボックスをオンにします。このチェック ボックスが表示されるのは、定義中のコンテンツ セクションが既存のコンテンツ セクションに関連付けられている場合のみです。

たとえば、“コンピテンシー” のコンテンツ セクションを作成し、“サブコンピテンシー” のサブセクションを追加した場合、“サブコンピテンシー” のコンテンツ セクションにこのチェック ボックスが表示されます。この場合、このチェック ボックスをオンにすると、ユーザーがプロファイルにサブコンピテンシーを追加できることになります。

逆にこのチェック ボックスをオフにした場合、プロファイルでコンピテンシーに関連付けられている場合にのみ、サブコンピテンシーを追加できます。コンテンツ タイプ間の関係は、コンテンツ アイテム - 関連アイテム ページで定義します。

[承認要]

プロファイル アイテムの追加、削除、更新に承認を必要とする場合は、このチェック ボックスをオンにします。

[コンテンツ プロパティ]

コンテンツ セクションを設定している場合、このグループ ボックスには、コンテンツ カタログのコンテンツ タイプに定義されているプロパティがリストされます。必要に応じて、他のプロパティを追加できます。

注: 自由形式コンテンツ タイプの場合、説明フィールド JPM_ADHOC_DESCR のみが唯一のプロパティとして表示されます。必要な他のプロパティはユーザーが追加する必要があります。

[デフォルトの表示順序]

このリンクをクリックすると、プロファイルで表示される順序でプロパティが表示されます。プロパティの順序は、システムで定義されます。

参照: 付録 A、「コンテンツタイプとプロファイル タイプのプロパティ」、「プロファイル タイプのプロパティ」、193ページ

[プロパティのリフレッシュ]

このリンクをクリックすると、現在のコンテンツ タイプ定義に基づいてプロパティのリストが更新されます。コンテンツ タイプ定義と、プロパティソースが“カタログ”であるプロパティとが比較され、プロパティのリストとプロパティ属性がそれに従って更新されます。これにより、コンテンツ セクションを、コンテンツ カatalogのコンテンツ タイプ定義と同期化することができます。

プロファイル タイプにコンテンツ セクションを作成する際には、コンテンツ タイプを追加した時点で最新のコンテンツ タイプ定義が使用されます。その後でそのコンテンツ タイプのプロパティを追加または削除した場合、あるいはプロパティ属性を変更した場合、プロファイル タイプのコンテンツ セクションは自動的に更新されず、変更後の定義に一致しません。[プロパティのリフレッシュ] リンクを使うと、必要に応じてコンテンツ セクションを更新することができます。

[フィールド名]

このプロパティがコンテンツ タイプ定義の一部である場合は、フィールドの名称が表示されます。

新しいプロパティを追加している場合は、使用可能なオプションからフィールド名を選択します。

参照: 第 2 章、「コンテンツ カatalogの設定」、「コンテンツ タイプのプロパティについて」、16ページ

参照: 付録 A、「コンテンツ タイプとプロファイル タイプのプロパティ」、「プロファイル タイプのプロパティ」、193ページ

[ラベル テキスト]

このプロパティがコンテンツ タイプ定義の一部である場合は、フィールドに指定されたラベルが表示されます。新しいプロパティを追加している場合は、プロファイルのページでこのフィールドの表示に使用したいテキストを入力します。

注: プロファイルを作成するときフィールドにどのような情報を入力すべきかユーザーが正しく理解できるように、プロファイルには意味のあるラベルを指定することをお勧めします。

[ソース]

プロパティのソースが表示されます。

[カタログ]: このプロパティがコンテンツ タイプのコンテンツ カatalog定義に含まれている場合。

[プロファイル]: このページからプロパティをコンテンツ セクションに追加した場合。

[プロパティの追加]

このセクションにプロパティを追加する場合は、このリンクをクリックします。

参照: 付録 A、「コンテンツ タイプとプロファイル タイプのプロパティ」、「プロファイル タイプのプロパティ」、193ページ

[プロパティ属性]

[プロパティ属性] タブにアクセスします。

コンテンツ プロパティ											
デフォルトの表示順序											
プロパティのリフレッシュ											
プロパティ	プロパティ属性	必須	*表示	最大長	最小値	最大値	デフォルト値	詳細	サマリ	検索対象	システム デフォルト
JPM_CAT_ITEM_ID	<input checked="" type="checkbox"/>	編集可能	8					<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
EFFDT	<input checked="" type="checkbox"/>	編集可能						<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
EFF_STATUS	<input checked="" type="checkbox"/>	編集可能						<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
JPM_CAT_TYPE	<input checked="" type="checkbox"/>	表示のみ	12					<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
RATING_MODEL	<input checked="" type="checkbox"/>	編集可能	4			PSCM		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
JPM_RATING1	<input type="checkbox"/>	編集可能						<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
JPM_PCT_1	<input type="checkbox"/>	編集可能						<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
JPM_PCT_2	<input type="checkbox"/>	編集可能						<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
JPM_MANDATORY	<input type="checkbox"/>	編集可能						<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
JPM_YN_2	<input type="checkbox"/>	編集可能						<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
JPM_TEXT1325_1	<input type="checkbox"/>	編集可能	1325					<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

コンテンツ セクション ページ - プロパティ属性タブ

[必須]

このプロファイル タイプを使用してプロファイルを作成する際このプロパティを必須にする場合にオンにします。チェック ボックスをオンにすると、プロファイルの設定時にフィールドの入力が必要になります。プロパティのソースが“カタログ”の場合、このチェック ボックスの設定はコンテンツ タイプ定義から継承されるため、変更することはできません。

[表示]

プロファイルのページで入力可能 ([編集可能])、入力不可 ([表示のみ])、または非表示 ([非表示]) のいずれにするかを選択します。[表示のみ] または [非表示] を選択した場合、このプロパティには [デフォルト値] フィールドに入力する値が自動的にロードされます。[編集可能] を選択した場合、プロファイルではデフォルト値が自動的にロードされますが、その値はユーザーが上書きできます。

[最大長]

このフィールドは、文字プロパティにのみ適用されます。プロパティのソースが“カタログ”の場合、コンテンツ カタログで定義されているフィールド長が表示されます。プロファイル タイプにプロパティを追加した場合は、このプロパティのフィールド長を入力します。

[最小値]、[最大値]

このフィールドは、数値プロパティにのみ適用されます。コンテンツ カタログで定義されている数値プロパティの最小値と最大値が表示されます。プロファイル タイプにプロパティを追加した場合は、最小値および最大値を入力します。

[デフォルト値]

コンテンツ カタログに定義されているデフォルト値が表示されます。プロファイル タイプにプロパティを追加した場合は、デフォルト値を入力します。フィールドの定義で [表示のみ] を選択し [必須] チェック ボックスをオンにした場合は、デフォルト値の指定が必要です。

[詳細]

コンテンツ セクションの詳細ページにフィールドを表示する場合は、このチェック ボックスをオンにします。

- [サマリ]** プロファイルを作成または表示する際のサマリ ページにフィールドを表示する場合は、このチェック ボックスをオンにします。“サマリ” と設定されたフィールドは、詳細ページに自動的に表示されます。
- 参照: 第 5 章、「プロフィール管理」、91 ページ
- [検索対象]** プロファイルの検索/比較機能で使用する検索インデックスにこのプロパティを含める場合、このチェック ボックスをオンにします。プロパティが検索可能でない場合、このチェック ボックスは表示専用です。
-
- 注: コンテンツ セクションの他のプロパティを検索対象とする場合は、アイテム ID (JPM_CAT_ITEM_ID) を検索対象にする必要があります。
-
- [セキュリティ]**
- [セキュリティ] グループ ボックスには、プロフィール作成時にコンテンツ セクションにアクセスできるロールがリストされます。
-
- 注: ロールを選択しないと、ユーザーはこのプロフィールを使用してプロフィールを作成できません。
-
- [ロール]** コンテンツ セクションへのアクセスを許可する対象のロールを選択します。使用可能なロール は以下の 3 つです。
- [管理責任者]: 管理責任者は、人材開発の [プロフィール管理] メニューを使用してプロフィールを作成します。
- [従業員]: 従業員は、[セルフサービス]、[研修/能力開発] を使用して自身のプロフィールを作成します。
- [責任者]: 責任者は、[管理者セルフサービス]、[研修/能力開発] で管理者セルフサービス トランザクションを使用します。
- [更新可]** 指定したロールを持つユーザーがプロフィール内のコンテンツ セクションを更新できるようにする場合は、このチェック ボックスをオンにします。このチェック ボックスをオフにした場合、ユーザーはプロフィールのコンテンツ セクションにアイテムを追加できません。
- [ロールの追加]** プロファイル タイプにアクセスできるロールのリストに、別のロールを追加する場合は、このリンクをクリックします。

プロフィール タイプの関連先の設定

プロフィール タイプ - 関連先ページにアクセスします。

属性

識別タイプ

コンテンツ

関連先

プロフィール タイプ: **JOB**

関連先

検索 | 全件表示

最初 1/1 最後

*有効日: 1900/01/01

*ステータス: アクティブ

*名称: 任務

☒ システム データ

プロフィール関連先		カスタマイズ	検索	1/1
*プロフィール関連先	システム データ			
ePerformance Template	<input checked="" type="checkbox"/>			

+ プロフィール関連先の追加

プロフィール タイプ - 関連先ページ

[プロフィール関連先] プロファイル タイプにリンクするオブジェクトを選択します。使用可能なオブジェクトは、プロフィール関連先ページで有効にしたプロフィール関連先のオプションによって異なります。特定のプロフィール タイプ内では、関連先ごとに複数のアクティブ プロファイルを使用できます。

参照: 第 3 章、「プロフィール管理の設定」、「プロフィール関連先の有効化」、55ページ

[プロフィール関連先の追加] プロファイル タイプに別の関連先を追加する場合は、このリンクをクリックします。

プロフィール グループ タイプとプロフィール グループの作成

プロフィール グループを設定するには、プロフィール グループ タイプ コンポーネント (JPM_JP_GTYPE_GRP) とプロフィール グループ コンポーネント (JPM_JP_GROUPS) を使用します。このセクションでは、以下の作業手順について説明します。

- プロファイル グループ タイプの作成
- プロファイル グループの作成

プロフィール グループ タイプとプロフィール グループ の作成に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
プロフィール グループ タイプ	JPM_JP_GTYPE_GRP	[HRMS 基本設定]、[製品/ 業務別定義]、[プロフィール 管理]、[プロフィール]、[プ ロファイル グループ タイプ]	プロフィール グループ タイ プを設定します。
プロフィール グループ	JPM_JP_GROUPS	[HRMS 基本設定]、[製品/ 業務別定義]、[プロファイ ル管理]、[プロフィール]、[プロフィール グループ]	プロフィール グループを 設定します。

プロフィール グループ タイプの作成

プロフィール グループ タイプ ページにアクセスします。

プロフィール グループ タイプ

プロフィール グループ タイプ: KOGLOBAL

*名称:

*検索対象: ☒

プロフィール タイプ		
プロフィール タイプ	名称	
CLUSTER	クラス	
JOB	任務	
ROLE	ロール	

[+ プロファイル タイプの追加](#)

プロフィール グループ タイプ ページ

- [検索対象]** このプロフィール グループ タイプ内のプロフィール グループ全てを検索インデックスに含める場合は、このチェック ボックスをオンにします。
- [プロフィール タイプ]** プロファイル グループ タイプに追加するプロフィール タイプを選択します。プロフィール タイプは、プロフィール タイプ コンポーネントを使って定義します。
- 参照: [第 3 章、「プロフィール管理の設定」、「プロフィール タイプの設定」、56ページ](#)
- [プロフィール タイプの追加]** プロファイル グループ タイプに別のプロフィール タイプを追加する場合は、このリンクをクリックします。

プロファイル グループの作成

プロファイル グループ ページにアクセスします。

プロファイル グループ

プロファイル グループ タイプ: KDGLOBAL Global

プロファイル グループ ID: KOAPAC

名称:

グループ メンバー			
カスタマイズ	検索	全件表示	
最初	1-2/2	最後	
プロファイル ID	名称	プロファイル タイプ	削除
<input type="text" value="100885"/>	Admin Assistant	JOB	
<input type="text" value="100888"/>	General Clerk	JOB	

[+ プロファイルをグループに追加](#)

プロファイル グループ ページ

[プロファイル ID] プロファイル グループに追加するプロファイルを選択します。プロファイルの名称は自動的に表示されます。

[プロファイルをグループに追加] グループに別のプロファイルを追加する場合は、このリンクをクリックします。

XML Publisher のレポートおよびプロファイルを使用するための設定

このセクションでは、XML Publisher のレポートとテンプレートの概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 標準のレポート テンプレートの表示
- 既存テンプレートの修正

XML Publisher のレポートとテンプレートについて

プロファイル管理では、PeopleTools の XML Publisher (XMLP) を使用して、コンテンツ カタログ リストのレポートを生成し、また個人プロファイルおよび非個人プロファイルのオンライン プロファイルおよびプロファイル レポートを生成します。

標準のレポート定義

次の表に、関連する RTF テンプレートの標準レポート定義とデータソースの一覧を示します。

レポート名	内容	データソースタイプ	データソースID
JPM_CATI_RPT	コンテンツアイテムレポート	PS クエリー	JPM_CONTENT_ITEMS
JPM_JPNP_RPT	非個人プロフィール バッチ	XMLDoc	JPM_PROFILE
JPM_JPPP_RPT	個人プロフィール バッチ	XMLDoc	JPM_PROFILE
JPM_NP_PROF	非個人プロフィール オンライン	XMLDoc	JPM_PROFILE
JPM_PP_PROF	個人プロフィール オンライン	XMLDoc	JPM_PROFILE

標準のデータソース

次の表では、標準の各データソースについて説明します。

データソースID	説明
JPM_CONTENT_ITEMS	コンテンツアイテムレポート専用の PS クエリー。
JPM_PROFILE	行セットにより構造化される XML ドキュメント。全てのプロフィールレポートが同じデータ構造を使用します。このデータ構造には全てのデータエレメントが含まれており、個人プロフィールと非個人プロフィールのどちらのレポートテンプレートにも使用できます。

提供されているテンプレート

レポートのフォーマットとして、コンテンツとレイアウトを指定する 3 つのテンプレート ファイルが提供されています。

- コンテンツ アイテム レポート用のテンプレート
- オンラインとバッチ両方の個人プロフィール レポート用のテンプレート
- オンラインとバッチ両方の非個人プロフィール レポート用のテンプレート

ユーザーのレポート要件に応じて、標準のテンプレート ファイルを修正することができます。各テンプレートの修正後には、対応するレポート定義にアップロードする必要があります。プロフィール レポートの 1 つのインスタンスを修正し、更新後の同じテンプレート ファイルを対応する両方のレポート定義に割り当てることができます。

参照: 第 3 章、「プロフィール管理の設定」、「標準のレポートテンプレートの表示」、73 ページ

参照: 第 3 章、「プロフィール管理の設定」、「既存テンプレートの修正」、74 ページ

プロフィール レポートのノード

次の表では、プロフィール レポートのレポート ノードについて説明します。

ノード	データ エLEMENTのサマリ
JPM_PROFILE	プロフィールに関連する上位データELEMENT。
JPM_IDENTITY_WK	プロフィール識別タイプおよびプロフィール関連先。
JPM_JP_SECTION	プロフィールタイプで定義されているセクション。
JPM_JP_CRITM_VW	プロフィールのセクションのプロフィールコンテンツアイテム。コンテンツタイプで使われるかどうかにかかわらず、全てのプロパティが含まれています。
JPM_CATITMAXD_VW	コンテンツカタログでのコンテンツアイテムの定義。コンテンツタイプで使われるかどうかにかかわらず、全てのプロパティが含まれています。
RUN_PARAMETERS	レポートの生成に使用される条件。

関連項目:

Enterprise PeopleTools PeopleBook: XML Publisher for PeopleSoft Enterprise

第 7 章、「コンテンツ カタログ レポートとプロフィール レポートの実行」、175ページ

第 5 章、「プロフィール管理」、91ページ

第 2 章、「コンテンツ カタログの設定」、9ページ

事前設定

XML Publisher レポートを使用するには、PeopleSoft インテグレーション ブローカーと PeopleSoft プロセス スケジューラを設定して、PeopleSoft レポート マネージャを導入する必要があります。

関連項目:

Enterprise PeopleTools PeopleBook: PeopleSoft Integration Broker

Enterprise PeopleTools PeopleBook: PeopleSoft Process Scheduler

Enterprise PeopleTools PeopleBook: XML Publisher for PeopleSoft Enterprise

XML Publisher のレポートとテンプレートの表示および修正に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
定義	PSXPRPTDEFN	[レポートツール]、[XML Publisher]、[レポート定義]、[定義]	レポートのプロパティを表示し、データスキーマとデータソースをダウンロードまたは表示します。
テンプレート	PSXPRPTTMPL	[レポートツール]、[XML Publisher]、[レポート定義]、[テンプレート]	既存のテンプレートを表示または更新します。
設計ヘルパー	PSXPSETUPDWNL	[レポートツール]、[XML Publisher]、[設定]、[設計ヘルパー]	テンプレートの設計と修正を可能にするプラグインをダウンロードします。

関連項目:

Enterprise PeopleTools PeopleBook: XML Publisher for PeopleSoft Enterprise、Using XML Publisher,” Creating Report Definitions

標準のレポート テンプレートの表示

テンプレート ページにアクセスします。

テンプレート ページ

既存テンプレートの表示

[ダウンロード]

新しいウィンドウで RTF テンプレートを開く、または選択した場所に RTF テンプレートを保存する場合にクリックします。

[プレビュー]

データ ソースに登録されているサンプル データを使用してレポートの例を表示する場合にクリックします。

注: 個人プロファイルのオンライン レポートとバッチ レポートは、同じ個人プロファイル用テンプレート ファイルを共有します。同様に、非個人プロファイルのオンライン レポートとバッチ レポートも、非個人プロファイル用テンプレート ファイルを共有します。

既存テンプレートの修正

既存テンプレートの末尾には、テンプレート作成後にコンテンツ タイプに追加したアイテムがあればその ID と名称を出力する 2 つのセクションがあります。新しいアイテムについてそれより詳細な情報を表示する場合には、テンプレートに追加のセクションを作成して、表示するデータを定義する必要があります。

レポートでは、オンライン表示用に設定したプロファイル タイプ定義に基づいて、プロファイルのタブ番号およびセクション連番の順で、コンテンツ アイテムがグループ化されて表示されます。テンプレートに新しいセクションを配置したかどうかにかかわらず、レポートでの表示順序はレポートのソート順で決定されます。レポートの表示順序を変更するには、ソートを編集する必要があります。新しいセクションを適切にソートするためには、レポートの運用ロジックで正しいループ内に追加することも必要です。

注: XML Publisher を十分に理解してから標準テンプレートを修正するようにしてください。

テンプレートを修正するための設定

既存テンプレート修正の準備をするには、次の手順に従います。

1. テンプレートを修正できるように、設計ヘルパー ページにアクセスして、Microsoft Word 用のプラグイン設計ヘルパーをダウンロードします。
2. 適切なレポート定義の定義ページにアクセスして、データ スキーマおよびサンプル データ ファイルをダウンロードする各リンクをクリックします。
3. テンプレート ページで、編集しようとする既存 RTF テンプレートの行にある [ダウンロード] をクリックします。

テンプレートでの新しいセクションの作成

新しいセクションを作成するには、次の手順に従います。

1. `<?when: JPM_JP_SECTION.JPM_CAT_TYPE=...end when?>` で定義されているセクション全体をコピーし、テンプレートに貼り付けます。
2. 追加するアイテムを識別するように、条件ステートメントを修正します。
3. レポートに表示したいデータを識別するように、テーブルにフィールドを挿入します。
4. 変更後のテンプレートに任意のファイル名および .rtf ファイル拡張子を付けて (*.rtf) 保存します。

変更後のテンプレートのアップロード

変更したテンプレートをアップロードするには、次の手順に従います。

1. テンプレート ページの [テンプレート ファイル] スクロール領域に、新しい有効日の行を追加します。
以下のオプションを更新します。

[有効日]	このテンプレートを使用するレポートおよびプロファイルの印刷と表示を始める日付を入力します。
[ステータス]	新しいテンプレートに、[アクティブ] ステータスを選択します。
2. [アップロード] をクリックし、変更したテンプレート ファイルを選択します。

3. 最後の 2 つの手順を繰り返して、オンラインとバッチ両方のレポート定義に新しい定義を指定します。

関連項目:

Enterprise PeopleTools PeopleBook: XML Publisher for PeopleSoft Enterprise, “Setting Up XML Publisher,” Working with Template Design Helpers

Enterprise PeopleTools PeopleBook: XML Publisher for PeopleSoft Enterprise, “Appendix B: Creating Report Templates”

第 4 章

プロフィールの検索/比較の設定

この章では、プロフィールの検索/比較の概要と、以下の方法について説明します。

- 検索の設定
- 検索インデックスの作成

プロフィールの検索/比較について

プロフィールの検索/比較機能は、PeopleTools の一部として提供される Verity 検索エンジンを使用して、プロフィールを検索および比較します。プロフィールの検索/比較を使うと、従業員、管理者、プロフィール管理責任者は選択した検索条件に一致するプロフィールを検索することができます。検索は、プロフィール タイプとユーザーに対して設定します。検索タイプの例を以下に示します。

- 従業員は、自分の個人プロフィールに一致する職務を検索できます。
- 管理者は、直属の部下を選択して、同じような能力を持つ従業員をチームから検索できます。
- 管理者は、予定している人材募集のプロフィールに一致する従業員をチームから検索できます。
- プロファイル管理責任者は、任務プロフィールを選択して、同じような任務プロフィールを検索できます。

組織での検索タイプは、検索設定ページで定義します。各検索に定義する項目は以下のとおりです。

- 検索を実行できるユーザー。

従業員、管理者、プロフィール管理責任者のうち 1 つまたは複数のロールに検索を設定できます。ユーザーが実行できるのは、ユーザーのロールに定義されている検索のみです。また、検索結果には、ユーザーが適切な権限を割り当てられているプロフィールしかリストされません。たとえば、管理者が人材募集に一致する従業員を検索する場合、検索結果にはその管理者のチームに属する従業員のみが含まれます。

- ソースおよびターゲットのプロフィール タイプ。

ソースおよびターゲットとは、検索で比較される 2 つのプロフィール タイプのことです。ソースは検索条件の基準となるプロフィール タイプであり、ターゲットは一致するプロフィールを検索する対象となるプロフィール タイプです。たとえば、従業員が自分の個人プロフィールに一致する職務を検索する場合、ソースがその従業員の個人プロフィール タイプになり、ターゲットが任務プロフィール タイプになります。

- 条件ルール。

[条件ルール] フィールドでは、検索の 2 つの側面を定義します。

- ユーザーが検索に選択したプロフィールに基づいて検索条件を自動的に設定するかどうか。

条件ルールとして [デフォルト値使用/変更可] または [デフォルト値使用/変更不可] を選択した場合、ユーザーが検索に選択したソース プロフィールを使用して検索条件が自動的に設定されます。

- ユーザーが検索条件を表示および調整できるかどうか。

条件ルールとして[デフォルト値使用/変更不可]を選択した場合、検索条件のページを表示せずに検索条件が自動的に設定されます。それ以外の条件ルールを選択した場合は、検索条件のページが表示され、検索の実行前にユーザーが条件を調整できます。

- 検索結果に一度にリストされるプロファイルの最大数。

プロファイルの検索/比較では、プロファイル タイプ定義が基準となるため、プロファイル タイプによって検索結果がどう異なるかを理解することが重要です。ユーザーが検索を選択すると、次のように検索条件が作成されます。

1. 検索条件に含めるコンテンツ セクションを識別します。

ソースとターゲットのプロファイル タイプを比較し、どのコンテンツ セクションがソースとターゲットの両方に出現しているかを識別します。検索条件には、ソースとターゲットのプロファイル タイプに共通のコンテンツ セクションのみが含まれます。

2. 前のステップで識別された各コンテンツ セクションについて、検索条件に含めるプロパティを識別します。

ターゲット プロファイル タイプで検索可能と定義されたプロパティのみが含まれます。

参照: 第 3 章、「プロファイル管理の設定」、「プロファイル タイプの設定」、56ページ

検索条件の例

プロファイルの検索/比較の動作を示すために、プロファイル管理責任者が特定の任務プロファイルに一致する従業員を検索する例を考えてみます。この例では、以下のようになります。

- ソース プロファイル タイプが JOB。
- ターゲット プロファイル タイプが PERSON。

JOB プロファイル タイプには、次のコンテンツ セクションと、検索可能なプロパティがあると仮定します。

コンテンツ セクション	検索可能なプロパティ
コンピテンシー	JPM_CAT_ITEM_ID (コンピテンシー) JPM_RATING1 (目標能力レベル)
学位	JPM_CAT_ITEM_ID (学位) COUNTRY (国)
テスト/検査	JPM_CAT_ITEM_ID (テスト)
責務	JPM_CAT_ITEM_ID (責務) JPM_YN_2 (重要)

PERSON プロファイル タイプには、次のコンテンツ セクションと、検索可能なプロパティがあると仮定します。

コンテンツ セクション	検索可能なプロパティ
コンピテンシー	JPM_CAT_ITEM_ID (コンピテンシー ID) JPM_RATING1 (能力レベル) JPM_INTEREST_LEVEL (関心レベル)
学位	JPM_CAT_ITEM_ID (学位) COUNTRY (国) MAJOR_CODE (専攻コード)
学歴	JPM_CAT_ITEM_ID (学歴) SCHOOL_CODE (学校コード) COUNTRY (国) AVERAGE_GRADE (平均成績)
テスト/検査	JPM_CAT_ITEM (テスト)

この例で、検索条件は次のとおりです。

コンテンツ セクション	プロパティ
コンピテンシー	JPM_CAT_ITEM_ID (コンピテンシー) JPM_RATING1 (目標能力レベル) JPM_INTEREST_LEVEL (関心レベル)
学位	JPM_CAT_ITEM_ID (学位) COUNTRY (国) MAJOR_CODE (専攻コード)
テスト/検査	JPM_CAT_ITEM_ID (テスト)

次の点に注意してください。

- “責務”と“学歴”は、ソースかターゲットの一方のプロファイル タイプにしか存在しないコンテンツ セクションなので、検索条件には該当しません。
- 検索条件には、ターゲット プロファイル タイプで検索可能と定義されたプロパティのみが含まれています。
- 検索条件ページでは、ソースとターゲット両方のプロファイル タイプで定義されているプロパティについて、ソース プロファイル タイプで定義されているラベルが表示されます。

この例の場合、プロパティ JPM_RATING1 のラベルは、ソース プロファイル タイプで“目標能力レベル”、ターゲット プロファイル タイプで“能力レベル”です。ユーザーが検索を実行すると、検索条件ページにおける JPM_RATING1 フィールドのラベルは“目標能力レベル”となります。

重要度プロパティおよび必須プロパティ

検索条件ページでは、検索条件に含まれる各コンテンツ セクションに対して重要度 (JPM_IMPORTANCE) および必須 (JPM_MANDATORY) のプロパティが表示されます。ユーザーが以下のように調整を可能なように、この 2 つのフィールドは自動的に追加されます。

- [必須] チェック ボックスを使うと、一致するプロファイルに存在しなければならないプロファイル アイテムをユーザーが指定できます。

プロファイル アイテムの [必須] チェック ボックスをオンにすると、そのプロファイル アイテムを含み、かつ検索条件と同じプロパティ値を持つプロファイルのみが検索結果に含まれます。たとえば、検索条件に “0100 – Abstract Thinking” というアイテムが含まれ、そのアイテムの能力レベルが “3 – 良” である場合、このアイテムを必須に指定すると、検索結果にはこのアイテムと能力レベルの両方を含むプロファイルのみが含まれることになります。アイテムがあっても能力レベルが異なるプロファイルは、検索結果に含められません。

コンテンツ セクション定義に必須プロパティが含まれる場合、プロファイルにおけるチェック ボックスの設定が検索条件のデフォルト値として使用されますが、ユーザーはそのデフォルトを変更できます。

- [重要度] フィールドを使うと、重要度が最高または最低であるプロファイル アイテムを定義できます。

検索を実行すると、Verity 検索エンジンが [重要度] フィールドを使用して、一致するプロファイルのランクを決定します。デフォルト値は “3 – 平均” ですが、条件ルールに応じてユーザーがこの値を変更できます。

条件ルールを [デフォルト値使用/変更不可] とし、ユーザーによる検索条件の変更を許可しない検索の場合は、自動的にデフォルト (3 – 平均) の重要度が割り当てられます。

参照: [第 5 章、「プロファイル管理」、「プロファイルの検索と比較」、124ページ](#)

検索フィルタ

ターゲット プロファイル タイプに検索可能なプロファイル グループ タイプを設定している場合、検索条件ページには [検索フィルタの追加] リンクが追加されます。検索フィルタを使うと、ユーザーが検索対象を特定のプロファイル グループに絞り込むことができます。

この動作を示すために、次のような例を考えてみます。

- プロファイル グループ タイプ GLOBAL にプロファイル タイプ JOB が含まれている。
- GLOBAL に対するプロファイル グループは、REGION1、REGION2、REGION3。

JOB をターゲット プロファイル タイプとして検索する場合、ユーザーは検索フィルタのリンクを使って REGION1、REGION2、REGION3 の中から 1 つまたは複数のプロファイル グループを選択します。検索結果は、選択したプロファイル グループに属するプロファイルに限定されます。検索フィルタの機能は、組織のプロファイル数が多い場合に特に役立ちます。

参照: [第 5 章、「プロファイル管理」、「プロファイルの検索と比較」、124ページ](#)

参照: [第 3 章、「プロファイル管理の設定」、「プロファイル グループ タイプとプロファイル グループの作成」、68ページ](#)

検索の設定

ユーザーが使用する検索タイプの定義には、検索設定の定義コンポーネント (JPM_SRCH_CFG) を使用します。このセクションでは、検索タイプの設定方法について説明します。

検索タイプの設定に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
検索設定	JPM_SRCH_CFG	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[プロフィール管理]、[プロフィール]、[検索設定の定義]、[検索設定]	従業員、管理者、プロフィール管理責任者に対してプロフィール検索を設定します。

検索タイプの設定

検索設定ページにアクセスします。

検索設定ページ

- [オブジェクト オーナー ID] [HCM プロファイル管理] を選択して、プロフィール管理の検索を表示および定義します。
- [サブ アプリケーション ID] このフィールドは、プロフィール検索では常に空白のままにします。プロフィール管理では使用しません。
- [ソース プロファイル] 検索条件の基準として使用するプロフィール タイプを選択します。
- [ターゲット プロファイル] 一致するプロフィールを検索する対象となるプロフィール タイプを選択します。
- [検索名] この検索のわかりやすい名称を入力します。従業員、管理者、プロフィール管理責任者がプロフィールの検索/比較の種類を選択するとき、この検

[条件ルール]

索名が表示されます。そのため、検索名は検索の内容を正確に表すものにしてください。

次のオプションの中から 1 つを選択します。

[デフォルト値使用/変更可]: ユーザーが選択するプロファイルのデータを使用して検索条件が自動的に設定され、検索条件ページに表示されます。このオプションでは、検索の実行前にユーザーが検索条件を調整できます。

[デフォルト値使用/変更不可]: ユーザーが選択するプロファイルのデータを使用して検索条件が自動的に設定され、すぐに検索が実行されます。ユーザーが検索条件を調整しない場合は、このオプションを使用してください。

[デフォルト値なし/条件指定 (アドホック)]: 検索条件を設定せずに検索条件ページが表示されます。このタイプの検索では、ユーザーが最初から検索条件を設定する必要があるため、プロファイル タイプに関する知識が必要です。通常は、プロファイル管理責任者によるアドホック検索を実行可能にする場合に、このオプションを使用します。

[最大表示件数]

検索結果に一度に表示されるプロファイルの最大数を入力します。たとえば、最大数を 10 に指定すると、一度に 10 件のプロファイルがリストされます。検索結果でそれ以上のプロファイルを表示するには、“次へ” や “前へ” のリンクをクリックします。

**[任務プロファイル管理
ロール]**

検索を利用できるロールを追加します。オプションは、[管理責任者]、[責任者]、[従業員] です。

検索インデックスの作成

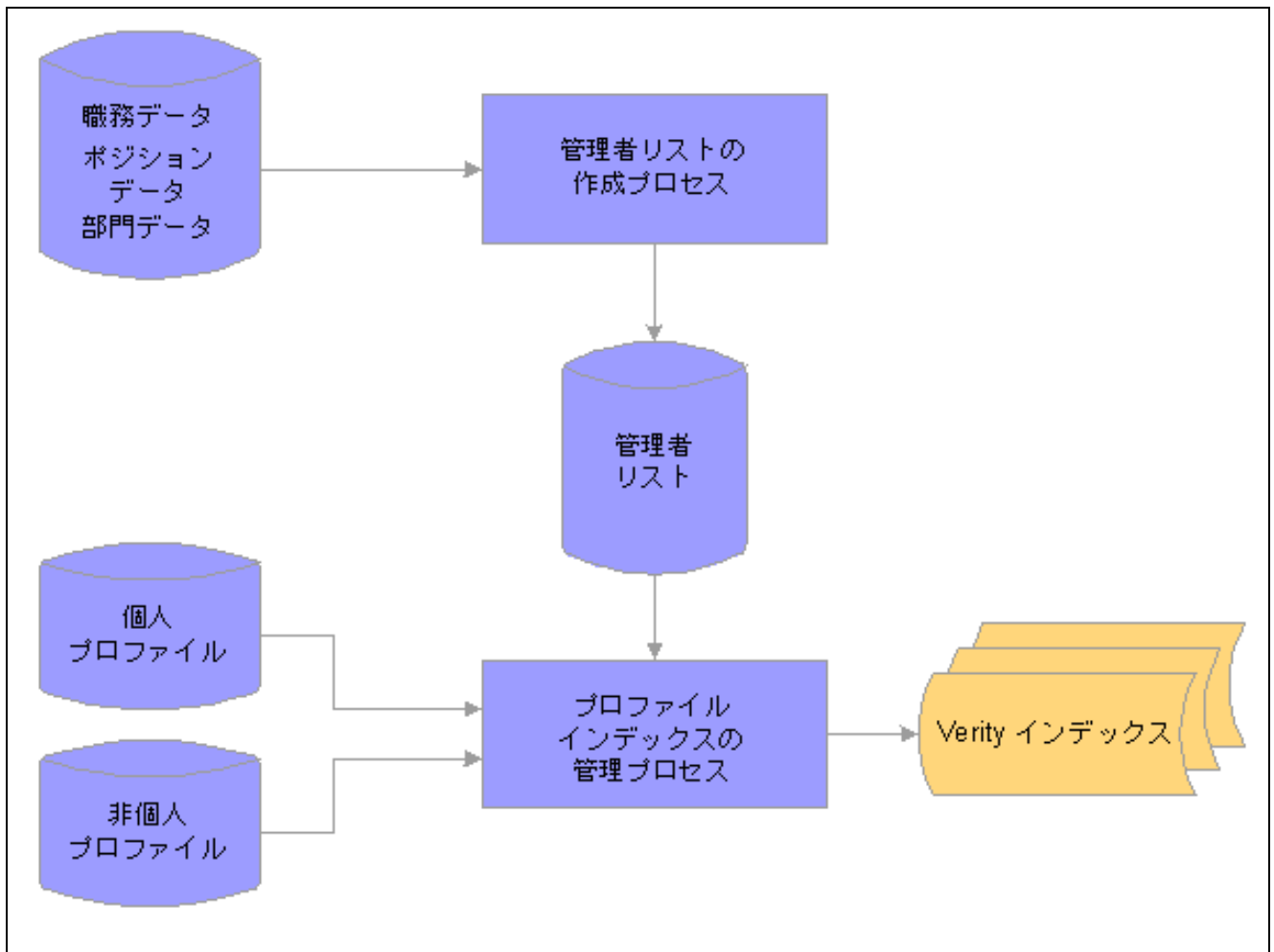
このセクションでは、検索インデックスと Verity インデックスの管理の概要および事前設定の一覧を示し、以下の作業を行う方法について説明します。

- 管理者リストの作成プロセスの実行
- プロファイル インデックスの管理プロセスの実行

検索インデックスについて

プロファイルの検索/比較では、Verity 検索エンジンを使用して、検索結果を生成し、一致するプロファイル間での比較を実行します。検索を実行する際、Verity 検索エンジンはシステム内のプロファイルに関するデータを含んだ一連の Verity インデックスを使用します。直接データベース テーブルを検索するわけではありません。

次の図は、管理者リストの作成プロセスおよびプロファイル インデックスの管理プロセスを使用して Verity インデックスを作成する方法を示したものです。



プロフィールの検索/比較のための Verity インデックス管理プロセス

管理者リストの作成プロセス

管理者リストの作成アプリケーション エンジン プロセス (JPM_DR_UNLD) では、個人に属する各職務の管理者のレコードである管理者リストを作成します。プロセスが組織の管理者情報を取得する方法は、プロフィール管理インストール設定ページのナビゲーション メソッド フィールドで決まります。選択できるオプションは、[2 – 監督者 ID]、[3 – 部門管理者 ID]、[4 – 直属上司のポジション]、[5 – ポジション/監督者 ID]、[6 – ポジション/部門管理者] です。

参照: 第 3 章、「プロフィール管理の設定」、「プロフィール管理の設定」、40ページ

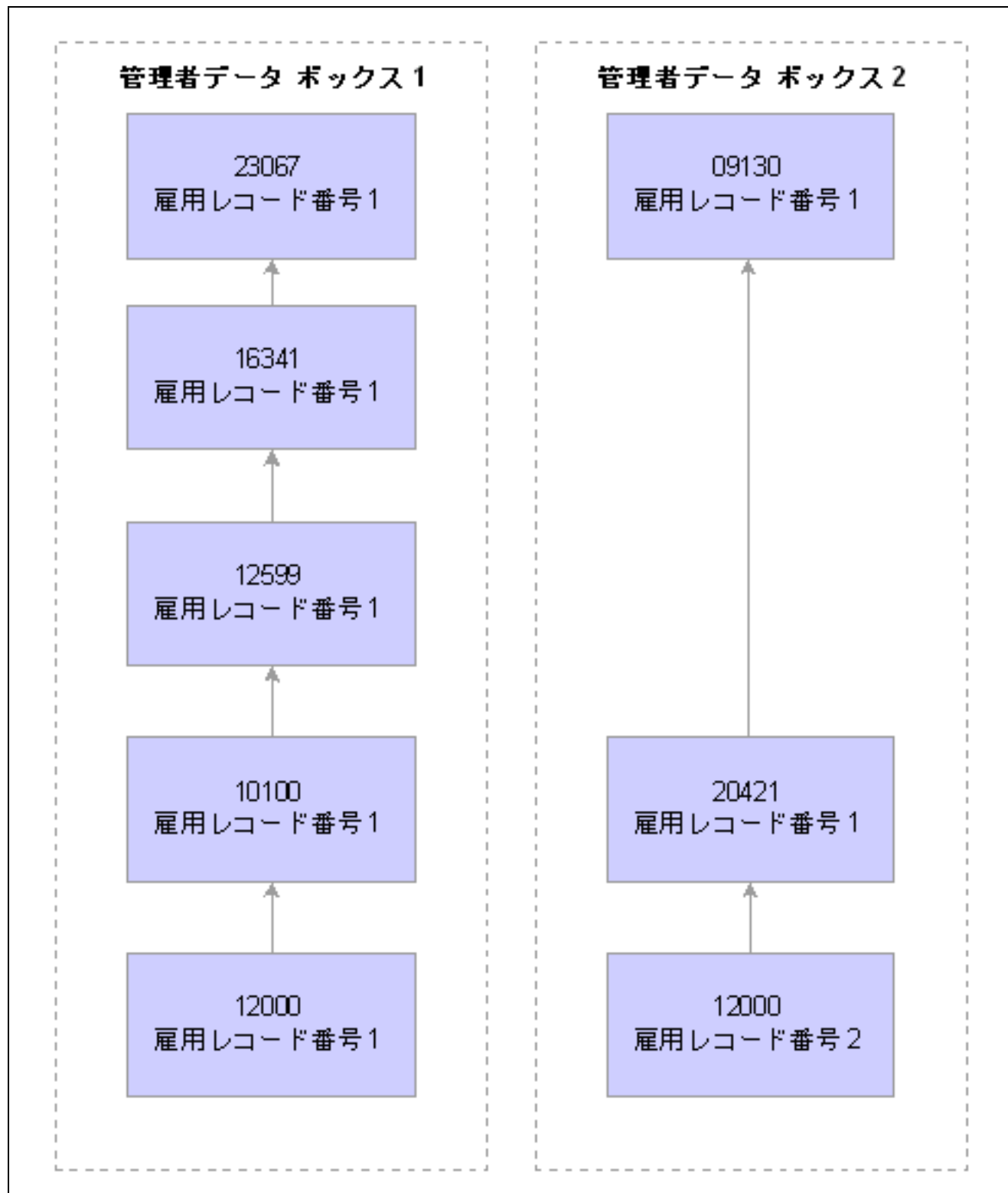
参照: PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「共通コンポーネントの使い方」、「直属部下機能の設定」

管理者リストの作成プロセスの実行には 2 つのモードがあります。

- [完全 – 全データ再作成] では、完全な管理者リストを作成し、既存のデータは上書きされます。
- [差分 – 1 雇用レコード] では、従業員 ID および雇用レコード番号で特定の雇用レコード (職務) を指定して、その管理者情報を更新します。

差分モードでプロセスを実行する場合、選択した雇用レコードに対する管理者情報と、それに関連する直属関係が更新されます。

差分モードにおける管理者リストの作成プロセスの動作を示すために、2 つの雇用レコード（雇用レコード番号 1 および 2）を持つ従業員 12000 の直属関係を考えてみます。



直属関係の例

次の表は、この従業員の各雇用レコードに対する直接および間接の管理者を示しています。

個人 ID	雇用レコード番号	更新後の管理者データ
12000	1	管理者データ ボックス 1
12000	2	管理者データ ボックス 2

プロフィール インデックスの管理プロセス

プロフィール インデックスの管理アプリケーション エンジン プロセス (JPM_BLD_INDEX) では、1 つまたは全てのプロフィール タイプに対して Verity インデックスを作成します。Verity インデックスは、プロフィールの検索/比較に含めたいプロフィール タイプごとに作成します。以下の場合のプロフィール タイプに対しては、Verity インデックスを作成できません。

- 非アクティブである。
- テンプレート プロファイル タイプである。

プロフィール タイプを設定する際、プロフィール タイプ – 識別タイプ ページで、そのプロフィール タイプがエンド プロファイルかテンプレート プロファイルかを指定することができます。全てのプロフィール 識別タイプについて [テンプレート] チェック ボックスのみをオンにした場合、そのプロフィール タイプはテンプレート プロファイル タイプと見なされます。たとえば、標準で提供されている CLUSTER プロファイル タイプはテンプレート プロファイル タイプです。

- 検索可能なプロパティを持っていない。

プロフィール タイプのコンテンツ セクションを設定する際、Verity インデックスに追加したいプロパティには [検索対象] チェック ボックスをオンにします。どのコンテンツ セクションにも検索可能なプロパティがない場合、Verity インデックスを作成することはできません。

このプロセスでは、プロフィール タイプ定義を使用して、Verity インデックスに追加するプロパティ情報を決定します。インデックスに追加されるのは、プロフィール タイプで検索可能と定義されたプロパティのみです。アクティブなプロフィール、そのプロフィール内のプロフィール アイテム、および検索可能なプロパティが取得され、インデックスに追加されます。プロフィール タイプの種類が“個人” のプロフィール タイプの場合は、プロフィール インデックスの管理プロセスによってプロフィールに関連付けられた個人 ID の管理者リスト データが取得されます。検索可能と定義されているプロフィール グループ タイプに属するプロフィール タイプの場合は、そのプロフィール グループも Verity インデックスに追加されます。

このプロセスで作成される Verity インデックスは、データベースとは別のものです。ある時点におけるデータベースのスナップショットであるため、定期的にインデックスを更新しない限り、データベース内のプロフィールとの同期は維持されません。

Verity 収集データはディレクトリ \$PS_HOME\data\search¥ データベースにあるため、アプリケーション サーバーとプロセス スケジューラは、同じファイル サーバーの \$PS_HOME ディレクトリにアクセスする必要があります。

プロフィール インデックスの管理プロセスは、データベースから情報を取得し、それをプロセス スケジューラ サーバー上の Verity 形式ファイルにロードします。Verity インデックス アプリケーションは、このファイルを検索用のインデックスに変換します。プロフィール インデックスの管理プロセスはコードのみをインデックス化するため、サポートされるのは 1 言語 (ENG) のみです。

プロフィール インデックスの管理プロセスでは、次の 2 つのファイルが作成されます。

- INPUT_ENG.BIF
- INPUT_ENG.DAT

BIF は Verity ドキュメントを定義するファイルで、インデックスにおける Verity フィールドの全ての情報と、DAT ファイルへのポインタ (オフセットおよびサイズの形で) が含まれています。DAT ファイルには Verity ゾーンが含まれます。Verity アプリケーションは、ユーティリティ mkvdk を使用して、これら 2 つのファイルからインデックスを作成します。

Verity インデックスの管理について

管理者リストと Verity インデックスは、管理者リストの作成プロセスおよびプロファイル インデックスの管理プロセスを前回実行した時点での管理者とプロファイル データのスナップショットです。プロファイルの検索/比較で正確な結果を得られるように、これらのプロセスを定期的に行い、管理者リストと Verity インデックスを更新してください。

プロファイル インデックスの管理プロセスの実行には 2 つのモードがあります。

- [インデックスの新規作成] では、選択したプロファイル タイプに対して Verity インデックスを作成または再作成します。
- [既存インデックスの更新] では、既存の Verity インデックスを更新します。

プロファイルの更新を反映する、または新しいプロファイル Verity インデックスに追加するには、このモードで定期的にプロセスを実行します。このプロセスは、すぐに実行することも、プロセス スケジューラを使用してシステムの利用負荷が低いときに定期的に行うようにスケジュールすることもできます。

以下のような変更が行われた場合は、“インデックスの新規作成” モードでプロファイル インデックスの管理プロセスを実行します。

- 検索可能なプロパティを持つ新しいプロファイル タイプを定義した。
- [検索対象] チェック ボックスをオンにしたプロパティがある。

検索可能ではなかったプロパティで [検索対象] チェック ボックスをオンにした場合は、そのタイプのプロファイルに対するインデックスにこのプロパティを追加するために Verity インデックスを再作成する必要があります。

- 優先順位を変更したインスタンス識別子がある。

プロファイル インデックスの管理プロセスでは、プロファイル タイプのコンテンツ セクションにインスタンス識別子を関連付けるとき、優先順位のフィールドを使用して Verity インデックスに追加するプロファイル アイテム行を決定します。優先順位が最も高く、同じ優先順位のうち有効日が最も新しい行がインデックスの対象として選択されます。

プロファイル インデックスの管理プロセスで、プロファイルの行がどのようにインデックス対象として選択されるかを示すために、評価タイプを識別するインスタンス識別子セットを定義してある例について説明します。次の表は、インスタンス識別子の値とそれに関連付けられた優先順位の一覧です。

インスタンス識別子	名称	優先順位	検索対象
A	Approved (承認済)	10	Y
R	Supervisor/Manager (監督者/管理者)	20	Y
S	SELF	30	Y

注: [優先順位] フィールドの値が大きいほど、優先順位は低くなります。この例では、優先順位の最も高いインスタンス識別子が A で、最も低いのが S です。

この例で、従業員のプロフィールにはコンピテンシー 0010、0200、0120 に対する 3 つのプロファイル アイテムがあります。次の表は、そのプロフィール アイテム行の一覧です。

コンピテンシー	日付	能力レベル	評価タイプ
0010	2006 年 5 月 1 日	3 - 良	A
0010	2006 年 6 月 21 日	4 - 優	S
0200	2006 年 6 月 21 日	4 - 優	S
0200	2006 年 6 月 21 日	5 - 専門	R
0120	2006 年 1 月 30 日	2 - 可	A
0120	2006 年 5 月 1 日	2 - 可	A

次の表は、このプロフィールで Verity インデックスに追加される行の一覧です。

コンピテンシー	日付	能力レベル	評価タイプ
0010	2006 年 5 月 1 日	3 - 良	A
0200	2006 年 6 月 21 日	5 - 専門	R
0120	2006 年 5 月 1 日	2 - 可	A

次の点に注意してください。

- コンピテンシー 0010 の場合、有効日は“2006 年 6 月 1 日”という日付の行の方が最新ですが、優先順位はインスタンス識別子 (A) の方が高い (値が最小) ので、その行が選択されています。
- コンピテンシー 0200 の場合、2 つの行の有効日が同じです。この場合、優先順位の最も高いインスタンス識別子 (R - 監督者/管理者) を割り当てられた行が選択されます。
- コンピテンシー 0120 の場合、有効日が新しい行が選択されています。

注: プロンプト レコードによって定義されるインスタンス識別子は検索可能ではないため、Verity インデックスには追加されません。

参照: 第 3 章、「プロフィール管理の設定」、「インスタンス識別子の定義」、45 ページ

HCM イベント マネージャによるプロフィール変更の追跡

検索可能なプロフィール (したがって Verity インデックスの対象) に対する変更は、HCM イベント マネージャを使用して追跡することができます。従業員、管理者、プロフィール管理責任者がプロフィールを作成または更新する際には、変更のタイプに応じて以下のいずれかのイベントがトリガされます。

- JPMProfileAdded
ユーザーが新しいプロフィールを作成する場合、このイベントがトリガされます。
- JPMProfileUpdated

ユーザーが新しいプロファイル アイテムを追加、既存のプロファイル アイテムを更新、またはプロファイル アイテムを削除する場合、このイベントがトリガされます。たとえば、従業員がコンピテンシーに対する新しい評価を追加して自分のプロファイルを更新した場合、JPMPProfileUpdated イベントがトリガされます。また、管理者リストの作成プロセスを差分モードで実行し、選択した雇用レコードの管理者情報を更新した場合にも、このイベントがトリガされます。

プロファイルが作成または更新されると、イベント ハンドラ UpdateVerityIndex によってトリガ テーブル JPM_IDX_UPDCTL にトリガが追加されます。“既存インデックスの更新” モードで実行した場合、プロファイル インデックスの管理プロセスは、このトリガ テーブルにアクセスして、インデックス作成に選択するプロファイルを決めます。

参照: PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「HCM イベント マネージャの使い方」

事前設定

管理者リストの作成プロセスを実行する前に、プロファイル管理インストール設定ページのナビゲーション メソッド フィールドを定義する必要があります。ナビゲーション メソッドでは、組織の直属関係を指定します。

プロファイル インデックスの管理プロセスを実行する前に、コンテンツ カタログの設定、プロファイル タイプの定義、HCM イベント マネージャの設定が必要です。イベントレジストリで、JPMPProfileAdded イベントと JPMPProfileUpdated イベントのイベント ステータスをアクティブに設定します。

関連項目:

第 2 章、「コンテンツ カタログの設定」、9 ページ

第 3 章、「プロファイル管理の設定」、35 ページ

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「HCM イベント マネージャの使い方」

検索インデックスの作成に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
管理者リストの作成	RUNCTL_JPM_DR	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[プロファイル管理]、[プロファイル]、[管理者リストの作成]、[管理者リストの作成]	管理者リストの作成プロセスを実行して、管理者リスト情報を作成または更新します。
プロファイル インデックスの管理	RUNCTL_JPM_INDX	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[プロファイル管理]、[プロファイル]、[プロファイル インデックスの管理]、[プロファイル インデックスの管理]	プロファイル インデックスの管理プロセスを実行して、プロファイルの検索/比較に必要な Verity インデックスを作成または更新します。

管理者リストの作成プロセスの実行

管理者リストの作成ページにアクセスします。

管理者リストの作成

ラン コントロール ID: 01

[レポート マネージャ](#)
[プロセス モニター](#)

実行

アンロード モード

差分 - 1 雇用レコード

?

ナビゲーション メソッド

5 - ポジション/監督者 ID

コミット間隔

1000

合計処理数

0

雇用レコード情報

従業員 ID

KU0001

?

Douglas Lewis

雇用レコード番号

0

?

差分モード

差分モードで実行する場合は、上のボックスに雇用レコード情報を指定する必要があります。

管理者リストの作成ページ

[アンロード モード]

次のモードの中から 1 つを選択します。

[完全 - 全データ再作成] - 完全な管理者リストを作成します。プロセスにより既存のデータは上書きされます。

[差分 - 1 雇用レコード] - 従業員 1 人の雇用レコード データを更新します。このオプションを選択すると、[雇用レコード情報] グループ ボックスが表示されます。1 雇用レコードのモードで実行すると、その雇用レコードの管理者情報が更新され、該当する各管理者の直属関係がチェックされ更新されます。直属関係の最上位に達するまで、処理は反復して続行されます。

選択したラン コントロール ID を使用した前回の実行時にプロセスが失敗した場合、[アンロード モード] フィールドは表示専用になります。[再実行情報] グループ ボックスが表示されます。

[コミット間隔]

監督者リストの作成プロセスが変更をデータベースに保存するまでに処理される雇用レコードの数を入力します。雇用レコードとは、個人 ID と雇用レコード番号を組み合わせて定義される個人の職務です。

このフィールドのデフォルトは 1000 です。通常、この値を変更する必要はありません。ただし、システム リソースに問題がある場合は、このフィールドでデータベース更新の間隔を調整することができます。

[ナビゲーション メソッド]

プロフィール管理インストール設定ページで選択したナビゲーション メソッドが表示されます。

参照: 第 3 章、「プロフィール管理の設定」、「プロフィール管理の設定」、40 ページ

[合計処理数]

監督者リストの作成プロセスが進行中の場合、処理されてデータベースに保存された雇用レコードの数がこのフィールドに表示されます。前回の実行時にプロセスが正常に完了しなかった場合は、プロセスがエラー終了する前に保存された雇用レコード数が表示されます。

プロセスが正常に終了した場合、このフィールド表示されません。

〔雇用記録情報〕

監督者リストの作成プロセスによってデータを更新する従業員を選択します。このグループ ボックスは、[アンロード モード] フィールドで [完全 - 全データ再作成] を選択した場合は表示されません。

〔再実行情報〕

前回の実行時に管理者リストの作成プロセスが正常に終了しなかった場合、このグループ ボックスが表示されます。選択したラン コントロール ID を使用してこのプロセスを実行すると処理される [従業員 ID] と [雇用記録番号] が表示されます。この雇用記録の処理は自動的に再開されるため、このグループ ボックスの詳細は変更できません。

〔プロセス情報〕

このグループ ボックスは、管理者リストの作成プロセスが進行中に表示されます。最後に処理されデータベースに保存された [従業員 ID] と [雇用記録番号] が表示されます。

プロフィール インデックスの管理プロセスの実行

プロフィール インデックスの管理ページにアクセスします。

プロフィール インデックス

ラン コントロール ID: 01

[レポート マネージ](#)
[プロセス モニター](#)

実行

実行リクエスト パラメータ

*インデックス作成モード:

インデックスの新規作成

*プロフィール タイプ:

個人

プロフィール インデックスの管理ページ

〔インデックス作成モード〕 次の値の中から 1 つ選択します。

[インデックスの新規作成]: 新しいインデックスを作成します。

[既存インデックスの更新]: 選択したプロフィール タイプの既存のインデックスを更新します。

〔プロフィール タイプ〕

プロセスを実行する対象のプロフィール タイプを選択するか、全プロフィール タイプに対してプロセスを実行する場合は [All Profile Types] を選択します。テンプレート プロフィール タイプとして定義されているプロフィール タイプは含まれません。

第 5 章

プロフィール管理

この章では、プロフィール管理の概要と以下の方法について説明します。

- プロファイルの管理
- プロファイル変更の承認
- プロファイルの検索と比較
- 希望任務リストの管理
- 研修の追跡管理

プロフィール管理について

この章では、プロフィール管理責任者がプロフィール管理のオプションを使用して実行できる以下の項目について説明します。

- 個人プロフィールと非個人プロフィールの作成。

個人プロフィールは個人の ID にリンクしたプロフィールであり、非個人プロフィールは職務コードやポジション、任務などのビジネス エンティティを表します。

- プロファイル変更の確認と承認。

プロフィール タイプの設定によっては、従業員が自身の個人プロフィールを更新したときや、管理者が非個人プロフィールを変更したとき承認ワークフローがトリガされます。通常は、管理者が従業員の個人プロフィールへの変更を承認し、プロフィール管理責任者が非個人プロフィールの変更を承認します。

- 特定の条件に一致するプロフィールの検索の実行。

管理責任者は、プロフィールの検索/比較を使用して、設定された検索タイプの任意の検索を実行します。

- プロファイルの比較。

プロフィール管理責任者は、1 つのソース プロファイルと 1 つ以上のターゲット プロファイルのコンテンツを比較できます。プロフィールの比較オプションでは、共通するコンテンツ セクションのサマリが読みやすいフォーマットで提供されます。

- 希望任務リストの管理。

希望任務リストとは、従業員に関連付けられている非個人プロフィールの集まりです。希望任務リストにはどのようなプロフィールでも追加できますが、従業員が応募に関心を持っている職務や、従業員のプロフィールに一致する職務の識別に使用されるのが一般的です。従業員は、セルフサービストランザクションを使用して自身の希望任務リストを管理しますが、管理者やプロフィール管理責任者も希望任務リストに対してプロフィールの追加または削除を行うことができます。

- 研修の追跡管理。

プロフィール管理責任者は、プロフィール管理を使って、教育・研修管理ビジネス プロセスで管理される研修の研修履歴にアクセスすることができます。またプロフィール管理を使うと、教育・研修管理で管理されない他のタイプの研修も追跡できます。

従業員と管理者のセルフサービス トランザクションについては、『PeopleSoft Enterprise eDevelopment-人材開発 9.0 PeopleBook』を参照してください。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise eDevelopment-人材開発 9.0 PeopleBook、「プロフィールの管理」

事前設定

プロフィール管理責任者がプロフィールの作成、プロフィール変更の承認、プロフィールの検索を行う前に、以下の作業が必要です。

- コンテンツ カタログの定義。
- プロファイル タイプの定義。
- (省略可) プロファイル承認の定義と設定。

プロフィール承認処理の使用はオプションです。承認ワークフローは、プロフィール タイプに関連付けられます。

- 検索タイプの定義と、プロフィールの検索/比較機能に必要な管理者リストの作成プロセスおよびプロフィール インデックスの管理プロセスの実行。

関連項目:

第 2 章、「コンテンツ カタログの設定」、9 ページ

第 3 章、「プロフィール管理の設定」、35 ページ

第 4 章、「プロフィールの検索/比較の設定」、77 ページ

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「承認の設定と使い方」

プロフィールの管理

このセクションでは、プロフィールとプロフィール タイプ、プロフィールのコピー、インポート、シンジケートの概要および事前設定と共通フィールドの一覧を示し、以下の方法について説明します。

- 個人プロフィールの作成と更新
- 非個人プロフィールの作成と更新
- プロファイル アイテム詳細の追加、更新、表示
- 関連プロフィール アイテムの追加
- プロファイル アイテム行の表示
- 個人プロフィールとキャリア プランとの同期
- インポートまたはシンジケートするプロフィールの選択

- シンジケートのソースおよびターゲットの表示
- 個人プロフィール変更の送信
- 非個人プロフィール変更の送信
- シンジケート例外の確認
- シンジケート例外の詳細の確認

プロフィールとプロフィール タイプについて

プロフィール管理責任者は、個人プロフィール ページと非個人プロフィール ページを使ってプロフィールを作成および管理します。次の図に示すように、どちらのページもフォーマットは似ています。

The diagram illustrates the layout of a profile page. It consists of a central column of eight rectangular boxes, each representing a different section of the page. The boxes are stacked vertically and are separated by thin horizontal lines. The entire stack is enclosed within a larger, light blue rectangular frame. The sections, from top to bottom, are:

- ヘッダー
- 承認情報
- タブ
- コンテンツ セクション
- タブ
- プロフィール識別タイプ (非個人プロフィール)
- プロフィール グループ
- プロフィール関連先 (非個人プロフィール)

プロフィールのフォーマット

以下に、プロフィールの各部分について説明します。

- ヘッダー。

ヘッダーには、プロフィール ID、プロフィール タイプ、プロフィール ステータス、有効日などの一般情報が表示されます。個人プロフィールの場合、ヘッダーに個人 ID も含まれます。

- 承認情報。

このセクションには、保存済み（ただし承認のために送信されていない）、承認待ち、承認済み、却下の各プロフィール アイテムの数を示すリンクがあります。

注: プロファイル ページに表示されるのは承認済みのアイテムのみです。まだ承認されていない新しいプロフィール アイテム、既存アイテムへの変更、削除はプロフィールのタブには表示されません。未承認の変更を表示するには、プロフィールのこの領域にあるリンクを使用します。

- タブ。

プロフィールのコンテンツは、リンクとしてナビゲーション バーに表示されるタブに分かれています。タブを選択すると、そのタブに定義されているコンテンツ セクションが表示されます。ナビゲーション バーは、タブのコンテンツ セクションの上と下に表示されます。プロフィールに表示されるタブの名称と順序は、プロフィール タイプによって決まります。

- コンテンツ セクション。

タブは 1 つ以上のコンテンツ セクションで構成されています。コンテンツ セクションは、プロフィール タイプによって定義されています。ユーザーは、コンテンツ セクションにプロフィール アイテムを追加できます。

- プロフィール識別タイプ（非個人プロフィールのみ）。

非個人プロフィール ページでは、[プロフィール識別タイプ] スクロール領域に、プロフィールのリンク先であるエンティティがリストされます。使用可能なプロフィール識別タイプは、選択したプロフィール タイプによって決まります。たとえば、プロフィール タイプで職務コードとプロフィールとのリンクが許可されている場合、ユーザーはプロフィールの各職務コードに行を挿入できますが、プロフィールをポジション番号にリンクすることはできません。アクティブなプロフィールは、少なくとも 1 つのプロフィール識別タイプにリンクされている必要があります。

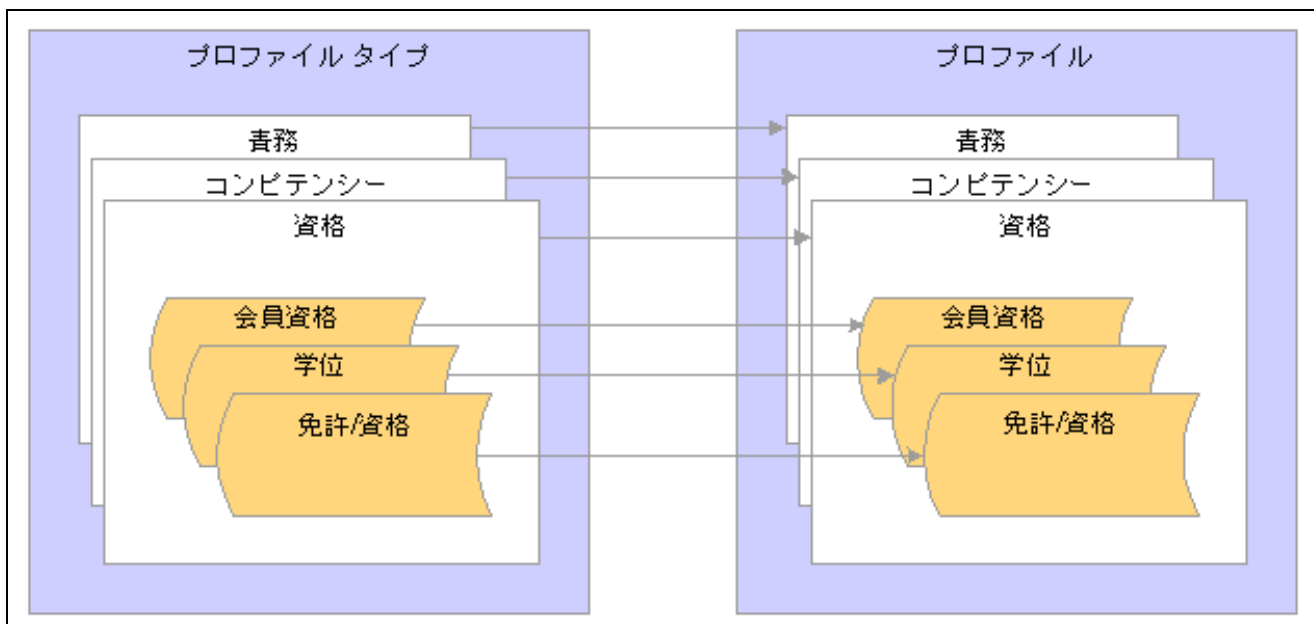
- プロフィール グループ。

プロフィールをプロフィール グループで分類する場合、[プロフィール グループ] スクロール領域を使用して、プロフィール グループ タイプとプロフィール グループをリストします。

- プロフィール関連先（非個人プロフィールのみ）

非個人プロフィール ページでは、[プロフィール関連先] スクロール領域に、プロフィールの関連先であるエンティティがリストされます。プロフィール関連先とは、ePerformance-パフォーマンス管理のテンプレートのように、プロフィール管理ビジネス プロセス外部のエンティティです。使用可能なプロフィール関連先は、プロフィール タイプによって定義されます。

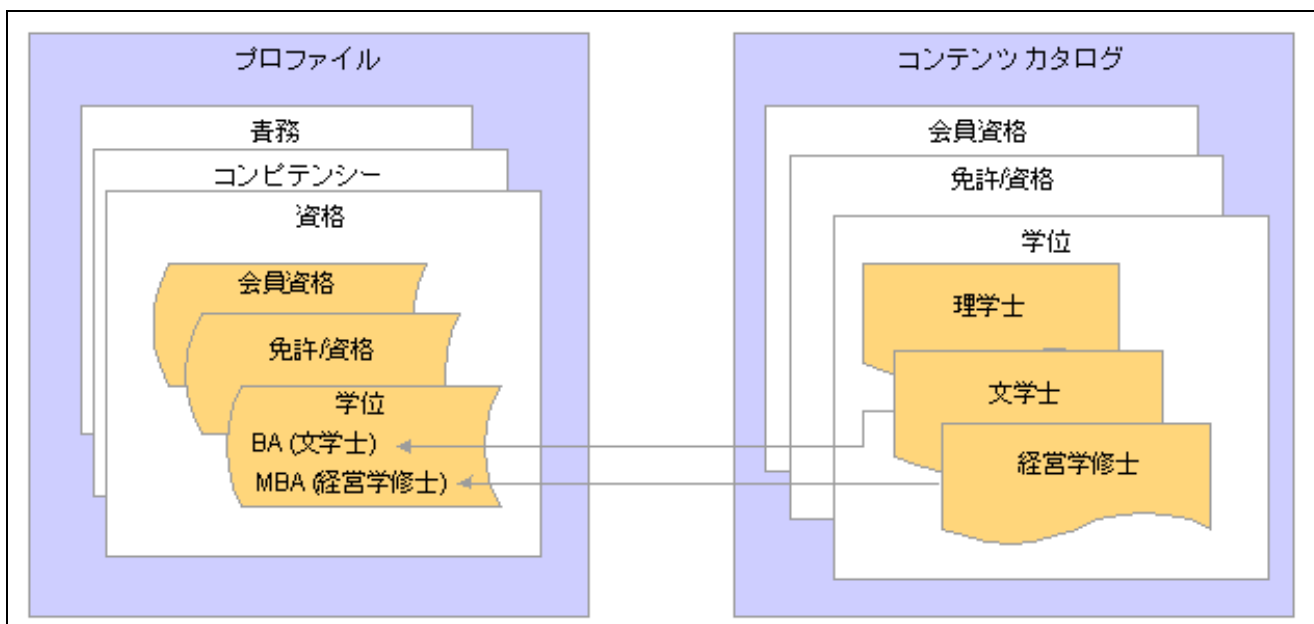
次の図は、プロフィールのタブとコンテンツ セクションが、プロフィール タイプのタブとコンテンツ セクションによってどのように定義されるかを示しています。



プロフィールとそれに関連付けられるプロフィール タイプとの関係

プロフィール タイプはプロフィールの構造を提供するもので、実際のコンテンツは含んでいません。プロフィールを作成するには、コンテンツ カタログで使用可能なコンテンツ アイテムを選択することによって、コンピテンシーや学歴情報などのプロフィール アイテムを追加します。

次の図は、コンテンツ カタログで定義されている学位から選択して、“学位”のコンテンツ セクションを完成する方法を示したものです。



プロフィールへのアイテムの追加

注: プロファイルの更新時に承認ワークフローがトリガされるかどうかと、プロフィールの各セクションをどのユーザー ロールが表示および更新可能かは、プロフィール タイプによって決まります。

参照: 第 3 章、「プロフィール管理の設定」、「プロフィール タイプの設定」、56 ページ

プロフィールのコピー、インポート、シンジケートについて

関連する複数のプロフィールでは、同じプロフィール アイテムが使用されることがよくあります。たとえば、従業員のプロフィールに使用されるプロフィール アイテムは、職務コードやポジションのプロフィールでも使用されます。類似または関連する職務の非個人プロフィールにも、共通のプロフィール アイテムがあるかもしれません。プロフィールの作成および管理のプロセスを効率化するために、プロフィール管理ではプロフィール アイテムをコピーする方法が 3 つ用意されています。次の方法があります。

- 関連する非個人プロフィールから個人プロフィールに、プロフィール アイテムをロードする。

個人プロフィール ページの [プロフィール アクション] フィールドには、[任務プロフィールからコピー] というオプションがあり、関連プロフィールのリストから非個人プロフィールを選択することができます。非個人プロフィールのうちどれが従業員に関連するかは、従業員の職務データレコードを検索して決定されます。従業員が複数の職務を持っている場合は、その個人のアクティブな職務全てから、一致する非個人プロフィールがチェックされます。たとえば、従業員の職務コード、ポジション、給与等級に一致するアクティブなプロフィールがチェックされます。

- 非個人プロフィール間でコンテンツをインポートする。

コンテンツをインポートすると、プロフィール アイテムがソース プロファイルからターゲット プロファイルにコピーされます。インポートの後でソース プロファイルに変更があっても、ターゲット プロファイルには影響しません。コンテンツのインポートには、非個人プロフィール ページにある [コンテンツのインポート/シンジケート] リンクを使用します。

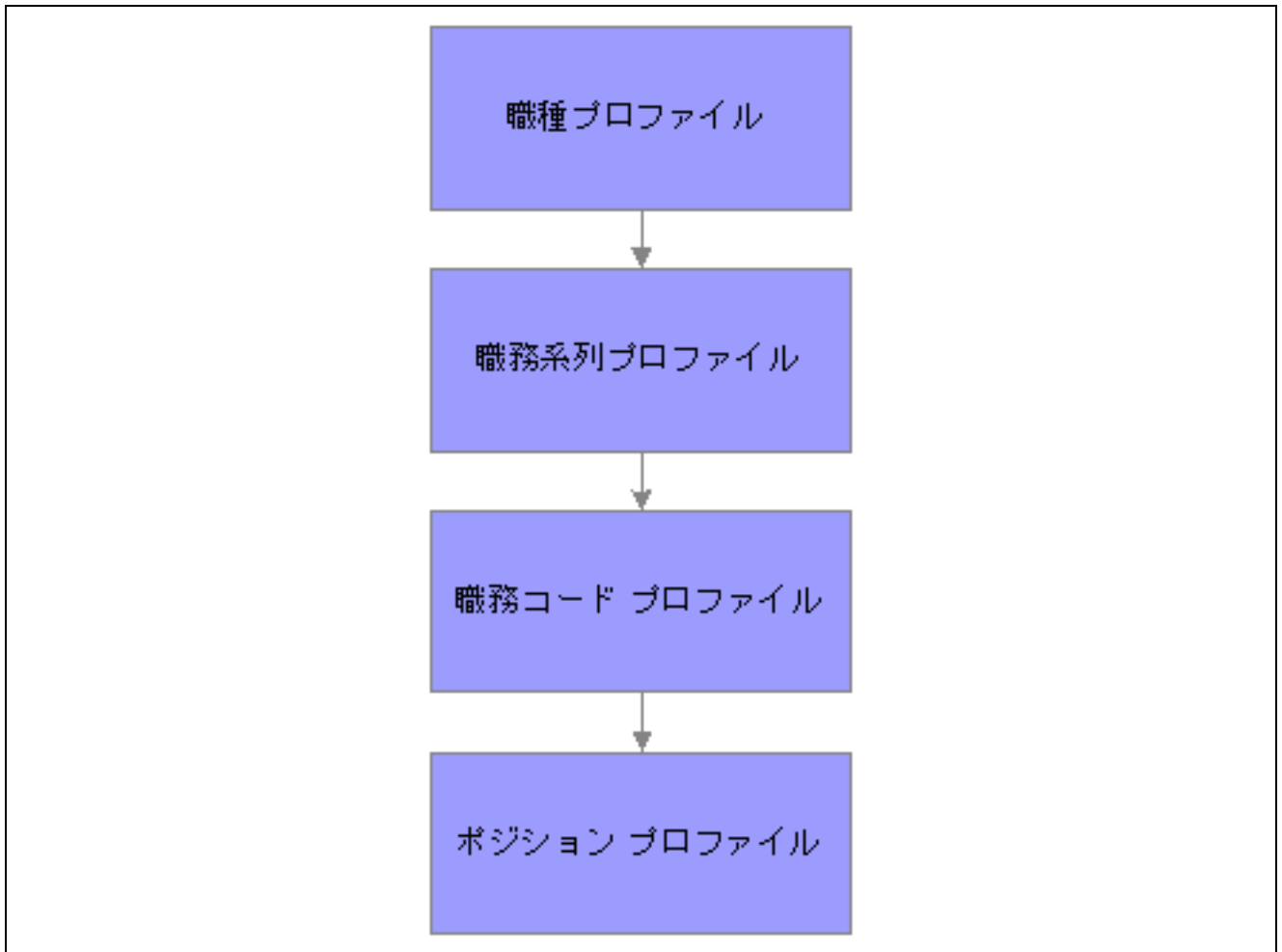
- 非個人プロフィール間でコンテンツをシンジケートする。

コンテンツをシンジケートすると、プロフィール アイテムがソース プロファイルからターゲット プロファイルにコピーされます。ただしシンジケートの場合、シンジケートされたコンテンツを含むソース プロファイルとターゲット プロファイルの間に関係も設定されます。シンジケートされたコンテンツが更新されると、その変更がターゲット プロファイルにも自動的に反映されます。コンテンツのシンジケートには、非個人プロフィール ページにある [コンテンツのインポート/シンジケート] リンクを使用します。

注: 任務プロフィールからコピー、インポート、シンジケートの各アクションでは、ターゲットのコンテンツ タイプ定義で定義されているプロパティがコピーされます。非個人 (ソース) プロファイル タイプにあるその他のプロパティはコピーされません。ターゲット プロファイルに、ソース プロファイルで使用されていない追加のプロパティがある場合、それらのプロパティに定義されているデフォルト値が使用されます。デフォルト値は、プロフィール タイプによって、またはアプリケーション デザイナのレコードで定義することができます。

シンジケートの設定

シンジケートを使うとプロフィール管理責任者は、共通のコンテンツをソース プロファイルで一度だけ設定し、複数のターゲット プロファイルにコピーすることができるため、管理の負荷が軽減されます。また、一連の関連プロフィールを通じてコンテンツをシンジケートすることもできます。次の図は、職種プロフィールを設定し、職務系列、職務コード、ポジション番号の各プロフィール階層を通じてコンテンツをコピーできるよう示しています。



カスケーディング シンジケート

カスケーディング シンジケートを設定する場合、同じような階層形式で使用するようにしてください。

シンジケートを設定するには、シンジケートのソース プロファイルにあるアイテムがターゲット プロファイルに既に含まれている場合にどうなるかを考慮する必要があります。たとえば、複数のソース プロファイルから 1 つのターゲット プロファイルにコンテンツをシンジケートする場合、ソース プロファイルには同じアイテムが異なる値で使用されている可能性があります。これらはシンジケート例外と呼ばれています。この場合、ターゲット プロファイルはソース プロファイルからの値で更新され、既存の値が上書きされます。

シンジケート例外の表示には、シンジケート例外の確認ページを使用します。

事前設定

コンテンツをシンジケートする前に、次の設定を行います。

- パブリッシュとサブスクライブ用のアプリケーション サーバーを設定します。
- インテグレーション ブローカーを設定してアクティブにします。

以下を確認します。

- HCR_EVENT_MANAGER キューが実行されている。
- サービス オペレーション HCR_EM_EVENT がアクティブである。
- 関連付けられたルーティング定義がアクティブである。

- HCM イベント マネージャを設定します。

イベント JPMPProfileItemsUpdated と、それに対応するイベント ハンドラをアクティブにします。イベントとハンドラについてログ記録も有効にすることをお勧めします。

関連項目:

Enterprise PeopleTools PeopleBook: PeopleSoft Integration Broker

Enterprise PeopleTools PeopleBook: System and Server Administration

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「HCM イベント マネージャの使い方」

このセクションで使用する共通フィールド

ステータス

次の値の中から 1 つ選択します。

[アクティブ]: プロファイル タイプが承認を必要としない場合に、このプロフィールを他のユーザーも使用できるようにするには、ステータスを [アクティブ] に更新します。

[非アクティブ]: 非アクティブなプロフィールは、従業員と管理者のセルフサービスでは使用できません。ステータスを [非アクティブ] に更新すると、プロフィールは所属しているプロフィール グループから削除されます。

非個人プロフィールを作成する場合、デフォルトのステータスは [非アクティブ] です。ステータスを [アクティブ] に更新できるのは、このプロフィールが 1 つ以上のプロフィール識別タイプにリンクされ、承認された場合のみです。従業員と管理者は、アクティブな非個人プロフィールしか表示できません。

プロフィール タイプ

新しいプロフィールのプロファイル タイプを選択します。既存のプロフィールを更新する場合、このフィールドは表示専用です。プロフィールに表示されるタブは、[プロフィール タイプ] によって決定されます。

参照: 第 3 章、「プロフィール管理の設定」、「プロフィール タイプの設定」、56 ページ

プロフィール アクション

このフィールドは非個人プロフィール ページと個人プロフィール ページに表示されます。以下の操作を行う場合は、アクションを選択して [実行] ボタンをクリックします。

[プロフィールの検索/比較]: 検索を実行。プロフィールの検索ページが表示されます。

[従業員の希望任務リスト]: 個人の希望任務リストにプロフィールを追加。このプロフィール アクションは、非個人プロフィール ページからのみ使用できます。個人検索ページが表示され、希望任務リストを更新する従業員を検索できます。

[任務プロフィールからコピー]: 非個人プロフィールから従業員のプロフィールにアイテムをコピー。“任務プロフィールからのアイテムのコピー” ページが表示され、従業員のアクティブな職務に関連するプロフィールがリストされます。このプロフィール アクションは、個人プロフィール ページからのみ使用できます。

[キャリア プランにリンク]: 従業員のプロフィールとキャリア プランの間でアイテムを転送。プロフィールからキャリア プランに転送するアイテムを選択するか、キャリア プランからプロフィールにアイテムをインポートすることが

できます。このプロフィール アクションは個人プロフィール ページからのみ使用でき、プロフィール タイプが PERSON である必要があります。

[却下アイテムの表示]: 承認のために送信されたが承認者に却下されたプロフィール アイテムを表示。

[承認待ちアイテムの表示]: 承認のために送信されたプロフィール アイテムを表示。

[保存アイテムの表示]: 保存されたが送信されていないプロフィール アイテムを表示。これには、追加、修正、削除されたプロフィール アイテムも含まれます。[送信] ボタンをクリックすると、これらのアイテムは承認のために送信されます。承認が不要な場合、アイテムは自動的に承認済みになります。

[関連任務プロフィールの表示]: 従業員の職務データに関連する非個人プロフィールのリストを表示。非個人プロフィールのうちどれが従業員に関連するかは、従業員の職務データ レコードを検索して決定されます。従業員が複数の職務を持っている場合は、その個人のアクティブな職務全てから、一致する非個人プロフィールがチェックされます。このプロフィール アクションは、個人プロフィール ページからのみ使用できます。

プロフィールの管理に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
個人プロフィール	JPM_PROFILE_PERS	[人材開発]、[プロフィール管理]、[プロフィール]、[個人プロフィール]	個人プロフィールを作成および更新します。
非個人プロフィール	JPM_PROFILE1	[人材開発]、[プロフィール管理]、[プロフィール]、[非個人プロフィール]	非個人プロフィールを作成および更新します。
新規追加 - <コンテンツタイプ>、更新 - <コンテンツタイプ>	JPM_PROF_DTL_SEC	非個人プロフィール ページまたは個人プロフィール ページでプロフィール アイテム ID をクリック。 非個人プロフィール ページまたは個人プロフィール ページで [新規追加 - <コンテンツタイプ>] リンクをクリック。	プロフィール アイテムの詳細を表示および更新します。このページを使用してプロフィール アイテムを追加することもできます。
関連アイテム	JPM_PROF_DETAIL	新規追加 - <コンテンツタイプ> ページまたは更新 - <コンテンツタイプ> ページで関連するコンテンツのリンクをクリック。	選択したプロフィール アイテムに関連するプロフィール アイテムを追加、更新、表示します。
全ての行の表示	JPM_PROF_HIST_SEC	個人プロフィール ページまたは非個人プロフィール ページで [全ての行を表示] アイコンをクリック。	プロフィール アイテムで有効日付きの行を全て表示します。

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
保存アイテム, 承認待ちアイテム, 却下アイテム	JPM_JP_PRF_VW_CHGS	<ul style="list-style-type: none"> 個人プロフィール ページまたは非個人プロフィール ページで、保存アイテムへのリンクをクリック、または [プロフィール アクション] フィールドで [保存アイテムの表示] を選択。 個人プロフィール ページまたは非個人プロフィール ページで、承認待ちアイテムへのリンクをクリック、または [プロフィール アクション] フィールドで [承認待ちアイテムの表示] を選択。 個人プロフィール ページまたは非個人プロフィール ページで、却下アイテムへのリンクをクリック、または [プロフィール アクション] フィールドで [却下アイテムの表示] を選択。 	保存済み、承認待ち、または却下されたプロフィール アイテムをリストします。保存されたアイテムのみ編集可能です。承認のために送信されたアイテムは変更できません。
任務プロフィールからのアイテムのコピー	JPM_COPY_PROFL_SEC	個人プロフィール ページの [プロフィール アクション] で [任務プロフィールからコピー] を選択して、[実行] ボタンをクリック。	プロフィール アイテムのコピー元として選択できる任務プロフィールをリストします。プロフィール アイテムのコピー元プロフィールを選択して、[選択] ボタンをクリックします。選択したプロフィール アイテムが、従業員のプロフィールに追加されます。
プロフィールの選択	JPM_JP_REL_PRF_EMP	個人プロフィール ページの [プロフィール アクション] で [関連任務プロフィールの表示] を選択して、[実行] ボタンをクリック。	従業員の職務データに関連する任務プロフィールをリストします。表示したいプロフィールを選択して [選択] ボタンをクリックします。非個人プロフィール ページが表示されます。
キャリア プラン/プロフィール 管理のリンク	COMP_STRDVLP_SEC	個人プロフィール ページの [プロフィール アクション] で [キャリア プランにリンク] を選択して、[実行] ボタンをクリック。	従業員のプロフィールとそのキャリア プランの間でプロフィール アイテムを転送します。
非個人プロフィール - プロファイルとカタログの検索	JPM_PROF_SRCH_SEC	非個人プロフィール ページで [コンテンツのインポート/シンジケート] リンクをクリック。	コンテンツのインポート元またはシンジケート元のプロフィールを選択します。

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
非個人プロフィール-シンジケートソース/ターゲット	JPM_PROF_SYND_SEC	非個人プロフィール ページで[シンジケートソース/ターゲット]リンクをクリック。	シンジケートのソースプロフィールとターゲットプロフィールを表示します。シンジケートされたコンテンツをこのページで削除することもできます。
プロフィール識別タイプの検索	JPM_JP_PID_SRCH	非個人プロフィール ページで[プロフィール識別タイプ]スクロール領域にある[検索]ボタンをクリック。	プロフィールに追加するプロフィール識別タイプを検索します。
プロフィール関連先の検索	JPM_JP_P_ASSC_SRCH	非個人プロフィール ページで[プロフィール関連先]スクロール領域にある[検索]ボタンをクリック。	プロフィールに追加するプロフィール関連先を検索します。
個人プロフィール-変更サマリ	JPM_JP_PERSUMM_SEC	個人プロフィール ページの[送信]ボタンをクリック。	個人プロフィールに対して行った変更がリストされます。承認のために変更を送信する場合は[送信]ボタンをクリックし、個人プロフィール ページに戻る場合は[キャンセル]をクリックします。
非個人プロフィール-変更サマリ	JPM_JP_NPSUMM_SEC	非個人プロフィール ページの[送信]ボタンをクリック。	非個人プロフィールに対して行った変更がリストされます。承認のために変更を送信する場合は[送信]ボタンをクリックし、非個人プロフィール ページに戻る場合は[キャンセル]をクリックします。
承認	JPM_JP_PROFL_APPR	<ul style="list-style-type: none"> 個人プロフィール-変更サマリ ページで[送信]ボタンをクリック。 非個人プロフィール-変更サマリ ページで[送信]ボタンをクリック。 	変更が送信されたことを確認します。承認が必須の場合、[承認状況]グループボックスに承認パスのサマリが表示されます。ここには、承認者の数と、承認の順番が示されます。
シンジケート例外の確認	JPM_JP_SYND_EXC1	[人材開発]、[プロフィール管理]、[プロフィール]、[シンジケート例外]	プロフィールのシンジケート例外を表示します。シンジケート例外は、複数のソースプロフィールからコンテンツアイテムをシンジケートする際に、各ソースプロフィールからのプロパティ値が異なる場合に発生します。
例外の詳細	JPM_JP_SYND_EX_SEC	シンジケート例外の確認 ページで[詳細の確認]リンクをクリック。	例外の発生したプロフィール アイテムの詳細を表示します。

個人プロフィールの作成と更新

個人プロフィール ページにアクセスします。

個人プロフィール

従業員 ID: KU0119

Susan Hoinck

写真

プロフィール タイプ: PERSON

個人

*プロフィール ステータス: アクティブ

ステータス更新日: 2006/01/24 31

*名称: Susan Hoinck

コメント:

プロフィール アクション: アクションの選択...

実行

✓

プロフィール アイテムは正常に保存されました。プロフィール アクションの "保存アイテムの表示" でこれらのアイテムを確認できます。

★ 1 アイテムが保存されています。

🕒 2 アイテムが未承認です。

✓ 3 アイテムが承認済みです (2006/09/05 以降)。

🚫 3 アイテムが却下されています (2006/09/05 以降)。

コンピテンシー	責務	資格	学歴	NVQ
プロジェクト	階級			

▼ コンピテンシー (承認必須)

検索 | 全件表示 | 最初 | 1-5/5 | 最後

ID	コンピテンシー	能力レベル	
0205	Teamwork and cooperation	2 - 可	🗑
0209	Team leadership	2 - 可	🗑
0400	Persuasive	3 - 良	🗑
0401	Strategically influences	3 - 良	🗑
0402	Influences	3 - 良	🗑

+

新規追加 - コンピテンシー

コンピテンシー	責務	資格	学歴	NVQ
プロジェクト	階級			

▶ プロファイル グループ

+

プロフィールをグループに追加

個人プロフィール ページ (1/2)

コンテンツ
プロジェクト

責務
階級

資格

学歴

NVQ

プロフィール グループ

+ プロファイルをグループに追加

保存送信キャンセル

個人プロフィール ページ (2/2)

次の例に示すように、プロフィールはリンクとして表示されるタブに分かれています。

コンテンツ
プロジェクト

責務
階級

資格

学歴

NVQ

タブの例

タブ名をクリックすると、そのタブのコンテンツ セクションが表示されます。

注: プロファイルに表示されるタブと、各タブ内のコンテンツ セクションは、選択したプロフィール タイプによって決まります。プロフィール タイプのタブとコンテンツ セクションの定義には、プロフィール タイプ - コンテンツ ページを使用します。

参照: 第 3 章、「プロフィール管理の設定」、「プロフィール タイプの設定」、56ページ

注: 個人プロフィール ページに表示されるのは承認済みのアイテムのみです。まだ承認されていない新しいプロフィール アイテム、既存アイテムへの変更、削除はプロフィールのタブには表示されません。その代わりに、保存済みで未送信のアイテム、承認待ちのアイテム、却下されたアイテムの数を示すリンクがページに表示されます。変更を確認するには、これらのリンクを使用します。

- [n アイテムが保存されています]、[n アイテムが未承認です]、[n アイテムが却下されています]

これらのリンクをクリックして、保存済み、承認待ち、または却下されたプロフィール アイテムのリストを表示します。
- [n アイテムが承認済みです]

承認されたアイテムの数を表示します。表示される日付は、プロフィール管理インストール設定ページの [承認履歴日数] フィールドの値によって決まります。

参照: 第 3 章、「プロフィール管理の設定」、「プロフィール管理のインストール設定」、40ページ
- [新規追加 - <コンテンツタイプ>]

新しいプロフィール アイテムを追加するには、このリンクをクリックします。コンテンツ セクション ページが表示されます。このページのフィールドは、プロフィールに関連付けられているプロフィール タイプによって決まります。
- [プロフィール グループタイプ]

プロフィール グループ タイプを選択します。
- [プロフィール グループ ID]

プロフィールを追加するプロフィール グループを選択します。

【プロフィールをグループに追加】

プロフィールを別のグループに追加する場合は、このリンクをクリックします。

【保存】

変更内容を保存するにはこのボタンをクリックします。[保存] ボタンをクリックすると個人プロフィール ページが更新されて、承認済みのアイテムだけが表示されます。承認の必要がない変更も含めて、保存する前に行った変更は全てプロフィール タブに表示されなくなります。新しいプロフィールを作成している場合は、何もプロフィール アイテムがないように見えますが、保存されたアイテムへのリンクが表示され、保存済みで未送信の変更を表示できるようになります。

後でプロフィールに戻ってさらに変更を行う場合は、承認のために送信せずに変更を保存することができます。保存済みのアイテムはシステムで追跡されているので、次にこのプロフィールに戻ったときには、保存アイテムへのリンクを使って、それらの変更を表示および確認してから、承認のために送信することができます。

【送信】

承認のためにプロフィールを送信するには、このボタンをクリックします。個人プロフィール - 変更サマリ ページが表示され、新規、削除、変更の各アイテムがリストされます。

このボタンは、[保存] ボタンをクリックして変更内容を保存するまで有効になりません。アイテムの追加、削除、変更がプロフィールに反映されるためには、承認が必要かどうかにかかわらず、プロフィールに対する全ての変更を送信する必要があります。



[全ての行を表示] アイコンをクリックすると、全ての行の表示ページが表示されます。このアイコンが表示されるのは、プロフィール アイテムに有効日付きの行が複数ある場合のみです。








[プロフィールを印刷形式で確認] アイコンをクリックすると、プロフィールが PDF ファイルで表示され、Adobe Acrobat から印刷することができます。印刷形式のファイルは、XML Publisher によって、“個人プロフィール バッチ” レポートと同じテンプレートおよびレイアウトを使用して生成されます。

参照: [第 3 章、「プロフィール管理の設定」、「XML Publisher のレポートおよびプロフィールを使用するための設定」、70 ページ](#)

非個人プロフィールの作成と更新

非個人プロフィール ページにアクセスします。

非個人プロフィール

プロフィール:	100887	*ステータス:	アクティブ
*プロフィール タイプ:	JOB  任務	ステータス更新日:	1980/01/01 
*名称:	General Auditor	略称:	Auditor
オーナー:			
コメント:			
プロフィールの種類:	エンド/任務プロフィール	旧バージョン プロファイル ID:	KUAUDIT1
プロフィール アクション:	アクションの選択...		

[コンテンツのインポート/エクスポート](#) [エクスポートソース/ターゲット](#)

コンピテンシー		責務	資格	NVQ	階級
▼ コンピテンシー (承認不要)		<div> <div>検索</div> <div>全件表示</div> <div></div> <div>最初</div> <div>1-2/2</div> <div>最後</div> </div>			
ID	コンピテンシー				
LOM00001	Action Oriented				
LOM00024	Functional / Technical Skills				

 [新規追加 - コンピテンシー](#)

コンピテンシー		責務	資格	NVQ	階級
---------	--	----	----	-----	----

非個人プロフィール ページ (1/2)

▼ プロファイル識別タイプ* (承認不要)							
カスタマイズ 検索 全件表示 最初 1-3/3 最後							
プロファイル識別タイプ*	有効日	検索	セットID	検索	名前	ワークフローステータス	
ポジションデータ	1980/01/01	検索		19000024	General Auditor	承認済	
職務コード	1980/01/01	検索	SHARE	110000	Accountant	承認済	
職務コード	1980/01/01	検索	SHARE	200005	Auditor-General	承認済	

[+ プロファイル識別タイプの追加](#)

▼ プロファイルグループ*			
カスタマイズ 検索 全件表示 最初 1/1 最後			
プロファイルグループタイプ*	名前	プロファイルグループID	名前
KOREGION	Regional	KOWEST	Western Region

[+ プロファイルをグループに追加](#)

▼ プロファイル関連先						
カスタマイズ 検索 全件表示 最初 1-2/2 最後						
プロファイル関連先	有効日	検索	検索	検索	名前	
ePerformance テンプレート	1980/01/01	検索	KOANNU	KU000004	Avg -Uses Job Profile	
ePerformance テンプレート	1980/01/01	検索	KOPROM	KU000010	Job Promotion Document	

[+ プロファイル関連先の追加](#)

保存 送信 キャンセル

非個人プロフィール ページ (2/2)

注: プロファイルに表示されるタブと、各タブ内のコンテンツ セクションは、選択したプロフィール タイプによって決まります。プロフィール タイプのタブとコンテンツ セクションの定義には、プロフィール タイプ - コンテンツ ページを使用します。

参照: 第 3 章、「プロフィール管理の設定」、「プロフィール タイプのコンテンツの定義」、60ページ

注: 非個人プロフィール ページに表示されるのは承認済みのアイテムのみです。まだ承認されていない新しいプロフィール アイテム、既存アイテムへの変更、削除はプロフィールのタブには表示されません。その代わりに、保存済みで未送信のアイテム、承認待ちのアイテム、却下されたアイテムの数を示すリンクがページに表示されます。変更を確認するには、これらのリンクを使用します。

【オーナー】

プロフィール オーナーの従業員 ID を選択します。レポート作成などの目的でプロフィールにオーナーを割り当てる場合に、このフィールドを使用します。

【プロフィールの種類】

プロフィールの用途を示す値が表示されます。これは、プロフィールにリンクされたプロフィール識別タイプと、そのプロフィール識別タイプがプロフィール タイプでエンド プロファイルとテンプレート プロファイルのどちらとして定義されているか (プロフィール タイプ - 識別タイプ ページ) によって決定されます。たとえば、プロフィールを職務コードにリンクした場合、職務コードがエンド プロファイルとテンプレートのどちらとしてプロフィール タイプで指定されているかがチェックされます。以下の値のいずれか 1 つが表示されます。

	<p>[管理責任者専用]: プロファイルがプロフィール識別タイプにリンクされていない、またはこのプロフィールにリンクされたプロフィール識別タイプがエンドプロフィールとしてもテンプレートとしても定義されていない (つまり [エンドプロフィール] と [テンプレート] のチェック ボックスがオフ) ことを示します。従業員と管理者は、管理責任者専用のプロフィールを表示できません。</p> <p>[テンプレート]: テンプレート プロファイルであることを示します。プロフィールにリンクされたプロフィール識別タイプのいずれかがテンプレートとしてのみ定義されており ([エンドプロフィール] チェック ボックスがオフで、[テンプレート] チェック ボックスがオン)、プロフィール識別タイプのどれもエンドプロフィールとして定義されていない場合、プロフィールにはこの値が割り当てられます。従業員と管理者は、テンプレート プロファイルを表示できません。</p> <p>[エンド/任務プロフィール]: エンド プロファイルであることを示します。プロフィールにリンクされたプロフィール識別タイプの少なくとも 1 つがエンドプロフィールとして定義されている ([エンドプロフィール] チェック ボックスがオン) 場合、プロフィールにはこの値が割り当てられます。従業員と管理者は、セルフサービス オプションを使用してエンド プロファイルを表示できます。</p>
[旧バージョン プロファイル ID]	アップグレードの際プロフィールに割り当てられた旧バージョンのプロファイル ID が表示されます。このフィールドは、PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理の旧バージョンで存在していた一部のプロフィールに表示されます。
[コンテンツのインポート/シンジケート]	他のプロフィールからコンテンツをインポートまたはシンジケートする場合にクリックします。
[シンジケート ソース/ターゲット]	<p>シンジケート ソース/ターゲット ページを表示する場合にクリックします。このページには以下の内容がリストされます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • シンジケートされるコンテンツをプロフィールに提供するソース プロファイル。 • プロファイルからシンジケートされたコンテンツを含むターゲット プロファイル。
[シンジケートされたコンテンツの削除]、[ソース]	他のプロフィールからシンジケートされたプロフィール アイテムを削除する場合にクリックします。このリンクが表示されるのは、プロフィールにシンジケートされたプロフィール アイテムが含まれている場合のみです。[ソース] 列には、プロフィール アイテムのコピー元プロフィールの名称が表示されます。ソース プロファイルを表示するには、[ソース] リンクをクリックします。
[n アイテムが保存されています]、[n アイテムが未承認です]、[n アイテムが却下されています]	これらのリンクをクリックして、保存済み、承認待ち、または却下されたプロフィール アイテムのリストを表示します。
[n アイテムが承認済みです]	承認されたアイテムの数を表示します。表示される日付は、プロフィール管理インストール設定ページの [承認履歴日数] フィールドの値によって決まります。
	参照: <u>第 3 章、「プロフィール管理の設定」、「プロフィール管理のインストール設定」、40ページ</u>



[全ての行を表示] アイコンをクリックすると、全ての行の表示ページが表示されます。このアイコンが表示されるのは、プロフィール アイテムに有効日付きの行が複数ある場合のみです。



[プロフィールを印刷形式で確認] アイコンをクリックすると、プロフィールが PDF ファイルで表示され、Adobe Acrobat から印刷することができます。印刷形式のファイルは、XML Publisher によって、“非個人プロフィール バッチ” レポートと同じテンプレートおよびレイアウトを使用して生成されます。

参照: 第 3 章、「プロフィール管理の設定」、「XML Publisher のレポートおよびプロフィールを使用するための設定」、70ページ

[プロフィール識別タイプ]

このグループ ボックスに、プロフィールがリンクされているプロフィール識別タイプがリストされます。

[プロフィール識別タイプ] プロフィール識別タイプを選択します。使用可能なオプションは、プロフィール タイプ定義によって異なります。

参照: 第 3 章、「プロフィール管理の設定」、「プロフィール タイプの識別タイプの定義」、59ページ

[検索] プロフィール識別タイプを検索するにはこのボタンをクリックします。

[セットID] このプロフィールにリンクしたいプロフィール識別タイプのセットID を選択します。このフィールドは、選択したプロフィール識別タイプがキー フィールドとしてセットID を持つ場合に表示されます。職務コードと給与等級では、セットID がキー フィールドです。

[キー 1]、[キー 2]、[キー 3]、[キー 4] プロフィールにリンクするプロフィール識別タイプを選択します。[キー 2]、[キー 3]、[キー 4] の各フィールドは、プロフィール識別タイプが 2 つ、3 つ、4 つのキー フィールドを持つ場合に表示されます。たとえば、[プロフィール識別タイプ] で [給与等級] を選択した場合は、[キー 1] フィールドが給与管理プラン、[キー 2] フィールドが給与等級です。

[プロフィール識別タイプの追加] プロフィールを別のプロフィール識別タイプにリンクする場合にクリックします。

[プロフィール グループ]

このグループ ボックスに、プロフィールが属するプロフィール グループがリストされます。

[プロフィール グループタイプ] プロフィール グループ タイプを選択します。

[プロフィール グループ ID] プロフィールを追加するプロフィール グループを選択します。

[プロフィールをグループに追加] プロフィールを別のグループに追加する場合にクリックします。

参照: 第 3 章、「プロフィール管理の設定」、「プロフィール グループ タイプとプロフィール グループの作成」、68ページ

[プロフィール関連先]

このグループ ボックスに、プロフィールの関連先がリストされます。プロフィール関連先とは、プロフィール管理ビジネス プロセス外のエンティティです。PeopleSoft Enterprise ePerformance-パフォーマンス管理のテンプレートは、この方法でプロフィールにリンクされています。

[プロフィール関連先]

プロフィール関連先を選択します。使用可能なオプションは、プロフィールタイプ定義によって異なります。

参照: 第 3 章、「プロフィール管理の設定」、「プロフィール タイプの関連先の設定」、67ページ

[検索]

プロフィール関連先を検索するにはこのボタンをクリックします。

[キー 1]、[キー 2]、[キー 3]、[キー 4]

プロフィールにリンクするプロフィール関連先を選択します。[キー 2]、[キー 3]、[キー 4] の各フィールドは、プロフィール関連先が 2 つ、3 つ、4 つのキー フィールドを持つ場合に表示されます。たとえば、このフィールドで [ePerformance テンプレート] を選択した場合、[キー 1] フィールドが記入票タイプ、[キー 2] フィールドが記入票のテンプレート ID です。

[プロフィール関連先の追加]

新しいプロフィール関連先を追加する場合にクリックします。

プロフィール アイテム詳細の追加、更新、表示

新規追加 - <コンテンツ タイプ> ページまたは更新 - <コンテンツ タイプ> ページにアクセスします。

個人プロフィール

更新 - 表彰/報奨

従業員 ID: KU0007 Betty Locherty

プロフィール タイプ: PERSON 個人

詳細 検索 | 全件表示 最初 1/1 最後

表彰/報奨:	DLA	Distinguished Lectureship Awrd
コンテンツ タイプ:	HON	表彰/報奨
*授与日:	1980/01/01	31
*ステータス:	アクティブ	
▼ フランス		
賞与 (FRA):		
賞与支給日 (FRA):	2006/03/08	31
終了日:		31
授与日:	1980/01/01	31
授与者:	Bill Williams	

更新 - <コンテンツ タイプ> ページ

注: このページに表示されるフィールドとフィールド ラベルは、アイテムのコンテンツ タイプと、プロフィール タイプでのコンテンツ セクション定義によって異なります。コンテンツ セクションの定義には、プロフィール タイプ - コンテンツ ページを使用します。

参照: 第 3 章、「プロフィール管理の設定」、「プロフィール タイプの設定」、56ページ

[関連コンテンツ]

このリンクをクリックすると関連アイテム ページが表示され、選択したプロフィール アイテムに関連するアイテムの追加、更新、表示を行うことができます。このリンクが表示されるのは、プロフィール アイテムのコンテンツ タイプが別のコンテンツ タイプに関連しており、プロフィール タイプ定義にその関連コンテンツ タイプが含まれている場合のみです。

関連項目:

第 2 章、「コンテンツカタログの設定」、「コンテンツ タイプの関係ルールの定義」、21ページ

第 2 章、「コンテンツカタログの設定」、「コンテンツ アイテム関係の定義」、25ページ

第 3 章、「プロフィール管理の設定」、「プロフィール タイプのコンテンツの定義」、60ページ

関連プロフィール アイテムの追加

関連アイテム ページにアクセスします。

関連アイテム

コンテキスト: 1414

Communication skills

コンテンツ タイプ: ELEMENT

Child

詳細

検索 | 全件表示

最初 1/1 最後

エレメント コード:	K80912	Maintain good working relationships	+ -
コンテンツ タイプ:	ELEMENT	Competency Elements	
有効日:	07/11/2006		
*ステータス:	アクティブ		
従業員 ID:			
	<input type="checkbox"/> 合格		
完了予定日:			
開始日:			
完了日:			
タイトル:			
エレメント詳細:			

関連アイテム ページ

このページでは、既存のプロファイル アイテムに関連するプロフィール アイテムをプロフィールに追加します。プロフィールに追加できる関連アイテムは、プロフィール タイプでのコンテンツ セクション定義と、コンテンツ カタログで定義される関係によって決まります。

注: このページに表示されるフィールドとフィールド ラベルは、関連アイテムのコンテンツ タイプと、プロフィール タイプでのコンテンツ セクション定義によって異なります。

[コンテンツ タイプ] プロファイル アイテムに関連しているコンテンツ タイプと、その関係タイプが表示されます。ここに示した例では、エレメント アイテムがコンピテンシー アイテムの“子”になっています。

関連項目:

第 2 章、「コンテンツ カタログの設定」、「コンテンツ タイプの関係ルールの定義」、21 ページ

第 2 章、「コンテンツ カタログの設定」、「コンテンツ アイテム関係の定義」、25 ページ

第 3 章、「プロフィール管理の設定」、「コンテンツ セクションの定義」、63 ページ

プロフィール アイテム行の表示

全ての行の表示ページにアクセスします。

全ての行の表示

コンピテンシー (承認必須)		カスタマイズ	検索	最初	1-3/3	最後
有効日	コンピテンシー	ID	* 能力レベル			
2000/02/07	Managerial Efficiency	0511	4 - 優			
1999/06/07	Managerial Efficiency	0511	3 - 良			
1998/10/05	Managerial Efficiency	0511	2 - 可			

[プロフィールに戻る](#)

全ての行の表示ページ

個人プロフィールと非個人プロフィールのアイテムについて現在の行、将来の行、履歴上の行がリストされ、プロフィール アイテムの履歴を追跡することができます。たとえば、このページを使って、プロフィール アイテムに関する従業員の評価の推移、あるいは任務プロフィールにあるアイテムの基準評価を確認することができます。選択した有効日のプロフィール アイテム詳細を表示するには、プロフィール アイテムのリンクをクリックします。

個人プロフィール ページまたは非個人プロフィール ページに戻る (プロフィール タイプによって変わる) には、[プロフィールに戻る] をクリックします。

個人プロフィールとキャリア プランとの同期

キャリア プラン/プロフィール管理のリンク ページにアクセスします。

キャリア プラン/プロフィール管理のリンク

Susan Hoinck

ID: KU0119

選択したコンピテンシーはキャリア プランに転送されます。

選択したコンピテンシーは、プロフィール管理に転送されます。

プロフィール管理		
評価タイプ	コンピテンシー	得意/要育成
<input type="checkbox"/> 監督者	Teamwork and cooperation	得意
<input type="checkbox"/> 自己申告	Influences	得意
<input type="checkbox"/> 自己申告	Strategically influences	得意
<input type="checkbox"/> 自己申告	Persuasive	得意
<input type="checkbox"/> 監督者	Team leadership	得意

全て選択

キャリア プラン		
評価タイプ	コンピテンシー	レベル
<input type="checkbox"/> 承認済	Practices ethical behavior	専門
<input type="checkbox"/> 承認済	Analytical thinking	少
<input type="checkbox"/> 承認済	Conceptual thinking	なし
<input type="checkbox"/> 承認済	Mental flexibility	なし

全て選択

キャリア プラン/プロフィール管理のリンク ページ

[プロフィール管理]

このグループ ボックスに、従業員の個人プロフィールに存在し、キャリア プランに含まれていないコンピテンシーがリストされます。キャリア プランに追加するコンピテンシーのチェック ボックスをオンにします。

コンピテンシーが得意/要育成分野ページに追加されます。

[キャリア プラン]

このグループ ボックスに、従業員のキャリア プランに存在し、プロフィールに含まれていないコンピテンシーがリストされます。プロフィールに追加するコンピテンシーのチェック ボックスをオンにします。コンピテンシーが従業員の個人プロフィールに追加されます。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: キャリア プランと後任計画、「キャリア プラン」、「従業員の得意分野と要育成分野の評価」

インポートまたはシンジケートするプロフィールの選択

プロフィールとカタログの検索ページにアクセスします。

非個人プロフィール

プロフィールとカタログの検索

以下のボックスに検索条件を入力して、“検索” をクリックします。

検索条件の入力

プロフィール ID: 

プロフィール タイプ:  クラス

名称:

プロフィール ステータス:

プロフィールとカタログの検索ページ (1/2)

結果

ソースプロフィール/ターゲットプロフィール間のリンクを作成する場合は、“シンジケート アクション” を選択します。ソースプロフィールを更新すると、ターゲットプロフィールが更新されます。
常設リンクを作成せずに、ソースプロフィールからターゲットプロフィールにコンテンツをインポートする場合は、“インポート アクション” を選択します。
1 つまたは複数のプロフィールをソースとして選択できます。

プロフィール				最初	1-5/22	最後
	プロフィール ID	名称	プロフィール タイプ	*アクション		
<input type="checkbox"/>	100665	Human Service Professionals	クラス	アクションの選択...		
<input type="checkbox"/>	100666	Managers	クラス	アクションの選択...		
<input type="checkbox"/>	100667	Salespeople	クラス	アクションの選択...		
<input type="checkbox"/>	100668	Management	クラス	アクションの選択...		
<input type="checkbox"/>	100669	Technical Developer	クラス	アクションの選択...		

[全て選択](#)
[全て選択解除](#)
*グループ アクション:

[前のページに戻る](#)

プロフィールとカタログの検索ページ (2/2)

【検索条件の入力】

検索条件を選択して [検索] ボタンを押すと、インポートまたはシンジケートに使用するプロフィールが検索されます。

【結果】

検索条件に一致するプロフィールが、グループ ボックスにリストされます。プロフィール ID の横のチェック ボックスをオンにして、コンテンツをインポートまたはシンジケートする元のプロフィールを選択します。

【プロフィール ID】 プロファイル ID をクリックするとプロフィールが表示されます。

[アクション]

次の値の中から 1 つ選択します。

[コンテンツのインポート]: 選択したプロファイルのコンテンツをインポート。コンテンツをインポートする場合、ソース プロファイルからターゲット プロファイルとの間にリンクは設定されません。これは、インポート操作の後でソース プロファイルに変更があっても、ターゲット プロファイルには影響がないことを意味します。

[コンテンツのシンジケート]: 選択したプロファイルのコンテンツをコピー。コンテンツをシンジケートする場合、ソース プロファイルとターゲット プロファイルとの間に関係が設定されるため、ソース プロファイルを変更すると、ターゲット プロファイルにも同じ変更が反映されます。シンジケートの関係を表示するには、シンジケート ソース/ターゲット ページを使用します。

[グループ アクション]

複数のプロファイルを選択した場合、選択した全てのプロファイルに同じアクションを適用するには [グループ アクション] フィールドを使用します。選択したプロファイルからコンテンツをインポートする場合は [コンテンツのインポート]、選択したプロファイルからコンテンツをシンジケートする場合は [コンテンツのシンジケート] を選択します。

[実行]

クリックすると、選択したプロファイルからコンテンツがインポートまたはシンジケートされます。非個人プロファイル ページに戻る場合は、[前のページに戻る] をクリックします。

シンジケート ソース/ターゲットの表示

シンジケート ソース/ターゲット ページにアクセスします。

非個人プロフィール

シンジケート ソース/ターゲット

プロフィール ID: 160003

名称: Clerk Job Family

[コンテンツのインポート/シンジケート](#)

シンジケート ソース		カスタマイズ	検索	全件表示	最初	1/1	最後
<input type="checkbox"/>	プロフィール ID	名称					

[全て選択](#) [全て選択解除](#)[選択したものを削除](#)

シンジケート ターゲット		カスタマイズ	検索	全件表示	最初	1/1	最後
	プロフィール ID	名称					
1	160004	Clerk Job Code					

[前のページに戻る](#)

シンジケート ソース/ターゲット ページ

[シンジケート ソース]

選択したプロフィールにコンテンツを提供するプロフィールがリストされます。シンジケートされたコンテンツを削除する場合は、ソースのプロフィール ID のチェック ボックスをオンにします。

[選択したものを削除]

選択したソース プロファイルとターゲット プロファイルの間のリンクを削除するには、このボタンをクリックします。もともとシンジケートされていたプロフィール アイテムはプロフィール上に残りますが、システムでは管理されなくなります。

[シンジケート ターゲット]

シンジケートのターゲットであるプロフィールが表示されます。これらのプロフィールには、選択したプロフィールからのコンテンツが含まれています。選択したプロフィールが変更されると、シンジケートされているプロフィールも自動的に更新されます。

個人プロフィール変更の送信

個人プロフィール - 変更サマリ ページにアクセスします。

個人プロフィール

変更サマリ

Susan Hoinck

このページには、全ての変更内容のサマリが表示されます。承認が必要なアイテムには、承認者へのコメントを入力してください。

プロフィール タイプ: 個人

▼ 変更済 コンテンツ (承認必須)

検索

最初

1-2/2

最後

処理	コンテンツ	ID	能力レベル
変更	Teamwork and cooperation	0205	4 - 優
変更	Persuasive	0400	4 - 優

▼ 変更済 語学力 (承認不要)

検索

最初

1/1

最後

処理	言語	ID
追加	オランダ語	DU

コメント:

送信

キャンセル

個人プロフィール - 変更サマリ ページ

このページには、個人プロフィールに対して行った変更がリストされます。各コンテンツ セクションのスクロール領域のタイトルには、アイテムごとに承認が必要か不要かが示されます。このページに表示されるフィールドは、プロフィール タイプのコンテンツ セクションの定義によって決まります。コンテンツ セクションで [サマリ] チェック ボックスをオンにしたプロパティのみが、このページに表示されます。

参照: 第 3 章、「プロフィール管理の設定」、「コンテンツ セクションの定義」、63ページ

- [プロフィール タイプ]

このプロフィールのプロファイル タイプが表示されます。
- [処理]

実行した変更のタイプが表示されます。
[追加]: 新しいプロフィール アイテムの場合
[変更]: アイテムのプロパティになんらかの変更を行った場合
[削除]: プロファイル アイテムを削除した場合
- [ワークフロー ステータス]

“保存済”と表示されます。[送信] ボタンをクリックすると、承認が不要なアイテムの場合は“承認済”、承認が必要なアイテムの場合は“未承認”に、ワークフロー ステータスがそれぞれ変化します。

[ワークフロー ステータス] フィールドが表示されるのは、コンテンツ セクション定義に JPM_WF_STATUS プロパティが含まれ、そのプロパティの [サマリ] チェック ボックスがオンになっている場合のみです。

- [コメント]** 必要に応じて、承認者へのコメントを入力します。変更承認が不要な場合、このフィールドは表示されません。
- [送信]** このボタンをクリックすると、承認のために変更が送信されます。プロフィールに対する変更が承認不要の場合、変更は自動的に承認されてプロフィールのタブに表示されます。承認が必要な場合、承認ページが表示されます。
- [キャンセル]** 承認のためにアイテムを送信せずに個人プロフィール ページに戻る場合は、このボタンをクリックします。

非個人プロフィール変更の送信

非個人プロフィール - 変更サマリ ページにアクセスします。

非個人プロフィール

変更サマリ

プロフィール ID: H0A205 Analyst 205

このページには、全ての変更内容のサマリが表示されます。承認が必要なアイテムには、承認者へのコメントを入力してください。

プロフィール タイプ: 任務

▼ 変更済 コミュニケーション (承認不要)		
処理	コミュニケーション	ID
変更	Takes initiative & follows up	0200
追加	Resource Planning	0300

▼ 変更済 語学力 (承認不要)		
処理	言語	ID
削除	スペイン語	SP

変更済 プロフィール識別タイプ (承認不要)						
処理	プロフィール識別タイプ	有効日	セッID	キー 1 値	名称	ワークフロー ステータス
追加	職務コード	2007/05/09	SHARE	880010	Technologist-Radiology II	保存済

コメント:

送信

キャンセル

非個人プロフィール - 変更サマリ ページ

このページでは、[プロフィール ID] フィールドに表示されている非個人プロフィールに対する変更がリストされます。このページのフィールドは、個人プロフィール - 変更サマリ ページと似ています。

関連項目:

第 5 章、「プロフィール管理」、「個人プロフィール変更の送信」、115 ページ

シンジケート例外の確認

シンジケート例外の確認ページにアクセスします。

シンジケート例外の確認

ターゲット プロファイル: 160005 Clerk Position

コンテンツ タイプ*	名称	詳細の確認
COMPETENCY	コンペテンシー	詳細の確認
KOITC	IT Certifications	詳細の確認

シンジケート例外の確認ページ

このページには、シンジケート例外を含むコンテンツ タイプがリストされます。[詳細の確認] リンクをクリックすると例外の詳細ページが表示され、シンジケート例外のあるプロフィール アイテムがリストされます。

シンジケート例外の詳細の確認

例外の詳細ページにアクセスします。

例外の詳細

ターゲット プロファイル 160002 Clerk Position

コンテンツ タイプ* COMPETENCY Competencies

プロフィール アイテム 例外		
<div> <div>ソース プロファイル アイテム</div> <div>プロパティ</div> <div>検索</div> </div>		
プロフィール ID	有効日	コンテンツ
160001	1900/01/01	0100
<div> <div>無視されたプロフィール アイテム</div> <div>プロパティ</div> <div>検索</div> </div>		
プロフィール ID	有効日	コンテンツ
200073	2006/04/24	0100

戻る

例外の詳細ページ

[ソース プロファイル アイテム]

このタブには、ターゲット プロファイルにシンジケートされたソース プロファイルとプロフィール アイテムの詳細が表示されます。

[無視されたプロフィール アイテム]

このタブには、[ソース プロファイル アイテム] タブで指定されているシンジケート済みプロフィール アイテムと競合しているソース プロファイルの詳細が表示されます。

[プロパティ]

[プロパティ] タブにアクセスします。

ソース プロファイル アイテム		
<div> <div>ソース プロファイル アイテム</div> <div>プロパティ</div> <div>検索</div> </div>		
インスタンス識別子	インスタンス識別子	能力レベル
		3
<div> <div>無視されたプロフィール アイテム</div> <div>プロパティ</div> <div>検索</div> </div>		
インスタンス識別子	インスタンス識別子	能力レベル
		5

例外の詳細 - プロパティ タブ

[プロパティ] タブには、シンジケートされたソース プロファイルのフィールド値が表示されます。ここに示した例では、2 つのソース プロファイルで [能力レベル] フィールドの値が異なっています。[ソース プロファイル アイテム] で表示される値は、ターゲット プロファイルに挿入された値です。

プロフィール変更の承認

このセクションでは、プロフィール承認の処理の概要と、以下の方法について説明します。

- プロファイル承認トランザクションの表示
- プロファイル変更の表示、承認、却下

プロフィール承認処理について

承認処理によって、以下の内容を管理することができます。

- 個人プロフィールにおけるプロフィール アイテムの更新。
コンテンツ セクションに対して承認処理が設定されている場合、プロフィール アイテムが追加、削除または更新されると、承認処理がトリガされます。
- 非個人プロフィールに関連付けられているプロフィール アイテムとプロフィール アイテム識別タイプの更新。

プロフィール識別タイプに承認が必要な場合、プロフィールに関連付けられているプロフィール識別タイプのリストに変更があると、承認処理がトリガされます。

プロフィールの承認は、プロフィール タイプのレベルで設定します。プロフィール タイプに承認の定義を関連付け、そのプロフィール タイプのどのコンテンツ セクションに承認が必要かを指定します。非個人プロフィールの場合、プロフィール識別タイプに承認が必要かどうかも指定できます。

プロフィール承認では、個人プロフィールおよび非個人プロフィールの承認管理に、承認ワークフロー エンジン (AWE) を使用します。標準の承認定義では、以下のプロフィール承認処理が用意されています。

- 従業員が自身の個人プロフィールを変更する場合、その変更は承認を行う管理者に送信されます。
管理者またはプロフィール管理責任者が個人プロフィールを更新する場合、それらの変更は承認不要です。
- 管理者が非個人プロフィールを作成または更新する場合、その変更は承認を行うプロフィール管理責任者に送信されます。

プロフィール管理責任者が非個人プロフィールを更新する場合、その変更は承認不要です。

標準の定義を使用することもできますが、ビジネス要件に応じたプロフィール管理に必要な新しい承認定義を設定することもできます。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise HRMS 9.0 アプリケーションの基礎 PeopleBook、「承認の設定と使い方」

プロフィールの承認に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
承認管理	JPM_JP_MNG_APPRVL	[人材開発]、[プロフィール管理]、[プロフィール]、[プロフィールの承認]	承認待ち、変更を承認済み、または変更を却下されたプロフィールのリストを表示します。
個人プロフィール - 承認	JPM_JP_PERS_APPR	承認管理ページでプロフィール ID をクリック。	選択した個人プロフィールに対する変更のリストを表示します。このプロフィール変更が承認待ちであれば、変更を承認または却下することができます。
非個人プロフィール - 承認	JPM_JP_NONPER_APPR	承認管理ページでプロフィール ID をクリック。	選択した非個人プロフィールに対する変更のリストを表示します。このプロフィール変更が承認待ちであれば、変更を承認または却下することができます。
<コンテンツタイプ>	JPM_APR_DTL_SEC	承認ページでプロフィール アイテム ID をクリック。	変更されたプロフィール アイテムの詳細を表示します。
承認確認, 却下確認	JPM_JP_PER_APR_CNF	個人プロフィール - 承認ページで [承認] ボタンまたは [却下] ボタンをクリック。	確認メッセージが表示されます。[OK] をクリックすると、承認管理ページに戻ります。

プロフィール承認トランザクションの表示

承認管理ページにアクセスします。

承認管理

検索

発信者:

開始日:

31

終了日:

31

プロフィール タイプ:

ワークフロー ステータス:

未承認

検索

クリア

承認トランザクション

カスタマイズ | 検索 |

最初 ◀ 1-7/7 ▶ 最後

発信者	送信日時	プロフィール タイプ	プロフィール ID	プロフィール	ワークフロー ステータス
Susan Hoinck	2006/07/24 19:56	個人	100856	Susan Hoinck	未承認
Cynthia Adams	2006/07/24 19:52	個人	100850	Cynthia Adams	未承認
Annie Mirzoyan	2006/07/24 19:49	個人	100837	Annie Mirzoyan	未承認
Angela McKay	2006/07/24 19:46	個人	100833	Angela McKay	未承認
Stanley Lowe	2006/07/24 19:41	個人	100821	Stanley Lowe	未承認
Rosanna Channing	2006/07/24 19:36	個人	100814	Rosanna Channing	未承認
Allan Martin	2006/07/24 19:16	個人	100795	Allan Martin	未承認

承認管理ページ

- [発信者]

特定の従業員が送信したプロフィール変更を検索する場合は、従業員 ID を選択します。
- [開始日]、[終了日]

特定の期間に送信された承認を検索する場合は、期間の開始日と終了日を入力します。
- [プロフィール タイプ]

特定のプロフィール タイプに対する承認を検索する場合は、プロフィール タイプを選択します。
- [ワークフロー ステータス]

表示する承認のステータスを選択します。

[未承認]: 承認のために送信されたプロフィール変更を表示。

[承認済]: 既に承認したプロフィール変更を表示。

[却下]: 却下したプロフィール変更を表示。
- [検索]

クリックすると、[承認トランザクション] スクロール領域に、検索条件と一致するプロフィールが表示されます。
- [承認トランザクション]
- [送信日時]

プロフィール変更が承認のために送信された日付が表示されます。
- [プロフィール]

プロフィールのリンクをクリックすると、承認が必要なプロフィール変更が表示されます。承認ページが表示されます。

プロフィール変更の表示、承認、却下

個人プロフィール - 承認ページにアクセスします。

個人プロフィール

承認

従業員 ID: KU0119

名前: Susan Hoinck

プロフィール タイプ: PERSON 個人

▼ 変更済 コンテンツ (承認必須)			
処理	ID	コンテンツ	能力レベル
追加	0600	Achievement Orientation	4 - 優
追加	0601	Impact and Influence	4 - 優

承認状況

Approval by Manager

▼ Person Profile: 保留

Approval by Manager

保留

[PS] Peoplesoft Superuser

JPM by Posn Mgmt or Supervisor

コメント

コメント

承認 却下

[前のページに戻る](#)

個人プロフィール - 承認ページ

[処理]

変更のタイプを示す以下のいずれかの値が表示されます。


[追加]: 新しいプロフィール アイテムであることを示します。

[変更]: 発信者がプロフィール アイテムの 1 つ以上のプロパティを変更したことを示します。

[削除]: 発信者がプロフィール アイテムを削除したことを示します。

[<コンテンツ タイプ>]

この列のリンクをクリックすると、プロフィール アイテムの変更の詳細が表示されます。アイテムのプロパティは、プロフィール タイプ定義によって異なります。

[コメント]	この承認トランザクションについて、発信者へのコメントがあれば入力します。[コメント] フィールドを使用できるのは、プロファイル変更が未承認の場合のみです。
[承認]	プロファイル変更を承認する場合は、このボタンをクリックします。このボタンは、プロファイル変更のワークフロー ステータスが [未承認] の場合にのみ表示されます。
[却下]	プロファイル変更を却下する場合は、このボタンをクリックします。このボタンは、プロファイル変更のワークフロー ステータスが [未承認] の場合にのみ表示されます。
	<p>[プロファイルを印刷形式で確認] アイコンをクリックすると、プロファイルが PDF ファイルで表示され、Adobe Acrobat から印刷することができます。印刷形式のファイルは、XML Publisher によって、“非個人プロファイル バッチ” レポートと同じテンプレートおよびレイアウトを使用して生成されます。印刷形式のファイルに表示されるのは承認済みのアイテムのみです。</p> <p>参照: 第 3 章、「プロファイル管理の設定」、「XML Publisher のレポートおよびプロファイルを使用するための設定」、70 ページ</p>
[承認状況]	このグループ ボックスには、承認ワークフロー エンジンからの承認状況情報が表示されます。
[コメントの表示/非表示]	発信者がプロファイル承認のために変更を送信するとき入力したコメントの表示と非表示を切り替えます。

プロファイルの検索と比較

このセクションでは、プロファイルの検索/比較およびスコアの概要と、以下の方法について説明します。

- ソース プロファイルの選択
- 検索条件の設定
- 検索結果の表示
- 比較するプロファイルの選択
- 比較結果の表示

プロファイルの検索/比較について

プロファイルの検索/比較機能を使用すると、従業員、管理者、プロファイル管理責任者は選択した検索条件に一致するプロファイルを検索し、プロファイルを比較することができます。検索を実行する前に、Verity インデックスを構築し、検索の設定ページで使用可能な検索タイプを定義する必要があります。各検索タイプに定義する項目は以下のとおりです。

- ソースおよびターゲットのプロファイル タイプ。

ソースおよびターゲットとは、検索で比較される 2 つのプロファイル タイプのことです。ソースは検索条件の基準となるプロファイル タイプであり、ターゲットは一致するプロファイルを検索する対象となるプロファイル タイプです。

- 条件ルール。

[条件ルール] フィールドで、検索の動作を管理します。条件ルールには次の 3 つのタイプがあります。

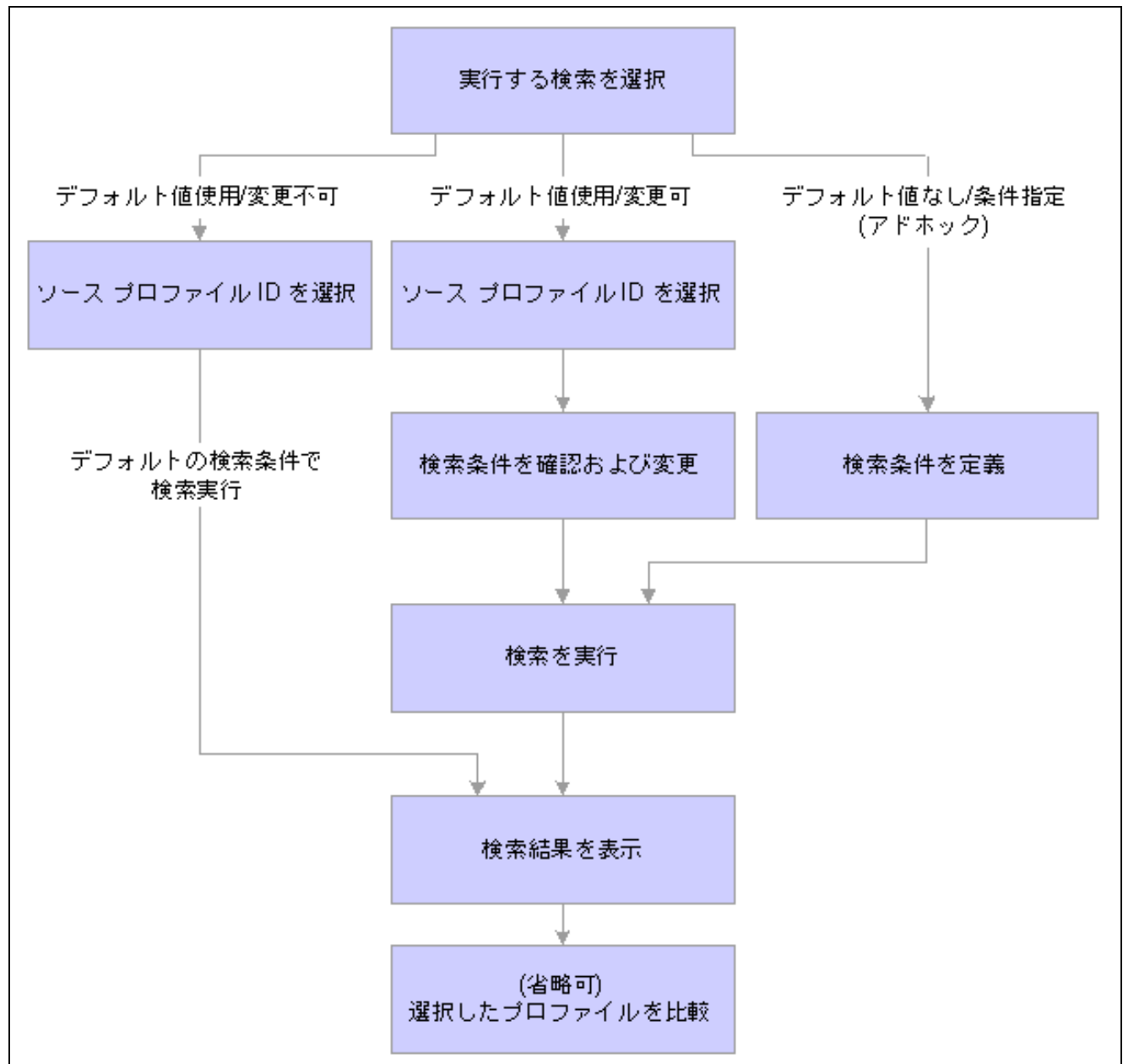
- [デフォルト値使用/変更不可]: この検索では、ソース プロファイルに基づいてデフォルトの検索条件が使用され、検索条件は表示されません。
- [デフォルト値使用/変更可]: この検索では、ソース プロファイルに基づいてデフォルトの検索条件が使用されますが、検索の実行前にユーザーが検索条件を表示および調整することができます。
- [デフォルト値なし/条件指定 (アドホック)]: この検索ではデフォルトの検索条件を使用せず、ユーザーが手動で検索条件を定義します。このタイプの検索の場合、ソースおよびターゲットのプロファイル タイプは設定で必須ではありません。ただし、それらのフィールドを空欄にした場合は、検索条件を定義する前にソースおよびターゲットのプロファイル タイプを選択する必要があります。

- 検索に関連付けられるロール。

ユーザーが実行できるのは、ユーザーのロールに定義されている検索のみです。

参照: [第 4 章、「プロファイルの検索/比較の設定」、77 ページ](#)

次の図は、それぞれの検索タイプにおけるプロファイルの検索/比較の手順の概略を示したものです。



プロフィールの検索/比較における手順

各手順については、これ以降のセクションで詳細に説明します。

検索の選択

プロフィール管理責任者は、2 つの方法でプロフィールの検索/比較を実行できます。

- [プロフィール] メニューからプロフィールの検索/比較オプションを選択
- 個人プロフィール ページまたは非個人プロフィール ページの [プロフィール アクション] フィールドで [プロフィールの検索/比較] を選択

どちらの方法を使っても、プロフィール管理責任者ロールに対して設定されている検索のみが表示されます。ロールは、検索設定ページで検索に関連付けられています。また、個人プロフィール ページまたは非個人プロフィール ページからプロフィールの検索/比較を実行する場合、検索のリストは、表示しているプロフィールに一致するソース プロファイル タイプのものに限定されます。

従業員と管理者がプロフィールの検索/比較に使用できるセルフサービス オプションについては、『PeopleSoft Enterprise eDevelopment-人材開発 9.0 PeopleBook』を参照してください。

参照: PeopleSoft Enterprise eDevelopment-人材開発 9.0 PeopleBook、「プロフィールの管理」、「プロフィールの検索と比較」

ソース プロファイル ID の選択

[デフォルト値使用/変更不可] または [デフォルト値使用/変更可] の条件ルールで検索を選択した場合、検索と比較にデフォルトの検索条件を提供するソース プロファイル ID を選択する必要があります。検索で選択できるプロフィール タイプは、検索設定ページの [ソース プロファイル] フィールドによって定義されます。

注: プロファイル ページから検索を実行する場合は、表示していたプロフィールが自動的にソース プロファイル ID として使用されるため、ソース プロファイル ID の指定は必要ありません。

[デフォルト値使用/変更不可] の条件ルールを使用する検索では、ソース プロファイル ID の選択後に自動的に検索が実行されます。このタイプの検索の場合、検索条件はソース プロファイルによるデフォルトのプロファイル アイテムに基づいて設定されるため、検索の実行前に条件を調整することはできません。

検索条件の定義

[デフォルト値使用/変更可] または [デフォルト値なし/条件指定 (アドホック)] の条件ルールで検索を実行する場合、検索条件ページを使って検索条件を定義または変更します。

[デフォルト値使用/変更可] の条件ルールで検索を実行する場合、設定で定義されているソース プロファイル タイプに基づいてデフォルトの条件が表示されます。検索の実行前に、デフォルト検索条件の変更、および他の条件の追加が可能です。

[デフォルト値なし/条件指定 (アドホック)] の条件ルールを使用する検索では、デフォルトの条件はありません。検索条件ページを使って、ターゲット プロファイルで検索するアイテムを定義します。ソースおよびターゲットのプロファイル タイプが検索に定義されていない場合は、指定するよう求められます。検索条件ページが更新されて、検索に使用できるコンテンツ セクションと検索フィルタが表示されます。

ターゲット プロファイル タイプに検索可能なプロフィール グループ タイプを設定している場合、検索条件ページには [検索フィルタ] グループ ボックスが追加されます。検索フィルタを使うと、検索を特定のプロフィール グループに絞り込むことができます。

検索条件を定義したら、[検索] ボタンをクリックすると検索が実行されます。

検索結果の表示

検索条件に一致したプロフィールは、検索結果ページにリストされます。一致したプロフィールは、システムで計算されるプロフィール スコアに従ってランク付けされます。プロフィール スコアの範囲は 0 ~ 100 までで、検索条件を全て満たすプロフィールはスコアが 100 になります。プロフィールのスコアについては、この章の後の方で説明します。

参照: 第 5 章、「プロフィール管理」、「プロフィールの検索/比較のスコアについて」、128ページ

検索条件を調整して検索を再実行する場合は、[検索条件の変更] リンクをクリックして検索条件ページに戻ります。[プロフィールの検索] リンクをクリックして新しく検索を実行することもできます。

プロフィールの比較

検索結果ページに表示されるプロフィール スコアから、各プロフィールがどの程度検索条件に一致するかを概略で知ることができます。しかし、スコアの詳細をアイテムのレベルで確認することもできます。検索結果ページから、以下のことができます。

- スコアをクリックして、検索結果に表示されたプロファイルの各アイテム スコアを検索条件と比較します。
- 検索結果にリストされたプロファイルを最大 10 件まで、検索条件と比較します。

注: [プロファイルの比較] オプションは、[プロファイル] メニューから也可以使用できます。ただし、このメニューから比較を実行した場合は、比較にプロファイル スコアが含まれません。

プロファイルの検索/比較のスコアについて

ここでは、以下の項目について説明します。

- スコアの計算
- プロパティ スコアとアイテム スコアの計算
- [重要度] フィールドに基づくアイテム加重の計算
- 評価プロパティ スコアの計算
- 関心レベル プロパティ スコアの計算
- 必須アイテムのアイテム スコアの計算

スコア計算の概要

このセクションでは、検索条件に最も一致するプロファイルを決定するための、ターゲット プロファイルのスコアの計算方法について説明します。プロファイルの検索/比較では、どのプロファイルが検索条件に最も一致するかの判定に、Verity 検索エンジンを使用します。Verity 検索クエリーは、検索条件の各プロファイル アイテムのプロパティから生成される検索エレメントで構成されます。全文検索が実行され、一致するプロファイルがその一致率を示すスコアと共に返されます。スコアは、一致率の最も高いプロファイルから降順で表示されます。

ターゲット プロファイルのスコアを算出するために、以下の計算が行われます。

- アイテムに関連付けられた各プロパティのプロパティ スコア。

検索条件は、ターゲット プロファイル内で検索したい一連のプロファイル アイテムで構成されています。しかし、検索条件のアイテムが複数のプロパティを持つ場合があります。たとえば、検索条件にコンピテンシーを追加する場合、そのコンピテンシーの基準評価も指定することができます。あるいは、語学力を追加する場合、その言語に必要な作文能力を指定できます。コンピテンシー評価と作文能力は、それぞれがコンピテンシーと語学力というプロファイル アイテムのプロパティです。検索条件で指定した各プロパティのプロパティ スコアが計算され、それがアイテム スコアの計算に使用されます。

- 検索条件の各アイテムのアイテム スコア。

アイテム スコアは、アイテムに関連付けられているプロパティのプロパティ スコアの平均です。

- [重要度] フィールドに基づいて加重されたアイテム スコア

[重要度] フィールドは、検索条件の各アイテムの相対的な重要度を示すために使用されます。アイテムに割り当てられた [重要度] の値を反映する加重がアイテム スコアに適用されます。デフォルトの重要度は [3 - 平均] ですが、これは変更可能です。

- 加重されたアイテム スコアの合計。

全体的なプロファイル スコアは、加重されたアイテム スコアの合計です。検索結果ページに表示されるのは、この値です。

プロファイル スコアは、[必須] チェック ボックスの設定によっても異なります。これについては、このセクションの後の方で説明します。

プロパティ スコアとアイテム スコアの計算

プロパティ スコアは、プロパティに応じて異なります。ほとんどのプロパティの場合、一致するプロパティを持つプロフィールはスコアが 100、持たないプロフィールはスコアが 0 になります。しかし、評価プロパティや関心レベル プロファイルなどの評価基準があるプロパティの場合、スコアはソースとターゲットの一致する程度に応じて 0 ～ 100 の範囲で変化します。これについては、このセクションの後の方で説明します。

アイテム スコアは、次のようにプロパティ スコアの平均として計算されます。

合計プロパティ スコア/プロパティ数

次の例では、以下のコンテンツ タイプの 3 つのプロファイル アイテムを持つソース プロファイルを考えてみます。

コンテンツ タイプ	アイテム ID	他のプロパティ
学位	BA (文学士)	国: USA
言語	DU (オランダ語)	
テスト/検査	1006 (Accounting Aptitude Test)	

学位アイテム “BA (文学士)” については、“アイテム ID” と “国” の 2 つのプロパティが検索されます。したがって、学位のアイテム スコアは次のように計算されます。

$(\text{アイテム ID のプロパティ スコア} + \text{国のプロパティ スコア})/2$

これで、アイテム スコアが 100 になるのは、学位が BA で国が USA というプロフィールのみとなります。

プロパティ スコアの計算方法を示すために、次の例では Nicola Edwards、Rachel Norris、Helen Scott という 3 つの個人プロフィールでソース プロファイルを比較してみます。

Nicola Edwards の個人プロフィールにあるアイテムは、次の表のとおりです。

コンテンツ タイプ	アイテム ID	他のプロパティ
学位	BA (文学士)	国: USA
テスト/検査	1006 (Accounting Aptitude Test)	

Rachel Norris の個人プロフィールにあるアイテムは、次の表のとおりです。

コンテンツ タイプ	アイテム ID	他のプロパティ
言語	DU (オランダ語)	
テスト/検査	1006 (Accounting Aptitude Test)	

Helen Scott の個人プロフィールにあるアイテムは、次の表のとおりです。

コンテンツ タイプ	アイテム ID	他のプロパティ
学位	BA(文学士)	国: GBR
テスト/検査	1006 (Accounting Aptitude Test)	

個人プロファイルごとのアイテム スコアは、次の表のようになります。

アイテム ID	国プロパティ	個人プロファイル		
		Nicola Edwards	Rachel Norris	Helen Scott
BA	USA	$100 = (100+100)/2$	0	$50 = (100+0)/2$
DU(オランダ語)		0	100	0
1006		100	100	100

[重要度] フィールドに基づくアイテム加重の計算

検索条件には各アイテムの [重要度] フィールドが自動的に含められ、そのデフォルト値として [3 - 平均] が割り当てられます。つまり、各アイテムの重要度は同等です。検索タイプに応じて、デフォルトの重要度を変更し、各プロファイル アイテムの相対的な重要度を指定することができます。検索を実行すると、アイテムに割り当てた重要度に応じた加重が各アイテムに適用されます。その結果、重要度の高いアイテムを含むプロファイルの方が、重要度の低いアイテムしか含まないプロファイルよりスコアが高くなります。

各アイテムの加重は、次のように計算されます。

$$\text{重要度 \%} = (\text{アイテムの重要度} / \text{合計重要度}) \times 100$$

この計算方法を示すために、検索条件で各アイテムに次のような重要度を指定すると仮定します。

コンテンツ タイプ	アイテム ID	重要度
学位	BA(文学士)	4 - 平均以上
言語	DU(オランダ語)	3 - 平均
テスト/検査	1006 (Accounting Aptitude Test)	1 - 低

この例では、重要度の合計が 8 (= 4 + 3 + 1) です。

検索条件の各アイテムに対して、加重は次の表のように計算されます。

アイテム ID	重要度	加重
BA(文学士)	4 - 平均以上	$4/8 \times 100 = 50\%$
DU(オランダ語)	3 - 平均	$3/8 \times 100 = 37.5\% = 38$ (四捨五入)
1006 (Accounting Aptitude Test)	1 - 低	$1/8 \times 100 = 12.5\% = 13$ (四捨五入)

アイテム加重の値を使用して、加重後のアイテム スコアは次の公式で計算されます。

アイテム スコア (加重後) = アイテム スコア × 重要度 %

上記の例と同じ個人プロフィールを使って、加重後の全体的なスコアを示します。Nicola Edwards のアイテム スコアと加重後のスコアは、次の表のとおりです。

アイテム	アイテム スコア	アイテム スコア (加重後)
BA (文学士)/USA	100	$50 = 100 \times 50\%$
DU (オランダ語)	0	0
1006 (Accounting Aptitude Test)	100	$12.5 = 100 \times 12.5\% = 13$ (四捨五入)

Nicola の合計スコアは、次のように加重アイテム スコアの合計になります。

合計スコア = $50 + 12.5 = 62.5$ (四捨五入して 63)

注: スコアは、最も近い整数値に四捨五入されます。

Rachel Norris のアイテム スコアと加重後のスコアは、次の表のとおりです。

アイテム	アイテム スコア	アイテム スコア (加重後)
BA (文学士)/USA	0	0
DU (オランダ語)	100	$37.5 = 100 \times 37.5\% = 38$ (四捨五入)
1006 (Accounting Aptitude Test)	100	$12.5 = 100 \times 12.5\% = 13$ (四捨五入)

合計スコア = $37.5 + 12.5 = 50$

Helen Scott のアイテム スコアと加重後のスコアは、次の表のとおりです。

アイテム	アイテム スコア	アイテム スコア (加重後)
BA (文学士)/USA	50	$25 = 50 \times 50\%$
DU (オランダ語)	0	0
1006 (Accounting Aptitude Test)	100	$12.5 = 100 \times 12.5\% = 13$ (四捨五入)

合計スコア = $25 + 12.5 = 37.5$ (四捨五入して 38)

評価プロパティ スコアの計算

検索条件に評価プロパティまたは関心レベル プロパティ (JPM_RATING1、JPM_RATING2、JPM_RATING3、JPM_INTEREST_LEVEL) が含まれている場合、プロパティ スコアの計算方法が他のプロパティの場合と異なります。100 か 0 かのスコアではなく、ターゲット プロファイルにおける評価または関心レベルが、検索条件で指定された評価または関心レベルにどの程度一致するかに応じたスコアが割り当てられます。

関心レベルのプロパティについては、次のセクションで説明します。

評価プロパティのスコアは、アイテムに定義されている評価モデルのレベル数に基づいて計算されます。

重要: 検索と比較を実行する際、ソースとターゲットのプロファイルでは、プロフィール アイテムに使用される評価モデルの評価レベル数が同じである必要があります。評価モデルが一致しない場合、スコアが正確に計算されません。

次の表に、検索と比較で割り当てられる評価モデルと評価レベルの例を示します。

評価	説明	評価レベル
A	優秀	5
B	優	4
C	良	3
D	可	2
E	不可	1

検索と比較でプロフィール アイテムに評価を割り当てると、要求されている評価と、ターゲットの評価レベルが比較されます。この例では、ソース プロファイルに次のアイテムとその評価が指定されているとします。

アイテム ID	評価	評価レベル
0102 (Conceptual thinking)	B (優)	4

同じアイテムとそのアイテムの評価を含むターゲット プロファイルは、次の表のとおりです。

プロフィール	アイテム ID	評価	評価レベル
01000	0102 (Conceptual thinking)	B (優)	4
02000	0102 (Conceptual thinking)	A (優秀)	5
03000	0102 (Conceptual thinking)	C (良)	3

基準評価レベル (ソース プロファイル) と、ターゲット プロファイルにおける実際の評価レベルとの差異は、次のように計算されます。

ABS (基準評価レベル - 実際の評価レベル)

ABS (絶対値) とは、(基準評価レベル - 実際の評価レベル) で計算された結果の正負の符号を無視するという意味です。このように差異を計算して実際の評価が基準評価より高い場合でも、評価スコアの計算に負の数値は使用されません。

このプロフィール例における基準評価と実際の評価の差異は、次の表のとおりです。

プロフィール	アイテム ID	基準評価レベル	実際の評価レベル	ABS (基準評価 - 実際の評価)
01000	0102	4	4	0
02000	0102	4	5	1
03000	0102	4	3	1

この差異の値を使用して、評価スコアは次の公式で計算されます。

評価スコア = 100 - ABS (基準評価レベル - 実際の評価レベル) × 評価加重

評価加重の計算方法は次のとおりです。

評価加重 = 100 / (評価モデルにおける評価レベルの合計数)

この例の評価モデルでは評価レベルの合計数が 5 なので、評価加重は 20 (= 100/5) です。

この例の各プロフィールに対する評価スコアは、次の表のようになります。

プロフィール	アイテム ID	ABS (基準評価 - 実際の評価レベル)	評価スコア
01000	0102	0	100
02000	0102	1	80
03000	0102	1	80

評価スコアの最高値は 100 となり、これはソースとターゲットの両方でアイテムの評価が一致する場合にのみ適用されます。ターゲットでの実際の評価が基準評価より低い、または高い場合、評価スコアは 100 より低くなります。この例のプロフィール 02000 と 03000 では、評価が異なっても評価スコアは同じになることがわかります。これは、基準評価と実際の評価との差異が 2 つのプロフィールで同じためです。

評価モデル プロパティを持つアイテムに対する加重の適用方法は、評価モデル プロパティを持たないアイテムに対する加重の場合と同様です。

この計算方法を示すために、次の例では、評価モデル プロパティを持つアイテムでのスコアの計算方法を示します。次の表に示すように、この例では検索条件に 3 つのコンピテンシー アイテムと基準評価があり、重要度の値も設定されています。

アイテム ID	評価	評価レベル	重要度
0102 (Conceptual thinking)	C (良)	3	2 - 平均以下
0110 (Time management)	A (優秀)	5	4 - 平均以上
0203 (Confidence & maturity)	B (優)	4	3 - 平均

検索と比較におけるターゲット プロフィールは個人プロフィールです。次の表は、Nicola Richardson のコンピテンシー評価です。

アイテム ID	評価	評価レベル
0102 (Conceptual thinking)	B (優)	4
0110 (Time management)	A (優秀)	5
0203 (Confidence & maturity)	D (可)	2

この検索/比較では、各アイテムについて 2 つのプロパティ スコアが計算されます。

- アイテム ID。

同じコンピテンシー アイテムを持つプロフィールはスコアが 100 となり、コンピテンシーを持たなければスコアは 0 となります。

- 評価プロパティの評価スコア。

検索/比較の最初のステップでは、各コンピテンシー アイテムのプロパティ スコアが計算されます。Nicola Richardson のプロパティ スコアは次の表のとおりです。

アイテム ID	評価レベル	アイテム ID スコア	評価スコア
0102	4	100	$80 = 100 - \text{ABS}(3 - 4) \times 20$
0110	5	100	$100 = 100 - \text{ABS}(5 - 5) \times 20$
0203	2	100	$60 = 100 - \text{ABS}(4 - 2) \times 20$

次に、以下の値が計算されます。

- プロパティ スコアの合計。

各アイテムのプロパティ スコアの合計は、アイテム ID と評価に対するプロパティ スコアの合計です。

- アイテム スコアの平均。

計算方法は以下のとおりです。

合計プロパティ スコア/プロパティ数

この例では、プロパティ数は 2 (アイテム ID と評価) です。

Nicola のアイテム スコアは次の表のとおりです。

アイテム ID	プロパティ スコア		プロパティ スコア合計	アイテム スコア平均
	アイテム ID スコア	評価スコア		
0102	100	80	$180 = 100 + 80$	$90 = 180/2$
0110	100	100	$200 = 100 + 100$	$100 = 200/2$
0203	100	60	$160 = 100 + 60$	$80 = 160/2$

次に、アイテム スコアの平均に加重が適用されます。そのために、アイテムに割り当てられた重要度に基づいて、次の公式で各アイテムの加重が計算されます。

重要度 % = (アイテムの重要度 / 合計重要度) × 100

この例では、重要度の合計が 9 (= 2 + 4 + 3) です。

各コンピテンシー アイテムの加重は次の表のとおりです。

アイテム ID	重要度	重要度 %
0102	2	22.22% = 2/9 × 100
0110	4	44.44% = 4/9 × 100
0203	3	33.33% = 3/9 × 100

加重後のアイテム スコアは、次のように計算されます。

アイテム スコア (加重後) = アイテム スコア × 重要度 %

Nicola の加重後のアイテム スコアは次の表のとおりです。

アイテム ID	アイテム スコア平均	アイテム スコア (加重後)
0102	90	20 = 90 × 22.22%
0110	100	44 = 100 × 44.44%
0203	80	27 = 80 × 33.33%

最後に、加重後のアイテム スコアを全て合計して、プロファイル スコアの合計が計算されます。

合計プロファイル スコア = 91 = 20 + 44 + 27

関心レベル プロパティ スコアの計算

検索条件に関心レベル プロパティ (JPM_INTEREST_LEVEL) が含まれている場合も、プロパティ スコアの計算方法は評価プロパティの場合と同様です。関心レベルのプロパティ スコアは、ターゲット プロファイルにおける関心レベルが、検索条件で指定された関心レベルにどの程度一致するかに基づいて決定されます。

関心レベル スコア = 100 - ABS (基準関心レベル - 実際の関心レベル) × 評価加重

評価加重の計算方法は次のとおりです。

評価加重 = 100 / (評価モデルにおける評価レベルの合計数)

標準の関心レベル モデル (評価モデルとして提供されている) には 5 つのレベルがあるので、評価加重は 20 (100/5) となります。

必須アイテムのアイテム スコアの計算

各アイテムの [必須] チェック ボックスは、自動的に検索条件に追加されます。アイテムのこのチェック ボックスをオンにすると、そのアイテムを含むプロファイルと、そのアイテムに指定されている全てのプロパティが検索対象になります。プロファイルが検索条件に含まれるためには、プロファイルにこのアイテムが含まれ、かつ指定のアイテム プロパティが正確に一致している必要があります。アイテム プロパティの異なるプロファイルは含まれません。

次の表に示す例では、検索条件に 2 つのコンピテンシー アイテムと学位が指定されています。

アイテム ID	評価	国	必須
0110 (Time management)	3		Y
0203 (Confidence & maturity)	4		N
BA (文学士)		USA	N

ターゲット プロファイルでのアイテムとそのアイテム スコアは、次の表のとおりです。

アイテム ID	評価	国	アイテム スコア (加重なし)
0110 (Time management)	2		0
0203 (Confidence & maturity)	4		100
BA (文学士)		USA	50

アイテム 0110 に対するターゲット プロファイルのスコアが 0 であることに注意してください。これは、評価が検索条件と一致せず、アイテムが必須に指定されているためです。必須アイテムのスコアが 0 の場合、検索結果としてこのプロフィールは返されません。

プロフィールの検索/比較に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
プロフィールの検索	JPM_SRCH_TRANSFER	[人材開発]、[プロフィール管理]、[プロフィール]、[プロフィールの検索/比較] 非個人プロフィール ページまたは個人プロフィール ページの [プロフィール アクション] フィールドで [プロフィールの検索/比較] を選択	プロフィール管理責任者に定義されている検索タイプがリストされます。実行する検索のタイプを選択します。プロフィール管理責任者、従業員、管理者用の検索の設定には、検索設定ページを使用します。

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
プロフィールの検索	JPM_COM_PROF_SRCH	プロフィールの検索ページで検索を選択	検索のソースとして使用するプロフィールを選択します。選択するソースプロフィールによって、デフォルトの検索条件が提供されます。このページが表示されるのは、選択した検索の条件ルールが[デフォルト値使用/変更不可]または[デフォルト値使用/変更可]であり、かつソースプロフィールタイプが非個人プロフィールタイプの場合のみです。条件ルールが[デフォルト値なし/条件指定(アドホック)]の場合、デフォルトの検索条件がないためこのページは表示されません。代わりに、検索条件ページで検索条件を手動で入力します。
個人検索	HR_PSS_SEARCH	プロフィールの検索ページで検索を選択	検索のソースとして使用する個人プロフィールを選択します。このページが表示されるのは、選択した検索の条件ルールが[デフォルト値使用/変更不可]または[デフォルト値使用/変更可]であり、かつソースプロフィールタイプが個人プロフィールタイプの場合のみです。
検索条件	JPM_SRCH_CRITERIA	プロフィールの検索ページで検索を選択 検索結果ページで[検索条件の変更]リンクをクリック	検索/比較の検索条件を表示および変更します。プロフィールの検索ページで選択した検索の条件ルールが[デフォルト値使用/変更可]または[デフォルト値なし/条件指定(アドホック)]の場合、検索の実行前にこのページが表示されます。条件ルールが[デフォルト値使用/変更不可]の場合、検索条件ページを表示せずに検索が実行されます。
検索結果	JPM_SRCH_RESULT	検索条件ページで[検索]ボタンをクリック プロフィールの検索ページでプロフィールを選択	検索の結果が表示されます。

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
希望任務リストに追加 - 確認	JPM_INT_CONFIRM	検索結果ページでプロフィールを選択して、[希望任務リストに追加] ボタンをクリック	検索結果ページで選択した非個人プロフィールが、個人の希望任務リストに追加されたことを確認します。[希望任務リストに追加] ボタンを使用できるのは、実行した検索のターゲットプロフィールタイプが非個人プロフィールタイプであった場合のみです。
比較するプロフィールの選択	JPM_COMPARE_MAIN	[人材開発]、[プロフィール管理]、[プロフィール]、[プロフィールの比較]	比較するソースおよびターゲットのプロフィールタイプを選択します。
比較結果, 検索結果	JPM_COMPARE_RESULT	<ul style="list-style-type: none"> プロフィールの比較 - 比較するプロフィールの選択ページでソースおよびターゲットのプロフィールを選択し、[プロフィールの比較] ボタンをクリック 検索結果ページでプロフィールを選択し、[比較対象に追加] ボタンをクリックしてから [プロフィールの比較] ボタンをクリック 検索結果ページのスコアリンクをクリック 	選択したプロフィールの比較のサマリを表示します。


ソース プロファイルの選択

プロフィールの検索ページにアクセスします。

プロフィールの検索/比較

プロフィールの検索

プロフィールを確認するには、検索条件を入力して [検索] ボタンをクリックします。

基本検索条件	
プロフィール ID:	<input type="text"/> 
タイプ:	任務
プロフィール名:	<input type="text"/>
ステータス:	<input type="text"/>
旧バージョン プロファイル ID:	<input type="text"/>

[詳細検索](#)

✓ 55 件の検索結果が検出されました。

プロフィール				
検索 全件表示  最初 ◀ 1-10/55 ▶ 最後				
プロフィール ID	プロフィール タイプ	プロフィール名	ステータス	旧バージョン プロファイル ID
100860	任務	Federal Position Profile 1	アクティブ	FPOSN1
100861	任務	Federal Position Profile 2	アクティブ	FPOSN2
100862	任務	Federal Position Profile 3	アクティブ	FPOSN3
100863	任務	Job Profile Test	アクティブ	H0P600
100864	任務	Weight and Min Weight Test	アクティブ	H0P610
100865	任務	Job Family 1	アクティブ	H0PFAM1
100866	任務	Job Family 2	アクティブ	H0PFAM2
100867	任務	Job Family 3	アクティブ	H0PFAM3
100868	任務	Job Code 1	アクティブ	H0PJ0B1
100869	任務	Job Code 2	アクティブ	H0PJ0B2

[前のページに戻る](#)

プロフィールの検索ページ

基本検索条件

[プロフィール ID]

プロフィールを選択するか、プロフィール ID の一部を入力します。

[タイプ]

検索のソースとして定義されているプロフィール タイプが表示されます。ソースおよびターゲットのプロフィール タイプは、検索設定ページで設定します。

[プロフィール名]

プロフィール名またはその一部を入力するか、名称の一致するプロフィールを検索します。

[ステータス]

特定ステータスのプロフィールのみをリストする場合はステータスを選択します。

[旧バージョン プロファイル ID]	ヒューマン リソース管理の旧バージョンで存在していたプロファイルを検索したい場合は、旧バージョン プロファイル ID を入力します。旧バージョン プロファイル ID は、アップグレードの際にプロファイルに割り当てられます。
[検索]	このボタンをクリックすると、検索条件に一致するプロファイルがリストされます。

[プロファイル]

このスクロール領域に、選択した検索条件に一致するプロファイルがリストされます。検索および比較のソースとして使用するプロファイル名をクリックします。検索タイプに応じて、検索条件ページが表示されるか、選択したプロファイルを使用して検索が実行されます。検索の条件ルールが [デフォルト値使用/変更可] の場合、検索条件ページが表示されて、検索の実行前に検索条件を変更することができます。検索の条件ルールが [デフォルト値使用/変更不可] の場合、検索が実行されて、検索結果ページに結果が表示されます。

検索条件の設定

検索条件ページにアクセスします。

プロフィールの検索/比較

検索条件 – この職務に適合する人物の検索

入力したプロフィール アイテム条件の一致するプロフィールを検索します。

検索 クリア ?

▼ 検索フィルタ

検索フィルタを使用すると、特定のプロフィール グループに検索を限定できます。検索フィルタを追加するには、[検索フィルタの追加] リンクをクリックします。検索方法を選択して、プロフィール グループを入力してください。

*検索方法: いずれかのフィルタに当てはまるもの

プロフィール グループ タイプ	*プロフィール グループ ID	*プロフィール グループ名
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

+ [検索フィルタの追加](#)

検索条件

検索条件に合ったプロパティを入力して、コンテンツ セクションのアイテムを指定します。アイテムの重要度、および必須かどうかも指定してください。[検索] ボタンをクリックして検索を実行します。

General				
	重要度	必須	Target Proficiency	関心レベル
Analytical thinking	3 - 平均	<input type="checkbox"/>	5 - 専門	<input type="text"/>
Conceptual thinking	3 - 平均	<input type="checkbox"/>	5 - 専門	<input type="text"/>
Articulate & concise	3 - 平均	<input type="checkbox"/>	4 - 優	<input type="text"/>

+ [コンテンツ](#)

検索条件ページ

このページで、検索条件を定義します。選択した検索の条件ルールが [デフォルト値使用/変更可] の場合、プロフィールの検索ページまたは個人検索ページで選択したソース プロファイルに基づいて、デフォルトの検索条件が自動的に表示されます。必要に応じて、検索条件を確認し変更します。

一方、選択した検索にプロフィール タイプが定義されていない場合は、まず使用するソースおよびターゲットのプロフィール タイプを指定してから、検索条件を手動で定義します。

注: このページにリストされるコンテンツ タイプと、各コンテンツ タイプのフィールドは、選択した検索タイプ、プロフィール タイプ定義、およびコンテンツ タイプ定義によって異なります。

参照: 第 4 章、「プロフィールの検索/比較の設定」、77ページ

参照: 第 3 章、「プロフィール管理の設定」、「プロフィール タイプの設定」、56ページ

参照: 第 2 章、「コンテンツ カタログの設定」、「コンテンツ タイプの設定」、16ページ

[ソース プロファイル タイプ]、[ターゲット プロファイル タイプ]

検索で使用するプロフィール タイプを選択します。ソース プロファイル タイプは、検索条件の基準として使用されます。ターゲットは、一致するプロフィールを検索する対象となるプロフィール タイプです。

これらのフィールドは、検索設定ページでソースまたはターゲットのプロファイル タイプを定義していない検索で表示されます。

各フィールドに値を指定すると、検索に使用できるコンテンツ セクションと検索フィルタが表示されます。

[検索]

クリックすると、このページで指定した条件に基づいて検索が開始されます。検索が実行され、一致するプロファイルが検索結果ページに表示されます。

[クリア]

検索条件をクリアする場合は、このボタンをクリックします。

[重要度]

プロファイル アイテムの重要度を示す値を選択します。デフォルト値は [3 - 平均] です。[重要度] の値は、プロファイルが検索条件にどの程度一致するかを決定する際に使用されます。高い重要度を選択した場合、そのプロファイル アイテムを含むプロファイルの方が、同じプロファイル アイテムを含まないプロファイルより高い程度で一致すると見なされます。

[必須]

一致するプロファイルが必ず特定のプロファイル アイテムを含むようにする場合は、それらのアイテムのチェック ボックスをオンにします。検索を実行すると、必須のアイテムがあり、検索条件での指定と同じアイテム プロパティを持つターゲット プロファイルが検索されます。たとえば、検索条件に必須のコンピテンシー アイテムを含め、そのコンピテンシーの能力レベル評価も指定した場合、そのコンピテンシー アイテムおよび同じ能力レベル評価を持つプロファイルのみが検索結果に表示されます。

[検索フィルタ]

このグループ ボックスを使用して、検索を特定のプロファイル グループに限定します。このグループ ボックスが表示されるのは、ターゲットのプロファイル タイプが検索可能なプロファイル グループに属している場合のみです。

参照: 第 3 章、「[プロファイル管理の設定](#)」、「[プロファイル グループ タイプの作成](#)」、69ページ

検索結果の表示

検索結果ページにアクセスします。

プロフィールの検索/比較

検索条件 - 職務の検索

検索条件として入力されたアイテムに合致するアイテムが、以下のプロフィールに存在します。

プロフィールの詳細を確認するには、下のプロフィール名のリンクをクリックします。検索条件に対するプロフィールの検索結果を確認するにはスコアのリンクをクリックします。詳細を比較するプロフィールを保存するには、プロフィールのチェック ボックスをオンにして、プロフィールの比較ボタンをクリックします。

検索条件の変更
プロフィールの検索
比較対象に追加
希望任務リストに追加

✓ 検索結果 5 件のうち、1 ～ 5 件が戻されました。

結果検索		
選択	スコア	プロフィール名
<input type="checkbox"/>	100	General Analyst
<input type="checkbox"/>	100	RS Fed Admin job profile
<input type="checkbox"/>	100	Mgr-Finance
<input type="checkbox"/>	100	Mgr-Finance
<input type="checkbox"/>	100	Job Profile for HXESS008

▼ プロファイルの比較

この検索条件に対し、最大 10 件のプロフィールを選択してプロフィールの比較ボタンをクリックします。

プロフィールの選択		
スコア	プロフィール名	
100	General Analyst	
100	Mgr-Finance	
100	Mgr-Finance	

プロフィールの比較

検索結果ページ

[検索条件の変更]

検索条件を変えて検索を再実行する場合は、このリンクをクリックして検索条件を表示および変更します。検索条件ページが表示されます。

[プロフィールの検索]

新しい検索を実行するには、このリンクをクリックします。プロフィールの検索ページに戻り、使用可能な検索が全てリストされます。

[比較対象に追加]

このボタンをクリックすると、選択したプロフィールが [プロフィールの比較] セクションに追加されます。

[希望任務リストに追加]

このボタンをクリックすると、選択したプロフィールが個人の希望任務リストに追加されます。このボタンは、検索のターゲット プロファイル タイプが非個人プロフィール タイプの場合に表示されます。

[選択]

チェック ボックスをオンにしてプロフィールを選択します。このチェック ボックスは、[比較対象に追加] ボタンまたは [希望任務リストに追加] ボタンと共に使用します。比較には最大 10 のプロフィールを選択できます。

- [スコア]

スコアのリンクをクリックすると検索結果ページが表示されます。このページには、検索条件のアイテムと、選択したプロフィールで対応するアイテムの検索スコアがリストされます。
- [プロフィール名]

プロフィール名 をクリックするとプロフィールが表示されます。プロフィールタイプに応じて個人プロフィール ページか非個人プロフィール ページが表示されます。
- [プロフィールの比較]

比較を実行するにはこのボタンをクリックします。比較結果ページが表示され、検索条件のアイテムと、選択したプロフィールで対応するアイテムがリストされます。

比較するプロフィールの選択

比較するプロフィールの選択ページにアクセスします。

プロフィールの比較

比較するプロフィールの選択

まず比較元として使用するソースプロフィールタイプおよびソースプロフィールIDを指定します。その後、ターゲットプロフィールタイプを指定し、ソースプロフィールと比較するターゲットプロフィールを追加します。[プロフィールの比較] ボタンをクリックすると、比較結果を確認できます。

ソースプロフィールタイプ:

Job

ソースプロフィールID:

Dir-Finance

ターゲットプロフィールタイプ:

Job

ターゲットプロフィールの追加

ターゲットプロフィールID	名称	
<input type="text" value="150004"/>	Dir-Finance	

+

[プロフィールの追加](#)

プロフィールの比較

比較するプロフィールの選択ページ

[ソースプロフィールタイプ]

比較のソースとして使用するプロフィールタイプを選択します。

[ソースプロフィールID]

ターゲットプロフィールと比較する対象のプロフィールを選択します。

[ターゲットプロフィールタイプ]

ターゲットプロフィールを選択するプロフィールタイプを選択します。

[ターゲットプロフィールID]

ターゲットプロフィールIDをセンタします。ターゲットプロフィールは、[ソースプロフィールID] フィールドで選択したプロフィールと比較されます。

[プロフィールの追加]

別のターゲットプロフィールを追加する場合にクリックします。

144

Copyright © 1988 – 2006, Oracle. All rights reserved.

比較結果の表示

比較結果ページにアクセスします。

[プロフィールの比較](#)

比較結果

*セクション表示: 全てのセクションを表示

Dir-Finance	Dir-Finance
• 学位 文学士: Country: --	• 学位 --
• コンピテンシー <i>Abstract thinking:</i> Target Proficiency: 4 - 優 Critical: いいえ	• コンピテンシー 4 - 優 いいえ
<i>Takes initiative & follows up:</i> Target Proficiency: 4 - 優 Critical: いいえ	4 - 優 いいえ
<i>Resource Planning:</i> Target Proficiency: 5 - 専門 Critical: いいえ	5 - 専門 いいえ

[前のページに戻る](#)

比較結果ページ

このタブには比較の結果が表示されます。このページには、検索結果ページから、または [プロフィールの比較] オプションを使用してアクセスします。左側の列には、ソース プロファイルまたは検索条件にあるコンテンツ セクションとコンテンツ アイテムが表示されます。残りの列には、対応するターゲット プロファイルのデータが表示されます。検索結果ページからこのページにアクセスした場合は、各ターゲット プロファイルにアイテムのスコアが表示されます。

[セクション表示]

プロフィールの全てのセクションをリストする場合は [全てのセクションを表示] を選択し、1 つのコンテンツ セクションのみについて情報を表示する場合はそのセクションを選択します。デフォルトは [全てのセクションを表示] です。

希望任務リストの管理

このセクションでは、希望任務リストの概要、共通フィールド、および以下の方法について説明します。

- 従業員の希望任務リストの管理
- プロファイル別の希望任務リストの表示

希望任務リストについて

希望任務リストを使うと、従業員は興味のある非個人プロフィールのリストを管理できます。希望任務リストには、任意のプロファイルを含めることができます。たとえば、従業員は自身のキャリア プランに追加したい職務のプロファイルや、自身のプロフィールに類似した任務プロフィールを追加することができます。希望任務リストは各従業員が所有し、従業員、管理者、およびプロフィール管理責任者がそれを変更できます。

- 従業員は、eDevelopment-人材開発で提供されるセルフサービス オプションを使用して自身の希望任務リストを管理します。

希望任務リストには、各プロフィールを誰がリストに追加したかが示され、従業員は追加されたプロフィールを削除できます。管理者またはプロフィール管理責任者によって追加されたプロフィールは削除できません。

- 管理者は、eDevelopment-人材開発の管理者セルフサービス オプションを使用して直属部下の希望任務リストを表示および変更できます。

管理者が希望任務リストから削除できるのは、自身が追加したプロフィールのみです。従業員またはプロフィール管理責任者によって追加されたプロフィールは削除できません。

- 管理責任者は、自身のロールに関連付けられている行レベルのセキュリティ権限に基づいて希望任務リストにアクセスします。

プロフィール管理責任者は、従業員および管理者によって追加されたプロフィールも含めて任意のプロフィールを希望任務リストから削除できます。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise eDevelopment-人材開発 9.0 PeopleBook、「プロフィールの管理」、「希望任務リストの管理」

このセクションで使用する共通フィールド

プロフィール

プロフィールのリンクをクリックするとプロフィールが表示されます。希望任務リスト ページでこのリンクをクリックした場合は非個人プロフィール ページに進み、希望任務リスト-プロフィール別確認ページでこのリンクをクリックした場合は個人プロフィール ページに進みます。

割当者

希望任務リストにプロフィールを追加したユーザーの名前が表示されます。従業員、管理者、管理責任者のいずれかです。

希望任務リストの管理に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
個人別希望任務リスト	JPM_INTEREST_PERS	[人材開発]、[プロフィール管理]、[プロフィール]、[個人別希望任務リスト]	従業員の希望任務リストを表示し、リストにプロフィールを追加します。
希望任務リスト-プロフィール別確認	JPM_INTEREST_PROF	[人材開発]、[プロフィール管理]、[プロフィール]、[プロフィール別希望任務リスト]	選択したプロフィールを希望任務リストに載せている従業員のリストを表示します。選択したプロフィールを従業員の希望任務リストに追加することもできます。

従業員の希望任務リストの管理







個人別希望任務リスト ページにアクセスします。

個人別希望任務リスト

希望任務リストを管理します。

従業員 ID: KU0026

John Pak

希望任務リスト		
検索 全件表示 		
最初  1-3/3  最後		
プロフィール	担当者	削除
Bus Analyst	Betty Locherty	
Consultant-Sr	Betty Locherty	
General Analyst	Betty Locherty	
+ プロファイルの追加		

個人別希望任務リスト ページ

[プロフィールの追加]

従業員の希望任務リストに別のプロフィールを追加する場合は、このリンクをクリックします。

プロフィール別の希望任務リストの表示









希望任務リスト - プロファイル別確認 ページにアクセスします。

希望任務リスト プロフィール別確認

このプロフィールの希望任務リストに追加されている従業員が表示されます。

プロフィール ID: 100886

General Analyst

希望任務リスト		
検索 全件表示 		
最初  1-7/7  最後		
個人	担当者	削除
Antonio Santos	Betty Locherty	
Betty Locherty	Betty Locherty	
Carmichael Espinosa	Betty Locherty	
Christelle Stevenson	Betty Locherty	
John Pak	Betty Locherty	
Rosanna Channing	Betty Locherty	
Susan Hoinck	Betty Locherty	
+ 個人の追加		

希望任務リスト - プロファイル別確認

[個人の追加]

別の従業員の希望任務リストにプロフィールを追加する場合は、このリンクをクリックします。

研修の追跡管理

このセクションでは、従業員研修の追跡について、その概要と方法を説明します。

従業員研修を追跡する方法について

教育・研修管理ビジネス プロセスでは、研修コースの設定とコース セッションの管理を行うことができます。教育・研修管理を使って研修コースを管理すると、研修履歴ページで従業員研修の履歴に関するサマリを見ることができます。このページの詳細は、『PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 教育・研修管理』に記載されています。

教育・研修管理では管理されない他の研修を追跡するには、研修サマリ ページ (EDUCAT_TRAIN_GBL) を使用します。このページを使えば、従業員が登録されている、または完了した研修を追跡することができます。

関連項目:

PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 教育・研修管理、「研修受講状況の管理」、「受講者およびコース情報の入力または確認」

従業員研修の追跡に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
研修履歴	COURSE_STUDNT_ENRL	[人材開発]、[プロフィール管理]、[プロフィール]、[研修受講履歴]、[研修履歴]	従業員が終了した、登録している、または登録待ちの研修コースの詳細が表示されます。このページには、教育・研修管理ビジネス プロセスを使って管理するコース セッションが表示されます。
研修サマリ	EDUCAT_TRAIN_GBL	<ul style="list-style-type: none"> [人材開発]、[プロフィール管理]、[プロフィール]、[研修サマリ]、[研修サマリ] [教育・研修管理]、[結果管理]、[個人プロフィールの管理]、[研修サマリ]、[研修サマリ] 	教育・研修管理ビジネス プロセスで管理されない従業員研修を記録します。

従業員研修の追跡

研修サマリ ページにアクセスします。

Betty Locherty 個人 ID: KU0007

研修				
カスタマイズ 検索 全件表示		最初	1-2/2	最後
コース名	学校名	コース日程		
Time Management		2010/10/22		
Organizational behaviour	Sargam Prof School	2002/05/05		

研修サマリ ページ

- [コース名] 研修コースの名称を入力します。
- [学校名] コースを運用している教育機関または研修企業の名称を入力します。
- [コース日程] コースの終了日、またはコースの開始日を入力します。

第 6 章

コンピテンシーと任務の適合

この章では、プロフィールの比較と任務適合の概要と、以下の方法について説明します。

- 適合性評価タイプの設定
- 任務に対する従業員の適合性の分析
- 従業員に対する任務の適合性の分析
- プロジェクトに対するチームの適合性の分析

プロフィールの比較について

プロフィール管理ビジネス プロセスでは、プロフィールの比較に 3 つの方法があります。

- プロファイルの検索/比較
- プロファイルの比較
- 任務適合

プロフィールの検索/比較

プロフィールの検索/比較オプションを使うと、コンテンツ カタログ、プロフィール タイプ、ユーザーに適した検索を設定することができます。実行する検索を選択すると、検索条件に最も一致するプロフィールが返されます。検索結果の各プロフィールには、検索条件に指定された全てのアイテム プロパティとどの程度一致するかを示すスコアが割り当てられます。検索結果に含まれるプロフィールを、検索条件と比較することもできます。検索タイプによっては、検索条件の変更も可能で、プロフィールの検索/比較は任務の適合より柔軟になります。

特定のプロフィールまたはプロフィール アイテム条件があり、プロフィール タイプ内で一致するプロフィールを検索したい場合は、プロフィールの検索/比較オプションを使用します。

参照: [第 5 章、「プロフィール管理」、「プロフィールの検索と比較」、124ページ](#)

プロフィールの比較

プロフィールの比較オプション使用すると、ソース プロファイルと 1 つ以上のターゲット プロファイルとをオンラインで比較できます。任務適合のオプションと異なり、PERSON および ROLE のプロフィール タイプに限らず、任意のプロフィール タイプを選択できます。

参照: [第 5 章、「プロフィール管理」、「比較結果の表示」、145ページ](#)

任務適合

[人材開発]、[プロフィール管理]、[コンピテンシーと任務の適合性] メニューのオプションを使うと、従業員の PERSON プロファイルのコンピテンシーおよび資格と ROLE プロファイルで要求されているコンピテンシーおよび資格を比較したり、PERSON プロファイル グループと ROLE プロファイルで業務を比較したりできます。アイテムの能力レベルと重要度に基づいて、適合の程度が表示されます。一致スコアとして割り当てられる点数は、一致するアイテムの重要度の点数に基づきます。

任務適合は、ROLE プロファイル タイプと PERSON プロファイルの次のコンテンツ タイプに限定されます。

- コンピテンシー
- 学位
- 学歴
- 表彰/報奨
- 免許/資格
- 語学力
- 会員資格
- テスト/検査
- NVQ ユニット

注: プロファイルに定義してある他のコンテンツ タイプは、任務適合での基準にはなりません。

任務適合は、次のプロフィール タイプのみを比較するように設定されています。

- PERSON プロファイル
- ROLE プロファイル

次の場合には、プロフィールの検索/比較を使用することをお勧めします。

- 検索に他のコンテンツ タイプまたはプロフィール タイプを含める場合。

プロフィールの検索/比較では、システムで定義されている任意のプロファイル タイプに検索を設定でき、検索の際には対象プロフィールに共通する全てのコンテンツ タイプが比較されます。

参照: 第 4 章、「プロフィールの検索/比較の設定」、77ページ

- 個人プロフィールまたは非個人プロフィールで最も一致するものを検索する場合。

任務適合では、比較する PERSON プロファイルと ROLE プロファイルを選択します。プロフィールの検索/比較では、検索条件を設定する柔軟性が高く、その条件に最も一致するプロフィールが返されます。

参照: 第 5 章、「プロフィール管理」、「プロフィールの検索と比較」、124ページ

- 従業員と管理者に検索を使用可能にする場合。

eDevelopment-人材開発がインストールされている場合、セルフサービスのユーザー用に検索を設定できます。コンピテンシーと資格の一致オプションは、プロフィール管理責任者のみが使用できます。

参照: PeopleSoft Enterprise eDevelopment-人材開発 9.0 PeopleBook、「プロフィールの管理」、「プロフィールの検索と比較」

特定の PERSON プロファイルと特定の ROLE プロファイルを比較し、能力レベルおよび重要度に基づいて各プロフィール アイテムに関する差異情報を取得したい場合にのみ、任務適合を使用してください。

任務適合について

ここでは、以下の項目について説明します。

- 点数の割り当てと重要度
- 複数評価

点数の割り当てと重要度

以下の適合性を調べるには、それぞれ異なる照会を実行します。

- 任務に対する従業員の適合性
- 従業員に対する任務の適合性
- 業務に対するチームの適合性

ただし、全ての照会は以下の同じ方法で実行されます。割り当てられたコンピテンシー、コンピテンシー能力レベル、および資格に基づいて、従業員またはチームに点数が付与されます。各コンピテンシーや資格に割り当てられた重要度に応じて、評価が加重されます。

重要度には、以下の点数が割り当てられます。

重要度	点数
高	5
標準以上	4
平均	3
標準以下	2
低	1
なし	0

次の表は、人材管理スペシャリストに必要なコンピテンシー、および各コンピテンシーに付与される点数の例を示したものです。

コンピテンシー	重要度	付与点数
コミュニケーション能力	高	5
リーダーシップ	平均	3

コンピテンシー	重要度	付与点数
協調性	標準以上	4
計画性	低	1
意思決定能力	標準以上	4
順応性	標準以下	2

適合点合計の値は、従業員が全ての要件に合致する場合の最大点数を表しています。前述の例では、適合点合計（付与点数列の合計）は 19 です。資格とコンピテンシーには、異なった方法で点数が割り当てられます。

従業員への資格点数の割り当て

資格点数は、システムによって計算されます。資格点数は、従業員プロフィールに資格が設定されている場合、その資格に割り当てられた重要度に基づいて、従業員に付与されます。資格に含まれるコンテンツタイプは、学位、学歴、表彰/報奨、免許/資格、語学力、会員資格、テスト/検査および NVQ です。他のコンテンツタイプは比較に含まれません。

従業員へのコンピテンシー点数の割り当て

資格とは異なり、コンピテンシーには関連付けられている能力レベルがあります。そのレベルによって専門知識のレベルが表されます。コンピテンシーを ROLE プロファイルに割り当てる際には、コンピテンシーごとにその任務が要求するレベルも定義します。同様に、従業員のレベル評価は、そのプロフィールに追加したコンピテンシーごとに行います。

従業員の能力が、そのコンピテンシーで要求されているレベルに達している場合にのみ、従業員に点数が割り当てられます。ただし、必要コンピテンシーを従業員が備えているが能力レベルが十分でない場合にも、そのことがわかるようになっています。

適合性インジケータの画像は次のとおりです。



青い円は、その従業員が必要コンピテンシーを備え、かつ、求められる能力レベルに達していることを示します。従業員の能力レベルが、その任務に求められるレベルよりも 2 段階以上高い場合は、“+” 記号が青い円の横に表示されます。



緑の半円は、従業員の能力が、この任務に求められるレベルよりも 1 段階低いことを示します。



赤い丸は、従業員のコンピテンシーのレベルが任務に求められるレベルよりも 2 段階以上低いことを示します。

能力レベルは評価モデルによって異なるため、レベルに関連付けられた点数によって適合性分析が行われます。[点数] フィールドの値がレベルと同じ場合もあります。たとえば、PSCM 評価モデルには 0 (なし) から 5 (専門) までのレベルがあり、これらのレベルは点数 0 から 5 に関連付けられています。

注: 適合性インジケータの画像は、PeopleSoft アプリケーション デザイナを使って変更できます。

次の表に、人材管理スペシャリストに必要なレベルと架空の従業員プロフィールを示します。プロフィールのコンピテンシーは PSCM 評価モデルを割り当てられています。適合性インジケータの列には、特定のシナリオに基づいて表示される画像の説明が示されています。

コンピテンシー	必要なレベル	従業員のレベル	適合性インジケータ
コミュニケーション能力	5	5	青い円
リーダーシップ	4	3	緑の半円
協調性	3	5	+ 青い円
計画性	3	1	赤い丸
意思決定能力	2	3	青い円
順応性	3	なし	なし

関連項目:

[第 3 章、「プロフィール管理の設定」、「プロフィール タイプの設定」、56 ページ](#)

[第 2 章、「コンテンツ カタログの設定」、「評価モデルの定義」、29 ページ](#)

[第 5 章、「プロフィール管理」、「プロフィールの管理」、92 ページ](#)

複数評価

複数の人が 1 人または複数の従業員を評価する場合、評価ごとに異なるコンピテンシー、コンピテンシーレベル、資格が含まれる場合があります。

適合性分析で使用される評価を指定するために、適合性評価タイプを定義します。たとえば、ステータスが承認済または公認の評価だけを含めるようにすることができます。

複数評価で適合性分析がどのように行われるかを理解するために、以下の例を示します。

コンピテンシー	管理者評価	同僚 1 の評価	同僚 2 の評価	評価平均
コミュニケーション能力	5	4	5	4.67
リーダーシップ	4	3	3	3.33
協調性	5	5	5	5

コンピテンシー	管理者評価	同僚 1 の評価	同僚 2 の評価	評価平均
計画性	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
意思決定能力	3	2	3	2.67
順応性	2	1	2	1.67

適合性分析に管理者と同僚の評価を使用する場合は、管理者、同僚 1、同僚 2 の 3 者の評価に基づいて評価平均が計算されます。

下表は、人材管理スペシャリストに対するこの従業員の適合性を調べた結果です。従業員の適合性の列には、特定のシナリオに基づいて表示される画像の説明が示されています。

コンピテンシー	重要度	付与点数	必要なレベル	従業員のレベル	従業員の適合性	従業員の点数
コミュニケーション能力	高	5	5	4.67	緑の半円	0
リーダーシップ	平均	3	4	3.33	緑の半円	0
協調性	標準以上	4	3	5	+ 青い円	4
計画性	低	1	3		なし	0
意思決定能力	標準以上	4	2	2.67	青い円	4
順応性	標準以下	2	3	1.67	赤い丸	0

人材管理スペシャリストに付与された合計点（付与点数の列の合計）は 19 です。従業員が点を取得するのは、従業員のレベルが評価対象の任務の必要レベルに達するか、あるいは超えた場合です。この例の場合、従業員のレベルは 2 つのコンピテンシーに関して必要レベルに達するか、あるいは超えています。この 2 つのコンピテンシーの付与点数の合計は 8 です。したがって、人材管理スペシャリストに対するこの従業員の評価の合計点は 8 となります。

適合性評価タイプの設定

適合性評価タイプを設定するには、適合性評価タイプ コンポーネント (MATCH_TYPES) を使用します。

このセクションでは、適合性評価タイプの定義方法を説明します。

適合性評価タイプは、適合性分析の実行対象になる各ユーザーに対して設定する必要があります。評価タイプによって、各分析に含まれる評価が決まります。

適合性評価タイプの設定に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
適合性評価タイプ	CM_MATCH_INSTR	[人材開発]、[プロフィール管理]、[コンピテンシーと任務の適合性]、[適合性評価タイプ]、[適合性評価タイプ]	ユーザーが実行できる照会のタイプ、およびユーザーがアクセスできる評価タイプを定義します。適合性分析を実行するには、評価タイプとユーザーアクセスを最初に設定する必要があります。

適合性評価タイプの定義

適合性評価タイプ ページにアクセスします。

適合性評価タイプ

ユーザー ID: ESGBPI

照会 - 検索タイプ

検索 | 全件表示 最初 1/1 最後

検索タイプ: 任務/人材/チーム

評価タイプ		
監督者/管理者	+	-
承認済/公認	+	-

適合性評価タイプ ページ

[検索タイプ]

“任務/人材/チーム”が表示されます。選択したユーザー ID を持つユーザーは、従業員に対する任務の適合性、任務に対する従業員の適合性、およびプロジェクトに対するチームの適合性を分析できます。

[評価タイプ]

評価タイプを選択します。

ここで選択する評価タイプによって、分析の際にどのタイプのコンピテンシー評価レベルが使われるかが決まります。たとえば、チームではなく個人の適合性分析を行う際には、管理者および同僚による評価が使われ、顧客による評価は使われなくします。

[自己申告] を [評価タイプ] で選択すると、従業員の管理者が承認した自己評価だけが任務適合プロセスに含まれることになります。

任務に対する従業員の適合性の分析

このセクションでは、事前設定および以下の方法について説明します。

- 任務の指定とクラスタの適合性の分析
- コンピテンシーの適合性の分析
- コンピテンシーの適合性詳細の表示
- 資格の適合性の分析
- 従業員と任務との適合性差異の分析の表示

事前設定

任務に対する人材の適合性の分析を実行する前に、以下の設定を行います。

- PERSON プロファイル タイプを使用する従業員のプロファイル
- ROLE プロファイル タイプを使用する任務のプロファイル
- 検索対象となる個人のユーザー ID に対して、どの評価を適合性分析に使用するかを決定する適合性評価タイプ

関連項目:

[第 5 章、「プロファイル管理」、91 ページ](#)

[第 6 章、「コンピテンシーと任務の適合」、「適合性評価タイプの設定」、156 ページ](#)

任務に対する従業員の適合性の分析に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
任務に対する人材の適合性 - クラスタの適合性	CM_PERSON_CLUSTER1	[人材開発]、[プロフィール管理]、[コンピテンシーと任務の適合性]、[任務に対する人材の適合性]、[クラスタの適合性]	従業員の適合性を調べる任務（ポジション番号、職務コード、業務）を指定し、任務に割り当てられたクラスタに従業員がどの程度一致するかの分析を表示します。
クラスタ詳細	CM_PERSON_CLST_SEC	<ul style="list-style-type: none"> 任務に対する人材の適合性 - クラスタの適合性 ページで [コンピテンシー クラスタ] リンクをクリック 人材に対する任務の適合性 - クラスタの適合性 ページで [コンピテンシー クラスタ] リンクをクリック 	選択したクラスタのコンピテンシーと資格について、従業員のレベルの詳細を表示します。
任務に対する人材の適合性 - コンピテンシーの適合性	CM_PERSON_ROLE	[人材開発]、[プロフィール管理]、[コンピテンシーと任務の適合性]、[任務に対する人材の適合性]、[コンピテンシーの適合性]	任務に必要なコンピテンシー（クラスタのコンピテンシーを含む）について、従業員の適合性に関する分析を表示します。
任務に対する人材の適合性 - コンピテンシー適合性詳細	CM_COMP_MATCH_SEC	[人材開発]、[プロフィール管理]、[コンピテンシーと任務の適合性]、[任務に対する人材の適合性]、[コンピテンシーの適合性] コンピテンシーの適合性 ページで [コンピテンシー適合性詳細] リンクをクリック	任務に割り当てられた各コンピテンシーについて、従業員のレベルの詳細が表示されます。
任務に対する人材の適合性 - 資格の適合性	CM_PERSON_ROLE2	[人材開発]、[プロフィール管理]、[コンピテンシーと任務の適合性]、[任務に対する人材の適合性]、[資格の適合性]	任務に必要な資格（クラスタの資格を含む）について、従業員の適合性を調べます。
任務に対する人材の適合性 - 適合性差異の測定	CM_PERSON_ROLE3	[人材開発]、[プロフィール管理]、[コンピテンシーと任務の適合性]、[任務に対する人材の適合性]、[適合性差異の測定]	必要な各コンピテンシーについて、従業員のレベルと任務に要求されるレベルとを比較し、差異をパーセントで表示します。パーセントの合計によって、任務要件への従業員の全体的な適合性を判定できます。

任務の指定とクラスタの適合性の分析

任務に対する人材の適合性 - クラスタの適合性ページにアクセスします。

クラスタの適合性		コンピテンシーの適合性		資格の適合性		適合性差異の測定	
Betty Locherty				個人 ID:		KU0007	
ビジネス ユニット: GBIBU		ポジション番号:					
		職務コード:		310005		Consultant-Junior	
		業務:					
適合性分析							
適合点合計:		0 /		17			
コンピテンシーの適合点:		0		9			
資格の適合点:		0		8			
任務クラスタ							
クラスタ		重要度		従業員の達成度		コンピテンシー クラスタ	
Consultancy		標準		<input type="checkbox"/>		コンピテンシー クラスタ	

任務に対する人材の適合性 - クラスタの適合性ページ

任務を選択すると、必要なクラスタに従業員がどの程度適合しているかが分析されます。クラスタが任務に割り当てられていない場合も、このページに結果が返されます。

[ポジション番号]、[職務コード]、[業務]

ポジション番号、職務コード、または業務を選択します。

従業員のコンピテンシーおよび資格と選択した任務とが比較され、分析の結果が表示されます。

[適合性分析]

[適合点合計]

任務の最大点数のうち従業員が獲得した点数が表示されます。この計算には、クラスタと個々のコンピテンシーおよび資格の点数が含まれます。

この合計は、任務に割り当てられた各コンピテンシーまたは資格の重要度に応じて加重されます。この任務に関連付けられたクラスタに割り当てられたコンピテンシーと資格だけでなく、個々のコンピテンシーと資格も含めて、全ての項目がこの合計の対象となります。

[コンピテンシーの適合点]

適合点のうち何点がコンピテンシーによる得点かを示しています。

[資格の適合点]

適合点のうち何点が資格による得点かを示しています。

[任務クラスタ]

旧バージョンの PeopleSoft Enterprise HRMS では、クラスタはコンピテンシーのグループであり、資格は任務に割り当てられていました。HRMS 9.0 へのアップグレードに際して、クラスタは ROLE タイプのプロファイルに割り当てられるプロファイル アイテムに変換されます。アップグレードのプロセスで、これらのプロファイル アイテムには旧バージョン プロファイル ID が割り当てられます。任務適合性のオプションを実行すると、旧バージョン プロファイル ID を持つプロファイル アイテムのある ROLE タイプのプロファイルが検索されます。

[従業員の達成度]

このチェック ボックスは、クラスタに割り当てられた必要なコンピテンシーおよび資格に従業員が全て満たしている場合にオンになります。

[コンピテンシー クラスタ]

このリンクをクリックすると、クラスタに割り当てられたコンピテンシーと資格が表示されます。

コンピテンシーの適合性の分析

任務に対する人材の適合性 - コンピテンシーの適合性ページにアクセスします。

[クラスの適合性](#)
[コンピテンシーの適合性](#)
[資格の適合性](#)
[適合性差異の測定](#)

Betty Locherty
ポジション番号: 19000230
Director-Finance

個人 ID: KU0007

適合性分析

コンピテンシーの適合点: 18 / 21

[コンピテンシー適合性詳細](#)

コンピテンシー合計: 5

未評価のコンピテンシー: 0

コンピテンシー

[検索](#) | [全件表示](#)

[最初](#)
[1-5/6](#)
[最後](#)

コンピテンシー	重要度		研修受講予定	
Provides Direction	標準以上	●	<input type="checkbox"/>	コンピテンシー養成研修
Managerial Efficiency	標準以上	●	<input type="checkbox"/>	コンピテンシー養成研修
Financial Planning	標準以上	●	<input type="checkbox"/>	コンピテンシー養成研修
Develop & implement solutions	標準	●	<input type="checkbox"/>	コンピテンシー養成研修
Financial Analysis	標準	●	<input type="checkbox"/>	コンピテンシー養成研修

任務に対する人材の適合性 - コンピテンシーの適合性ページ

[適合性分析]

- [コンピテンシーの適合点]** 任務が要求する最大点数のうち従業員が獲得した点数が表示されます。
- [コンピテンシー適合性詳細]** このリンクをクリックして、コンピテンシーごとの詳細と、人材と任務の間の適合性を表示します。
- [コンピテンシー合計]** 従業員の適合コンピテンシー数が、任務に必要なコンピテンシーの数との対比で表示されます。
- [未評価のコンピテンシー]** 任務に必要なだが従業員の評価には含まれていないコンピテンシーの数を示します。

[コンピテンシー]

- [コンピテンシー]** 任務に割り当てられたコンピテンシーが、重要度の高いものから順に表示されます。
- [重要度]** ROLE プロファイルのコンピテンシーに割り当てられている重要度レベルが表示されます。
- [研修受講予定]** 従業員にこのコンピテンシーの研修が既に予定されているかどうかが表示されます。
- [コンピテンシー養成研修]** このリンクをクリックすると、参加可能な研修コースの中にそのコンピテンシーの獲得を目的としているものがあれば、それが表示されます。

コンピテンシーの適合性詳細の表示

コンピテンシー適合性詳細ページにアクセスします。

コンピテンシー適合性詳細

Betty Locherty

個人 ID: KU0007

ポジション番号: 19000230

Director-Finance

コンピテンシー適合性詳細

検索 | 全件表示 | 最初 1-6/6 最後

コンピテンシー	必須点数	従業員の点数	重要度の適合
Provides Direction	3	3	4
Managerial Efficiency	4	4	4
Financial Planning	3	3	4
Develop & implement solutions	3	3	3
Financial Analysis	4	4	3
Forecasting	3	2	0

コンピテンシーの適合点:

18

コンピテンシー適合性詳細ページ

[必須点数]

評価モデルの各レベルには、点数が関連付けられています。必須点数は、指定された任務のコンピテンシーに割り当てられたレベル（レベルを点数に換算したもの）に基づいています。評価モデル ページの [点数] フィールドを使って、各レベルの点数を設定します。

[従業員の点数]

各コンピテンシーについて、従業員の点数が表示されます。従業員の点数は、そのコンピテンシーに対して従業員に付与されたレベルを点数換算したもので、この点数は評価モデル ページの [点数] フィールドを使って各レベルに設定されます。

[重要度の適合]

従業員が必要なコンピテンシーの要求レベルに達している場合、このコンピテンシーの重要度に基づいて点数が従業員に付与されます。

資格の適合性の分析

任務に対する人材の適合性 - 資格の適合性ページにアクセスします。

クラスの適合性	コンピテンシーの適合性	資格の適合性	適合性差異の測定
Betty Locherty		個人 ID: KU0007	
ポジション番号: 19000230		Director-Finance	
適合性分析			
資格の適合点:		4 /	6
資格の合計:		1	2
資格			
資格		重要度	カテゴリ
経営学修士		標準以上	学位
Financial Executives Institute		標準以下	会員資格
			従業員の資格

任務に対する人材の適合性 - 資格の適合性ページ

[適合性分析]**[資格の適合点]**

従業員と任務の間における資格の適合に必要な資格の重要度の点数が表示されます。

[資格の合計]

従業員の適合資格の数が、任務に必要な資格の数との対比で表示されます。

[資格]**[資格]**

任務に割り当てられた資格が、重要度の高いものから順に表示されます。

[重要度]

任務プロファイルの資格に割り当てられている重要度レベルが表示されます。

[カテゴリ]

資格のカテゴリが表示されます。

[従業員の資格]

従業員に必要な資格があるかどうかが表示されます。

従業員と任務との適合性差異分析の表示

任務に対する人材の適合性 – 適合性差異の測定ページにアクセスします。

タスクの適合性

コンピテンシーの適合性

資格の適合性

適合性差異の測定

Betty Locherty

個人 ID: KU0007

ポジション番号: 19000230

Director-Finance

適合性分析

コンピテンシー合計: 6

合計点: 19 / 20

適合率: 94.44

適合性差異分析

カスタマイズ

検索

全件表示

最初

1-5/6

最後

コンピテンシー	重要度	従業員の点数	必須点数	能力度 (%)
Provides Direction	標準以上	3	3	100.00
Managerial Efficiency	標準以上	4	4	100.00
Financial Planning	標準以上	3	3	100.00
Develop & implement solutions	標準	3	3	100.00
Financial Analysis	標準	4	4	100.00

任務に対する人材の適合性 – 適合性差異の測定ページ

[適合性分析]**[コンピテンシー合計]**

任務に割り当てられているコンピテンシーの数が表示されます。

[合計点]

任務の最大点数のうち従業員が獲得している重要度の点数を示します。この値には、資格に関連付けられている点数は含まれていません。

[適合率]

最大点数に対する従業員の点数の比率が表示されます。この計算に含まれるのは、コンピテンシーに関連付けられた点数だけです。

たとえば、従業員の点数が 5 でその任務の最大点数が 20 の場合、適合率は 25% になります。

[適合性差異分析]

[従業員の点数]

各コンピテンシーについて、従業員の能力レベルの点数が表示されます。たとえば、PSCM 評価モデルを使用する場合、レベル 5 は点数値 5 に関連付けられています。

[必須点数]

評価モデルの各レベルには、点数が関連付けられています。点数は、指定された任務のコンピテンシーに割り当てられたレベル（レベルを点数に換算したもの）に基づいています。評価モデル ページの [点数] フィールドを使って、各レベルの点数を設定します。

[能力度 (%)]

従業員のレベルと任務に求められるレベルとの差異がパーセントで表示されます。従業員の点数を必須点数で割った値がパーセントに変換されます。たとえば、従業員の点数が 3 でその任務の必須点数が 4 の場合、[能力度 (%)] の値は 75% になります。

従業員のレベルが求められるレベルとちょうど同じなら、[能力度 (%)] の値は 100% になります。100% 未満の場合は従業員が必要なレベルに達していないことを示し、100% を超えている場合は従業員のレベルが任務に求められるレベルより上であることを示します。

従業員に対する任務の適合性の分析

このセクションでは、事前設定および以下の方法について説明します。

- 従業員の指定とクラスタの適合性の分析
- コンピテンシーの適合性の分析
- コンピテンシーの適合性詳細の表示
- 資格の分析
- 任務と従業員との適合性差異の分析の表示

事前設定

人材に対する任務の適合性の分析を実行する前に、以下の設定を行います。

- ROLE プロファイル タイプを使用する任務のプロファイル
- PERSON プロファイル タイプを使用する従業員のプロファイル
- 検索対象となる個人のユーザー ID に対して、どの評価を適合性分析に使用するかを決定する適合性評価タイプ

関連項目:

[第 5 章、「プロファイル管理」、91 ページ](#)

[第 6 章、「コンピテンシーと任務の適合」、「適合性評価タイプの設定」、156 ページ](#)

人材に対する任務の適合性の分析に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
人材に対する任務の適合性 - クラスタの適合性	CM_ROLE_CLUSTER1	[人材開発]、[プロフィール管理]、[コンピテンシーと任務の適合性]、[人材に対する任務の適合性]、[クラスタの適合性]	選択した任務の適合性分析の対象となる従業員を指定し、その従業員が必要なクラスタにどの程度適合しているかを分析します。
人材に対する任務の適合性 - コンピテンシーの適合性	CM_ROLE_PERSON	[人材開発]、[プロフィール管理]、[コンピテンシーと任務の適合性]、[人材に対する任務の適合性]、[コンピテンシーの適合性]	従業員のプロフィールが、任務に必要な個々のコンピテンシーおよびクラスタの一部であるコンピテンシーの両方にどの程度適合するかを調べます。
コンピテンシー適合性詳細	CM_ROLE_PERSON_SEC	[人材開発]、[プロフィール管理]、[コンピテンシーと任務の適合性]、[人材に対する任務の適合性]、[コンピテンシーの適合性] コンピテンシーの適合性ページの [コンピテンシー適合性詳細] リンクをクリック	任務に割り当てられた各コンピテンシーについて、従業員のレベルの詳細が表示されます。
人材に対する任務の適合性 - 資格の適合性	CM_ROLE_PERSON2	[人材開発]、[プロフィール管理]、[コンピテンシーと任務の適合性]、[人材に対する任務の適合性]、[資格の適合性]	従業員のプロフィールが、任務に必要な個々の資格およびクラスタの一部である資格の両方にどの程度適合するかを調べます。
人材に対する任務の適合性 - 適合性差異の測定	CM_ROLE_PERSON3	[人材開発]、[プロフィール管理]、[コンピテンシーと任務の適合性]、[人材に対する任務の適合性]、[適合性差異の測定]	必要な各コンピテンシーについて、従業員のレベルと任務に要求されるレベルとを比較し、差異をパーセントで計算します。パーセントの合計によって、任務要件への従業員の全体的な適合性を判定できます。

従業員の指定とクラスタの適合性の分析

人材に対する任務の適合性 - クラスタの適合性ページにアクセスします。

クラスタの適合性		コンピテンシーの適合性		資格の適合性		適合性差異の測定	
セットID:	SHARE	職務コード:	310005	Consultant-Junior			
従業員 ID:	<input type="text" value="KU0007"/>	Betty Locherty					
適合性分析							
適合点合計:	0	/:	17				
コンピテンシーの適合点:	0				9		
資格の適合点:	0				8		
任務クラスタ							
		カスタマイズ 検索 全件表示		最初 ◀ 1/1 ▶ 最後			
クラスタ	重要度	従業員の達成度		コンピテンシー クラスタ			
Consultancy	標準	<input type="checkbox"/>		コンピテンシー クラスタ			

人材に対する任務の適合性 - クラスタの適合性ページ

[従業員 ID]

従業員を選択します。

従業員のコンピテンシーおよび資格と選択した任務とが比較され、分析の結果が表示されます。

このページの他のフィールドは、任務に対する人材の適合性 - クラスタの適合性ページと同じです。

関連項目:

第 6 章、「コンピテンシーと任務の適合」、「任務の指定とクラスタの適合性の分析」、159ページ

コンピテンシーの適合性の分析

人材に対する任務の適合性 - コンピテンシーの適合性ページにアクセスします。

クラスターの適合性	コンピテンシーの適合性	資格の適合性	適合性差異の測定
ポジション番号: 19000230 Director-Finance 従業員 ID: KU0007 Betty Locherty			
適合性分析			
コンピテンシーの適合点:		18 / 21	コンピテンシー適合性詳細
コンピテンシー合計:		5 / 6	未評価のコンピテンシー: 0
コンピテンシー 検索 全件表示 最初 ◀ 1-5/6 ▶ 最後			
コンピテンシー	重要度		研修受講予定
Provides Direction	標準以上	●	<input type="checkbox"/>
Managerial Efficiency	標準以上	●	<input type="checkbox"/>
Financial Planning	標準以上	●	<input type="checkbox"/>
Develop & implement solutions	標準	●	<input type="checkbox"/>
Financial Analysis	標準	●	<input type="checkbox"/>

人材に対する任務の適合性 - コンピテンシーの適合性ページ

このページには、選択した任務と従業員 ID の詳細が表示されます。

このページの他のフィールドは、任務に対する人材の適合性 - コンピテンシーの適合性ページと同じです。

コンピテンシーの適合性詳細の表示

コンピテンシー適合性詳細ページにアクセスします。

コンピテンシー適合性詳細			
ポジション番号: 19000230 Director-Finance 従業員 ID: KU0007 Betty Locherty			
コンピテンシー適合性詳細 検索 全件表示 最初 ◀ 1-6/6 ▶ 最後			
コンピテンシー	必須点数	従業員の点数	適合点
Provides Direction	3	3	4
Managerial Efficiency	4	4	4
Financial Planning	3	3	4
Develop & implement solutions	3	3	3
Financial Analysis	4	4	3
Forecasting	3	2	0
コンピテンシーの適合点:			18

コンピテンシー適合性詳細ページ

このページには、選択した任務と従業員 ID、任務の名称、および従業員名が表示されます。

このページの他のフィールドは、任務に対する人材の適合性 - コンピテンシー適合性詳細ページと同じです。

資格の分析

人材に対する任務の適合性 - 資格の適合性ページにアクセスします。

クラスの適合性		コンピテンシーの適合性		資格の適合性		適合性差異の測定	
ポジション番号:	19000230	Director-Finance					
従業員 ID:	KU0007	Betty Locherty					
適合性分析							
資格の適合点:	4	対	6				
資格の合計:	1		2				
資格詳細							
加減算 検索 全件表示 最初 1-2/2 最後							
資格	重要度	カテゴリ	従業員の資格				
経営学修士	標準以上	学位	<input checked="" type="checkbox"/>				
Financial Executives Institute	標準以下	会員資格	<input type="checkbox"/>				

人材に対する任務の適合性 - 資格の適合性ページ

このページには、選択した任務と従業員 ID、任務の名称、および従業員名が表示されます。

このページの他のフィールドは、任務に対する人材の適合性 - 資格の適合性ページと同じです。

任務と従業員との適合性差異分析の表示

人材に対する任務の適合性 - 適合性差異の測定ページにアクセスします。

クラスの適合性		コンピテンシーの適合性		資格の適合性		適合性差異の測定	
ポジション番号:	19000230	Director-Finance					
従業員 ID:	KU0007	Betty Locherty					
適合性分析							
コンピテンシー合計:	6	合計点:	19	対	20	適合率:	94.44
適合性差異分析							
加減算 検索 全件表示 最初 1-5/6 最後							
コンピテンシー	重要度	従業員の点数	必須点数	能力度 (%)			
Provides Direction	標準以上	3	3	100.00			
Managerial Efficiency	標準以上	4	4	100.00			
Financial Planning	標準以上	3	3	100.00			
Develop & implement solutions	標準	3	3	100.00			
Financial Analysis	標準	4	4	100.00			

人材に対する任務の適合性 - 適合性差異の測定ページ

このページには、選択した任務と従業員 ID の詳細が表示されます。このページの他のフィールドは、任務に対する人材の適合性 - 適合性差異の測定ページと同じです。

関連項目:

第 6 章、「コンピテンシーと任務の適合」、「従業員と任務との適合性差異分析の表示」、163 ページ

プロジェクトに対するチームの適合性の分析

このセクションでは、事前設定および以下の方法について説明します。

- 従業員チームの設定
- チーム コンピテンシーの適合性の分析
- チーム資格の適合性の分析

事前設定

業務に対するチームの適合性オプションを実行する前に、以下の設定を行います。

- ROLE プロファイル タイプを使用する業務のプロファイル
- PERSON プロファイル タイプを使用するチームの従業員のプロファイル
- 検索対象となる個人のユーザー ID に対して、どの評価を比較に使用するかを決定する適合性評価タイプ

関連項目:

第 5 章、「プロファイル管理」、91 ページ

第 6 章、「コンピテンシーと任務の適合」、「適合性評価タイプの設定」、156 ページ

プロジェクトに対するチームの適合性の分析に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
従業員チーム	EE_TEAMS	[人材開発]、[プロフィール管理]、[コンピテンシーと任務の適合性]、[チーム作成]、[従業員チーム]	従業員チームを設定します。
業務に対するチームの適合性 - コンピテンシーの適合性	CM_TEAM_ROLE	[人材開発]、[プロフィール管理]、[コンピテンシーと任務の適合性]、[業務に対するチームの適合性]、[コンピテンシーの適合性]	業務に割り当てられたコンピテンシーとチームメンバーのコンピテンシープロフィールとを比較します。
コンピテンシー適合性詳細	CM_TEAM_ROLE_SEC	[人材開発]、[プロフィール管理]、[コンピテンシーと任務の適合性]、[業務に対するチームの適合性]、[コンピテンシーの適合性] コンピテンシーの適合性ページで [コンピテンシー詳細] リンクをクリック	必要な能力レベルのコンピテンシーを持つチームメンバーを表示します。
業務に対するチームの適合性 - 資格の適合性	CM_TEAM_ROLE2	[人材開発]、[プロフィール管理]、[コンピテンシーと任務の適合性]、[業務に対するチームの適合性]、[資格の適合性]	業務に必要な資格とチームメンバーの資格とを比較します。
資格の適合詳細	CM_TEAM_ROLE2_SEC	[人材開発]、[プロフィール管理]、[コンピテンシーと任務の適合性]、[業務に対するチームの適合性]、[資格の適合性] 資格の適合性ページで [資格詳細] リンクをクリック	必要な資格を持つチームメンバーを表示します。

従業員チームの設定

従業員チーム ページにアクセスします。

従業員チーム

チーム コード:

KU02

*名称:

Project Managers

略称:

Proj Mgrs

チーム メンバー

カスタマイズ

検索

全件表示

最初

1-8/8

最後

*従業員 ID	名前		
KU0012	Allan Martin	+	-
KU0023	Richie Finnes	+	-
KU0043	Evelyn Sims	+	-
KU0057	Jennifer Luis	+	-
KU0083	Karena Matheson	+	-
KU0090	Jeff Ryzhikov	+	-
KU0102	Edmund Donahue	+	-
KU0103	Colin Davidson	+	-

従業員チーム ページ

[チーム メンバー]

従業員 ID のリストからメンバーを選択して追加します。従業員をさらに追加するには、新しい行を挿入します。

チーム コンピテンシーの適合性の分析

業務に対するチームの適合性 - コンピテンシーの適合性ページにアクセスします。

コンピテンシーの適合性

資格の適合性

チーム: KU02 Project Managers

ビジネス ユニット: GBIBU 業務: K10001 Project Management

合計点: 4 / 27

コンピテンシー適合点: 4 24

コンピテンシー詳細

並び替え | 検索 | 最初 1-7/7 最後

コンピテンシー	重要度	チームのコンピテンシー	従業員数	コンピテンシー詳細
Accountability for decisions	高	<input type="checkbox"/>	0	コンピテンシー詳細
Team leadership	標準以上	<input type="checkbox"/>	0	コンピテンシー詳細
Project Management	標準以上	<input checked="" type="checkbox"/>	8	コンピテンシー詳細
Identify resources to assist	標準	<input type="checkbox"/>	0	コンピテンシー詳細
Developing others	標準	<input type="checkbox"/>	0	コンピテンシー詳細
Stress tolerance	標準	<input type="checkbox"/>	0	コンピテンシー詳細
Resource Planning	標準以下	<input type="checkbox"/>	0	コンピテンシー詳細

業務に対するチームの適合性 - コンピテンシーの適合性ページ

- [合計点]** 業務の最大点数のうちチームが獲得している点数を示します。
- [コンピテンシー適合点]** チームの合計点のうち何点がコンピテンシーによる得点かを示しています。
- [チームのコンピテンシー]** チーム メンバーのうち誰かが必要な能力レベルに達しているかどうかを示します。
- [従業員数]** 各コンピテンシーについて、必要な能力レベルに達しているチーム メンバーが何人いるかが表示されます。
- [コンピテンシー詳細]** このリンクをクリックすると、必要なコンピテンシーを持つチーム メンバーが表示されます。

チーム資格の適合性の分析

業務に対するチームの適合性 - 資格の適合性ページにアクセスします。

コンピテンシーの適合性

資格の適合性

チーム:

Project Managers

ビジネス ユニット:

GBIBU

業務:

K10001

Project Management

合計点:

4 / 27

資格の適合点:

0 3

チームの資格

カスタマイズ

検索

全件表示

最初

1/1

最後

資格	重要度	チームの資格	従業員数	資格詳細
Customer Service Skills	標準	<input type="checkbox"/>		資格詳細

業務に対するチームの適合性 - 資格の適合性ページ

[合計点]	業務の最大点数のうちチームが獲得している点数を示します。
[資格の適合点]	チームの合計点のうち何点が資格による得点かを示しています。
[チームの資格]	
[チームの資格]	チーム メンバーの誰かが必要な資格を持っているかどうかを示します。
[従業員数]	資格を持っているチーム メンバーの人数が表示されます。
[資格詳細]	このリンクをクリックすると、必要な資格を持つチーム メンバーが表示されます。

第 7 章

コンテンツ カタログ レポートとプロフィール レポートの実行

この章では、以下の項目について説明します。

- コンテンツ カタログ アイテムのレポート
- プロファイル レポートの実行

関連項目:

第 3 章、「プロフィール管理の設定」、「XML Publisher のレポートおよびプロフィールを使用するための設定」、70 ページ

コンテンツ カタログ アイテムのレポート

このセクションでは、コンテンツ カタログ リスト レポートの実行方法について説明します。

コンテンツ カタログ レポートの実行に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
コンテンツ カタログ リスト	JPM_CATLIST_RPT	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[プロフィール管理]、[コンテンツ カタログ]、[コンテンツ カタログ リスト]	選択したコンテンツ タイプ、または全てのコンテンツ タイプに対して設定されているコンテンツ アイテムをリストするコンテンツ カタログ リスト レポート (JPM_CATLIST_RPT) を実行します。レポートにはレポート マネージャでアクセスします。
コンピテンシー サマリ	CM_COMPETENCY_SUMM	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[プロフィール管理]、[コンテンツ カタログ]、[コンピテンシー サマリ]	コンピテンシーに割り当てられたカテゴリを確認します。選択したコンピテンシー カテゴリまたはコンピテンシー タイプのコンピテンシーを表示できます。

コンテンツ カタログ リスト レポートの実行

コンテンツ カタログ リスト ページにアクセスします。

コンテンツ カタログ リスト

ラン コントロール ID: 01

言語コード: 英語

コンテンツ タイプ: COMPETENCY

指定日: 2006/03/05

ステータス: アクティブ

レポート マネージャ

プロセス モニター

実行

コンテンツ カタログ リスト ページ

- [コンテンツ タイプ]** レポートに含めるコンテンツ タイプを選択します。全てのコンテンツ タイプに対するコンテンツ アイテムのレポートを生成する場合、このフィールドを空白にしておきます。
- [指定日]** 指定した日付の時点で有効なコンテンツ アイテムのリストを生成する日付を選択します。全ての日付に対するコンテンツ アイテムのレポートを生成する場合、このフィールドを空白にしておきます。
- [ステータス]** アクティブなステータスのアイテムのみをレポートに含める場合は [アクティブ]、非アクティブなアイテムのみを含める場合は [非アクティブ] を選択します。アクティブ、非アクティブ両方のアイテムを含める場合は、このフィールドを空白のままにしておきます。

関連項目:

第 3 章、「プロフィール管理の設定」、「XML Publisher のレポートおよびプロフィールを使用するための設定」、70 ページ

コンピテンシー カテゴリの確認

コンピテンシー サマリ ページにアクセスします。

コンピテンシー サマリ

コンピテンシー カテゴリ:

または

コンピテンシー タイプ:

ACCNT

Accountability

コンピテンシー

加減

検索

全件表示

最初

1-6/6

最後

コンピテンシー	名称	カテゴリ
0156	Recognized as job expert	知識
0201	Accountability for decisions	能力
0202	Understands decision process	知識
0203	Displays confidence & maturity	その他
0241	Works well under pressure	能力
0802	Exhibits no racism or sexism	その他

コンピテンシー サマリ ページ

コンピテンシーのカテゴリまたはタイプを選択すると、そのカテゴリまたはタイプのコンピテンシーがリストされます。コンピテンシーは、コンピテンシーのコード順にリストされます。

プロフィール レポートの実行

このセクションでは、以下の作業手順について説明します。

- 個人プロフィール レポートの実行
- 非個人プロフィール レポートの実行

プロフィール レポートの実行に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
個人プロフィールレポート	JPM_PPROF_RPT	[人材開発]、[プロフィール管理]、[レポート]、[個人プロフィールレポート]、[個人プロフィールレポート]	個人プロフィールレポート (JPM_JPPP_RPT) を実行して、実行パラメータにリストされている各個人について PDF ファイルを生成します。各レポートには、個人プロフィールのうち、実行パラメータで指定した日付の時点で有効な全てのアイテムが表示されます。レポート マネージャでは、各レポートファイルが別個にリストされ、レポート名称のかわりに従業員 ID が表示されます。

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
非個人プロフィールレポート	JPM_NPPROF_RPT	[人材開発]、[プロフィール管理]、[レポート]、[非個人プロフィールレポート]、[非個人プロフィールレポート]	非個人プロフィールレポート (JPM_JPNP_RPT) を実行して、実行パラメータにリストされている各プロフィールについて PDF ファイルを生成します。各レポートには、非個人プロフィールのうち、実行パラメータで指定した日付の時点で有効な全てのアイテムが表示されます。レポートマネージャでは、各レポートファイルが別個にリストされ、レポート名称のかっこにプロフィール ID が表示されます。
コンピテンシー インベントリ	RUNCTL_PER011	[人材開発]、[プロフィール管理]、[レポート]、[コンピテンシー インベントリ]、[コンピテンシー インベントリ]	<p>コンピテンシー インベントリ レポート (PER011) を実行し、部門に属する従業員とそのコンピテンシーの一覧を出力します。</p> <p>新規に採用された従業員とその従業員に関連付けられたコンピテンシーをこのレポートに含めるには、このレポートの実行前に従業員テーブルのリフレッシュのアプリケーション エンジン プロセス (PER099) を実行しておく必要があります。このプロセスを実行するには、[HRMS 基本設定]、[システム管理]、[データベース処理]、[従業員テーブルのリフレッシュ] に進みます。</p> <p>従業員テーブルのリフレッシュ プロセスとコンピテンシー インベントリ レポートには、同じランコントロール ID を使用します。</p> <p>参照: PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理 9.0 PeopleBook: 人事・労務管理、「個人情報と職務情報の更新」、「レポート作成のためのテーブルのリフレッシュ」</p>
免許/資格	RUNCTL_CMM007	[人材開発]、[プロフィール管理]、[レポート]、[免許/資格更新]	免許と資格の更新レポート (CMM007) を実行し、免許または資格の更新が必要な従業員の一覧を出力します。

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
社内用履歴書	RUNCTL_PER034	[人材開発]、[プロフィール 管理]、[レポート]、[社内用 履歴書]、[社内用履歴書]	社内用履歴書レポート (PER034)を実行して、従業 員の個人プロフィールも含 めて、PeopleSoft のテー ブルに入力されているデー タから履歴書タイプのドキュ メントを作成します。このレ ポートには、従業員氏名、 住所、職歴、学歴、給与履 歴、業績、研修、特別プロ ジェクト、コンピテンシー、 語学力、国籍、査証/労働 許可証、免許/資格、専門 組織の会員資格、および 表彰/報奨などの情報が 含まれます。

個人プロフィール レポートの実行

個人プロフィール レポート ページにアクセスします。

個人プロフィール レポート

ラン コントロール ID: 01 [レポート マネージャ](#) [プロセス モニター](#) 実行

言語コード: 英語

レポート リクエスト パラメータ

*指定日: 2007/03/27

プロフィール タイプ 検索 全件表示 最初 1/1 最後

プロフィール タイプ: PERSON 個人 + -

プロフィール		加減	検索	全件表示	最初	1-2/2	最後
*従業員 ID	名前						
KU0005	Reza Aliverdi	+	+				
KU0007	Betty Locherty	+	+				

個人プロフィール レポート ページ

[指定日]

個人プロフィールのうち、選択した日付の時点で有効なアイテムがレポートにリストされます。現在の日付を入力した場合のレポートは、個人プロフィール ページから生成される現在の印刷形式プロフィールと同一になります。

[プロフィール タイプ]

出力するプロフィールに関連付けられているプロフィール タイプを選択し、各プロフィール タイプに行を追加します。表示されるのは、個人プロフィール タイプのみです。

注: 選択したプロフィール タイプは変更できません。

[従業員 ID] 各プロフィール タイプで、出力するプロフィールの従業員 ID を選択します。少なくとも 1 人を選択する必要があります。

関連項目:

第 3 章、「プロフィール管理の設定」、「XML Publisher のレポートおよびプロフィールを使用するための設定」、70 ページ

非個人プロフィール レポートの実行

非個人プロフィール レポート ページにアクセスします。

非個人プロフィール レポート

ラン コントロール ID: 01 [レポートマネージャ](#) [プロセスモニター](#) **実行**

言語コード: 英語

レポート リクエスト パラメータ

*有効日: 2007/03/27

プロフィール タイプ 検索 | 全件表示 最初 1/1 最後

プロフィール タイプ: JOB 任務 + -

*プロフィール ID	名称
150005	Consultant-Jr

非個人プロフィール レポート ページ

[指定日] 非個人プロフィールのうち、選択した日付の時点で有効なアイテムがレポートにリストされます。現在の日付を入力した場合のレポートは、非個人プロフィール ページから生成される現在の印刷形式プロフィールと同一になります。

[プロフィール タイプ] 出力するプロフィールに関連付けられているプロフィール タイプを選択し、各プロフィール タイプに行を追加します。表示されるのは、非個人プロフィール タイプのみです。

[プロフィール ID] 各プロフィール タイプで、出力するプロフィールを選択します。

関連項目:

第 3 章、「プロフィール管理の設定」、「XML Publisher のレポートおよびプロフィールを使用するための設定」、70 ページ

第 8 章

(GBR) 国家職業検定資格 (NVQ) の管理

この章では、国家職業検定資格 (NVQ) の概要と以下の方法について説明します。

- NVQ 情報の定義
- 従業員の NVQ の管理
- NVQ サマリの確認
- NVQ レポートの実行

国家職業検定資格 (NVQ) について

国家職業検定資格 (NVQ) は、従業員の技術、知識、理解力を反映しており、コンピテンシーと非常によく似ています。ほかの資格と同様に、NVQ も同一分野内で段階的に高度な資格を取得したり、他分野に移行することができます。

資格課程総局 (QCA) では、NVQ の標準の開発・仕様作成を調整しています。詳細は、QCA の Web サイト (<http://www.qca.org.uk>) を参照してください。NVQ の能力分野は、ビジネスの任務を機能的に分析した結果に基づいており、能力を基準にした資格の構造を持っています。資格はユニットが基準であり、ユニットの数とサイズは能力の分野によって異なります。登録した従業員が十分な技能や知識を持っていると評価されると、1 ユニットが与えられます。

NVQ システムには、現在、次の業務分野が用意されています。

- 農業/畜産
- 天然資源の採鉱
- 建設
- エンジニアリング
- 輸送
- 医療、福祉、社会保護サービスの提供
- 小売/サービス
- 製造
- ビジネス サービスの提供
- 知識、技術の開発
- 通信

NVQ の能力レベルには、次が含まれます。

レベル	定義
レベル 1	さまざまな業務を遂行する際に、知識と技能の適用を必要とする場合の能力。この場合の業務は大部分がルーチンまたは手順の決められた業務である。
レベル 2	相当に広範かつ各種の状況における業務の遂行において、知識と技能の適用を必要とする場合の能力。複雑な業務や、ルーチンでない業務を行う場合もあり、ある程度の個人責任および権限が与えられている。作業グループまたはチームのメンバーとしてほかのメンバーとの共同作業を要求される場合が多い。
レベル 3	広範にわたる業務を、さまざまな状況で遂行する際に、知識と技能を適用することが必要な場合の能力。業務のほとんどは、複雑で手順が決まっていない。個人にかなりの責任が与えられており、他者の指導・管理を行う必要がある場合が多い。
レベル 4	複雑で技術力や専門知識が必要な広範にわたる業務を、さまざまな状況で遂行する際に、知識と技能を適用することが必要な場合の能力。個人に対して大きな責任と権限が与えられている。ほかの従業員の作業や、人材の配置に責任を持つ場合が多い。
レベル 5	広範で予想外の内容の多いさまざまな状況において、技術と広範な根本原理の適用を必要とする場合の能力。他の従業員の業務、人材の配置、分析と診断、設計、計画、業務遂行と評価に関して高い権限と責任が与えられている。

複数の機関が NVQ の開発、運用、資格授与、質の維持を行っています。

- セクター団体は、承認された職業グループにおける、従業員を基準にした標準能力の指定、定義、および更新を行います。
- 報奨団体（資格授与団体）は、NVQ 基準の開発も行います。さらに、報奨団体は評価プロセスをモニターし、NVQ 資格とユニットの認定証を発行します。全ての評価センターで、従業員が一貫して公正に審査されるように監督します。

NVQ に関する情報を包括する国家職業検定資格データベースがあります。この包括情報には、それぞれの資格を構成するユニット、主要技能のユニット、および評価/検証の担当者を対象に特別に開発されたユニットの情報が含まれます。

NVQ 情報の設定

この章では、NVQ 設定の概要と、NVQ に報奨団体を割り当てる方法について説明します。

NVQ の設定について

NVQ を管理するには、次の項目を定義する必要があります。

- NVQ コンテンツ アイテム
- NVQ ユニット コンテンツ アイテム
- エレメント コンテンツ アイテム

NVQ ユニットはエレメントに分けられ、従業員のレベルは各エレメントごとに管理します。

- 報奨団体

NVQ、NVQ ユニットおよびエレメントは、コンテンツ カタログに保存されます。NVQ には、以下の標準コンテンツ タイプを使用します。

コンテンツ タイプ	説明
ELEMENT	NVQ ユニットに関連付けられるエレメントを定義します。
NVQ UNIT	NVQ で必要な NVQ ユニットの定義をします。
NVQ	NVQ コードを定義します。

各コンテンツ タイプは次のような関係にあります。

- ELEMENT は NVQ UNIT の子です。このため、エレメントのコンテンツ アイテムは、NVQ ユニットのコンテンツ アイテムごとに定義することができます。エレメントのみを満たせば、特定の NVQ ユニット内で満たすことになります。
- NVQ UNIT は NVQ で必須です。

このため、1 つの NVQ ユニットの複数の NVQ にリンクすることができます。1 つの NVQ ユニットの基準を満たせば、その NVQ ユニットの必要とする全ての NVQ 内で満たすことになります。

NVQ、NVQ ユニットおよびエレメントを設定する際は、コンテンツ アイテム コンポーネントの関係ページを使用してリンクします。

NVQ データは、次の手順で設定します。

1. コンテンツ カタログで NVQ、NVQ ユニットおよびエレメントを設定します。
2. 報奨団体コンポーネント (NVQ_AWARD_BODY) を使って、報奨団体の名称と所在地を定義します。
3. NVQ 報奨団体コンポーネント (NVQ_DETAILS) を使って、NVQ に報奨団体を割り当てます。

関連項目:

第 2 章、「コンテンツ カタログの設定」、9 ページ

NVQ 報奨団体の設定に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
報奨団体	NVQ_AWARD_TBL	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[プロフィール管理]、[コンテンツカタログ]、[報奨団体]、[報奨団体]	NVQ 報奨団体の名称と所在地情報を定義します。
NVQ 報奨団体	NVQ_DETAILS	[HRMS 基本設定]、[製品/業務別定義]、[プロフィール管理]、[コンテンツカタログ]、[NVQ 報奨団体]、[NVQ 報奨団体]	コンテンツカタログで定義した NVQ に対する報奨団体を指定します。NVQ と報奨団体は、このページを使用する前に設定する必要があります。

NVQ への報奨団体の割り当て

NVQ 報奨団体ページにアクセスします。

NVQ 報奨団体

NVQ: HRADMIN

名称: Personnel Management NVQ Level 4 **レベル:** 4

有効期限: 2007/05/31

認定			
*参照先	*報奨団体		
Q1025725	BTEC	Edexcel BTEC	+ -
Q1019898	CG	City and Guilds of London Institute	+ -

NVQ 報奨団体ページ

- [レベル] コンテンツ カタログで NVQ に定義されている NVQ レベルが表示されます。
- [有効期限] 報奨団体によって現在の NVQ の詳細が見直される日付が表示されます。
- [参照先]、[報奨団体] 1 つまたは複数の報奨団体を選択します。NVQ の指定どおりにそれぞれの報奨団体の参照番号を入力します。

従業員の NVQ の管理

コンテンツ カタログでコンテンツ アイテムとして NVQ データを定義してあれば、プロフィールに適切な NVQ、NVQ ユニット、エレメントを割り当てることによって、NVQ に登録されている従業員を追跡管理することができます。

標準の個人プロフィール タイプは、NVQ 情報を追跡できるように設定されています。NVQ レポートや照会ページで使用する場合、このプロフィール タイプを使用して、従業員の NVQ レベルを記録する必要があります。

個人プロフィール タイプには [NVQ] というタブがあり、そこに NVQ、NVQ ユニット、コンピテンシー エLEMENTの 3 つのコンテンツ セクションがあります。次のように、従業員の NVQ 情報はこのタブで設定します。

1. 従業員が登録されている NVQ を追加します。

[新規追加 - NVQ] リンクをクリックして、新規追加 - NVQ ページを表示します。NVQ コード、NVQ ステータス ([登録済]、[達成]、[キャンセル]、[前回達成])、開始日と完了日、登録情報を指定します。

2. NVQ に必要な NVQ ユニットを追加します。

新規追加 - NVQ ページで、NVQ ユニットのリンクをクリックします。関連アイテム ページが開き、NVQ ユニットが表示されます。NVQ ユニットのステータス ([予定]、[未評価]、[評価中]、[送信済]、[完了]) と、NVQ ユニットのステージの日付を選択します。

3. 前のステップで追加した NVQ ユニットを構成するエレメントを追加します。

個人プロフィール ページで、NVQ ユニットのリンクをクリックして、更新 - NVQ ユニット ページを表示します。コンピテンシー エLEMENTのリンクをクリックします。関連アイテム ページが開き、NVQ ユニットに関連するエレメントが表示されます。開始日、完了予定日、必要に応じてその他のフィールドに値を入力します。

関連項目:

第 5 章、「プロフィール管理」、「個人プロフィールの作成と更新」、102ページ

NVQ サマリの確認

このセクションでは、以下の作業手順について説明します。

- 従業員の NVQ の確認
- NVQ に関連付けられた従業員の確認

NVQ 情報の確認に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
従業員別 NVQ サマリ	NVQ_SUMMARY1	[人材開発]、[プロフィール管理]、[NVQ レポート GBR]、[従業員別 NVQ サマリ]、[従業員別 NVQ サマリ]	従業員に関連付けられた全ての NVQ を確認します。
資格別 NVQ サマリ	NVQ_SUMMARY2	[人材開発]、[プロフィール管理]、[NVQ レポート GBR]、[資格別 NVQ サマリ]、[資格別 NVQ サマリ]	NVQ に関連付けられた全ての従業員を確認します。

従業員の NVQ の確認

従業員別 NVQ サマリ ページにアクセスします。

従業員別 NVQ サマリ

Ramina Jones

ID: KG0008

NVQ: NVQ 1

レベル: 1

ステータス: 登録済

表示オプション

全ユニット

完了

提出済

進行中

計画済

未処理

NVQ ステータス

	NVQ ユニット	ステータス	開始日	計画日	提出日	完了日	アクション
1	KGUNIT1 NVQ Unit 1	評価中					<input type="checkbox"/>
1	KGUNIT2 NVQ Unit 2	送信済					<input type="checkbox"/>

従業員別 NVQ サマリ ページ

NVQ ユニットがステータスおよび日付の順に表示されます。[表示オプション] グループ ボックスにあるボタンをクリックすると、そのステータスのユニットだけが表示されます。

注: 表示されるのは、従業員の個人プロフィールにリストされた NVQ ユニットのみです。従業員のプロフィールでその他のタイプはチェックされません。

NVQ に関連付けられた従業員の確認

資格別 NVQ サマリ ページにアクセスします。

資格別 NVQ サマリ

NVQ: NVQ 1

レベル: 1

表示オプション

全ユニット

登録済

達成

前回達成

キャンセル

NVQ ステータス

ID	ステータス	開始日	完了日
KG0008 Ramina Jones	登録済	2000/01/01	

資格別 NVQ サマリ ページ

選択した NVQ に関連付けられた全従業員がステータスおよび日付の順に表示されます。[表示オプション] グループ ボックスにあるボタンをクリックすると、そのステータスの従業員だけが表示されます。

NVQ レポートの実行

このセクションでは、NVQ レポートの実行に使用するページを示し、NVQ プランの初期化プロセスの実行方法について説明します。

注: NVQ 従業員プラン (NVQ006) レポートを実行する前に、NVQ プランの初期化プロセスを実行する必要があります。

NVQ レポートの実行に使用するページ

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
NVQ001	PRCSRUNCNTL	[人材開発]、[プロフィール管理]、[NVQ レポート GBR]、[NVQ 従業員ステータス]	NVQ 従業員ステータス (NVQ001) レポートを実行します。NVQ に割り当てられた従業員と、そのステータスの一覧が出力されます。
NVQ002	PRCSRUNCNTL	[人材開発]、[プロフィール管理]、[NVQ レポート GBR]、[ユニットリスト]	ユニットリスト (NVQ002) レポートを実行して、定義された NVQ ユニット全部の一覧を出力します。
NVQ003	PRCSRUNCNTL	[人材開発]、[プロフィール管理]、[NVQ レポート GBR]、[NVQ リスト]	NVQ リスト (NVQ003) レポートを実行して、定義された NVQ 全部の一覧を出力します。
NVQ004	PRCSRUNCNTL	[人材開発]、[プロフィール管理]、[NVQ レポート GBR]、[NVQ ユニット/エレメント]	NVQ ユニット/エレメント (NVQ004) レポートを実行して、定義された NVQ ユニット全部の一覧を出力します。
NVQ005	RUNCTL_NVQ005	[人材開発]、[プロフィール管理]、[NVQ レポート GBR]、[NVQ プランの初期化]、[NVQ005]	選択された従業員の NVQ プランの初期化プロセス (NVQ005) を実行します。この SQR プロセスは、NVQ 従業員プラン (NVQ006) で必要なデータに適合しています。
NVQ006	PRCSRUNCNTL	[人材開発]、[プロフィール管理]、[NVQ レポート GBR]、[NVQ 従業員プラン]	NVQ 従業員プランレポート (NVQ006) を実行します。このレポートには、従業員の NVQ ユニットプランがまとめられます。 注: レポートを生成する前に、NVQ プランの初期化プロセスを (NVQ005) 実行する必要があります。

プランの初期化プロセスの実行

NVQ005 ページにアクセスします。

NVQ005

ラン コントロール ID: TEST

言語コード: 英語

[レポート マネージャ](#) [プロセス モニター](#) **実行**

レポート リクエスト パラメータ

従業員 ID: KG0008  Ramina Jones

NVQ005 ページ

このページを使用して、NVQ 従業員プラン (NVQ006) の生成に必要なデータに適合する NVQ プランの初期化プロセス (NVQ005) を実行します。

[言語コード] 選択したラン コントロール ID に基づいて自動的にロードされます。
必要に応じてデフォルトの言語を上書きします。

付録 A

コンテンツ タイプとプロファイル タイプのプロパティ

この付録では、プロパティの概要と以下の項目について説明します。

- コンテンツ タイプのプロパティ
- プロファイル タイプのプロパティ

プロパティについて

コンテンツ タイプの設定時に、そのタイプのアイテムで共有されるプロパティを選択します。コンテンツ タイプに対して定義したプロパティは、コンテンツ アイテムを設定するとき、アイテム詳細ページでフィールドとして表示されます。

プロファイルにコンテンツ タイプを追加してコンテンツ セクションを作成する際には、そのコンテンツ セクションに対してプロパティの調整、新しいプロパティの追加、既存のプロパティの削除が可能です。ユーザーがプロファイルにプロファイル アイテムを追加する際には、コンテンツ セクションに対して定義したプロパティが表示されます。コンテンツ タイプ (カタログ) のレベルまたはプロファイル タイプのいずれかのレベルでしか追加できないプロパティもあれば、両方のレベルで利用できるプロパティもあります。

アイテム詳細ページまたはプロファイルでプロパティが表示される順序は、システムで決定されます。この付録の表では、表示される順序でプロパティをリストしています。

関連項目:

第 2 章、「コンテンツ カatalog の設定」、「コンテンツ タイプの設定」、16 ページ

第 3 章、「プロファイル 管理の設定」、「コンテンツ セクションの定義」、63 ページ

コンテンツ タイプのプロパティ

次の表は、コンテンツ タイプに追加できるプロパティのリストです。アイテム詳細ページでのプロパティの表示順序、デフォルトのラベル テキスト、このプロパティを使って追跡できる情報のタイプも示しています。

注: “カタログ/両方” の列は、そのプロパティを追加できるのがコンテンツ カatalog のみか、それともコンテンツ カatalog とプロファイル タイプの両方かを示します。

順序	プロパティ	カタログ/両方	デフォルトのラベル テキスト	説明
1	JPM_CAT_ITEM_ID	両方	コンテンツ アイテム ID	このフィールドにはアイテム ID が入力されます。 注: これは必須プロパティであり、新しいコンテンツタイプには常に入力されます。
2	EFFDT	両方	有効日	アイテムの有効日。 注: これは必須プロパティであり、新しいコンテンツタイプには常に入力されます。
3	EFF_STATUS	両方	有効日現在のステータス	有効日の時点でのアイテムのステータス。 注: これは必須プロパティであり、新しいコンテンツタイプには常に入力されます。
4	JPM_DESCR90	カタログ	名称	アイテムの名称。プロフィールのアイテム ID で関連表示フィールドとして使用されます。 注: これは必須プロパティであり、新しいコンテンツタイプには常に入力されます。
5	DESCRLONG	カタログ	詳細説明	コンテンツ アイテムの詳細説明。
6	DESCRSHORT	カタログ	略称	コンテンツ アイテムの略称。
7	CM_CATEGORY	カタログ	カテゴリ	アイテムが属するカテゴリ。アイテムが属することができるのは1つのカテゴリのみです。 このプロパティはコンピテンシー関連のコンテンツタイプで役に立ちますが、グループアイテムのコンテンツグループにも使用できます。
8	JPM_CAT_ITEM_SRC	カタログ	コンテンツ アイテム ソース	コンテンツ アイテムのソースを指定します。有効値は [ユーザー定義]、[DDI]、[Lominger]、または [PDI] です。

順序	プロパティ	カタログ/両方	デフォルトのラベル テキスト	説明
9	RATING_MODEL	両方	評価モデル	評価モデル。コンテンツタイプが評価モデルに関連付けられる場合、このフィールドを使用します。
10	COUNTRY	両方	国	このアイテムが適用される国。 このプロパティは、国固有のアイテムを持つコンテンツタイプで役に立ちます。
11	EP_SUB_LEVEL	カタログ	レベル	アイテムのレベル(上級、初級、中級)。このプロパティは、サブコンピテンシーに使用されます。
12	EDUCATION_LVL	カタログ	学歴	このコンテンツアイテムで必須、または望まれる学歴。
13	TYPE_OF_STUDY_GER	カタログ	専攻タイプ	(DEU) 専攻タイプを示すドイツ固有のプロパティ。有効値は化学、商業、建設鉱業、電子工学、食品、林業、ガラス、ホテル、機械、その他、印刷、公的機関、繊維です。このプロパティは、学位に使用されます。
14	FIELD_OF_STUD_GER	カタログ	専門分野	(DEU) 専攻分野を示すドイツ固有のプロパティ(商業、工業、技術)。このプロパティは、学位に使用されます。
15	FP_DEGREE_LVL	カタログ	レベル	(FRA) 学位レベル。このフィールドは、フランス公的機関にのみ使用します。
16	HP_STATS_DEG_LVL	カタログ	カナダ学位レベル	(CAN) カナダでの学位レベル。
17	SATISFACTION_MTHD	カタログ	達成方法	エレメントの到達度を示します。有効値は、[研修コース参加]、[免除]、[外訓練]、[内訓練]、[免許]、[過去学習]、[監督評価]です。このプロパティは、ELEMENT コンテンツタイプに使用されます。
18	NVQ_LEVEL	カタログ	レベル	(GBR) NVQ のレベル(1、2、3、4、5)。

順序	プロパティ	カタログ/両方	デフォルトのラベル テキスト	説明
19	JPM_DURATION_1	カタログ	期間 1	日数、月数、年数、時間などの数値を入力する汎用のフィールド。期間の単位を定義する“期間タイプ (1)”フィールドと組み合わせて使用します。
20	JPM_DURATION_TYPE1	カタログ	期間タイプ (1)	“期間 1”フィールドで使用する単位を指定します。オプションは、日数、月数、年数、時間数です。
21	JPM_DURATION_2	カタログ	期間 2	日数、月数、年数、時間などの数値を入力する汎用のフィールド。期間の単位を定義する“期間タイプ (2)”フィールドと組み合わせて使用します。
22	JPM_DURATION_TYPE2	カタログ	期間タイプ (2)	“期間 2”フィールドで使用する単位を指定します。オプションは、日数、月数、年数、時間数です。
23	JPM_YN_1	両方	はい/いいえ 1	汎用の“はい/いいえ”チェックボックスです。チェックボックスをオンにした場合が“はい”、オフにした場合が“いいえ”です。
24	JPM_YN_2	両方	はい/いいえ 2	汎用の“はい/いいえ”チェックボックスです。
25	JPM_YN_3	両方	はい/いいえ 3	汎用の“はい/いいえ”チェックボックスです。
26	JPM_YN_4	両方	はい/いいえ 4	汎用の“はい/いいえ”チェックボックスです。
27	JPM_YN_5	両方	はい/いいえ 5	汎用の“はい/いいえ”チェックボックスです。
28	JPM_DATE_1	両方	日付 1	汎用の日付フィールド。
29	JPM_DATE_2	両方	日付 2	汎用の日付フィールド。
30	JPM_TEXT254_1	両方	テキスト - 254 文字	半角 254 文字まで入力できるコメントフィールド。
31	JPM_TEXT254_2	両方	テキスト - 254 文字	半角 254 文字まで入力できるコメントフィールド。

順序	プロパティ	カタログ/両方	デフォルトのラベル テキスト	説明
32	JPM_TEXT254_3	両方	テキスト - 254 文字	半角 254 文字まで入力できるコメントフィールド。
33	JPM_TEXT254_4	両方	テキスト - 254 文字	半角 254 文字まで入力できるコメントフィールド。
34	JPM_TEXT1325_1	両方	テキスト - 1325 文字	半角 1325 文字まで入力できるコメントフィールド。
35	JPM_TEXT1325_2	両方	テキスト - 1325 文字	半角 1325 文字まで入力できるコメントフィールド。

プロファイル タイプのプロパティ

次の表は、プロファイル タイプ コンポーネントのコンテンツ セクションに追加できるプロパティのリストです。プロファイルでのプロパティの表示順序と、このプロパティを使って追跡できる情報のタイプも示しています。

注: コンテンツ セクションにプロパティを追加する場合、デフォルトのラベルはありません。“プロファイル タイプ/両方” の列は、そのプロパティを追加できるのがプロファイル タイプのみか、それともコンテンツ カタログとプロファイル タイプの両方かを示します。

順序	プロパティ	プロファイル タイプ/両方	名称
1	JPM_CAT_ITEM_ID	両方	このフィールドにはアイテム ID が入力されます。 注: これは必須プロパティです。
2	EFFDT	両方	アイテムの有効日。 注: これは必須プロパティです。
3	EFF_STATUS	両方	有効日の時点でのアイテムのステータス。 注: これは必須プロパティです。
4	JPM_ADHOC_DESCR	プロファイル	このフィールドは、自由形式コンテンツ タイプでのみ説明フィールドとして使用されます。
5	JPM_CAT_ITEM_QUAL	プロファイル	アイテムに使用するインスタンス識別子セット 1。
6	JPM_CAT_ITEM_QUAL2	プロファイル	アイテムに使用するインスタンス識別子セット 2。

順序	プロパティ	プロフィール タイプ/両方	名称
7	JPM_CAT_TYPE	プロフィール	このフィールドにはアイテムのコンテンツタイプが入力されます。 注: これは必須プロパティです。
8	JPM_PERSON_ID_1	プロフィール	個人の ID と名 前。
9	EP_APPRAISAL_ID	プロフィール	ePerformance 承認 ID。
10	RATING_MODEL	両方	評価モデル。
11	JPM_RATING1	プロフィール	評価の値。値は、選択した評価モデルによって異なります。
12	JPM_INTEREST_LEVEL	プロフィール	関心レベル。
13	JPM_VERIFY_METHOD	プロフィール	確認方法。
14	COUNTRY	両方	国コード。
15	STATE	プロフィール	都道府県/州コード。
16	MAJOR_CODE	プロフィール	専攻コード。
17	SCHOOL_TYPE	プロフィール	学校タイプ。
18	SCHOOL_CODE	プロフィール	学校コード。
19	JPM_MINOR_CD	プロフィール	副専攻コード。
20	AVERAGE_GRADE	プロフィール	平均成績。
21	PRACTIC_GRADE_GER	プロフィール	(DEU) 実務成績。
22	THEORY_GRADE_GER	プロフィール	(DEU) 学科成績。
23	IPE_SW	プロフィール	(DEU) 社内専門教育。
24	EDUC_LVL_AUS	プロフィール	(AUS) 高等教育の学歴。
25	APS_HEDUC_CD_AUS	プロフィール	(AUS) 公的機関で使用される学歴。
26	FACULTY_CODE	プロフィール	(JPN) 学部コード。
27	SUBFACULTY_CODE	プロフィール	(JPN) 学科コード。
28	MAJOR_CATEGORY	プロフィール	(JPN) 文理区分。

順序	プロパティ	プロフィール タイプ/両方	名称
29	GVT_CREDIT_HOURS	プロフィール	(USF) 履修時間。
30	GVT_CRED_HRS_TYPE	プロフィール	(USF) 履修時間タイプ。
31	JPM_RATING2	プロフィール	評価レベル。
32	JPM_RATING3	プロフィール	評価レベル。
33	FP_SUBJECT_CD	プロフィール	フランス公的機関 (FPS) 学科コード。
34	FP_SKIL_HIR	プロフィール	フランス公的機関 (FPS) 採用要件。このプロパティはアイテムが採用要件であるかどうかを示します。
35	FP_SKIL_PRM	プロフィール	フランス公的機関 (FPS) 昇進要件。このプロパティはアイテムが昇進要件であるかどうかを示します。
36	FP_SKIL_TEN	プロフィール	フランス公的機関 (FPS) 終身在職要件。このプロパティはアイテムが終身在職要件であるかどうかを示します。
37	FP_DEGR_REQUIRED	プロフィール	フランス公的機関 (FPS) 学位必須。このプロパティは学位が必須であるかどうかを示します。
38	BONUS_AMOUNT_FRA	プロフィール	(FRA) 賞与金額。
39	BONUS_DT_FRA	プロフィール	(FRA) 賞与支給日。
40	NVQ_STATUS	プロフィール	(GBR) NVQ ステータス。
41	JPM_IMPORTANCE	プロフィール	重要度。このフィールドは、プロフィールの検索/比較で使用されます。
42	JPM_INTEGER_1	プロフィール	汎用の整数フィールド。
43	JPM_INTEGER_2	プロフィール	汎用の整数フィールド。
44	JPM_PCT_1	プロフィール	汎用のパーセントフィールド。
45	JPM_PCT_2	プロフィール	汎用のパーセントフィールド。
46	JPM_DECIMAL_1	プロフィール	汎用の数値フィールド。
47	JPM_DECIMAL_2	プロフィール	汎用の数値フィールド。
48	JPM_MANDATORY	プロフィール	汎用の必須チェックボックス。

順序	プロパティ	プロフィール タイプ/両方	名称
49	JPM_YN_1	両方	汎用の“はい/いいえ”チェックボックスです。チェックボックスをオンにした場合が“はい”、オフにした場合が“いいえ”です。
50	JPM_YN_2	両方	汎用の“はい/いいえ”チェックボックスです。
51	JPM_YN_3	両方	汎用の“はい/いいえ”チェックボックスです。
52	JPM_YN_4	両方	汎用の“はい/いいえ”チェックボックスです。
53	JPM_YN_5	両方	汎用の“はい/いいえ”チェックボックスです。
54	JPM_DATE_1	両方	汎用の日付フィールド。
55	JPM_DATE_2	両方	汎用の日付フィールド。
56	JPM_DATE_3	プロフィール	汎用の日付フィールド。
57	JPM_DATE_4	プロフィール	汎用の日付フィールド。
58	JPM_DATE_5	プロフィール	汎用の日付フィールド。
59	JPM_DATE_6	プロフィール	汎用の日付フィールド。
60	JPM_TEXT254_1	両方	半角 254 文字まで入力できるコメントフィールド。
61	JPM_TEXT254_2	両方	半角 254 文字まで入力できるコメントフィールド。
62	JPM_TEXT254_3	両方	半角 254 文字まで入力できるコメントフィールド。
63	JPM_TEXT254_4	両方	半角 254 文字まで入力できるコメントフィールド。
64	JPM_TEXT254_5	プロフィール	半角 254 文字まで入力できるコメントフィールド。
65	JPM_TEXT1325_1	両方	半角 1325 文字まで入力できるコメントフィールド。
66	JPM_TEXT1325_2	両方	半角 1325 文字まで入力できるコメントフィールド。

順序	プロパティ	プロファイル タイプ/両方	名称
67	SETID_DEPT	プロファイル	部門 ID (DEPTID) のセットID フィールド。
68	DEPTID	プロファイル	部門 ID。
69	LASTUPDDTTM	プロファイル	最終更新日時
70	LASTUPDOPRID	プロファイル	最終更新時のユーザー ID。
71	JPM_SOURCE_ID2	プロファイル	シンジケートのソースプロファイル ID。このプロパティは、シンジケートされたアイテムのソースプロファイルを表示する際に使用します。
72	JPM_WF_STATUS	プロファイル	プロファイル アイテムのワークフロー ステータス (新規、保存済、承認待ち、却下)。このフィールドは常に表示専用で、システムによって管理されます。

PeopleSoft Enterprise 用語一覧

EIM 元帳	Enterprise Incentive Management 元帳の略。PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、参加者のスコープ内の増分結果を処理するオブジェクトのことです。元帳には、データオリジンと、元になった処理ステップに対する全ての適切な追跡を含んだ結果セットがキャプチャされます。
GDS	“Global Distribution System (グローバル販売システム)” の略です。旅行計画を作成するためのコンピュータ予約システム全般を示す広義的な用語です。
GL ビジネス ユニット/GL ユニット	一般会計ビジネスユニットのことです。会計処理上、独立している組織内のエンティティを指します。GL ユニットごとに固有の会計帳簿が管理されます。 ビジネス ユニットの説明も参照してください。
KPI	“Key Performance Indicator (主要業績評価指標)” の略です。組織の重要成功要因の達成度を測るための、上位レベルの尺度です。KPIにより、評価の基準となるデータ値や計算方法が定義されます。
KVI	“Known Value Item (価格や価値が消費者によく知られている商品)” の略です。販売価格を上げたり下げたりすることができない製品または製品グループに使用する用語です。
LDIF ファイル	“LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) Data Interchange Format (LDAP データ交換フォーマット) ファイル” の略です。このファイルには、PeopleSoft Enterprise のデータとディレクトリ データとの差異が記録されます。
MCF サーバー	PeopleSoft MultiChannel Framework (マルチチャネルフレームワーク) サーバーの略です。ユニバーサル キュー サーバーと MCF ログ サーバーで構成されます。どちらのプロセスも、アプリケーション サーバードメイン設定で MCF サーバーが選択されたときに開始されます。
NDP	“Non-Discountable Products (割引対象外の製品)” の略です。販売価格を下げるできない製品または製品グループに使用する用語です。
PeopleCode	PeopleSoft Enterprise コンポーネントプロセッサによって実行される固有の言語です。PeopleCode は、既存のデータやユーザーのアクションに基づいて結果を生成します。PeopleTools で提供されるさまざまなツールを使用すると、PeopleCode を実行可能な全ての PeopleSoft Enterprise アプリケーションで外部サービスが利用できるようになります。
PeopleCode イベント	“イベント” の説明を参照してください。
PeopleSoft ピュア インターネット アーキテクチャ (PIA)	リレーショナル データベース管理システム (RDBMS)、アプリケーション サーバー、Web サーバー、およびブラウザで構成される、PeopleSoft 8 の基本アーキテクチャです。
REN サーバー	PeopleSoft マルチチャネルフレームワークの Real-time Event Notification サーバーの略です。
RFI イベント	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、情報の依頼を指します。
RFx イベント	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、入札者間の競争が少なく、複数の入札者が予算内の最高金額で入札した場合に行われる提案依頼または見積イベントの依頼を指します。
SCP SCBM XML メッセージ	SCP = サプライチェーン プランニング、SCBM = サプライチェーン ビジネス モデラを意味しています。サプライチェーン ビジネス モデラでは、データのインポートおよびエクスポートは、全て XML の形式で行われます。

XLink (XML リンク)	XMLドキュメントに、リソース間のリンクを記述するためのリンク言語です。
XML スキーマ	アプリケーション メッセージ、コンポーネント インターフェイス、またはビジネス インターリンクの表示を統一する XML 定義です。
XPI	eXtended Process Integrator の略です。PeopleSoft XPI は、JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションとのリアルタイムおよびバッチでの連携を可能にする統合インフラストラクチャです。
アイテム	<p>PeopleSoft Enterprise 在庫管理では、ビジネス ユニットに保管されている(または倉庫から出荷される)物品を指します。</p> <p>PeopleSoft Enterprise 需要計画、在庫ポリシー計画、および供給管理では、計画の目的のみで使用する非在庫アイテムを指します。非在庫アイテムを使用して、在庫アイテムのファミリーまたはグループを表すことができます。計画部品表や計画工程手順を設定することができ、計画部品表の構成部品として使用することもできます。計画アイテムは、生産用または設計用の部品表や工程手順に指定することはできず、生産の構成部品として使用することもできません。手持数量は管理されません。</p> <p>PeopleSoft Enterprise 売掛金管理では、個々の売掛金を指します。たとえば、請求書、貸方メモ、借方メモ、償却、または調整などがアイテムに該当します。</p>
アクション テンプレート	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、顧客やアイテムが、アクションプランの特定の状態にどのくらいの期間とどまっていたかに基づいて、システムまたはユーザーによって段階的に実行されるアクションの概要を定義します。
アクティビティ	<p>PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントでは、登録可能なカタログ アイテム (クラス) のインスタンスを指します。このアクティビティによって、提供物に関連する費用、登録の制限と期限、および登録待ち人数の定員などが定義されます。</p> <p>PeopleSoft Enterprise パフォーマンス マネジメントでは、アクティビティベース マネジメントでコスト計算に使用される、組織の業務と一連のアクションを指します。</p> <p>PeopleSoft Enterprise プロジェクトコスト管理では、プロジェクトをさらに細かく(通常は各タスクに)分類するための業務単位を指します。</p> <p>PeopleSoft ワークフローでは、ビジネス プロセス内で実行する必要がある各トランザクションを指します。アクティビティは、トランザクションを実行するための各ステップで構成されるため、ステップ マップとも呼ばれます。</p>
アプリケーション メッセージング	PeopleSoft Enterprise 製品ファミリーのアプリケーションと、他の PeopleSoft Enterprise 製品またはサードパーティのアプリケーションとを同期または非同期の形式で連携させることができる機能です。アプリケーション メッセージには、パブリッシュ/サブスクライブの対象となるレコードとフィールドが定義されます。
異動理由	従業員の職務または雇用情報が更新された理由です。異動理由は、人事異動(昇進、雇用終了、支給グループの変更など)と、その理由という2つの部分から成ります。異動理由は、PeopleSoft Enterprise ヒューマンリソース管理、PeopleSoft Enterprise Benefits Administration、PeopleSoft Enterprise Stock Administration、および基本福利厚生管理ビジネスプロセスの COBRA 管理機能によって使用されます。
イベント	<p>コンポーネントプロセッサフローまたはプログラムフロー内にあらかじめ定義されたポイントです。各ポイントに達すると、イベントによって各コンポーネントがアクティブ化され、そのコンポーネントとイベントに関連付けられている PeopleCode プログラムが開始されます。イベントの例としては、FieldChange、SavePreChange、および RowDelete などがあります。</p> <p>また、PeopleSoft Enterprise ヒューマンリソース管理では、福利厚生の給付条件に影響する出来事を指します。</p>
イベント継承プロセス	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、元の PeopleSoft Enterprise Incentive Management イベントの継承を(ロジックを通じて)決定し、他

	<p>のオブジェクトによって処理される元のイベントのデリバティブを作成するプロセスのことです。PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、このメカニズムを使用して分割やロールアップなどが実装されます。イベント継承により、貸方金額をだれが受け取るかが決定します。</p>
イベント制約	<p>PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、特定のソーシングイベントに関連付けられる制約を指します。選択したイベント内で支出が追跡されます。</p>
依頼者	<p>PeopleSoft Enterprise eSettlement-決済管理において、商品またはサービスを依頼し、発注書を参照するさまざまな購買ページに ID が表示されている担当者を指します。</p>
インテグレーション	<p>システム間の連携を可能にする 2 つのインテグレーション ポイント間の関係です。インテグレーションによって、PeopleSoft Enterprise アプリケーションは、他の PeopleSoft Enterprise アプリケーションやサードパーティのシステム/ソフトウェアとシームレスに連携することができます。</p>
インテグレーション セット	<p>同じ目的で使用するインテグレーションの論理グループです。たとえば、インテグレーション セット ADVANCED SHIPPING ORDER には、注文に対する出荷を顧客に通知するために使用される全てのインテグレーションが含まれます。</p>
インテグレーション ポイント	<p>他の PeopleSoft Enterprise アプリケーションや外部アプリケーションとの連携に使用されるインターフェイスです。</p>
ウェアハウス	<p>定義済み ETL マップ、データウェアハウスツール、およびデータマート定義で構成された PeopleSoft Enterprise データウェアハウスです。</p>
売掛金担当者	<p>PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、売上調整と未解決アイテムを追跡および解決する担当者のことを指します。</p>
オークション イベント	<p>PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、最適な価格またはスコアを達成するために、入札者間で積極的な競争が行われるソーシングイベントを指します。</p>
会計処理クラス	<p>PeopleSoft Enterprise パフォーマンス マネジメントにおいて、一般に認められている会計原則 (GAAP) で、リソースがどのように取り扱われるかを定義します。在庫クラスは、リソースが貸借対照表勘定科目に含まれるかどうか (在庫や固定資産など) を示し、非在庫クラスは、リソースが発生した期間の費用として処理されることを示します。</p>
会計処理日	<p>取引が実際に発生した日ではなく、取引が認識された日付を示します。会計処理日と取引日は同じである場合もあります。会計処理日により、取引の転記先の総勘定元帳における会計期間が決まります。選択できる会計処理日は、転記先の元帳のオープン期間内の日付に限られます。通常、アイテムの会計処理日は請求日になります。</p>
会計分割	<p>会計分割メソッドは、1 つまたは複数の会計チャートフィールドセットに、支出がどのように割り当てまたは分割されるかを示します。</p>
回収ルール	<p>PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、未決済残高の金額と期限からの経過日数に基づき、顧客に対して実行するアクションを定義するユーザー定義のルールのことを指します。</p>
価格コンポーネント	<p>PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、全体の入札価格を構成する材料費、人件費、出荷費用などの各種コンポーネントを指します。</p>
価格設定	<p>PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、落札数量に基づいて入札者が行う値引きまたは金額の上乗せを指します。</p>
価格リスト	<p>価格リストを使用して、製品および取引の際に適用される条件を選択できます。取引の際は、その取引に定義されている検索階層に基づいて製品の価格が自動的に決定されるか、または製品に関連付けられたアクティブな価格リ</p>

	ストの最低価格が使用されます。この価格は、以後の全ての割引や割増に対する基準として使用されます。
価格ルール	基本価格に調整が適用されるための条件です。それぞれの条件が満たされれば、複数のルールが適用される場合もあります。
価格ルール キー	価格ルールに対して価格ルール条件(取引のマッチングに使用)を定義するために利用可能なフィールドを定義します。
価格ルール条件	価格設定フィールドとその値を選択し、価格設定フィールドが取引にどのように適用されるかを決定する演算子を選択します。
学習者グループ	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、同じラーニング環境にリンクされた学習者のグループを指します。同じ学習者グループのメンバーは、部門や職務コードなど、同じ属性を共有します。学習者グループを使用して、ラーニング アクティビティやプログラムへのアクセスや登録を制御することができます。また、バックオフィスでグループ登録や一括登録を実行するためにも使用されます。
学習予定	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、学習者ごとに計画されている全てのラーニング アクティビティおよびプログラムを格納するセルフサービスリポジトリです。
学習履歴	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、学習者が完了した全てのラーニング アクティビティやプログラムを記録するセルフサービスリポジトリです。
カタログ アイテム	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、学習者が学習および追跡できるトピックを指します。たとえば、“Microsoft Word について”などがこれに該当します。カタログ アイテムには、トピックについての一般的な情報に加え、コースコード、説明、カテゴリ分類、キーワード、および提供方法が含まれています。1つのカタログ アイテムには、1つまたは複数のラーニング アクティビティが含まれます。
カタログ パートナ	PeopleSoft Enterprise カatalog 管理において、カタログ コンテンツの管理責任を企業のカatalog 管理者と共有します。
カタログ マップ	PeopleSoft Enterprise カatalog 管理において、カタログのソース データから会社仕様のカタログに値を変換するために使用されます。
各国機能	PeopleSoft Enterprise HRMS において、国ごとに利用できる情報セットを指します。この情報にアクセスするには、グローバル ウィンドウで目的の国のフラグをクリックするか、または特定の国向けのメニューからアクセスします。
カテゴリ分類	パートナからのオファーをカタログのオファーに関連付け、それらを会社のカatalog カテゴリにグループ化します。
仮受消費税記録フラグ	“仮払消費税記録フラグ”の説明を参照してください。
仮払消費税記録フラグ	PeopleSoft Enterprise 購買管理、買掛金管理、および一般会計では、このフラグは取引に仮払消費税が記録されることを示します。このフラグは、仮受消費税記録フラグと併せて、取引に対して作成される会計入力と、消費税申告書での取引の申告方法を決定するために使用されます。購買管理と買掛金管理では、取引の消費税情報が追跡されるので、このフラグは必ず“記録する”に設定します。常に仮受消費税だけが記録される PeopleSoft Enterprise 受注管理、請求管理、売掛金管理と、常に仮払消費税だけが記録される PeopleSoft Enterprise 経費管理では、このフラグは使用されません。
関係オブジェクト	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、これらのオブジェクトは給与オブジェクトとビジネス オブジェクトの間の関連性を設定することによって、取引を解決するための給与構造を詳細に定義します。
関係者	ワークフォースの一員ではないものの、組織が情報を管理する対象となる個人を指します。

換算先通貨	予算表示や照会のために、入力通貨から換算する単一の通貨です。
期間コンテキスト	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、参加者は通常複数の期間に同じ給与プランを使用するので、期間コンテキストによってプランのコンテキストが特定のカレンダー期間と会計年度に関連付けられます。期間コンテキストは、関連するプランコンテキストを参照してチェーンを形成します。各プランコンテキストには対応する期間コンテキストのセットがあります。
基本期間	PeopleSoft Enterprise ビジネス プランニングにおいて、カレンダー内の最も基本的な期間を指します。
キャッシュドロア	現金を収納して支払をその場で行うための引出しです。
休暇取得	受給者が、有給休暇を認められるために満たす必要のある条件を定義するエレメントです。
休暇付与	病欠、休養、産休など、有効と認められる休暇について、有給休暇を承認するためのルールを定義するエレメントです。休暇付与エレメントにより、承認可能な金額、頻度、および期間が定義されます。
給与オブジェクト	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、給与構造内のノードを指します。給与オブジェクトは、給与構造の階層を構成する基本単位です。
給与構造	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、給与オブジェクトの階層関係のことです。これは、オブジェクト間の給与関連の関係を表します。
行	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、入札できる個々のアイテムまたはサービスを指します。
業績指標	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、奨励プランの適用範囲内でデータを格納するために使用される変数を指します(アグリゲータと似ていますが、あらかじめ定義されている計算式はありません)。業績指標は、プランのカレンダー、地域、および参加者に関連付けられます。業績指標は割当額の計算やレポートに使用されます。
共通アローワンス	PeopleSoft Enterprise プロモーション マネジメントにおいて、制限付きで資金供給された企業レベルでのプロモーションを指します。業界一般では、これはコーポレートプロモーションやコーポレートディスカウントなどと呼ばれます。
共通ナビゲーション ヘッダー	全ての PeopleSoft Enterprise ポータルには、ナビゲーション ヘッダーが含まれます。これは、ユーザーがそのポータルにサインインしている限り、全てのページで上部に表示されます。ナビゲーション ヘッダーには、標準のナビゲーション ボタン(ホーム、お気に入り、サインオフなど)に加え、各ユーザーへのメッセージなども表示できます。
共有ドライバ計算式	PeopleSoft Enterprise ビジネス プランニングで使用される、ドライバ計算式に似たプランニング メソッドです。1つのプランニング アプリケーション内で共有するためにグローバルに設定したり、PeopleSoft Enterprise ウェアハウスを通じて複数のプランニング アプリケーション間で共有するように設定したりできます。
金融制裁	<p>米国に拠点を置く企業やその企業の海外の子会社は、米国財務省海外資産管理局 (OFAC) の連邦規制により、支払前に取引先が特定国籍業者 (SDN) リストの対象かどうかを確認することが求められます。</p> <p>PeopleSoft Enterprise 買掛金管理、eSettlement-決済管理、資金管理、および Order to Cash では、取引先が金融制裁リスト (SDN リストや欧州連合のリストなど) の対象であるかを確認できます。</p>
クラス チャートフィールド	予算を予算期間、資金、部門 ID、およびプログラムコードと組み合わせた場合に、一意の支出予算キーを識別するためのチャートフィールド値です。以前はサブ分類と呼ばれていました。

グループ	PeopleSoft Enterprise 請求管理と売掛金管理では、1 つまたは複数の取引で構成される転記対象を指します。たとえば、アイテム、入金、振替、マッチング、償却などがあります。 PeopleSoft Enterprise ヒューマンリソース管理とサプライチェーン マネジメントでは、PeopleSoft ビジネス プロセスで計算を実行するため、同一の名前または変数に関連付けられたレコードのセットを指します。たとえば、PeopleSoft Enterprise 勤務管理では、従業員は勤務時間報告用のグループにまとめられます。
グローバル制約	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、複数のストラテジックソーシングビジネス ユニットに適用される制約を指します。複数のストラテジックソーシングビジネス ユニットの全てのイベントにわたって支出が追跡されます。
契約	PeopleSoft Enterprise eSettlement-決済管理において、支払条件、銀行情報、通知などの処理オプションを、購買者とサプライヤの所在地の組み合わせによってグループ化および指定するための手段です。
原価プロファイル	受領原価計算方法、原価フロー、および払出原価計算方法の組み合わせです。プロファイルは台帳に関連付けられ、その台帳におけるアイテムの評価方法や、アイテムの物理的移動の評価方法を決定します。
現在の学習内容	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、現在進行している全てのラーニング アクティビティおよびプログラムに対するセルフサービスリポジトリを指します。
検索クエリー	検索エンジンにクエリー文字列と演算子を渡すために使用されます。検索インデックスは、一致する結果のセットをソースドキュメントへのキーと共に返します。
検索/マッチング	PeopleSoft Enterprise ヒューマンリソース管理において、データベース内の重複するレコードを検索、特定するための機能です。
合計コスト	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、特定の落札方法の見積コスト(実際の金額と、“ソフトダラー”すなわち現金などの直接の支払以外の支払手段によるものの合計)を指します。
購買イベント	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、イベント作成者にとっては、商品やサービスを購入することを指し、通常は見積依頼、提案、またはリバースオークションに関連付けられます。入札者にとっては、商品やサービスを販売することを指します。
購買者	PeopleSoft Enterprise eSettlement-決済管理において、システム内でサプライヤ(取引先)と取引をする組織またはビジネス ユニットを指します(個人ではありません)。購買者は、システム内で実行された購買に対する支払いを作成します。
顧客サブグループタイプ	詳細な履歴、エージング、イベント、およびプロファイルの生成が可能な区分に顧客を分類するための値です。
コストプラス価格設定	PeopleSoft Enterprise Pricer において、商品の原価を基準に価格を設定する方法を指します。
コストプラス契約行	報奨、固定、奨励金、またはその他の料金コンポーネントに関連付けられるレートベースの契約行です。料金タイプが“なし”に関連付けられるレートベースの契約行は、コストプラス契約行とは見なされません。
コレクション	ドキュメントのセットを Verity で検索可能にするには、最初にコレクションを少なくとも1 つは作成する必要があります。コレクションとは、ディレクトリおよびファイルのセットです。コレクションにより、検索アプリケーションのユーザーが Verity 検索エンジンを使用して、検索条件に一致するソースドキュメントをすばやく検索および表示することが可能になります。コレクションは、ファイル サーバー別に固有のフォーマットで格納されたソースドキュメントに対する統計値とポインタで構成されます。コレクションは単一の場所の情報しか格納できないため、PeopleTools では検索索引オブジェクトごとに複数のコレクションのセット(言語コードごとに1 つ)が管理されます。

コンテキスト	<p>PeopleCode において、PeopleCode プログラムの実行中に、前後関係から見てどのバッファフィールドが参照可能か、各スクロールレベル上の現在のデータ行がどの行か、などを判断する基準を指します。</p> <p>PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、プロセスの実行範囲の決定に使用されるメカニズムを指します。PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、計画、期間、および実行レベルの 3 つのタイプが使用されます。</p>
コンテンツ参照	ポータルレジストリに登録されているコンテンツへのポインタです。通常は URL か iScript のいずれかになります。コンテンツ参照は、ターゲットコンテンツ、テンプレート、およびテンプレートページレットの 3 つのカテゴリに分類されます。
コントロールテーブル	アプリケーションの処理を制御する情報が格納されます。このような情報は、組織全体を通じて一貫している場合もあれば、データの共有がより限定され、組織の一部分によってのみ使用される場合もあります。
コンポーネント インターフェイス	API (アプリケーション プログラミング インターフェイス) のセットであるコンポーネント インターフェイスを介すことにより、PeopleSoft クライアントを使用していなくても、プログラムを通じて PeopleSoft Enterprise データベース情報にアクセスしたりデータを修正したりすることができます。
サードパーティ	PeopleSoft によって認定され、PeopleSoft Enterprise アプリケーションと互換性のある製品やインテグレーションを提供する会社やベンダーです。通常は PeopleSoft Enterprise の製品に関して幅広い知識を持っています。
最適化エンジン	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングで使用される PeopleTools コンポーネントで、入札を評価して割り当てる、最適な落札金額を決定します。推奨落札金額は、購買と会社の目的および制約に従って価額が最大になるように設定されます。
作業指示	PeopleSoft Enterprise サービスプロキュアメントにおいて、サービスプロバイダとの契約の基本条件を指定する、リソースベースや成果物ベースの取引を作成できるようにします。サービスプロバイダと契約したら、そのサービスプロバイダは作業指示に従って時刻と進捗状況を記録します。
作業別歩留	PeopleSoft Enterprise 生産管理において、生産されるアイテムに対し、作業ごとの損失を見積もる機能です。
サブビジネスプロセス	ビジネスプロセスのサブセットです。たとえば、“資金管理”というビジネスプロセスのサブセットとして“キャッシュポジションの決定”というサブビジネスプロセスがあります。
サマリツリー	要約元帳内のレポートのタイプごとに勘定科目をロールアップするために使用されるツリーです。サマリツリーを使用すると、ツリーのツリーを定義できます。サマリツリー内の詳細値は、実際には詳細ツリーまたは別のサマリツリー (基本ツリー) 上のノードにあります。サマリツリーの構造によって、そのサマリツリーの土台となる詳細値が指定されます。
参加者	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、参加者は奨励報酬計算プロセスの受取人のことです。
参加者オブジェクト	各参加者オブジェクトは、1 つまたは複数の給与オブジェクトに関連付けられます。“給与オブジェクト”を参照してください。
参照オブジェクト	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、このディメンジョンタイプのオブジェクトによってビジネスをより詳細に定義します。参照オブジェクトには、製品ツリー、顧客ツリー、業種ツリー、地理ツリーなど、独自の階層を定義できます。
参照データ	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、担当地域、参加者、製品、顧客、チャネルなどの販売単位を表すシステム オブジェクトのことです。

参照取引	コミットメントコントロールにおいて、より上位のレベルの（かつ通常はより最近の）ソース取引によって参照されるソース取引を指します。これは、参照先取引の予算チェック済み金額の一部または全てを自動的に取り消すために行われます。これにより、異なるコミットメントレベルで取引が順次入力される際に重複転記を防ぐことができます。たとえば、エンカンパランス取引（発注など）の金額が予算と比較してチェックおよび記録される際、同時に、対応するブレエンカンパランス取引（調達依頼など）の金額の一部または全てが参照され自動的に取り消されます。
資金	PeopleSoft Enterprise プロモーション マネジメントにおいて、プロモーション アクティビティへの資金を供給する予算です。資金供給方法には、トップダウン、固定計上、ローリング計上、ゼロ基準計上の4つがあります。
資産クラス	レポート目的に使用される資産グループです。資産区分と組み合わせることで使用することにより、資産をさらに綿密に分類できます。
システム機能	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、一般会計の会計入力がシステム内でどのように作成されるかを定義するアクティビティです。
システム ソース	<p>システム ソースによって、データベースの取引行のソースが識別されます。たとえば、PeopleSoft Enterprise 経費管理から開始するトランザクションには、システム ソースコード“BEX”（経費管理バッチ）が含まれます。</p> <p>PeopleSoft Enterprise プロジェクトコスト管理で請求用のソース取引行の価格を設定すると、新規行のシステムソースを表すシステムソースコード“PRP”（プロジェクトコスト価格設定）が付いた行が作成されます。システムソースコードでは、PeopleSoft Enterprise システム内外のソースを表すことができます。たとえば、Microsoft Project から PeopleSoft Enterprise アプリケーションにデータをインポートするプロセスでは、ソースコード“MSP”（Microsoft Project）が付いた取引行が作成されます。</p>
実行レベルコンテキスト	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、特定のプロセス実行（およびバッチ ID）を期間コンテキストとプランコンテキストに関連付けるために使用します。特定のプロセス実行に関連する全てのプランコンテキストには個別の実行レベルコンテキストがあります。1つのプロセス実行が複数の期間にまたがることはできないので、各プランコンテキストには1つの実行レベルコンテキストだけが関連付けられます。
支払サイクル	PeopleSoft Enterprise 買掛金管理において、支払作成の際に、支払予定を選択するための基準を定義するルールセットを指します。
従業員/非従業員	ワークフォースの一員となる個人です。従業員または非従業員が含まれます。
重要度	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、イベント全体に対する行または質問の重要度を指します。重要度は入札のスコア付けと分析に使用します。RFx イベントとRFI イベントでは、重要度は入札者に示される場合と示されない場合があります。
出張グループ	PeopleSoft Enterprise 経費管理において、特定のビジネスユニット、部門または従業員に関連付けられる組織の出張規定および方針を指します。PeopleSoft Enterprise 経費管理の出張機能を設定する場合は、出張グループを1つ以上定義する必要があります。また、旅行会社には出張グループを1つ以上定義して関連付ける必要があります。
出張パートナ	PeopleSoft Enterprise 経費管理において、組織が契約関係を結んだ旅行会社を指します。
取得価格行	チャートフィールドのセットに対する原価取引と金額です。
条件	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、与信限度額に達したり、ユーザー定義の未払残高を超えたりして、顧客の勘定のステータスが変更された場合に発生する状況を指します。

消費税対象外(非課税)	消費税の課税対象ではない商品やサービスを指します。消費税対象外の商品やサービスを提供する組織は、関連する仮払消費税を回収することはできません。これは、回収不能免除とも呼ばれます。
消費税保留	消費税支払の一時的免除を許可された組織を指します。
消費税免除(免税)	組織の性質を理由に消費税支払の永久的免除を許可された組織を指します。
消費税例外	組織に対して許可された、一時的または永久的な消費税支払免除のことです。これには、消費税免除と消費税保留の両方の状況が含まれます。
奨励オブジェクト	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、PeopleSoft Enterprise Incentive Management の計算プロセスと結果を定義およびサポートする、奨励関連のオブジェクトのことです(プランテンプレート、プラン、結果データ、ユーザー介入オブジェクトなど)。
奨励ルール	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、取引に対して動作し、それらを報酬に変えるコマンドのことです。1つのルールは、取引を報酬に変えるプロセスの一部分です。
所在地	さまざまなタイプの住所を示すために使用します。たとえば企業の場合、請求書受け取り先、出荷先、郵送先などの各住所や、別の建物などを表すために使用できます。各住所には異なる所在地番号があります。1で表される主要所在地は、最も頻繁に使用する住所を示します。これは、主住所とは異なる場合があります。
シリアル/ロット構成	PeopleSoft Enterprise 生産管理において、シリアル管理アイテムの生産工程を追跡するための機能です。
シリアル/ロット生産管理	PeopleSoft Enterprise 生産管理において、製造アイテムのシリアル情報を追跡するための機能です。この情報は、アイテム マスターレコード内で管理されます。
シングルサインオン	シングル サインオンを使用すると、ユーザーは PeopleSoft Enterprise アプリケーション サーバーによる認証を受けた後、ユーザー ID やパスワードを再入力せずに2つ目の PeopleSoft Enterprise アプリケーション サーバーにアクセスできます。
シンジケート	会社のカタログの実用バージョンをパートナーに配布することです。
進捗ログ	PeopleSoft Enterprise サービス プロキユアメントにおいて、成果物ベースのプロジェクトを追跡するために使用されます。進捗ログは、タイム シートと同様に機能し処理されます。サービス プロバイダの担当者は、進捗ログを使用して成果物の進捗状況を記録および提出します。進捗状況は、実行されるアクティビティごとに記録するか、作業の完了率で記録するか、またはプロジェクトに対して定義されているマイルストーン アクティビティの完了ごとに記録することができます。
スコア	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングでは、イベントの入札要因に対する回答数(パーセント)を指します。スコアはオークション イベント入札者にのみ示されます。
ステージ	選択したパートナー オファーを、企業の他のパートナーからのオファーと統合する方法です。
ステップ	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、プラン内のセクションのコレクションを指します。各ステップは、ジョブ実行に含まれる特定のステップに対応します。
スピードチャート	複数のチャートキーを指定するユーザー定義の省略キーです。支払伝票入力に使用されます。スピードチャート定義内の各チャートキーにパーセンテージを関連付けることもできます。
スピード入力	チャートフィールド値の組み合わせを表すコードです。スピード入力を使用すると、一緒に使用されることの多い複数のチャートフィールドを簡単に入力できるようになります。

製品	PeopleSoft Enterprise またはサードパーティの提供する製品を指します。PeopleSoft では、提供するソフトウェア製品を製品ファミリまたは製品ラインに分類しています。Interactive Services Repository には、PeopleSoft によって販売される全ての製品の各リリースに関する情報が提供されています。また認定されたサードパーティの製品についても情報提供されています。それぞれの製品は、製品名とリリース番号によって区別されています。
製品カテゴリ	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、PeopleSoft Enterprise Incentive Management 製品スイート内の 1 アプリケーションを指します。PeopleSoft Enterprise Incentive Management システム内の各取引は、特定の製品カテゴリに関連付けられます。
製品追加	製品 A を購入すると製品 B が無料または特定の価格で購入できるようにする価格設定機能です (以前の名称は “無償提供品”)。
製品ファミリ	共通の機能を持つ製品のグループを指します。Interactive Service Repository で検索に使用できる製品ファミリ名としては、オラクル社の PeopleSoft Enterprise、JD Edwards EnterpriseOne、JD Edwards World、サードパーティ (認定されたパートナー) があります。
製品ライン	PeopleSoft Enterprise 製品ラインまたは認定されたパートナー (サードパーティ) の会社名を指します。Integration Services Repository では、製品ラインごとにインテグレーション ポイントを検索することもできます。
制約	ソーシング イベントでの落札方法に関する業務方針またはルールです。制約には、ビジネス、グローバル、イベントの 3 つのタイプがあります。
積載	PeopleSoft Enterprise 在庫管理において、まとめて出荷される商品のグループを指します。積載管理は、重量、容積、および出荷先を追跡するために使用される PeopleSoft Enterprise 在庫管理の機能です。
セキュリティイベント	コミットメントコントロールにおいて、セキュリティ権限チェックをトリガするイベントです。たとえば、予算の入力、振り替え、および調整、例外の上書きと通知、照会などがあります。
セクション	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、特定のタイプの取引に対して適用される奨励ルールのコレクションを指します。セクションを使用することにより、プランをセグメント化して、異なるセクション内の論理イベントを処理することが可能になります。
セッション	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、1 つのアクティビティの各集合日を指します。つまり、1 日の開始時刻と終了時刻の間の時間です。セッションには、日付、場所、集合時刻、および講師の情報が格納されます。セッションはスケジュールの決められた研修に使用されます。
セッション テンプレート	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、アクティビティのスケジュール設定に繰返し使用できる共通のアクティビティ特性を設定したものです。共通の特性としては、曜日、開始/終了時刻、施設と教室の割当、講師、設備などが挙げられます。セッション テンプレートは、スケジュールを設定する対象のアクティビティに関連付けることができます。アクティビティにテンプレートを関連付けると、テンプレートの全てのデフォルト情報がアクティビティ セッション パターンに入力されます。
設定パラメータカタログ	PeopleSoft Enterprise と連携する外部システムを設定するために使用されます。たとえば、設定パラメータカタログを使用して、外部サーバー用の構成および通信のパラメータを設定できます。
設定プラン	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、設定プランは共通の変数 (奨励ルールではありません) についての割当情報を保持するもので、参加者のないノードに関連付けられます。設定プランは取引によって処理されるものではありません。

設定リレーションシップ	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、任意のストラクチャノードに設定プランを関連付ける関係オブジェクトタイプを指します。
ゼロ税率/ゼロ消費税	税率が0パーセントの消費税コードを持つ消費税取引を指します。実際には消費税が課税されない消費税対象アクティビティを追跡するために使用されます。ゼロ税率の商品やサービスを供給する企業は、関連する仮払消費税を回収できます。これは回収可能免除とも呼ばれます。
先行タスク	次のタスクを開始する前に終了する必要があるタスクです。
ソーシング目標	制約において、ビジネスルールを必要(必須)にするか、推奨(目標)のみにするかを指定するオプションを指します。
ソース取引	コミットメントコントロールにおいて、コミットメントコントロールと統合された PeopleSoft Enterprise またはサードパーティアプリケーションで生成された取引で、コミットメントコントロール予算との比較チェックが可能な取引を指します。たとえば、プレエンカンパランス、エンカンパランス、支出、認識済収入、回収済収入などの取引がこれに当たります。
属性/値(ペア)	PeopleSoft Enterprise ディレクトリ インターフェイスにおいて、ディレクトリ情報ツリー内のエントリを構成するデータを表します。
代替勘定科目	PeopleSoft Enterprise 一般会計において、一部の国で必要とされる特別な記録方法や申告方法に従って、法定の勘定科目一覧表を作成したり勘定取引を詳細取引レベルで入力したりできる機能です。
台帳	PeopleSoft Enterprise 資産管理において、取得価額、減価償却属性、処分などの会計および税関連の情報を格納するために使用されます。
タイムスパン	PeopleSoft Enterprise 一般会計のさまざまな機能やレポートにおいて、特定の日付ではなく一定の期間が必要となき使用できる相対的な期間です。たとえば、会計年度の初めから今日までの期間や当期間などがあります。
代理入札	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、入札者の代わりに入札を行うことを指します。代理入札者は、入札者が指定した金額を下げたり上乗せして、その入札者が落札できるようにします。
タスク	詳細なソーシングプランの成果物アイテムです。
多通貨	ビジネスユニットの基本通貨以外の通貨で、取引を処理できる機能です。
段階価格	スケジュールを分割してそれぞれに異なる価格を設定できます。
短期顧客	テンプレートを使用した受注入力時に入力された、システムに登録されていない顧客です。
地域ソーシング	PeopleSoft Enterprise 購買管理において、複数の入荷先所在地を地域別にグループ化したソーシングモデルに基づいて、適切な取引先と取引先価格設定の構造を管理、表示、および選択するためのインフラストラクチャです。ソーシングは、入荷先所在地より上位のレベルで行われる場合もあります。
チェックブック	PeopleSoft Enterprise プロモーション マネジメントにおいて、資金やプロモーションに関連する財務データ(計画、発生、および実際の金額)を参照するために使用します。
チャートキー	テーブル内の各行を一意に識別するための1つまたは複数のフィールドです。テーブルによって、キーとなるフィールドが1つだけの場合もあれば、複数必要な場合もあります。
チャートフィールド	PeopleSoft Enterprise アプリケーションに応じて、勘定科目やリソースなどの一覧を格納するフィールドです。各チャートフィールド値は、個別の勘定科目番号や部門コードなどを表します。

チャートフィールド一致	特定のチャートフィールドを、取引の貸借が常に一致するよう指定することができます。
チャートフィールド組合せ編集	ユーザー定義のルールに基づき、有効なチャートフィールドの組み合わせに対して仕訳行を検証するプロセスです。
チャネル	PeopleSoft マルチチャネル フレームワークにおいて、電子メール、チャット、ボイス (CTI (Computer Telephone Integration)) などのイベントや汎用イベントを指します。
調整プラン	取引に複数の価格ルールが適合する場合の調整の役割を果たします。調整プランでは、取引の基本価格に適用する価格ルールの順序を決定します。
直接受領	倉庫または取引先から別の倉庫に出荷されるアイテムです。
直納	取引先または倉庫から顧客に直接出荷されるアイテムです。
ツリー	全ての会計単位 (社内部門、プロジェクト、レポーティンググループ、勘定科目番号など) 間の関係と要約上の階層を視覚的に表すために、PeopleSoft Enterprise システムで使用される階層です。
提供方法タイプ	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、組織内で選択可能なラーニング アクティビティの提供方法を示します。オンライン学習、教室での指導、セミナー、教本などがあります。このタイプによって、提供方法にスケジュール型のコンポーネントが含まれるかどうかが決まります。
提供方法/配送方法	<p>PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントでは、それぞれのラーニング アクティビティを提供するための主な方法を示します。また、ラーニング アクティビティのデフォルト値 (費用や言語など) も併せて指定されます。これは主に、学習者が最も適した提供方法をカタログで検索できるようにする目的で使用されます。PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントは混合型の学習システムなので、特定の提供方法を強制することはありません。</p> <p>PeopleSoft Enterprise サプライチェーン マネジメントでは、商品を出荷先へ送る手段 (トラック、航空、鉄道など) を示します。配送方法は、出荷スケジュールの作成時に指定されます。</p>
ディメンション	PeopleSoft 分析計算エンジンでは、分析モデルの基本的なコンポーネントとして、多岐にわたって使用される 1 種類のデータのリストがディメンションに格納されます。ディメンションは、分析モデル内で 1 つまたは複数のキューブに関連付けられます。PeopleSoft キューブ マネージャでは、OLAP キューブの最も基本的なコンポーネントとして、ディメンションの階層構造の作成に使用される PeopleSoft メタデータを指定します。PeopleSoft 分析計算エンジンで使用されるディメンションとデータキューブは、PeopleSoft キューブ マネージャで使用されるディメンションと OLAP (オンライン分析処理) キューブとは無関係です。
ディレクトリ情報ツリー	PeopleSoft Enterprise ディレクトリ インターフェイスにおいて、ディレクトリの階層構造を表します。
データエレメント	<p>最も単純なレベルでは、データのサブセットと、それらをグループ化するためのルールを定義するものです。</p> <p>ワークフォース アナリティクスでは、ワークフォース グループについてどのデータを取得し、どの測定値を適用するかをシステムに定義するルールを指します。</p>
データキューブ	PeopleSoft 分析計算エンジンにおいて、種類別にデータ (受注データなど) を格納するものです。データキューブは、1 つまたは複数のディメンションと併せて使用されます。PeopleSoft 分析計算エンジンで使用されるディメンションとデータキューブは、PeopleSoft キューブ マネージャで使用されるディメンションと OLAP (オンライン分析処理) キューブとは無関係です。
データ取得	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、外部のソースシステムから業務取引の生データを取得し、それをオペレーショナル データストア (ODS) に渡すプロセスのことです。

データセット	データをロールベースでフィルタリングおよび配布するためのデータグループです。データセットルールをユーザーロールに関連付けることにより、ユーザーごとに表示されるデータの範囲と量を制限できます。データセットルールを使用すると、ユーザーのロールに対して適切なデータのセットを取得できます。
テーブルセット	実際のデータ値は異なってもテーブルの構造が同じであるコントロールテーブル間で、類似する値セットを共有するための方法です。
テーブルセット共有	同じテーブルセットに基づく複数のテーブル内に格納されている共有データです。テーブルセット共有を使用しているテーブルには、追加キーまたは固有 ID として SETID フィールドが含まれます。
手配タスク	PeopleSoft Enterprise サービスプロキュアメントにおいて、サービスプロバイダを利用するにあたって発生する管理タスクを指します。手配タスクは、作業指示のサービスタイプにリンクされます。これにより、サービスのタイプに応じて異なる手配タスクを適用することができるようになります。手配タスクには、承認前タスク(新しい記章の割り当てや新しいノートパソコンの注文など)と承認後タスク(説明会のスケジュールリングやサービスプロバイダ宛て電子メールの設定など)があります。手配タスクは、必須にすることもオプションにすることもできます。必須の承認前タスクの場合、作業指示が承認される前に完了しておく必要があります。これに対し、必須の承認後タスクは、作業指示がサービスプロバイダにリリースされる前に完了しておく必要があります。
テリトリ	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、地域、製品、顧客、業種、参加者などのビジネスオブジェクトの階層関係のことです。
店頭受取数量	店頭販売の環境で顧客が持ち帰る製品の数量です。
店頭販売	顧客との対面取引です。通常、顧客が店頭で商品を選んだり、事前に注文した製品を受け取ります。顧客は商品の代金を店頭で支払います。商品は倉庫から発送してもらう代わりに、店頭で受け取り自分で持ち帰ります。
テンプレート	特定の Web ページに関連付けられた HTML コードです。ページのレイアウトや、ページの各部に対応する HTML の取得場所が定義されます。PeopleSoft Enterprise では、テンプレートを使用して、多数のソースから HTML を連結して 1 つのページを構築します。PeopleSoft Enterprise ポータルでは、全てのテンプレートがポータルレジストリに登録され、各コンテンツ参照にはテンプレートが割り当てられている必要があります。
動的詳細ツリー	ユーザーによって入力された値の範囲からではなく、データベースのテーブルから詳細値(動的詳細)を直接取得するツリーです。
ドキュメント連番	法定レポートの作成や商取引アクティビティの追跡に使用する目的で、システム内の会計取引(請求、発注、入金、支払など)に連続した番号を柔軟に付けるための方法です。
特別価格設定	PeopleSoft Enterprise 受注管理において、価格ルールに関連付けられる調整プランタイプの 1 つです。特別価格設定は、受注取引の価格設定に使用されます。
トランスレートテーブル	データベース内のフィールドで、専用の編集テーブルを必ずしも持っていないさまざまなフィールドについて、コードとトランスレート値を格納するシステム編集テーブルです。
取引ステータス	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、給与ルールによって取引に割り当てられた値を指します。取引ステータスを使用すると、システム処理の特定のステージにある取引だけがセクションで処理されるようにすることができます。正常に処理された場合、取引は次の取引ステータスに更新され、別の処理を実行するために異なるセクションによって取得されます。
取引割当	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、取引のオーナーを識別するプロセスを指します。取引の生データがバッチからプランコンテキストに割

	り当てられると、取引は PeopleSoft Enterprise Incentive Management の取引テーブルにコピーされます。
トレース適用	PeopleSoft Enterprise 生産管理において、生産プロセス中にどの構成部品を追跡するかを制御する機能です。追跡できるのは、シリアル管理およびロット管理されている構成部品です。この情報は、アイテム マスターレコード内で管理されます。
入札回答	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングでは、イベントに対して入札者が回答することを指します。
入カイベント	PeopleSoft Enterprise 一般会計、売掛金管理、買掛金管理、購買管理、および請求管理において、単一の取引から生じる複数の借方および貸方を生成して、標準の補足会計入力を作成するビジネスプロセスです。
認証サーバー	システムのユーザーを確認するよう設定されたサーバーです。
ノードツリー	詳細構造に基づいているものの、詳細値は使用されないツリーを指します。
パートナー	ユーザー企業によって再販売または購入される製品やサービスを提供する企業を指します。
発生	PeopleSoft Enterprise プロモーション マネジメントにおいて、プロモーション関連の支払義務が発生することを指します。つまり、プロモーション アクティビティについて顧客にその金額を支払う義務があることを意味します。
パブリッシュ	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、奨励関連の結果を参加者に対して利用可能にする処理ステージのことです。
販売イベント	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、イベント作成者にとっては、商品やサービスを販売することを指し、通常はフォワードオークションに関連付けられます。入札者にとっては、商品やサービスを購入することを指します。
ビジネス アクティビティ	サブビジネス プロセスを構成するサブセットです。ビジネス プロセス内で実行する特定のトランザクション、タスク、アクションなどがこれに当たります。
ビジネス イベント	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、手形アクティビティに対する売掛金更新プロセスの処理特性を定義します。 PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、PeopleSoft Enterprise Incentive Management イベント（販売など）の作成の妥当性を示す、元となるビジネス取引またはアクティビティを指します。
ビジネス タスク	ビジネス プロセスを構成する個々の機能です。
ビジネス プロセス	PeopleSoft Enterprise 製品ファミリでは、17 の標準ビジネス プロセスが定義および管理されています。これらのビジネス プロセスは、ビジネス プロセス エンジニアリング グループによってサポートされます。ビジネス プロセスの例としては、受注、契約、在庫管理と出庫、請求までの一連の流れを管理する“オーダーフルフィルメント”などが挙げられます。 サブビジネス プロセスの説明も参照してください。
ビジネス ユニット	経営上または会計上の役割という点で独立している、企業または企業のサブセットを指します。
ビジネス ユニット制約	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、選択したストラテジックソーシング ビジネス ユニットに適用される制約を指します。選択したストラテジックソーシング ビジネス ユニット内の全てのイベントにわたって支出が追跡されます。
評価ルール	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、顧客の勘定や個別のアイテムの状況を評価して、フォローアップアクションを生成する必要があるかどうかを自動的に決定するためのユーザー定義ルールです。

ファクト	PeopleSoft Enterprise アプリケーションにおいて、ソース データベースや分析アプリケーションのフィールドから取得される数値データの値です。収益、実績、予算データ、売上など、業務を評価するためのあらゆる値がファクトに該当します。ファクトは、ファクトテーブルに格納されます。
フェーズ	レベル 1 のタスクを指します。タスクにサブタスクがある場合、レベル 1 のタスクはフェーズと見なされます。
複数帳簿	PeopleSoft Enterprise 一般会計において、1 つのビジネス ユニットに対し複数の基本通貨に対応する複数の元帳を定義することを指します。1 つの取引を全ての基本通貨(全ての元帳)に転記するか、1 つの基本通貨(1 つの元帳)に転記するかを選択できます。
複製	PeopleCode において、固有のコピーを作成することです。単なる“コピー”では、オブジェクトへの参照が新しく作成されるだけの場合もあり、その場合は元のオブジェクトが変更されると、コピーとオリジナルの両方が変更されます。
プランニング インスタンス	PeopleSoft Enterprise 供給管理において、供給計画の入力と出力を構成するデータのセット(ビジネス ユニット、アイテム、供給、需要)を指します。
プラン	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、PeopleSoft Enterprise Incentive Management エンジンに取引の処理方法を指示する配賦ルール、変数、ステップ、セクション、および奨励ルールのコレクションのことです。
プラン コンテキスト	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、プラン コンテキストによって参加者がその割り当て先の給与プランとノードに関連付けられ、それにより、PeopleSoft Enterprise Incentive Management システムはそのノードに何が関連付けられているかや給与処理の実行に何が必要かを判断します。各参加者、ノード、およびプランの組み合わせは、固有のプラン コンテキストを表します。たとえば、3 人の参加者が同じ給与構造の場合、それらの参加者はそれぞれ異なるプラン コンテキストを持ちます。設定プランはプラン コンテキストによって識別され、それらを参照する参加者に関連付けられます。
プランチ	PeopleSoft ツリー マネージャで定義されたツリー階層において、上位ノードから分岐しているノードのことです。
プラン テンプレート	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、プランを作成するためのベースとなるものを指します。プラン テンプレートには、テンプレートから作成する全てのプランによって継承される共通のセクションと変数が含まれます。テンプレートにはまた、プラン定義内では確認できないステップやセクションが含まれる場合もあります。
プログラム	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、カタログ アイテムの各セクションの学習順序を示した大まかなグループ単位を指します。PeopleSoft Enterprise ラーニングシステムには、カリキュラムと認定という 2 つのタイプのプログラムがあります。
プロジェクト取引	PeopleSoft Enterprise プロジェクトコスト管理において、コスト、時間、予算、またはその他の取引行を表す個々の取引行を指します。
プロセス インスタンス	各プロセスリクエストを識別するための一意の番号です。この番号は自動的に増加しながら、プロセスリクエストの実行時に提出されたリクエストに割り当てられます。
プロセス カテゴリ	PeopleSoft プロセス スケジューラにおいて、サーバーのロード バランシングと優先順位を基準にグループ化されたプロセスを指します。
プロセス グループ	PeopleSoft Enterprise Financials において、ユーザーが取引入力ページからリアルタイムに直接開始できるアプリケーションプロセスのグループを指します。プロセスは、定義された順序で実行されます。

プロセスジョブ	複数のプロセス定義を1つのジョブリクエストに関連付け、各リクエストを連続または並行して処理します。また、先行するリクエストのリターンコードに応じて、後続のプロセスの開始を制御することができます。
プロセスタイプ	PeopleSoft プロセス スケジューラにおいて、プロセスの種類を識別します。たとえば、SQR のプロセスタイプには、SQR プロセスや SQR レポートなど、全ての SQR プロセスが含まれます。
プロセス定義	各実行リクエストを定義します。
プロセスランコントロール	ランコントロール ID を参照する全てのリクエストについて、実行時に必要となる PeopleSoft プロセス スケジューラの値を取得するための PeopleTools 変数です。アプリケーションランコントロールと混同しないよう注意してください。後者も同じランコントロール ID を使用して定義される場合がありますが、各アプリケーションプロセスリクエストに固有の情報だけが含まれます。
プロセスリクエスト	PeopleSoft プロセス スケジューラを通じて実行する単一の実行リクエストです。SQR (Structured Query Report)、COBOL またはアプリケーション エンジンプログラム、Crystal レポートなどがあります。
プロモーション	PeopleSoft Enterprise プロモーション マネジメントにおいて、通常、取引資金から資金供給され、消費財の売上を伸ばすために製造元によって行われるプロモーションを指します。
ページレット	ホームページ上のコンテンツの各ブロックをページレットと呼びます。ページレットは、ページ上の小さな四角形の領域内にサマリ情報を表示します。ページレットを使用することで、PeopleSoft Enterprise の内外を問わずユーザーに最も関連のあるコンテンツを提供することができます。
変数	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、計算の中間結果を指します。変数は計算結果を保持し、後で他の計算に入力されます。変数は、エンジンの実行後も保持されるプラン変数である場合と、特定のセクションの処理中にだけ存続するローカル変数である場合があります。
編集テーブル	固有のレコード定義を持つデータベース内のテーブルです。たとえば、部門テーブルなどがあります。PeopleSoft Enterprise アプリケーションでフィールドに値が入力されると、システム全体を通じてデータの整合性を確保するために、編集テーブルと照合して値が検証されます。
ベンチマーク職務	PeopleSoft Enterprise ワークフォース アナリティクス ソリューションにおいて、職務に対する給与調査データがサードパーティ機関から公にされている職務コードを指します。
法定勘定科目	財務結果の記録と申告について行政当局から要求される勘定科目です。PeopleSoft Enterprise では、これは代替勘定科目 (ALTACCT) チャートフィールドに相当します。
ポータルレジストリ	PeopleSoft Enterprise アプリケーションにおいて、コンテンツ参照を編成、分類、および登録するためのツリー構造です。フォルダによる階層ツリー構造を使用して、ポータルの構造とコンテンツの両方を定義します。これにより、コンテンツ参照の整理とセキュリティの確保を効率的に行うことができます。
保管レベル	PeopleSoft Enterprise 在庫管理において、資材保管場所のレベルを識別します。資材保管場所は、ビジネスユニット、保管区域、および保管レベルで構成されます。保管レベルは4つのレベルまで設定できます。
保存済入札	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングにおいて、作成済みで提出していない入札を指します。落札資格を得られるのは、提出した入札のみです。
マーケットテンプレート	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、特定のマーケットや業種に固有のものとして、製品カテゴリの最上位に作成される補足機能のことです。

マッチンググループ	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、売掛金アイテムとマッチング相殺アイテムのグループを指します。マッチンググループは、選択されたフィールド値に対するユーザー定義のマッチング条件を使用して自動的に作成されます。
未受付取引	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、データ喪失や不完全データなどが原因で割当処理の完了後にノードや参加者によって受け付けられなかった取引を指します。未受付取引は、給与管理者によって適切なノードまたは参加者に手動で割り当てられる場合があります。
未転記アイテム	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、入力または自動作成されたものの、まだ転記されていない個々の売掛金（請求書、貸方メモ、償却など）を指します。
メタ SQL	メタ SQL のコンストラクトは、プラットフォーム固有の SQL サブ文字列に展開されます。これは、SQL オブジェクト、SQLExec 関数、PeopleSoft アプリケーション エンジン プログラムなどで、SQL 文字列を渡す関数で使用されます。
メタ文字列	SQL 文字列リテラルに含まれる特別な表現です。メタ文字列には、プレフィックスとしてパーセント記号(%) が付けられ、文字列リテラルに直接含まれます。実行時には、使用されているデータベースプラットフォームに対応する適切なサブ文字列に展開されます。
持分法	PeopleSoft Enterprise 一般会計において、親会社が 1 か月ごとに子会社の純利益を計算し、その金額を調整して、連結の実行前に投資額と資本収益額に反映させることができるビジネスプロセスです。
元帳マッピング	経費データを一般会計の勘定科目からリソース オブジェクトに関連付けるために使用します。複数の元帳行アイテムを、1 つまたは複数のリソース ID にマッピングできます。また、元帳マッピングを使用して、ビジネス ユニットに金額（レート）をマッピングすることもできます。金額をマッピングする際は、会計期間の実際のコストを表す実際金額と、キャパシティレートや予算モデル結果の計算に使用できる予算金額の 2 種類でマッピングできます。PeopleSoft Enterprise ウェアハウスでは、一般会計の勘定科目を EW 元帳テーブルにマッピングできます。
有効日	PeopleSoft Enterprise アプリケーション内の情報に日付を付ける方法です。システムに履歴データを追加するために過去の日付を指定したり、実際に有効になる前にデータを入力する場合は将来の日付を指定することもできます。有効日を使用することにより、古い値を削除せずに、新しい値を現在の有効日で入力できます。
ユーザー介入オブジェクト	PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management では、参加者が自分のコンテキストでアクセスできるレポーティング コンポーネントやレポートを定義するために使用します。PeopleSoft Enterprise Sales Incentive Management の全てのユーザー インターフェイス オブジェクトおよびレポートは、ユーザー介入オブジェクトとして登録されます。ユーザー介入オブジェクトは、給与関係オブジェクトを通じて（個別またはグループで）給与構造ノードにリンクすることもできます。
要約期間	PeopleSoft Enterprise ビジネスプランニングにおいて、他の要約期間や基本期間（四半期や年間）など、複数の期間の集合体である任意の期間を指します。基本期間はこれに該当しません。
要約チャートフィールド	特定の詳細値または選択したツリー ノードに基づいて、詳細金額をロールアップする要約元帳を作成するために使用します。詳細値がツリー ノードを使用して要約されている場合は、ノード名の最大長（20 文字）に対応するため、要約チャートフィールドを要約元帳データレコード内で使用する必要があります。
要約元帳	明細元帳からの勘定科目残高の合計を格納するため、主に配賦、照会、および PS/nVision レポート作成で使用される会計機能です。要約元帳を使用すると、レポート作成がリクエストされるたびに明細元帳の残高を集計する手間が省け、レポート作成の効率性とスピードが向上します。要約元帳には、ユーザー指定の条件に従ってバックグラウンドで処理された明細残高が保存されます。値が保存された要約元帳には、レポート作成時に直接アクセスできます。

予算会計のみ	システムによってのみ使用される勘定科目で、ユーザーが使用することではなく、取引を受け付けることもありません。この勘定科目では予算会計のみが可能で、以前は“システム管理勘定科目”と呼ばれていました。
予算期間	予算やレポート関連の目的で分割された時間の間隔です(月や四半期など)。チャートフィールドでは、1つの暦だけに制限されることなく、経営上の会計期間を非常に柔軟に定義できます。
予算コントロール	コミットメントコントロールにおいて、コミットメントと支出が予算を超過しないように管理する機能です。予算コントロールにより、予算額に対する取引額を追跡し、定義された予算条件が満たされない場合はドキュメントのサイクルを終了することができます。たとえば、発注に関連する予算の資金が足りない場合に、発注書が取引先に送付されるのを防ぐことができます。
予算チェック	コミットメントコントロールにおいて、コントロール予算元帳に照らし合わせてソース取引を処理し、取引がパスするかどうか、または警告付きでパスするかを検証するプロセスです。
予測アイテム	需要予測の基準として使用される需要データと予測データの固有のセットから成る論理要素です。予測アイテムは、さまざまな用途で作成されますが、最終的には組織内で購入、販売、または使用され、使用の予測が必要とされるアイテムを表します。
予約	PeopleSoft Enterprise 経費管理において、旅行会社に予約済みの出張予約を指します。
ラーニング環境	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、学習者グループが利用できるカテゴリやカタログ アイテムのセットを指します。また、ラーニング環境ごとに作成されるラーニング アクティビティやプログラムに割り当てられるデフォルト値も併せて定義されます。ラーニング環境を使用すると、カタログを区別化することにより、学習者からは自分たちに関連するアイテムしか見えないようにすることができます。
ラーニング コンポーネント	PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントにおいて、ラーニング アクティビティの基本構成単位を指します。PeopleSoft Enterprise ラーニング マネジメントでは、Web ベース、セッション、Webcast、テスト、調査、課題という6つのタイプのラーニング コンポーネントをサポートしています。この中の1つまたは複数のコンポーネントによって、1つのラーニング アクティビティが構成されます。
ライブラリ セクション	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、特定のプラン(またはテンプレート)で定義され、他のプランでも共有できるセクションのことです。ライブラリセクションに加えた変更は、それを使用する全てのプランに反映されます。
ランコントロール	プロセスを開始するために使用されるオンライン ページの1タイプです。プロセスの例としては、給与計算のバッチ処理などがあります。ランコントロール ページでは、通常データを操作するプログラムが開始されます。
ランコントロール ID	ユーザーとランコントロール テーブルのエントリを関連付ける一意の ID です。
理想回答	PeopleSoft Enterprise ストラテジックソーシングでは、入札する場合に、落札資格を得るためには回答を理想値と一致させる必要がある質問を指します。回答が理想値と一致していない場合、入札はできますが、不適格な入札と見なされ落札資格は得られません。
リモートデータ/ソースデータ	別のデータベースから抽出され、ローカルのデータベースに移行されたデータです。
流通業取引アクティビティ	PeopleSoft Enterprise プロモーション マネジメントにおいて、割引を受けるのに必要なパフォーマンスを定義する、取引のプロモーションに関連付けられた割引タイプを指します(請求時値引き、請求後値引き、一括支払など)。業界一般で使われている用語では、オファー、値引き、販促イベント、戦術などに該当します。

旅程	PeopleSoft Enterprise 経費管理において、出張予約をまとめたものを指します。旅程には、選択した予約および旅行会社を通じた予約が表示されます。旅程に表示される予約は支払いが済んでいないため、“未完了予約”と呼ばれます。支払いが済んでいる予約は、“確認済予約”と呼ばれます。
リンクセクション	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、プラン テンプレートで定義されていて、特定のプランにも含まれるセクションを指します。リンク セクションに加えた変更は、そのセクションを使用している各プランに継承されます。
リンク変数	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、プラン テンプレートで定義および管理されていて、特定のプランにも含まれる変数を指します。リンク変数に加えた変更は、その変数を使用している各プランに継承されます。
累計	定義済みアイテムの処理時に、その累計値が格納されるエレメントです。累計エレメントには、単一または複数の値について、時間の経過に応じた累計値が格納されます。たとえば、全ての任意控除の金額が累計されるエレメント、または全ての会社控除の金額が累計されるエレメントなどを作成できます。これにより、期間やそれに基づく累計値を柔軟に処理できるようになります。
例外	PeopleSoft Enterprise 売掛金管理において、売上調整アイテムか未解決アイテムのいずれかを指します。
レコードグループ	論理的および機能的に関連付けられたコントロール テーブルとビューのセットです。レコード グループによって、重複するデータ入力を防ぐためのテーブルセット共有が可能になります。全ての関連するテーブルとビューにおいて、テーブルセットを一貫して共有できるようになります。
レコード名	1 つまたは複数の値が一致する関連フィールドを判別するのに使用されるレコードの名前です。
連結消去セット	PeopleSoft Enterprise 一般会計において、連結中に処理される会社間勘定科目のグループです。
ロール	PeopleSoft ワークフローにおける各ユーザーの役割を表します。ロールは、担当者や管理者など、行う作業のタイプごとに分類されるユーザーのクラスです。ビジネス ルールの定義では、通常、各アクティビティを行う必要のあるユーザー ロールを指定します。
ロールアップ	ツリー内で、階層に基づいて総額を計算することです。
ロール ユーザー	PeopleSoft ワークフローのユーザーです。個人のロール ユーザー ID は、システムの他の部分で使用されるユーザー ID とほぼ同じ目的で使用されます。PeopleSoft ワークフローでは、ロール ユーザー ID を使用して、ワークリスト アイテムをユーザーに送る方法(電子メールの使用など)を決定すると共に、ユーザーがワークフロー内で果たす役割を追跡します。ロール ユーザーには PeopleSoft ユーザー ID は必要ありません。
ワークシート	PeopleSoft Enterprise BAM(ビジネス分析モデラー) インターフェイスを使用してデータを分析する方法の 1 つです。ユーザーは、ワークシートを使用して、ピボットテーブル、チャート、メモ、および履歴情報に基づく詳細な分析を実行できます。
ワークセット	1 つのセットとして関連付けられる個人と組織のグループです。ワークセットを使用すると、個人と組織のグループのデータ取得と、取得した情報に対する作業を 1 つのページで同時に行うことができます。
ワークリスト	PeopleSoft ワークフローによって自動的に作成されるタスクリストです。ワークリストを使用すると、次のアクションの実行に必要なページに直接アクセスでき、その後再びワークリストに戻って別のアイテムを処理することができます。
割当ルール	PeopleSoft Enterprise Incentive Management では、システムが各ノードおよび関係者に取引を割り当てるために使用する、給与プラン内の式のことで、取引の割り当てを実行するとき、割当エンジンは、現在のノードからルー

割戻

トノードへと給与構造をトラバースし、割当ルールを含んだプランと比較して各ノードをチェックします。

卸売業界において、サプライヤとディストリビュータ間で取り交わされる契約を指し、この契約においては、指定した製品または製品グループが対象の顧客または顧客グループに販売された時点で、ディストリビュータに一定金額が支払われます。

索引

Customer Connection Web サイト xii
ePerformance-パフォーマンス管理
 テンプレート 109
 評価説明の確認 34
HCM イベント マネージャ
 JPMProfileAdded イベント 87
 JPMProfileUpdated イベント 87
 UpdateVerityIndex イベント ハンド
 ラ 88
 階級の更新 12
 プロフィール変更の追跡 87
HCR_EM_EVENT サービス オペレーショ
 ン 97
HCR_EVENT_MANAGER キュー 97
JPMProfileAdded イベント 87
JPMProfileUpdated イベント 87
NVQ001 (GBR) ページ 187
NVQ002 (GBR) ページ 187
NVQ003 (GBR) ページ 187
NVQ004 (GBR) ページ 187
NVQ005 (GBR) ページ 187
NVQ006 (GBR) ページ 187
NVQ (GBR), 参照: 国家職業検定資格
 (NVQ) (GBR)
NVQ 報奨団体ページ 184
PeopleBook
 注文 xii
PeopleCode の表記規則 xiv
RATING_MDL_TBL コンポーネント 29
UpdateVerityIndex イベント ハンドラ 88
Verity
 プロフィールの検索/比較における使
 用 82
Verity インデックス 82, 85, 86
XMLP, 参照: XML Publisher
XML Publisher
 テンプレート 70
 テンプレート設計ツール 73
 テンプレートの修正 74
 レポートおよびプロフィール用の設
 定 70

あ

アイテム詳細ページ 23
アプリケーションの基礎 xi

い

イギリス, 参照: 国家職業検定資格
 (NVQ) (GBR)
イベント ハンドラ
 UpdateVerityIndex 88
インスタンス識別子
 2 つのインスタンス識別子セットの使
 用 47
 Verity インデックスでの使用 86
 概要 45
 定義 49
インスタンス識別子コンポーネント
 (JPM_JP_INST_QUAL) 45
インスタンス識別子ページ 49
インストール
 プロフィール管理オプションの定義 40

か

階級
 プロフィールでの記録 12
学部 (JPN) 42
学部/学科 JPN ページ 43, 44
学部テーブル JPN コンポーネント
 (FACULTY_TABLE_JPN) 42
学歴情報 42
 学部コード (JPN) 44
 学校 43
学校
 学校テーブル ページ 43
 管理 43
 定義 42
学校コンポーネント (SCHOOL_
 TABLE) 42
学校タイプ コンポーネント
 (SCHOOL_TYPE_TABLE) 42
学校タイプ ページ 43
学校テーブル ページ 43
関係
 親/子 21
 関連タイプをサポート/関連タイプに
 よりサポート 21
 関連タイプを必要/関連タイプで必
 要 21
 コンテンツ アイテム間 25
関係ルール ページ 18, 21

関心レベル
 プロフィールの検索/比較 135
 管理者リストの作成プロセス
 (JPM_DR_UNLD) 83
 管理者リストの作成ページ 88
 関連アイテム
 コンテンツ アイテム 26
 プロフィール アイテム 110
 関連アイテム ページ 23, 25, 99, 110
 関連ドキュメンテーション xii

き

希望任務リスト
 概要 146
 プロフィールの追加と削除 147
 希望任務リスト - プロファイル別確認
 ページ 146, 147
 却下アイテム ページ 100
 却下確認 121
 キャリア プラン
 個人プロフィールとの同期 111
 キャリア プラン/プロフィール管理のリン
 ク ページ 100
 共通フィールド xvii

く

クラスタ
 適合性の分析 159, 165
 クラスタ詳細ページ 159
 クラスタの適合性ページ - 人材に対する
 任務の適合性 165
 クラスタの適合性ページ - 任務に対する
 人材の適合性 159
 グループ
 コンテンツ アイテムの追加 26
 コンテンツ グループ タイプの定義 27
 コンテンツ グループの定義 27, 28
 プロフィール グループ タイプの定
 義 69
 プロフィール グループの定義 70
 グループ メンバー ページ 23, 26
 軍
 階級の記録 12

け

警告 xv
 検索インデックス 82
 検索結果ページ 137, 138, 142
 検索条件

 検索/比較のための定義 140
 検索条件ページ 137, 140
 検索設定の定義コンポーネント
 (JPM_SRCH_CFG) 80
 検索設定ページ 81
 検索タイプ 80
 定義 81
 研修
 管理 148
 研修履歴の表示 148
 従業員研修の追跡 148
 研修サマリ ページ 148
 研修履歴ページ 148

こ

ご意見 xvi
 更新 - <コンテンツ タイプ> ページ 99,
 109
 個人検索ページ 137
 個人プロフィール
 キャリア プランとの同期 111
 作成と更新 102
 変更の送信 115
 レポート 177
 個人プロフィール - 承認ページ 121,
 123
 個人プロフィール - 変更サマリ ペー
 ジ 101, 115
 個人プロフィール ページ 99, 102
 フォーマット 93
 個人プロフィール レポート 179
 個人プロフィール レポート
 (JPM_JPPP_RPT) 177
 個人プロフィール レポート ページ 177,
 179
 個人別希望任務リスト ページ 146, 147
 国家職業検定資格 (NVQ) (GBR)
 NVQ レベルの管理 184
 概要 181
 確認 185
 管理 181
 サマリの確認 185
 従業員の確認 186
 設定 182
 プランの初期化プロセス 187
 報奨団体への割り当て 184
 レポートの実行 187
 ご要望 xvi
 コンテンツ アイテム
 関係の定義 25

- グループへの追加 26
- 定義 23
- 評価レベル説明の定義 25
- コンテンツ アイテム コンポーネント
(JPM_CAT_ITEMS) 13, 23
- コンテンツ アイテム評価レベル説明ページ 23, 25
- コンテンツ カタログ 12
 - 概要 1, 9
- コンテンツ カタログ リスト ページ 175
- コンテンツ カタログ リスト レポート 175
- コンテンツ カタログ リスト レポート
(JPM_CAT_LRPT) 175
- コンテンツ グループ
 - アイテムの追加 26
 - グループ タイプの定義 27
 - 定義 27, 28
- コンテンツ グループ タイプ ページ 27
- コンテンツ グループ メンバー ページ 27, 28
- コンテンツ セクション
 - コンテンツ タイプの選択 62
 - 定義 60, 63
- コンテンツ セクションの追加ページ 57, 62
- コンテンツ セクション ページ 57, 63
- コンテンツ タイプ
 - 関係ルール of 定義 21
 - 自由形式 16
 - 定義 16
 - 必須プロパティ 19
 - 標準のシステム データ 11
 - プロパティ 16, 189
 - プロパティ属性の定義 20
 - プロパティの定義 18
- コンテンツ タイプ コンポーネント
(JPM_CAT_TYPES) 13, 18
- コンテンツ タイプ ページ 18, 121
- コンテンツのインポート 96
 - プロファイルの選択 112
- コンピテンシー
 - カテゴリ 176
 - カテゴリ別の表示 176
 - クラスタ適合性の分析 165
 - 従業員と任務の適合性差異分析 163
 - タイプ 176
 - タイプ別の表示 176
 - チームの設定 170
 - チームの適合性分析 171
 - 適合性

- 従業員に対する任務の適合性 164
- 任務に対する従業員の適合性 158
- プロジェクトに対するチームの適合性 169
- 適合性詳細の表示 161, 167
- 適合性の分析 161, 166
- 任務と従業員の適合性差異分析の実行 168
- 任務の指定 159
- 複数評価の管理 155
- コンピテンシー インベントリ ページ 178
- コンピテンシー インベントリ レポート
(PER011) 178
- コンピテンシー サマリ ページ 175, 176
- コンピテンシー適合性詳細ページ 165, 167, 170
- コンピテンシー適合性詳細ページ - 任務に対する人材の適合性 159, 161
- コンピテンシーの適合性ページ - 業務に対するチームの適合性 170, 171
- コンピテンシーの適合性ページ - 人材に対する任務の適合性 165, 166
- コンピテンシーの適合性ページ - 任務に対する人材の適合性 159, 161
- コンポーネント インターフェイス 6

さ

- サブセクション 60

し

資格

- 人材に対する任務の適合性の分析 168
- チームの適合性分析 172
- 任務に対する人材の適合性の分析 162
- 複数評価の管理 155
- 資格の適合詳細ページ 170
- 資格の適合性ページ - 業務に対するチームの適合性 170, 172
- 資格の適合性ページ - 人材に対する任務の適合性 165, 168
- 資格の適合性ページ - 任務に対する人材の適合性 159, 162
- 資格別 NVQ サマリ (GBR) ページ 185, 186
- 社内用履歴書ページ 179
- 社内用履歴書レポート (PER034) 179
- 従業員希望任務リスト 146

従業員チーム ページ 170
 従業員別 NVQ サマリ (GBR) ページ 185
 自由形式コンテンツ タイプ 16
 重要度プロパティ
 プロファイルの検索/比較における使用 80, 130
 出力されたドキュメンテーション xii
 条件ルール 82
 承認
 概要 120
 定義 38
 プロファイルの表示 121
 プロファイル変更の送信 115, 117
 プロファイル変更の表示 123
 承認確認ページ 121
 承認管理ページ 121
 承認ページ 101
 承認待ちアイテム ページ 100
 承認ワークフロー エンジン (AWE) 120
 新規追加 - <コンテンツ タイプ> ページ 99, 109
 シンジケート
 概要 96
 事前設定 97
 ソースおよびターゲット プロファイルの表示 114
 プロファイルの選択 112
 例外の詳細の表示 118
 例外の表示 118
 シンジケート ソース/ターゲット ページ 114
 シンジケート例外の確認ページ 101, 118

す

スコア
 関心レベル 135
 重要度プロパティ 130
 必須プロパティ 135
 評価モデル 131
 プロファイルの検索/比較 128
 全ての行の表示ページ 99, 111

せ

設計ヘルパー ページ 73
 専攻コンポーネント (MAJOR_TABLE) 42
 専攻テーブル ページ 43
 前提知識 xi

そ

相互参照 xv

た

タブ 60
 概要 103

ち

注 xv
 注意事項 xv

つ

追加ドキュメンテーション xii

て

定義ページ 73
 適合性差異の測定ページ - 人材に対する任務の適合性 165, 168
 適合性差異の測定ページ - 任務に対する人材の適合性 159, 163
 適合性差異分析 163
 実行 168
 適合性詳細 161
 適合性評価タイプ ページ 157
 適合性分析 161
 クラスタの分析 165
 資格の分析 162
 チームの設定 170
 チームの分析 171, 172
 適合性詳細の表示 167
 任務に対する従業員の適合性 158
 評価タイプの設定 156
 評価タイプの定義 157
 プロジェクトに対するチームの適合 169
 点数
 評価への割り当て 32
 テンプレート
 XMLP レポート 71
 XMLP レポートおよびプロファイルの修正 74
 テンプレート ページ 73
 データ ソース (XMLP レポート) 71

と

ドキュメンテーション
 関連 xii
 最新版 xii
 出力 xii

に

- 任務適合
 - 概要 152
 - スコアの概要 153
- “任務プロファイルからのアイテムのコピー” ページ 100

ひ

- 比較結果ページ 138, 145
- 比較するプロファイルの選択ページ 138, 144
- 非個人プロファイル
 - コンテンツのインポート 112
 - コンテンツのシンジケート 112
 - 作成と更新 104
 - シンジケート ソース/ターゲットの表示 114
 - プロファイル関連先の選択 109
 - プロファイル グループへの追加 108
 - プロファイル識別タイプの選択 108
 - 変更の送信 117
 - レポート 177
- 非個人プロファイル - 承認ページ 121
- 非個人プロファイル - シンジケート ソース/ターゲット ページ 101
- 非個人プロファイル - プロファイルとカタログの検索ページ 100
- 非個人プロファイル - 変更サマリ ページ 101, 117
- 非個人プロファイル ページ 99, 104
 - フォーマット 93
- 非個人プロファイル レポート 180
- 非個人プロファイル レポート (JPM_JPPP_RPT) 178
- 非個人プロファイル レポート ページ 178, 180
- 必須プロパティ
 - プロファイルの検索/比較 135
 - プロファイルの検索/比較における使用 80
- 評価 155
 - 評価レベル説明の定義 25
- 評価説明の確認ページ 30, 34
- 評価モデル
 - ePerformance-パフォーマンス管理 30
 - 概要 29
 - 定義 29
 - 点数の定義 32

プロファイルの検索/比較における使用 131

- 評価モデル コンポーネント (RATING_MDL_TBL) 29
- 評価モデル ページ 30
- 評価レベル説明 25
- 表記規則 xiv

ふ

- 複数評価 155
- プロパティ
 - コンテンツ セクションへの追加 63
 - コンテンツ タイプ 189
 - プロファイル タイプ 193
 - リスト 189
- プロファイル
 - XML Publisher 70
 - 概要 2, 93
 - コンテンツのコピー 96
 - タイプの概要 36
 - テンプレートの修正 74
- プロファイル アイテム
 - 詳細へのアクセス 109
 - 有効日付きの行を全て表示 111
- プロファイル アクション フィールド 98
- プロファイル インデックスの管理プロセス (JPM_BLD_INDX) 85
 - モード 86
 - [優先順位] フィールドについて 86
- プロファイル インデックスの管理ページ 88, 90
- プロファイル管理
 - インストール オプション 40
 - 概要 1, 35, 91
 - 職務データとの統合 12
 - 設定 38
 - 統合 5
 - 導入 6
 - ビジネス プロセス 4
- プロファイル管理インストール設定ページ 40
- プロファイル管理責任者
 - プロファイル管理タスク 91
- プロファイル関連先 55
 - 定義 51
 - プロファイル タイプへの定義 67
- プロファイル関連先の検索ページ 101
- プロファイル関連先ページ 53, 55
- プロファイル グループ コンポーネント (JPM_JP_GROUPS) 68

プロファイル グループ タイプ コンポーネント (JPM_JP_GTYPE_GRP) 68
 プロファイル グループ タイプ ページ 69
 プロファイル グループ ページ 69, 70
 プロファイル 識別タイプ 53
 定義 51
 プロファイル タイプへの定義 59
 プロファイル 識別タイプの検索ページ 101
 プロファイル 識別タイプ ページ 53
 プロファイル 承認
 概要 120
 定義 38
 プロファイル タイプ
 Verity インデックスの作成 85
 タブとコンテンツ セクションの定義 60
 定義 56, 58
 プロパティ 189
 プロファイル タイプ - 関連先ページ 57, 67
 プロファイル タイプ - コンテンツ ページ 57, 60
 プロファイル タイプ - 識別タイプ ページ 57, 59
 プロファイル タイプ - 属性ページ 56, 58
 プロファイルとカタログの検索ページ 112
 プロファイルの検索/比較
 概要 4, 77, 124, 151
 関心レベル 135
 結果の表示 142
 検索インデックスの作成 82
 検索条件の定義 140
 検索タイプの設定 80
 重要度プロパティ 130
 条件ルール 124
 スコアの概要 128
 ソース プロファイルの選択 138
 必須プロパティ 135
 評価モデル 131
 プロファイルの検索ページ 136, 137, 138
 プロファイルの選択ページ 100
 プロファイルの比較 144, 145
 概要 151

ほ

報奨団体
 国家職業検定資格 (NVQ) (GBR) 184
 報奨団体 (GBR) ページ 184

保存アイテム ページ 100

め

免許/資格更新レポート (CMM007) 178
 免許/資格ページ 178

も

モデル, 参照: 評価モデル

ゆ

[優先順位] フィールド
 Verity インデックスでの使用 86

よ

用語 199
 用語一覧 199

れ

例外の詳細ページ 101, 118
 レポート
 XML Publisher 70
 個人プロファイル レポート 179
 コンテンツ カタログ リスト 175
 非個人プロファイル レポート 180
 プロファイル 177
 レポート定義 (XMLP レポート) 70
 連絡先 xvi

わ

ワークフロー
 承認処理 121
 プロファイル承認 38
 プロファイル タイプへの割り当て 58